

令和6年度  
前期(4~8月)  
開講講座

# 講座案内



だれもが自由に学べる開かれた学び舎

八王子学園都市大学

いちよう塾

八王子市学園都市センター



大学コンソーシアム八王子生涯学習推進事業

工学院大学、明星大学、東京工業高等専門学校、帝京大学、帝京大学短期大学、東京造形大学、東京純心大学、杏林大学、多摩美術大学、創価大学、創価女子短期大学、東京薬科大学、拓殖大学、中央大学、日本文化大学、法政大学、東京工科大学、東京都立大学、山野美容芸術短期大学、ヤマザキ動物看護大学、東京家政学院大学、サレジオ工業高等専門学校、デジタルハリウッド大学、桜美林大学、多摩大学

八王子学園都市大学は、学校教育法に定める大学ではありません。

# 八王子学園都市大学 いちよう塾



## もくじ

## INDEX

|                     |                                                                                                                                                         |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| いちよう塾のご案内           | P 1                                                                                                                                                     |
| リカレント特集             | P 2 ~ 3                                                                                                                                                 |
| 受講申込み・八王子学園都市大学登録手順 | P 4                                                                                                                                                     |
| 受講にあたって             | P 5                                                                                                                                                     |
| 講座一覧<br>P 6~13      | 開講月別講座一覧 P 6 ~ 9<br>分野別講座一覧 P 10 ~ 11<br>公開講座一覧 P 12<br>提供機関別講座一覧 P 12 ~ 13<br>25大学・会場マップ P 14 ~ 17                                                     |
| 講座概要<br>P 18~77     | 講座概要の見方・アイコン一覧 P 18<br>正規科目講座・4月開講講座 P 19 ~ 36<br>一般講座・4月開講講座 P 37 ~ 51<br>5月開講講座 P 52 ~ 62<br>6月開講講座 P 63 ~ 70<br>7月開講講座 P 71 ~ 74<br>8月開講講座 P 75 ~ 77 |
| 公開講座                | P 79 ~ 87                                                                                                                                               |
| 科目等履修のご案内           | P 88 ~ 89                                                                                                                                               |
| 申込案内・申込用紙           | P 90 ~ 91                                                                                                                                               |

### 「いちようくん」の生みの親 秋山 孝 先生

八王子学園都市大学いちよう塾 イメージキャラクターのデザインは秋山孝先生によるものです。秋山先生が2022年1月にご逝去されてからは、秋山孝事務所がデザインを引き継いでいます。

#### プロフィール

秋山 孝 Takashi AKIYAMA (1952-2022)

新潟県長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京芸術大学大学院修了。秋山孝ポスター美術館長岡を2009年に開館。1986年ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞、1999年インド核実験反対のポスターで国連賞、イタリア・コニーユ国際自然映画祭ポスターコンペ1席、ブルノ国際グラフィックデザインビエンナーレ・アルティア賞、メキシコ国際ポスタービエンナーレ・栄誉賞、ヘルシンキ国際ポスタービエンナーレ・栄誉賞、他。著書に「キャラクター・コミュニケーション入門」(角川書店)、「秋山孝ポスター作品集」(上海人民美術出版社)、「中国ポスター」(朝日新聞出版)、他。  
<https://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



# 「だれもが自由に学べる開かれた学び舎」

## それが八王子学園都市大学(愛称：いちょう塾)です。

八王子学園都市大学は、「だれもがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち」を実現するため、八王子市と大学コンソーシアム八王子加盟の25大学・短期大学・高等専門学校及び企業や市民の方との協働により、市民の皆さんが意欲をもって学ぶことのできる機会の場の提供を目的として、さまざまな講座を開講する、市民のための市民大学です。

### だれでも学べます

八王子市民だけでなく、原則18歳以上で学習意欲がある方ならだれでも学ぶことができます。また大学・短期大学・高等専門学校等の学生は、受講料が半額になります。(一部除外)

### 身近な学習の場です

JR八王子駅前の学園都市センター及び大学コンソーシアム八王子加盟の25大学等がキャンパスとなります。市民の皆さんと学生の皆さんと一緒に授業を受講するなど、さまざまな人との交流の輪が広がります。

### 各大学等や地域の質の高い特色ある講座を提供します

大学コンソーシアム八王子加盟の25大学等の特色を活かした専門的な講座や複数の講師による共同授業などユニークな講座があります。  
また、八王子をテーマに歴史や自然などを学ぶ八王子学園都市大学ならではの「八王子学」の講座などもあります。

### ライフスタイルに合わせて受講できます

昼間だけでなく夜間や週末の時間帯も開講します。期間も短期・中期・長期講座や、公開講座なども実施しますので、生活スタイルに合わせて学ぶことができます。

### 託児サービス付きの講座もあります

満1歳から6歳まで(小学校入学前)のお子さんをお持ちの方も安心して学べます。

### 意欲を持って学べます

各講座終了時に修了証を発行いたします。  
また、講座の修了数により八王子学園都市大学独自の称号記を授与いたします。  
大学の正規科目を受講し、当該大学の単位を修得する「科目等履修」講座などもあります。

### 学校教育法に定める大学ではありません

当大学における学位は独自のものであり、学校教育法に定める単位と異なります。

八王子市では、八王子学園都市大学の講座のほか、生涯学習センターを始めとして、様々な講座を提供しています。詳しくは、生涯学習センター(電話 042-648-2231)または八王子市のホームページ(<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/>)のトップページにある「イベント情報」から「講座・教室」をご覧ください。



# 社会人の学び直し リカレント教育

急速に変化していく現代において、仕事で求められる能力を磨き  
続けていくことがますます重要になっています。

「リカレント（recurrent）」とは、「繰り返す」「循環する」という意味で、  
学校教育からいったん離れたあとも、  
それぞれのタイミングで再び教育を受け、仕事と学びを繰り返す  
「リカレント教育」が今注目されています。  
社会人になってから仕事に関する専門的な知識や技術を学ぶため、  
「社会人の学び直し」とも呼ばれています。

学び直しの第一歩として、

いちょう塾に参加してみませんか？





## 一般講座(要申込)

4-2

全14回

### インダストリアルデザインA

提供 東京造形大学

会場 東京造形大学

講師 森田 敏昭

日程 4/19 ~ 7/26

曜日 金

時間 10:50~12:30

受講料 11,000円

詳しくは20ページへ➡

5-3

全4回

### サービス・マーケティング2 ～顧客満足のためのサービス・システム～

提供 東京都立大学

会場 学園都市センター

講師 小泉 徹

日程 5/10 ~ 6/7

曜日 金

時間 15:20~16:50

受講料 3,500円

詳しくは53ページへ➡

6-3

全8回

### はじめてのスペイン語 ～400語であなたの事を話せるようになりましょう～

提供 中央大学

会場 学園都市センター

講師 高松 英樹

日程 6/4 ~ 7/23

曜日 火

時間 18:00~19:30

受講料 6,500円

詳しくは64ページへ➡

8-6

全3回

### ストレスに負けない心のあり方・作り方

提供 法政大学

会場 学園都市センター

講師 島本 好平

日程 8/8 ~ 8/29

曜日 木

時間 10:20~11:50

受講料 2,500円

詳しくは77ページへ➡

## 公開講座(申込不要)

公開

全1回

### あっ!その手があったか「ものづくり」 ～生物を真似る、生物を活かす～

提供 ヤマザキ動物看護大学

会場 学園都市センター

講師 長島 孝行

日程 5/18

曜日 土

時間 15:20~16:50

入場無料

詳しくは81ページへ➡

4-50

全3回

### 続・英語で学ぶ社会的「性」とアンコンシャス・バイアス ～一挙両得! 英語と男女共同参画の扉を同時に開く～

提供 杏林大学

会場 学園都市センター

講師 八木橋 宏勇

日程 4/13 ~ 4/27

曜日 土

時間 18:00~19:30

受講料 2,500円

詳しくは45ページへ➡

5-6

全6回

### Pythonによる作業自動化入門

提供 拓殖大学

会場 学園都市センター

講師 佐々木 整

日程 5/13 ~ 6/17

曜日 月

時間 18:00~19:30

受講料 5,000円

詳しくは54ページへ➡

8-5

全1回

### 人工知能にはない「個性」 ～西田哲学に基づいて考える私たちの大切な力～

提供 工学院大学

会場 学園都市センター

講師 小川 雅

日程 8/7

曜日 水

時間 13:30~16:50

受講料 2,000円

詳しくは77ページへ➡

公開

全1回

### 環境倫理学入門

～環境問題を哲学する～

提供 東京薬科大学

会場 学園都市センター

講師 新開 泰弘

日程 4/13

曜日 土

時間 10:20~11:50

入場無料

詳しくは80ページへ➡

公開

全1回

### 労働人権デューディリジェンス入門 ～組織と国境を越えた人権保護の意義と課題～

提供 中央大学

会場 学園都市センター

講師 井川 志郎

日程 8/13

曜日 火

時間 13:30~15:00

入場無料

詳しくは87ページへ➡

## 1 講座を選ぶ

講座内容、日程、受講料などをご確認ください。

- \*大学の単位修得(科目等履修)を希望される方は、申込方法等が異なります。詳しくは、88 ページをご覧ください。
- \*都合により、やむを得ず開講日程等の変更や、開講が中止となる場合があります。
- \*18歳未満の方で受講を希望される場合は、事務局までお問い合わせください。
- \*公開講座については、12 ページおよび 79 ページをご参照ください。

## 2 受講の申込み

申込方法は、次のいずれかをお選びください。\*窓口・電話での受付は、9時から17時までです。(日曜・祝日を除く)



ホームページからの申込み

詳しくは、学園都市大学の HP ( <https://web.my-class.jp/icho/asp-webapp/web/WTopPage.do> ) へ。



申込用紙による申込み(91 ページにある申込用紙を、ミシン目で切り取ってお使いください。)

必要事項を記入し、郵送、または直接、事務局にお持ちください。

\*申込書は、返却できませんので、あらかじめご了承ください。



電話(042-646-5621)による申込み \*登録証をお持ちの方は、電話による申込みが可能です。

登録番号、氏名、連絡先電話番号、希望講座番号、講座名をお知らせください。



〈申込締切日〉 講座開講月の前月15日

- \*郵送・ホームページからの申込みは、**申込締切日必着**です。
- \*申込締切日を過ぎてからはホームページからの申込みはできません。
- \*申込締切日を過ぎてても定員に達していない場合、追加申込ができる場合があります。事務局までお問い合わせください。
- \*学校教育法に規定する大学、大学院、短期大学・高等専門学校及び専修学校(専門課程に限る)に在学する学生は、申込みの際に**学生証をご提示いただく**と受講料が**学生料金**になります。(ホームページから申込んだ場合、受講決定前に必ずご提示ください。)
- \*託児サービスをご希望の方は**受講申込みと同時に**申請してください。申込締切日を過ぎた場合は受付できません。

受講者決定等について (以下について、あらかじめご了承ください。)

- ・受講者の決定は、各講座の申込締切後に事務局で行います。
- ・受講申込者が定員を超えた場合は、コンピュータによる無作為抽選となります。
- ・申込期間中に申込者が一定数(おおむね5名程度)に満たない場合は、開講を中止する場合があります。

## 3 通知が届く

申込締切後に受講者を決定し、次の書類等をお送りいたします。

◎決定通知等 ◎受講料納付書 ◎八王子学園都市大学登録申請書(新規申込みの方のみ)

- \*講座開始月の前月25日ごろまでに通知等が届かない場合は、事務局までご連絡ください。
- \*急速、受講できなくなった際は、速やかに事務局までご連絡ください。
- キャンセル待ち対応のため、ご協力をお願いします。
- \*講座によっては、受講料の他に教材費等が必要となる場合があります。

## 4 受講料を納付する

納付書を指定金融機関等にお持ちのうえ、講座開始1週間前までにお支払いください。

- \*必ず開講前に受講料を納付し、領収証書は、1年間保管してください。
- \*お支払いいただいた受講料は、お返しできません。あらかじめご了承ください。
- \*事務局(窓口)での、受講料のお支払いはできません。

## 5 八王子学園都市大学に登録する

次の書類等をご用意いただき、直接、事務局にお持ちください。登録証をお渡しいたします。

◎登録申請書

◎写真1枚(3cm×3cm) ※登録証用

◎受講料の支払い領収証書

◎本人確認ができるもの(運転免許証、健康保険証、学生証、外国人登録証等。)

写真1枚が必要となります。

## 6 講座を受ける

- \*受講料納付後は、決定通知に記載されている講座実施日時に、直接会場へお越しください。
- \*その他、5 ページの『受講にあたって』『受講上の注意』をご覧ください。
- \*欠席された日の講義にて配布した資料については、後日お渡しできるようご用意いたします。

登録証をお持ちの方は、⑥の手続きへ

## 修了証

講座を受講し、原則、出席日数が3分の2以上の方には、講座終了後に修了証を発行します。(希望者のみ)

## 八王子学園都市大学独自の称号認定

8月末日現在の講座の修了数に基づき、八王子学園都市大学学長より八王子学園都市大学独自の称号記を授与いたします。(秋頃予定)  
当大学における学位は独自のものであり、学校教育法に定める単位と異なります。

〈称号記の種類〉

| 種類   | 授与条件     |
|------|----------|
| 市民学士 | 10講座以上修了 |
| 市民修士 | 20講座以上修了 |
| 市民博士 | 30講座修了   |

〈認定講座数〉

| 授業回数   | 認定講座数  |
|--------|--------|
| 1～3回   | 4分の1講座 |
| 4～7回   | 4分の2講座 |
| 8～11回  | 4分の3講座 |
| 12～15回 | 1講座    |

授業回数が増えると、認定講座数も増えます。  
なお、公開講座は、対象になりません。

称号記授与者

| 博士  | 修士   | 学士   |
|-----|------|------|
| 83名 | 171名 | 492名 |

令和5年8月末日現在

## 授業時間割(学園都市センター)

|      |             |      |             |
|------|-------------|------|-------------|
| 第1時限 | 10:20～11:50 | 第4時限 | 18:00～19:30 |
| 第2時限 | 13:30～15:00 |      | 18:30～20:00 |
| 第3時限 | 15:20～16:50 |      | 19:00～20:30 |

※大学のキャンパスで行われる授業は、大学の時間割となります。

## 託児サービス

満1歳～6歳までの小学校入学前のお子さんをお預かりできる講座があります。( **託児** マークがついている講座が対象です。)  
必ず受講申込みと同時に託児の申込みをしてください。申込みは開講月の前月の15日までです。  
※託児希望者が多数の場合は、抽選となる場合があります。

**特典(令和6年度サービス)** 八王子学園都市大学登録証提示により、次のサービスがあります。

- ・八王子オクトーレ店舗・レストラン等の割引優待サービス(一部を除く)
- ・夢美術館の特別展一般観覧料半額割引
- ・市外の方も八王子市立図書館が利用可(登録証と身分証明とを提示のうえ利用者カードが作成されます。)

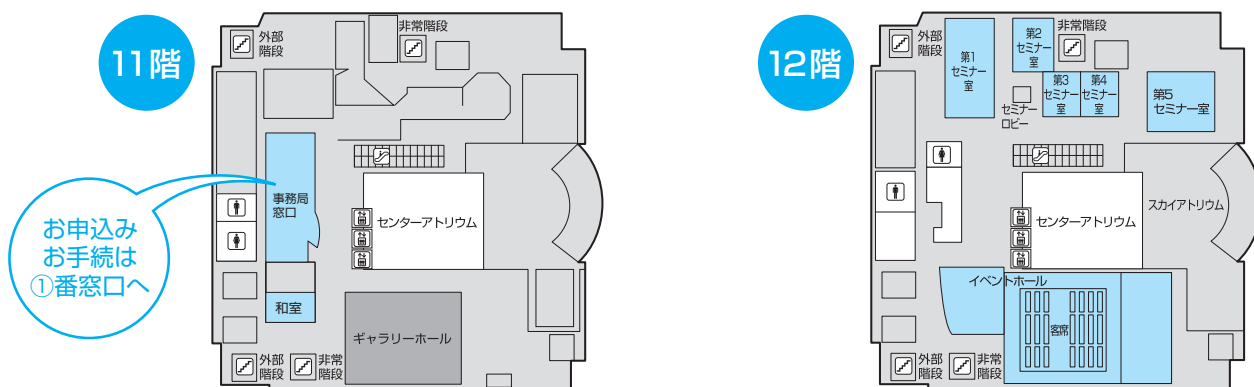
## 学生交流サロン内の自習室について

場所は11階交流サロン内です。関連講師の著書の一部もあり、自由に閲覧することができます。自習室は、ご利用前に事務局(窓口)で登録証提示の上、申込みをして、ご利用ください(現在閉所中)

## 受講上の注意

- ① 講師や他の受講生に迷惑をかける行為があった場合には、受講をお断りすることがあります。
- ② 大学のキャンパスで受講される方は、各大学の指示(規則)に従って行動してください。
- ③ 受講の前後を含め、講座の様子を写真・動画撮影いたします。紙媒体、インターネット等に公開されることがありますので予めご了承ください。
- ④ 貴重品等の盗難にご注意ください。
- ⑤ 学園都市センターは全館禁煙です。
- ⑥ 学園都市センターには、車・バイク・自転車の無料駐車場・駐輪場はございません。  
車・バイク・自転車でお越しの方は、JR八王子駅周辺の有料の駐車場・駐輪場をご利用ください。  
なお、障害者の方の駐車場利用については、減免の対象となりますので事務局までご相談ください。
- ⑦ 大学キャンパスへは、原則、公共交通機関をご利用ください。(一部の大学のみ、キャンパス内駐車場が利用可)
- ⑧ 受講中の写真・動画撮影および録音(カメラ/携帯/スマートフォン/タブレットなどの撮影行為)は、原則禁止です。
- ⑨ 資料の二次利用は禁止です。

## 学園都市センター各階案内図





| 講座番号 | 講座名                                         | 頁  | 分野            | 曜日     | 回数 | 開講日   | 時間                         | 会場 |
|------|---------------------------------------------|----|---------------|--------|----|-------|----------------------------|----|
| 4-1  | 現代デザイン論A                                    | 20 | デザイン          | 水      | 14 | 4月17日 | 10:50～12:30                | キ  |
| 4-2  | インダストリアルデザインA                               | 20 | デザイン          | 金      | 14 | 4月19日 | 10:50～12:30                | キ  |
| 4-3  | 生涯学習概論<br>～いつでもどこでもだれでも学べる社会の実現へ～           | 21 | 教育            | 月      | 15 |       | 10:45～12:15                | キ  |
| 4-4  | 経済学史<br>～経済学ってどんな学問?経済学の歴史で考えます。～           | 21 | 経済            | 月<br>金 | 30 | 4月5日  | 10:45～12:15<br>14:50～16:20 | キ  |
| 4-5  | 八王子学                                        | 22 | 八王子学          | 木      | 15 |       | 13:05～14:35                | キ  |
| 4-6  | Marketing<br>～From an Asian Perspective～    | 22 | 経営            | 火<br>金 | 30 |       | 10:45～12:15                | キ  |
| 4-7  | がん看護論                                       | 23 | 健康            | 月      | 4  |       | 9:00～10:30<br>10:45～12:15  | キ  |
| 4-8  | 環境マネジメント                                    | 23 | 経営            | 火      | 15 |       | 13:05～14:35                | キ  |
| 4-9  | 翻訳英語 I                                      | 24 | 言語            | 火      | 13 |       | 13:50～15:35                | キ  |
| 4-10 | 時事中国語 I                                     | 24 | 言語            | 水      | 13 | 4月17日 | 11:15～13:00                | キ他 |
| 4-11 | 通訳英語 I                                      | 25 | 言語            | 水      | 13 |       | 9:20～11:05                 | キ  |
| 4-12 | 政治と民族                                       | 25 | 政治            | 火      | 13 |       | 11:15～13:00                | キ  |
| 4-13 | 人口学                                         | 26 | 経済            | 木      | 13 |       | 17:40～19:25                | キ  |
| 4-14 | 東南アジア                                       | 26 | 文化            | 水      | 13 |       | 17:40～19:25                | キ  |
| 4-15 | 日本語・日本人論                                    | 27 | 言語            | 木      | 13 |       | 13:50～15:35                | キ  |
| 4-16 | 日本語文化基礎                                     | 27 | 文化            | 火      | 13 |       | 9:20～11:05                 | キ  |
| 4-17 | 初級スペイン語① I                                  | 28 | 言語            | 月      | 13 |       | 15:45～17:30                | キ  |
| 4-18 | 日米関係                                        | 28 | 政治            |        | 13 |       |                            | キ  |
| 4-19 | 日本語教育概論(留学生クラス)                             | 29 | 言語            | 木      | 13 |       | 11:15～13:00                | キ  |
| 4-20 | 社会心理<br>～社会の中で私たちの心はどう働くのか～                 | 29 | 心理            | 月      | 14 | 4月15日 | 15:10～16:50                | キ  |
| 4-21 | サステイナブル工学基礎                                 | 30 | 科学            | 月      | 14 | 4月15日 | 8:50～10:30                 | キ  |
| 4-22 | 情報セキュリティ<br>～コンピュータの知識を増やし論理的思考力を伸ばす～       | 30 | 情報            | 火      | 14 | 4月16日 | 10:45～12:25                | キ  |
| 4-23 | 地球環境科学<br>～大気や水にかかわる現象を学んで地球環境を考える～         | 31 | 環境            | 火      | 14 | 4月16日 | 8:50～10:30                 | キ  |
| 4-24 | 3次元コンピュータグラフィックス論<br>～CG映像を生成する計算技術を体系的に解説～ | 31 | コン<br>ピュータ    | 木      | 14 | 4月18日 | 15:10～16:50                | キ  |
| 4-25 | 国際関係論<br>～世界と日本の今を知る～                       | 32 | 政治            | 木      | 14 | 4月18日 | 8:50～10:30                 | キ  |
| 4-26 | 生体学                                         | 32 | 健康            |        | 15 |       |                            | キ  |
| 4-27 | 美と健康科学                                      | 33 | 健康            |        | 15 |       |                            | キ  |
| 4-28 | プライマリー栄養学                                   | 33 | 健康            |        | 15 |       |                            | キ  |
| 4-29 | 美しいサービス                                     | 34 | コミュニ<br>ケーション |        | 15 |       |                            | キ  |
| 4-30 | 伝承美(茶道)                                     | 34 | 教養            |        | 15 |       |                            | キ  |

| 講座番号 | 講座名                                                    | 頁     | 分野 | 曜日 | 回数 | 開講日   | 時間          | 会場 |
|------|--------------------------------------------------------|-------|----|----|----|-------|-------------|----|
| 4-31 | 伝承美(着装)Ⅰ                                               | 35    | 教養 |    | 15 |       |             | キ  |
| 4-32 | 色彩学                                                    | 35    | 芸術 |    | 15 |       |             | キ  |
| 4-33 | ペットロス論                                                 | 36    | 心理 |    | 15 |       |             | キ  |
| 4-34 | 高齢動物看護学                                                | 36    | 教養 |    | 15 |       |             | キ  |
| 4-35 | 韓国語講座入門編(前期)<br>～ハングル文字をマスターしよう～                       | 託児 38 | 言語 | 月  | 6  | 4月8日  | 13:30～15:00 | セ  |
| 4-36 | 韓国語講座初級編(前期)<br>～優しく楽しく学ぶ韓国語～                          | 託児 38 | 言語 | 月  | 8  | 4月8日  | 15:20～16:50 | セ  |
| 4-37 | 韓国語講座中級編(前期)<br>～分かりやすく、楽しく会話してみよう～                    | 39    | 言語 | 月  | 8  | 4月8日  | 18:00～19:30 | セ  |
| 4-38 | 環境思想<br>～古典から学ぶ未来へのメッセージ～                              | 託児 39 | 環境 | 木  | 4  | 4月11日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 4-39 | 創造の扉を開いてみよう<br>～日本の芸術家たちの芸術と生涯～                        | 託児 40 | 芸術 | 火  | 7  | 4月9日  | 10:20～11:50 | セ  |
| 4-40 | 暮らしを支えるロボット技術<br>～ロボットと自動運転の仕組みが知りたい!～                 | 40    | 科学 | 水  | 4  | 4月10日 | 19:00～20:30 | キ  |
| 4-41 | 『枕草子』を読む(8)<br>～定子後宮と清少納言～                             | 託児 41 | 文学 | 木  | 6  | 4月11日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 4-42 | 体験的「日本文化」論<br>～「どうする家康」から「光る君へ」へ～                      | 託児 41 | 歴史 | 金  | 5  | 4月12日 | 13:30～15:00 | セ  |
| 4-43 | わかる!楽しいフランス語(基礎編)<br>～まじめなフランス語から、観光、美食、ワインまで～         | 託児 42 | 言語 | 金  | 8  | 4月12日 | 13:30～15:00 | セ  |
| 4-44 | わかる!楽しいフランス語(応用編)<br>～まじめなフランス語から、観光、美食、ワインまで～         | 託児 42 | 言語 | 金  | 8  | 4月12日 | 15:20～16:50 | セ  |
| 4-45 | 英語の人生相談から考えるアメリカ社会の光と影<br>～「アメリカ社会の内側」から学ぶ「生きた英語」～     | 43    | 文化 | 土  | 8  | 4月13日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 4-46 | 暗号の歴史と数理                                               | 43    | 情報 | 土  | 6  | 4月13日 | 13:30～15:00 | セ  |
| 4-47 | ラテン語を始めてみようⅢ<br>～楽しく学ぶラテン語初歩の初歩～                       | 44    | 言語 | 土  | 8  | 4月13日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 4-48 | ラテン語を始めてみようⅤ<br>～楽しく学ぶラテン語初歩の初歩～                       | 44    | 言語 | 土  | 8  | 4月13日 | 13:30～15:00 | セ  |
| 4-49 | 古典ギリシア語を始めてみようⅢ<br>～楽しく学ぶ古典ギリシア語初歩の初歩～                 | 45    | 言語 | 土  | 8  | 4月13日 | 15:20～16:50 | セ  |
| 4-50 | 続・英語で学ぶ社会的「性」とアンコンシャス・バイアス<br>～一挙両得!英語と男女共同参画の扉を同時に開く～ | 45    | 教養 | 土  | 3  | 4月13日 | 18:00～19:30 | セ  |
| 4-51 | 日本画に親しむ(武田先生クラス)<br>～初心者から上級者まで自由な発想を大切に描く～            | 託児 46 | 芸術 | 月  | 8  | 4月15日 | 13:30～16:30 | セ  |
| 4-52 | 日本画に親しむ(坂本先生クラス)<br>～初心者から上級者まで自由な発想を大切に描く～            | 託児 46 | 芸術 | 火  | 8  | 4月16日 | 13:30～16:30 | セ  |
| 4-53 | 日本画の絵具で楽しく描く!<br>～小さい屏風に描く日本画～                         | 託児 47 | 芸術 | 水  | 8  | 4月17日 | 13:30～16:30 | セ  |
| 4-54 | 『平家物語』の世界を読む 第7期<br>～「物語られる歴史」をいかに読むか～                 | 託児 47 | 文学 | 水  | 8  | 4月17日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 4-55 | 中国語基礎<br>～発音と言葉に触れてみませんか～                              | 託児 48 | 言語 | 水  | 8  | 4月17日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 4-56 | 徳川儒者の葬送儀礼と死生観                                          | 託児 48 | 歴史 | 木  | 2  | 4月18日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 4-57 | 絵本と韓紙工芸で学ぶハングルと朝鮮・韓国の文化<br>～教養としての朝鮮・韓国。遊ぶように始めます～     | 託児 49 | 文化 | 金  | 4  | 4月19日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 4-58 | がんの治療とリンパ浮腫<br>～リンパ浮腫の起こる理由やケアについて学びます～                | 託児 49 | 健康 | 金  | 3  | 4月19日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 4-59 | 美齢講座① 美しく健やかに生きる<br>～おしゃれ身だしなみを意識して～                   | 50    | 健康 | 土  | 1  | 4月20日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 4-60 | 源氏物語の和歌(37) Aコース<br>～和歌から読み解く源氏物語～                     | 託児 50 | 文学 | 火  | 5  | 4月23日 | 13:30～15:00 | セ  |
| 4-61 | 源氏物語の和歌(37) Bコース<br>～和歌から読み解く源氏物語～                     | 託児 51 | 文学 | 火  | 5  | 4月23日 | 15:20～16:50 | セ  |
| 4-62 | 美齢講座② 美しい歩き方を学んで体力アップ<br>～美しく歩くポイントとそのための軽い体操を～        | 51    | 健康 | 土  | 1  | 4月27日 | 10:20～11:50 | セ  |

託児 託児サービス付きの講座です。事前の申込みが必要です。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

## 5月開講講座

申込締切日／4月15日(月)

| 講座番号 | 講座名                                             | 頁     | 分野     | 曜日 | 回数 | 開講日   | 時間                              | 会場 |
|------|-------------------------------------------------|-------|--------|----|----|-------|---------------------------------|----|
| 5-1  | 虚無から空へ<br>～西谷啓治の哲学探訪～                           | 託児 52 | 文化     | 木  | 8  | 5月16日 | 13:30～15:00                     | セ  |
| 5-2  | シェイクスピアの世界<br>～『アテネのタイモン』に見る人間不信～               | 託児 52 | 文学     | 金  | 6  | 5月10日 | 13:30～15:00                     | セ  |
| 5-3  | サービス・マーケティング2<br>～顧客満足のためのサービス・システム～            | 託児 53 | 経営     | 金  | 4  | 5月10日 | 15:20～16:50                     | セ  |
| 5-4  | ドイツの首都ベルリンの歴史<br>～時代に翻弄されたベルリン～                 | 53    | 歴史     | 土  | 8  | 5月11日 | 10:20～11:50                     | セ  |
| 5-5  | お金(通貨)が分かれば、世界が読める<br>～デジタル通貨、ドル、ユーロ、人民元、そして円～  | 託児 54 | 経済     | 月  | 5  | 5月13日 | 15:20～16:50                     | セ  |
| 5-6  | Pythonによる作業自動化入門                                | 54    | コンピュータ | 月  | 6  | 5月13日 | 18:00～19:30                     | セ  |
| 5-7  | 健康寿命の延伸への挑戦                                     | 託児 55 | 健康     | 水  | 6  | 5月15日 | 13:30～15:00                     | セ  |
| 5-8  | 21世紀の世界 文明・言語                                   | 託児 55 | 経済     | 水  | 5  | 5月15日 | 13:30～15:00                     | セ  |
| 5-9  | 八王子・多摩地域の歴史と考古<br>～遺跡で探る八王子・多摩のなりたち～            | 託児 56 | 八王子学   | 木  | 1  | 5月16日 | 10:20～11:50                     | セ  |
| 5-10 | 名監督たちが映画に託したものは？(日本映画編)<br>～彼らの初期・中期・晩年の作品を追って～ | 託児 56 | 芸術     | 木  | 4  | 5月16日 | 13:30～16:50                     | セ  |
| 5-11 | 陶芸(5月開講コース)Aコース<br>～「ろくろ」で作る「やきもの」～             | 57    | 芸術     | 土  | 6  | 5月11日 | 13:00～16:00                     | キ  |
| 5-12 | 陶芸(5月開講コース)Bコース<br>～「ろくろ」で作る「やきもの」～             | 57    | 芸術     | 土  | 6  | 5月11日 | 16:30～19:30                     | キ  |
| 5-13 | 美齢講座③ スカルブケア(頭皮ケア)<br>～スカルブチェックとヘッドマッサージをしよう～   | 58    | 健康     | 土  | 1  | 5月18日 | 10:20～11:50                     | セ  |
| 5-14 | 日米戦争決断の経緯<br>～日米の外交文書、関係者の証言録から読み解く～            | 託児 58 | 歴史     | 月  | 5  | 5月20日 | 13:30～15:00                     | セ  |
| 5-15 | 江戸時代の庶民教育と儒学思想                                  | 託児 59 | 歴史     | 木  | 1  | 5月23日 | 10:20～11:50                     | セ  |
| 5-16 | 美齢講座④ エイジングヘアケア<br>～美しい髪とヘアスタイルを保つためのヘアケア～      | 59    | 健康     | 土  | 1  | 5月25日 | 10:20～11:50                     | セ  |
| 5-17 | English in the News 初級編<br>～時事問題から英語を理解する～      | 託児 60 | 言語     | 木  | 8  | 5月23日 | 10:20～11:50                     | セ  |
| 5-18 | English in the News 中級編<br>～時事問題から英語を理解する～      | 託児 60 | 言語     | 水  | 8  | 5月22日 | 15:20～16:50                     | セ  |
| 5-19 | English in the News 中級上編<br>～時事問題から英語を理解する～     | 61    | 言語     | 水  | 8  | 5月22日 | 18:00～19:30                     | セ  |
| 5-20 | 新・多摩と八王子の江戸時代(3)<br>～地域の歴史と文化を探る～               | 託児 61 | 八王子学   | 火  | 4  | 5月28日 | 13:30～15:00                     | セ  |
| 5-21 | 有毒植物と薬                                          | 62    | 自然     | 水  | 4  | 5月29日 | 10:20～11:50<br>10:00～12:00(6/5) | セ他 |
| 5-22 | 医療と刑事法<br>～医療をめぐる諸問題と刑法との関わりについて～               | 62    | 法律     | 土  | 3  | 5月11日 | 15:20～16:50                     | セ  |

## 6月開講講座

申込締切日／5月15日(水)

| 講座番号 | 講座名                                                        | 頁     | 分野 | 曜日 | 回数 | 開講日  | 時間          | 会場 |
|------|------------------------------------------------------------|-------|----|----|----|------|-------------|----|
| 6-1  | 環境政策<br>～政治はどう向き合ってきたか～                                    | 託児 63 | 環境 | 木  | 4  | 6月6日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 6-2  | 写真とお話で巡る“世界あちこち・あれこれ” Part.18<br>～観光地、世界遺産、歴史、土産物、食べ物等の紹介～ | 託児 63 | 教養 | 月  | 8  | 6月3日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 6-3  | はじめてのスペイン語<br>～400語であなたの事を話せるようになりましょう～                    | 64    | 言語 | 火  | 8  | 6月4日 | 18:00～19:30 | セ  |
| 6-4  | 狂言体験入門講座<br>～狂言を楽しむ～                                       | 託児 64 | 文化 | 木  | 4  | 6月6日 | 13:30～15:00 | セ  |



| 講座番号 | 講座名                                                 | 頁     | 分野 | 曜日 | 回数 | 開講日   | 時間          | 会場 |
|------|-----------------------------------------------------|-------|----|----|----|-------|-------------|----|
| 6-5  | 60歳からの体力再生健康体操 Aコース<br>～バランス能力・調整力・体力を若返らせませんか?～    | 託児 65 | 健康 | 金  | 2  | 6月7日  | 13:30～15:00 | セ  |
| 6-6  | 60歳からの体力再生健康体操 Bコース<br>～バランス能力・調整力・体力を若返らせませんか?～    | 託児 65 | 健康 | 金  | 2  | 6月7日  | 15:20～16:50 | セ  |
| 6-7  | ヒトと動物の心理学<br>～動物研究から探るヒトのこころ～                       | 託児 66 | 心理 | 金水 | 4  | 6月7日  | 10:20～11:50 | セ  |
| 6-8  | 聴いて楽しいクラシック!「雑」楽のススメ!<br>～クラシック音楽入門の世界～             | 66    | 芸術 | 土  | 3  | 6月8日  | 10:20～11:50 | セ  |
| 6-9  | 薬の正しい知識<br>～普段飲んでいる薬、本当に解っていますか?～                   | 託児 67 | 健康 | 月  | 3  | 6月10日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 6-10 | 瞑想と右脳開発による願望達成演習<br>～美大における“名物授業”を市民向けに公開～          | 託児 67 | 教育 | 金  | 7  | 6月14日 | 15:20～16:50 | セ  |
| 6-11 | 美齢講座⑤ バラで人生豊かに(1)「バラ栽培講座」<br>～バラの魅力を身近な生活に取り込みましょう～ | 68    | 健康 | 土  | 1  | 6月15日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 6-12 | 美齢講座⑥ バラで人生豊かに(2)「バラ歴史講座」<br>～バラの魅力を身近な生活に取り込みましょう～ | 68    | 健康 | 土  | 1  | 6月29日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 6-13 | 長寿の文人、土岐善麿の短歌を読む<br>～激動の明治・大正・昭和をどう詠んだか～            | 69    | 文学 | 土  | 6  | 6月15日 | 13:30～15:00 | セ  |
| 6-14 | 韓国児童文学論―権正生の生きた時代と文学<br>～朝鮮戦争・失郷民・離散家族・南北分断～        | 託児 69 | 文学 | 金  | 3  | 6月21日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 6-15 | 英語で脳トレ<br>～簡単な英語表現と動作で、脳を鍛えよう～                      | 託児 70 | 言語 | 金  | 8  | 6月28日 | 13:30～15:00 | セ  |
| 6-16 | 挫折なしの「やり直し英語入門」                                     | 託児 70 | 言語 | 金  | 8  | 6月28日 | 15:20～16:50 | セ  |

## 7月開講講座

申込締切日/6月15日(土)

| 講座番号 | 講座名                                                 | 頁     | 分野 | 曜日  | 回数 | 開講日   | 時間          | 会場 |
|------|-----------------------------------------------------|-------|----|-----|----|-------|-------------|----|
| 7-1  | 数学は使わない社会ネットワーク分析入門                                 | 71    | 情報 | 土   | 3  | 7月6日  | 15:20～16:50 | セ  |
| 7-2  | 東洋医学からみた体内リズム・生活リズムと健康づくり                           | 託児 71 | 健康 | 火   | 1  | 7月9日  | 10:20～11:50 | セ  |
| 7-3  | 江戸幕府の交通政策とその機能<br>～街道を往来する人々～                       | 託児 72 | 歴史 | 水   | 4  | 7月10日 | 15:20～16:50 | セ  |
| 7-4  | 美齢講座⑦ 形を生み出す～脳と手のトレーニング<br>～形の創造とイメージの描写～           | 72    | 健康 | 土   | 1  | 7月13日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 7-5  | 美齢講座⑧ ビューティーセルフケア<br>～ヘッド・フェイシャル・ハンドのセルフケア～         | 73    | 健康 | 土   | 1  | 7月13日 | 13:30～15:00 | セ  |
| 7-6  | 地球環境を見つめる南極観測<br>～南極観測隊の活動からみえてきた地球温暖化の現実～          | 託児 73 | 環境 | 月火水 | 3  | 7月22日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 7-7  | アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)を考える<br>～人生の最終段階にあなたは何を望みますか?～ | 託児 74 | 健康 | 金   | 1  | 7月26日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 7-8  | 美齢講座⑨ フットケア<br>～足爪を健康に保つためのフットケア～                   | 74    | 健康 | 土   | 1  | 7月27日 | 10:20～11:50 | セ  |

## 8月開講講座

申込締切日/7月15日(月・祝)

| 講座番号 | 講座名                                            | 頁     | 分野 | 曜日 | 回数 | 開講日  | 時間          | 会場 |
|------|------------------------------------------------|-------|----|----|----|------|-------------|----|
| 8-1  | 美齢講座⑩ アピアランスケアってなに<br>～がん治療に伴う外見の変化の悩みもケアの対象に～ | 75    | 健康 | 土  | 1  | 8月3日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 8-2  | 歴史と理論から考える安全保障<br>～安全保障戦略を理解するための基礎を学ぶ～        | 75    | 政治 | 土  | 5  | 8月3日 | 10:20～11:50 | セ  |
| 8-3  | 美齢講座⑪ おしゃれでいきいきシニアファッション<br>～ファッションを楽しみましょう～   | 76    | 健康 | 土  | 1  | 8月3日 | 13:30～15:00 | セ  |
| 8-4  | オリジナル伴奏を創って歌おう<br>～基礎編～                        | 76    | 芸術 | 土  | 1  | 8月3日 | 13:30～15:00 | セ  |
| 8-5  | 人工知能にはない「個性」<br>～西田哲学に基づいて考える私たちの大切な力～         | 託児 77 | 教養 | 水  | 1  | 8月7日 | 13:30～16:50 | セ  |
| 8-6  | ストレスに負けない心のあり方・作り方                             | 託児 77 | 心理 | 木  | 3  | 8月8日 | 10:20～11:50 | セ  |

託児 託児サービス付きの講座です。事前の申込みが必要です。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

## 八王子学

| 講座番号 | 講座名                                  | 講師       | 頁  |
|------|--------------------------------------|----------|----|
| 4-5  | 八王子学                                 | 杉山 由紀男   | 22 |
| 5-9  | 八王子・多摩地域の歴史と考古<br>～遺跡で探る八王子・多摩のなりたち～ | 託児 小林 謙一 | 56 |

| 講座番号 | 講座名                               | 講師       | 頁  |
|------|-----------------------------------|----------|----|
| 5-20 | 新・多摩と八王子の江戸時代（3）<br>～地域の歴史と文化を探る～ | 託児 馬場 憲一 | 61 |

## 歴史 文化 文学

| 講座番号 | 講座名                                                | 講師        | 頁  |
|------|----------------------------------------------------|-----------|----|
| 4-14 | 東南アジア                                              | 椎野 幸平     | 26 |
| 4-16 | 日本語文化基礎                                            | 近藤 真宣     | 27 |
| 4-41 | 『枕草子』を読む（8）<br>～定子後宮と清少納言～                         | 託児 岡田 ひろみ | 41 |
| 4-42 | 体験的「日本文化」論<br>～「どうする家康」から「光る君へ」へ～                  | 託児 石川 敏行  | 41 |
| 4-45 | 英語の人生相談から考えるアメリカ社会の光と影<br>～「アメリカ社会の内側」から学ぶ「生きた英語」～ | 竹田 恒美     | 43 |
| 4-54 | 『平家物語』の世界を読む 第7期<br>～「物語られる歴史」をいかに読むか～             | 託児 金子 祥之  | 47 |
| 4-56 | 徳川儒者の葬送儀礼と死生観                                      | 託児 高橋 恭寛  | 48 |
| 4-57 | 絵本と韓紙工芸で学ぶハングルと朝鮮・韓国の文化<br>～教養としての朝鮮・韓国。遊ぶように始めます～ | 託児 大竹 聖美  | 49 |
| 4-60 | 源氏物語の和歌（37）Aコース<br>～和歌から読み解く源氏物語～                  | 託児 篠塚 純子  | 50 |
| 4-61 | 源氏物語の和歌（37）Bコース<br>～和歌から読み解く源氏物語～                  | 託児 篠塚 純子  | 51 |

| 講座番号 | 講座名                                          | 講師       | 頁  |
|------|----------------------------------------------|----------|----|
| 5-1  | 虚無から空へ<br>～西谷啓治の哲学探訪～                        | 託児 山崎 達也 | 52 |
| 5-2  | シェイクスピアの世界<br>～『アテネのタイモン』に見る人間不信～            | 託児 川地 美子 | 52 |
| 5-4  | ドイツの首都ベルリンの歴史<br>～時代に翻弄されたベルリン～              | 岡田 恒雄    | 53 |
| 5-14 | 日米戦争決断の経緯<br>～日米の外交文書、関係者の証言録から読み解く～         | 託児 佐藤 元英 | 58 |
| 5-15 | 江戸時代の庶民教育と儒学思想                               | 託児 高橋 恭寛 | 59 |
| 6-4  | 狂言体験入門講座<br>～狂言を楽しむ～                         | 託児 野島 伸仁 | 64 |
| 6-13 | 長寿の文人、土岐善麿の短歌を読む<br>～激動の明治・大正・昭和をどう詠んだか～     | 河路 由佳    | 69 |
| 6-14 | 韓国児童文学論―権正生の生きた時代と文学<br>～朝鮮戦争・失郷民・離散家族・南北分断～ | 託児 大竹 聖美 | 69 |
| 7-3  | 江戸幕府の交通政策とその機能<br>～街道を往来する人々～                | 託児 大森 映子 | 72 |

## 自然 環境 科学

| 講座番号 | 講座名                                    | 講師      | 頁  |
|------|----------------------------------------|---------|----|
| 4-21 | サステナブル工学基礎                             | 江頭 靖幸 他 | 30 |
| 4-23 | 地球環境科学<br>～大気や水にかかわる現象を学んで地球環境を考える～    | 浦瀬 太郎 他 | 31 |
| 4-38 | 環境思想<br>～古典から学ぶ未来へのメッセージ～              | 託児 小野 一 | 39 |
| 4-40 | 暮らしを支えるロボット技術<br>～ロボットと自動運転の仕組みが知りたい！～ | 禹 ハンウル  | 40 |

| 講座番号 | 講座名                                        | 講師       | 頁  |
|------|--------------------------------------------|----------|----|
| 5-21 | 有毒植物と薬                                     | 三宅 克典    | 62 |
| 6-1  | 環境政策<br>～政治はどう向き合ってきたか～                    | 託児 小野 一  | 63 |
| 7-6  | 地球環境を見つめる南極観測<br>～南極観測隊の活動からみえてきた地球温暖化の現実～ | 託児 澤柿 教伸 | 73 |

## 情報 コンピュータ

| 講座番号 | 講座名                                         | 講師    | 頁  |
|------|---------------------------------------------|-------|----|
| 4-22 | 情報セキュリティ<br>～コンピュータの知識を増やし論理的思考力を伸ばす～       | 宇田 隆哉 | 30 |
| 4-24 | 3次元コンピュータグラフィックス論<br>～CG映像を生成する計算技術を体系的に解説～ | 柿本 正憲 | 31 |
| 4-46 | 暗号の歴史と数理                                    | 南出 大樹 | 43 |

| 講座番号 | 講座名                 | 講師    | 頁  |
|------|---------------------|-------|----|
| 5-6  | Python による作業自動化入門   | 佐々木 整 | 54 |
| 7-1  | 数学は使わない社会ネットワーク分析入門 | 磯山 優  | 71 |

## 法律 政治 経済 経営

| 講座番号 | 講座名                                      | 講師             | 頁  |
|------|------------------------------------------|----------------|----|
| 4-4  | 経済学史<br>～経済学ってどんな学問？経済学の歴史で考えます。～        | 勘坂 純市          | 21 |
| 4-6  | Marketing<br>～From an Asian Perspective～ | George Y. Wang | 22 |
| 4-8  | 環境マネジメント                                 | 野村 佐智代         | 23 |
| 4-12 | 政治と民族                                    | 野村 明史          | 25 |
| 4-13 | 人口学                                      | 新田目 夏実         | 26 |
| 4-18 | 日米関係                                     | 佐藤 丙午          | 28 |

| 講座番号 | 講座名                                            | 講師       | 頁  |
|------|------------------------------------------------|----------|----|
| 4-25 | 国際関係論<br>～世界と日本の今を知る～                          | 落合 浩太郎   | 32 |
| 5-3  | サービス・マーケティング2<br>～顧客満足のためのサービス・システム～           | 託児 小泉 徹  | 53 |
| 5-5  | お金（通貨）が分かれば、世界が読める<br>～デジタル通貨、ドル、ユーロ、人民元、そして円～ | 託児 中條 誠一 | 54 |
| 5-8  | 21世紀の世界 文明・言語                                  | 託児 瀬藤 澄彦 | 55 |
| 5-22 | 医療と刑事法<br>～医療をめぐる諸問題と刑法との関わりについて～              | 只木 誠     | 62 |
| 8-2  | 歴史と理論から考える安全保障<br>～安全保障戦略を理解するための基礎を学ぶ～        | 高杉 洋平    | 75 |

講座番号の 〇 は大学の単位が修得できる(科目等履修)講座です。締切日、手続きは88ページ参照。

## 健康 福祉・ボランティア

| 講座番号 | 講座名                                              | 講師         | 頁  |
|------|--------------------------------------------------|------------|----|
| 4-7  | がん看護論                                            | 大釜 徳政      | 23 |
| 4-26 | 生体学                                              | 永松 俊哉      | 32 |
| 4-27 | 美と健康科学                                           | 相馬 勉       | 33 |
| 4-28 | プライマリー栄養学                                        | 永松 俊哉      | 33 |
| 4-58 | がんの治療とリンパ浮腫<br>～リンパ浮腫の起こる理由やケアについて学びます～          | 託児 宗定 水奈子  | 49 |
| 4-59 | 美齢講座① 美しく健やかに生きる<br>～おしゃれ身だしなみを意識して～             | 木村 康一      | 50 |
| 4-62 | 美齢講座② 美しい歩き方を学んで体力アップ<br>～美しく歩くポイントとそのための軽い体操を～  | 永松 俊哉      | 51 |
| 5-7  | 健康寿命の延伸への挑戦                                      | 託児 廣重 陽介 他 | 55 |
| 5-13 | 美齢講座③ スキアルブケア(頭皮ケア)<br>～スキアルブチェックとヘッドマッサージをしよう～  | 平田 昌義      | 58 |
| 5-16 | 美齢講座④ エイジングヘアケア<br>～美しい髪とヘアスタイルを保つためのヘアケア～       | 及川 麻衣子     | 59 |
| 6-5  | 60歳からの体力再生健康体操 Aコース<br>～バランス能力・調整力・体力を若返らせませんか?～ | 託児 村井 剛    | 65 |

| 講座番号 | 講座名                                                  | 講師        | 頁  |
|------|------------------------------------------------------|-----------|----|
| 6-6  | 60歳からの体力再生健康体操 Bコース<br>～バランス能力・調整力・体力を若返らせませんか?～     | 託児 村井 剛   | 65 |
| 6-9  | 薬の正しい知識<br>～普段飲んでいる薬、本当に解っていますか?～                    | 託児 西村 伸大  | 67 |
| 6-11 | 美齢講座⑤ バラで人生豊かに(1)「バラ栽培講座」<br>～バラの魅力を生近な生活に取り込みましょう～  | 下村 毅      | 68 |
| 6-12 | 美齢講座⑥ バラで人生豊かに(2)「バラ歴史講座」<br>～バラの魅力を生近な生活に取り込みましょう～  | 下村 毅      | 68 |
| 7-2  | 東洋医学からみた体内リズム・生活リズムと健康づくり                            | 託児 関 淑珍   | 71 |
| 7-4  | 美齢講座⑦ 形を生み出す～脳と手のトレーニング<br>～形の創造とイメージの描写～            | 栗本 佳典     | 72 |
| 7-5  | 美齢講座⑧ ビューティーセルフケア<br>～ヘッド・フェイシャル・ハンドのセルフケア～          | 富田 知子     | 73 |
| 7-7  | アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)を考える<br>～人生の最終段階にあなただけ何を望みますか?～ | 託児 宗定 水奈子 | 74 |
| 7-8  | 美齢講座⑨ フットケア<br>～足爪を健康に保つためのフットケア～                    | 加藤 宏美     | 74 |
| 8-1  | 美齢講座⑩ アピランスケアってなに<br>～がん治療に伴う外見の変化の悩みもケアの対象に～        | 大西 典子     | 75 |
| 8-3  | 美齢講座⑪ おしゃれでいきいきシニアファッション<br>～ファッションを楽しみましょう～         | 大野 淑子     | 76 |

## 教育 心理 言語 コミュニケーション

| 講座番号 | 講座名                                            | 講師         | 頁  |
|------|------------------------------------------------|------------|----|
| 4-3  | 生涯学習概論<br>～いつでもどこでもだれでも学べる社会の実現へ～              | 平井 康章      | 21 |
| 4-9  | 翻訳英語 I                                         | 河原 清志      | 24 |
| 4-10 | 時事中国語 I                                        | 永江 貴子      | 24 |
| 4-11 | 通訳英語 I                                         | 河原 清志      | 25 |
| 4-15 | 日本語・日本人論                                       | 小井 亜津子     | 27 |
| 4-17 | 初級スペイン語① I                                     | 池田 朋洋      | 28 |
| 4-19 | 日本語教育概論(留学生クラス)                                | 中村 かおり     | 29 |
| 4-20 | 社会心理<br>～社会の中で私たちの心はどう働くのか～                    | 鈴木 万希枝     | 29 |
| 4-29 | 美しいサービス                                        | 原 素子       | 34 |
| 4-33 | ペットロス論                                         | 新島 典子      | 36 |
| 4-35 | 韓国語講座入門編(前期)<br>～ハングル文字をマスターしよう～               | 託児 具 軟和    | 38 |
| 4-36 | 韓国語講座初級編(前期)<br>～優しく楽しく学ぶ韓国語～                  | 託児 具 軟和    | 38 |
| 4-37 | 韓国語講座中級編(前期)<br>～分かりやすく、楽しく会話してみよう～            | 具 軟和       | 39 |
| 4-43 | わかる!楽しいフランス語(基礎編)<br>～まじめなフランス語から、観光、美食、ワインまで～ | 託児 加賀野井 秀一 | 42 |

| 講座番号 | 講座名                                            | 講師             | 頁  |
|------|------------------------------------------------|----------------|----|
| 4-44 | わかる!楽しいフランス語(応用編)<br>～まじめなフランス語から、観光、美食、ワインまで～ | 託児 加賀野井 秀一     | 42 |
| 4-47 | ラテン語を始めてみよう III<br>～楽しく学ぶラテン語初歩の初歩～            | 金澤 修           | 44 |
| 4-48 | ラテン語を始めてみよう V<br>～楽しく学ぶラテン語初歩の初歩～              | 金澤 修           | 44 |
| 4-49 | 古典ギリシア語を始めてみよう III<br>～楽しく学ぶ古典ギリシア語初歩の初歩～      | 金澤 修           | 45 |
| 4-55 | 中国語基礎<br>～発音と言葉に触れてみませんか?～                     | 託児 杉本 公子       | 48 |
| 5-17 | English in the News 初級編<br>～時事問題から英語を理解する～     | 託児 Paul McCann | 60 |
| 5-18 | English in the News 中級編<br>～時事問題から英語を理解する～     | 託児 Paul McCann | 60 |
| 5-19 | English in the News 中級上編<br>～時事問題から英語を理解する～    | Paul McCann    | 61 |
| 6-3  | はじめてのスペイン語<br>～400語であなたの事を話せるようになりましょう～        | 高松 英樹          | 64 |
| 6-7  | ヒトと動物の心理学<br>～動物研究から探るヒトのこころ～                  | 託児 草山 太一 他     | 66 |
| 6-10 | 瞑想と右脳開発による願望達成演習<br>～美大における「名物授業」を市民向けに公開～     | 託児 佐藤 彰        | 67 |
| 6-15 | 英語で脳トレ<br>～簡単な英語表現と動作で、脳を鍛えよう～                 | 託児 飯田 健雄       | 70 |
| 6-16 | 挫折なしの「やり直し英語入門」                                | 託児 飯田 健雄       | 70 |
| 8-6  | ストレスに負けない心のあり方・作り方                             | 託児 島本 好平       | 77 |

## 芸術・デザイン 資格 教養・趣味

| 講座番号 | 講座名                                                     | 講師       | 頁  |
|------|---------------------------------------------------------|----------|----|
| 4-1  | 現代デザイン論 A                                               | 沼田 真一    | 20 |
| 4-2  | インダストリアルデザイン A                                          | 森田 敏昭    | 20 |
| 4-30 | 伝承美(茶道)                                                 | 河原 薫     | 34 |
| 4-31 | 伝承美(着装) I                                               | 佐藤 美奈子   | 35 |
| 4-32 | 色彩学                                                     | 栗本 佳典    | 35 |
| 4-34 | 高齢動物看護学                                                 | 富田 幸子    | 36 |
| 4-39 | 創造の扉を開いてみよう<br>～日本の芸術家たちの芸術と生涯～                         | 託児 野口 満成 | 40 |
| 4-50 | 続・英語で学ぶ社会的「性」とアンコンシャス・バイアス<br>～一挙両得! 英語と男女共同参画の扉を同時に開く～ | 八木橋 宏勇   | 45 |
| 4-51 | 日本画に親しむ(武田先生クラス)<br>～初心者から上級者まで自由な発想を大切に描く～             | 託児 武田 州左 | 46 |

| 講座番号 | 講座名                                                        | 講師        | 頁  |
|------|------------------------------------------------------------|-----------|----|
| 4-52 | 日本画に親しむ(坂本先生クラス)<br>～初心者から上級者まで自由な発想を大切に描く～                | 託児 坂本 藍子  | 46 |
| 4-53 | 日本画の絵具で楽しく描く!<br>～小さい屏風に描く日本画～                             | 託児 木下 めいこ | 47 |
| 5-10 | 名監督たちが映画に託したものは?(日本映画編)<br>～彼らの初期・中期・晩年の作品を追って～            | 託児 藤森 益弘  | 56 |
| 5-11 | 陶芸(5月開講コース) Aコース<br>～「ろくろ」で作る「やきもの」～                       | 西野 隆司 他   | 57 |
| 5-12 | 陶芸(5月開講コース) Bコース<br>～「ろくろ」で作る「やきもの」～                       | 西野 隆司 他   | 57 |
| 6-2  | 写真とお話で巡る「世界あちこち・あれこれ」 Part.18<br>～観光地、世界遺産、歴史、土産物、食べ物等の紹介～ | 託児 河野 正光  | 63 |
| 6-8  | 聴いて楽しいクラシック! 「雑」楽のススメ!<br>～クラシック音楽入門の世界～                   | 小澤 由佳     | 66 |
| 8-4  | オリジナル伴奏を創って歌おう<br>～基礎編～                                    | 田崎 教子     | 76 |
| 8-5  | 人工知能にはない「個性」<br>～西田哲学に基づいて考える私たちの大切な力～                     | 託児 小川 雅   | 77 |

託児 託児サービス付きの講座です。事前の申込みが必要です。詳しくは、事務局までお問い合わせください。



# 公開講座無料

※会場開催は原則として、講座開始20分前より、先着順にご入場いただけます。事前の申込みは不要です。  
※は、会場で行った講座を録画したものを後日配信します。視聴には事前の申込みが必要です。

| 開催日         |        | 時 間                           | 講 座 名                                                | 講 師                | 頁  |
|-------------|--------|-------------------------------|------------------------------------------------------|--------------------|----|
| 4月          | 13日(土) | 10:20～11:50                   | 環境倫理学入門 ～環境問題を哲学する～                                  | 新開 泰弘              | 80 |
|             |        | 13:30～15:00                   | 自社ウェブサイトや SNS のバクリにどう対処しますか？～写真のバクリ対策から、サイトの乗っ取りまで～  | 佐藤 恵太              |    |
|             | 27日(土) | 13:30～15:00                   | 健康長寿のためのからだづくり ～足のトラブルの予防とケア（はじめの一步編）～               | 添田 百合子             |    |
| 5月          | 11日(土) | 13:30～15:00                   | 手塚治虫と戦後のマンガ文化 ～マンガ表現における「映画的様式」の定着～                  | 森下 達               | 81 |
|             | 18日(土) | 13:30～15:00                   | 動物栄養学 ～療法食ってなに？犬猫の食事療法について～                          | 荒川 真希              |    |
|             |        | 15:20～16:50                   | あっ！その手があったか「ものづくり」～生物を真似る、生物を活かす～                    | 長島 孝行              |    |
| 6月          | 6日(木)  | 10:20～11:50                   | 犬猫の心理学 ～犬猫のこころと行動習性に寄り添って～                           | フリッツ吉川 綾           | 82 |
|             |        | 15:20～16:50                   | 栄養で病気を予防・治療する！～人生 100 年時代の栄養を考える～                    | 杉谷 直子              |    |
|             | 15日(土) | 10:20～11:50                   | くすりの生体内運命 ～その仕組みと生体内運命に影響を与える要因～                     | 山折 大               | 83 |
|             |        | 13:30～15:00                   | ビジネスの「顔」となる名称（商標）を考える講座 ～地域密着型ビジネス展開～                | 佐藤 恵太              |    |
|             |        | 15:20～16:50                   | わたしの生き方・あなたの生き方 ～憲法で「幸せ」について考えてみた～                   | 上田 宏和              |    |
|             | 22日(土) | 13:30～15:00                   | その症状は心不全の前兆かもしれない？～隠れ心不全？予防できることを考えよう～               | 山口 晃平              | 84 |
|             |        | 15:20～16:50                   | 民事裁判の IT化および紛争解決のオンライン化 ～裁判所からバーチャル法廷へ、ADR から ODR へ～ | 小林 学               |    |
|             | 29日(土) | 15:20～16:50                   | 地域で生きがいをもち暮らししていくために ～幸福学が示す安心、幸せな場づくりの道筋～           | 山中 馨               |    |
| 7月          | 2日(火)  | 10:20～11:50                   | 正しく知ろう！相続税 ～万一の時、あわてないための基礎知識～                       | 東京税理士会 八王子支部 所属税理士 | 84 |
|             | 6日(土)  | 15:20～16:50                   | 地獄と極楽 ～日本美術で地獄と極楽めぐり～                                | 山本 陽子              | 85 |
|             | 13日(土) | 10:20～11:50                   | 特殊詐欺と刑事法 ～特殊詐欺に対応する刑事法・裁判所の動き～                       | 只木 誠               |    |
|             | 26日(金) | 10:20～11:50                   | 韓国絵本の現代史 ～創成期の作家たちは、なぜ固有の文化を描いたのか～                   | 大竹 聖美              |    |
|             |        | 15:20～16:50                   | 病気にならない社会を目指して ～がん・疾患の予防への新たなアプローチ～                  | 丸山 剛               |    |
|             | 27日(土) | 10:20～11:50                   | 常識とは何か ～善と悪・正義と差別に関する文化人類学的視点～                       | 井上 大介              | 87 |
| 13:30～15:00 |        | 難民とはなにか？ ～国際社会における難民問題の歴史的理解～ | 薦木 文湖                                                |                    |    |
| 8月          | 2日(金)  | 10:20～11:50                   | 不動産と税金 ～不動産の取得・保有・売却でかかる税金について～                      | 東京税理士会 八王子支部 所属税理士 | 87 |
|             | 13日(火) | 13:30～15:00                   | 労働人権デューディリジェンス入門 ～組織と国境を越えた人権保護の意義と課題～               | 井川 志郎              |    |

## 25大学等による提供講座

| 大学名            | 講座番号 | 講座名                                                        | 頁  |
|----------------|------|------------------------------------------------------------|----|
| 工学院大学          | 4-38 | 環境思想<br>～古典から学ぶ未来へのメッセージ～                                  | 39 |
|                | 4-40 | 暮らしを支えるロボット技術<br>～ロボットと自動運転の仕組みが知りたい!～                     | 40 |
|                | 6-1  | 環境政策<br>～政治はどう向き合ってきたか～                                    | 63 |
|                | 8-5  | 人工知能にはない「個性」<br>～西田哲学に基づいて考える私たちの大切な力～                     | 77 |
| 明星大学           | 4-47 | ラテン語を始めてみようⅢ<br>～楽しく学ぶラテン語初歩の初歩～                           | 44 |
|                | 4-48 | ラテン語を始めてみようⅤ<br>～楽しく学ぶラテン語初歩の初歩～                           | 44 |
|                | 4-49 | 古典ギリシア語を始めてみようⅢ<br>～楽しく学ぶ古典ギリシア語初歩の初歩～                     | 45 |
|                | 4-54 | 『平家物語』の世界を読む 第7期<br>～「物語られる歴史」をいかに読むか～                     | 47 |
|                | 4-55 | 中国語基礎<br>～発音と言葉に触れてみませんか～                                  | 48 |
|                | 5-4  | ドイツの首都ベルリンの歴史<br>～時代に翻弄されたベルリン～                            | 53 |
|                | 公開   | 地獄と極楽<br>～日本美術で地獄と極楽めぐり～                                   | 85 |
| 東京工業<br>高等専門学校 | 4-45 | 英語の人生相談から考えるアメリカ社会の光と影<br>～「アメリカ社会の内側」から学ぶ「生きた英語」～         | 43 |
|                | 4-46 | 暗号の歴史と数理                                                   | 43 |
| 帝京大学           | 5-7  | 健康寿命の延伸への挑戦                                                | 55 |
|                | 5-8  | 21世紀の世界 文明・言語                                              | 55 |
|                | 6-2  | 写真とお話して巡る「世界あちこち・あれこれ」Part.18<br>～観光地、世界遺産、歴史、土産物、食べ物等の紹介～ | 63 |
|                | 6-7  | ヒトと動物の心理学<br>～動物研究から探るヒトのこころ～                              | 66 |
|                | 7-1  | 数学は使わない社会ネットワーク分析入門                                        | 71 |
|                | 7-2  | 東洋医学からみた体内リズム・生活リズムと健康づくり                                  | 71 |
|                | 8-2  | 歴史と理論から考える安全保障<br>～安全保障戦略を理解するための基礎を学ぶ～                    | 75 |
|                | 8-4  | オリジナル伴奏を創って歌おう<br>～基礎編～                                    | 76 |
| 帝京大学短期大学       | 5-10 | 名監督たちが映画に託したものは?(日本映画編)<br>～彼らの初期・中期・晩年の作品を追って～            | 56 |
| 東京造形大学         | 4-1  | 現代デザイン論 A                                                  | 20 |
|                | 4-2  | インダストリアルデザイン A                                             | 20 |
|                | 6-10 | 瞑想と右脳開発による願望達成演習<br>～美大における「名物授業」を市民向けに公開～                 | 67 |
| 東京純心大学         | 4-35 | 韓国語講座入門編(前期)<br>～ハングル文字をマスターしよう～                           | 38 |

| 大学名    | 講座番号 | 講座名                                                    | 頁  |
|--------|------|--------------------------------------------------------|----|
| 東京純心大学 | 4-36 | 韓国語講座初級編(前期)<br>～優しく楽しく学ぶ韓国語～                          | 38 |
|        | 4-37 | 韓国語講座中級編(前期)<br>～分かりやすく、楽しく会話してみよう～                    | 39 |
|        | 4-57 | 絵本と韓紙工芸で学ぶハングルと朝鮮・韓国の文化<br>～教養としての朝鮮・韓国。遊ぶように始めます～     | 49 |
|        | 4-58 | がんの治療とリンパ浮腫<br>～リンパ浮腫の起こる理由やケアについて学びます～                | 49 |
|        | 6-14 | 韓国児童文学論―権正生の生きた時代と文学<br>～朝鮮戦争・失郷民・難民家族・南北分断～           | 69 |
|        | 7-7  | アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)を考える<br>～人生の最終段階にあなたは何を望みますか～     | 74 |
|        | 公開   | 韓国絵本の現代史<br>～創成期の作家たちは、なぜ固有の文化を描いたのか～                  | 85 |
| 杏林大学   | 4-50 | 続・英語で学ぶ社会的「性」とアンコンシャス・バイアス<br>～一挙両得!英語と男女共同参画の扉を同時に開く～ | 45 |
|        | 6-9  | 薬の正しい知識<br>～普段飲んでいる薬、本当に解っていますか?～                      | 67 |
|        | 6-13 | 長寿の文人、土岐善麿の短歌を読む<br>～激動の明治・大正・昭和をどう詠んだか～               | 69 |
| 多摩美術大学 | 4-51 | 日本画に親しむ(武田先生クラス)<br>～初心者から上級者まで自由な発想を大切に描く～            | 46 |
|        | 4-52 | 日本画に親しむ(坂本先生クラス)<br>～初心者から上級者まで自由な発想を大切に描く～            | 46 |
|        | 4-53 | 日本画の絵具で楽しく描く!<br>～小さい屏風に描く日本画～                         | 47 |
| 創価大学   | 4-3  | 生涯学習概論<br>～いつでもどこでもだれでも学べる社会の実現へ～                      | 21 |
|        | 4-4  | 経済学史<br>～経済学ってどんな学問?経済学の歴史で考えます。～                      | 21 |
|        | 4-5  | 八王子学                                                   | 22 |
|        | 4-6  | Marketing<br>～From an Asian Perspective～               | 22 |
|        | 4-7  | がん看護論                                                  | 23 |
|        | 4-8  | 環境マネジメント                                               | 23 |
|        | 公開   | 健康長寿のためのからだづくり<br>～足のトラブルの予防とケア(はじめての一步編)～             | 80 |
|        | 公開   | 手塚治虫と戦後のマンガ文化<br>～マンガ表現における「映画的様式」の定着～                 | 81 |
| 東京薬科大学 | 5-21 | 有毒植物と薬                                                 | 62 |
|        | 公開   | 環境倫理学入門<br>～環境問題を哲学する～                                 | 80 |
|        | 公開   | くすりの生体内運命<br>～その仕組みと生体内運命に影響を与える要因～                    | 82 |
|        | 公開   | 病気にならない社会を目指して<br>～がん・疾患の予防への新たなアプローチ～                 | 86 |
| 拓殖大学   | 4-9  | 翻訳英語 I                                                 | 24 |



## 25大学等による提供講座

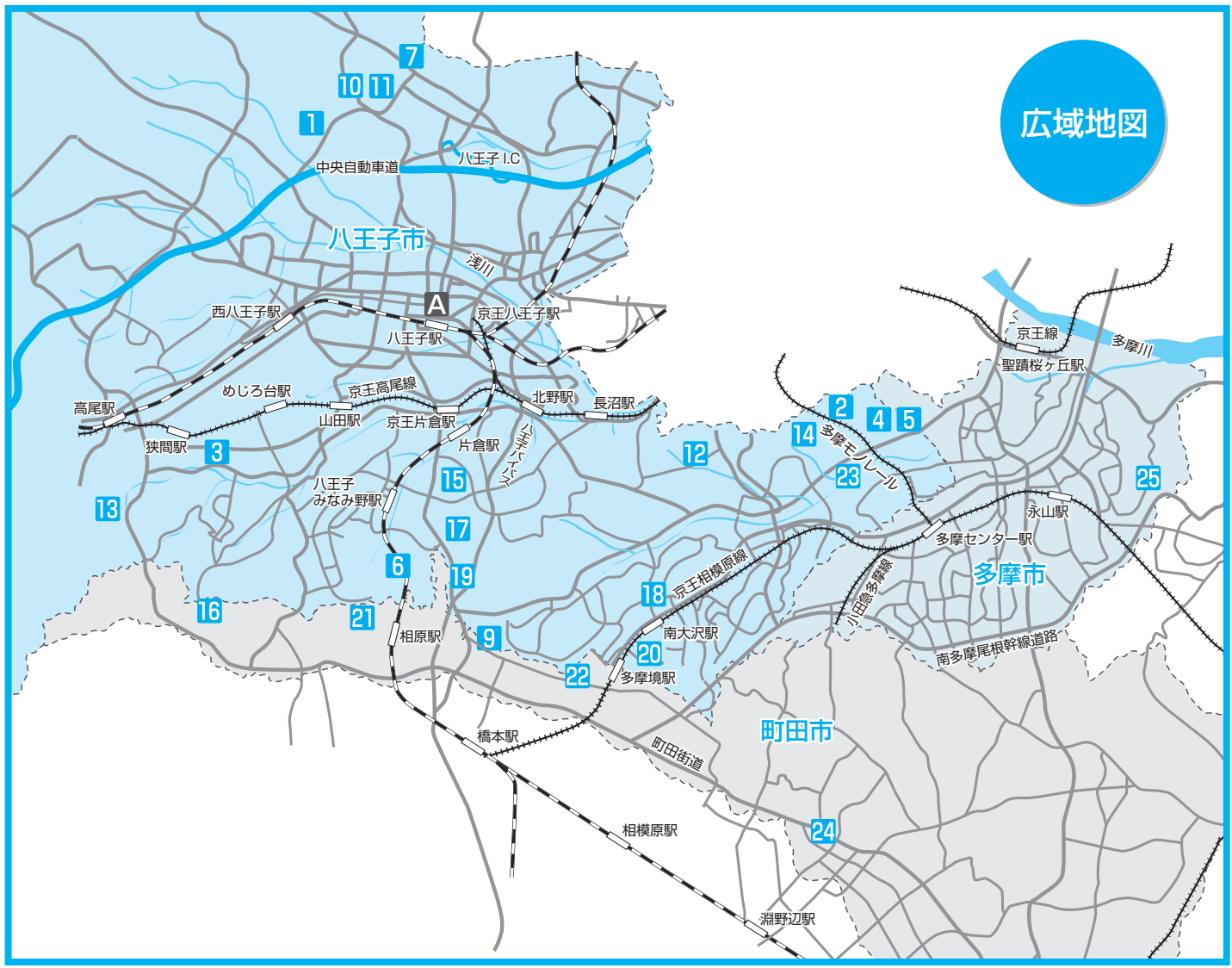
| 大 学 名      | 講座番号 | 講 座 名                                                 | 頁  |
|------------|------|-------------------------------------------------------|----|
| 拓殖大学       | 4-10 | 時事中国語 I                                               | 24 |
|            | 4-11 | 通訳英語 I                                                | 25 |
|            | 4-12 | 政治と民族                                                 | 25 |
|            | 4-13 | 人口学                                                   | 26 |
|            | 4-14 | 東南アジア                                                 | 26 |
|            | 4-15 | 日本語・日本人論                                              | 27 |
|            | 4-16 | 日本語文化基礎                                               | 27 |
|            | 4-17 | 初級スペイン語① I                                            | 28 |
|            | 4-18 | 日米関係                                                  | 28 |
|            | 4-19 | 日本語教育概論(留学生クラス)                                       | 29 |
| 中央大学       | 5-6  | Pythonによる作業自動化入門                                      | 54 |
|            | 4-42 | 体験的「日本文化」論<br>～「どうする家康」から「光る君へ」～                      | 41 |
|            | 4-43 | わかる!楽しいフランス語(基礎編)<br>～まじめなフランス語から、観光、美食、ワインまで～        | 42 |
|            | 4-44 | わかる!楽しいフランス語(応用編)<br>～まじめなフランス語から、観光、美食、ワインまで～        | 42 |
|            | 5-5  | お金(通貨)が分かれば、世界が読める<br>～デジタル通貨、ドル、ユーロ、人民元、そして円～        | 54 |
|            | 5-9  | 八王子・多摩地域の歴史と考古<br>～遺跡で探る八王子・多摩のなりたち～                  | 56 |
|            | 5-14 | 日米戦争決断の経緯<br>～日米の外交文書、関係者の証言録から読み解く～                  | 58 |
|            | 5-22 | 医療と刑事法<br>～医療をめぐる諸問題と刑法との関わりについて～                     | 62 |
|            | 6-3  | はじめてのスペイン語<br>～400語であなたの事を話せるようになりましょう～               | 64 |
|            | 6-5  | 60歳からの体力再生健康体操 Aコース<br>～バランス能力・調整力・体力を若返らせませんか?～      | 65 |
|            | 6-6  | 60歳からの体力再生健康体操 Bコース<br>～バランス能力・調整力・体力を若返らせませんか?～      | 65 |
|            | 公開   | 自社ウェブサイトやSNSのバクリにどう対処しますか?<br>～写真のバクリ対策から、サイトの乗っ取りまで～ | 80 |
|            | 公開   | ビジネスの「顔」となる名称(商標)を考える講座<br>～地域密着型ビジネス展開～              | 83 |
|            | 公開   | 民事裁判のIT化および紛争解決のオンライン化<br>～裁判所からバーチャル法廷へ、ADRからODRへ～   | 84 |
|            | 公開   | 特殊詐欺と刑事法<br>～特殊詐欺に対応する刑事法・裁判所の動き～                     | 85 |
| 法政大学       | 7-6  | 地球環境を見つめる南極観測<br>～南極観測隊の活動からみえてきた地球温暖化の現実～            | 73 |
|            | 8-6  | ストレスに負けない心のあり方・作り方                                    | 77 |
| 東京工科大学     | 4-20 | 社会心理<br>～社会の中で私たちの心はどう働くのか～                           | 29 |
|            | 4-21 | サステイナブル工学基礎                                           | 30 |
|            | 4-22 | 情報セキュリティ<br>～コンピュータの知識を増やし論理的思考力を伸ばす～                 | 30 |
|            | 4-23 | 地球環境科学<br>～大気や水にかかわる現象を学んで地球環境を考える～                   | 31 |
|            | 4-24 | 3次元コンピュータグラフィックス論<br>～CG映像を生成する計算技術を体系的に解説～           | 31 |
| 東京都立大学     | 4-25 | 国際関係論<br>～世界と日本の今を知る～                                 | 32 |
|            | 5-3  | サービス・マーケティング2<br>～顧客満足のためのサービス・システム～                  | 53 |
| 山野美容芸術短期大学 | 4-26 | 生体学                                                   | 32 |
|            | 4-27 | 美と健康科学                                                | 33 |
|            | 4-28 | プライマリー栄養学                                             | 33 |
|            | 4-29 | 美しいサービス                                               | 34 |
|            | 4-30 | 伝承美(茶道)                                               | 34 |
|            | 4-31 | 伝承美(着装) I                                             | 35 |
|            | 4-32 | 色彩学                                                   | 35 |
|            | 4-59 | 美齢講座① 美しく健やかに生きる<br>～おしゃれ身だしなみを意識して～                  | 50 |
|            | 4-62 | 美齢講座② 美しい歩き方を学んで体力アップ<br>～美しく歩くポイントとそのための軽い体操を～       | 51 |

| 大 学 名        | 講座番号 | 講 座 名                                                | 頁  |
|--------------|------|------------------------------------------------------|----|
| 山野美容芸術短期大学   | 5-13 | 美齢講座③ スキアルブケア(頭皮ケア)<br>～スカルプチェックとヘッドマッサージをしよう～       | 58 |
|              | 5-16 | 美齢講座④ エイジングヘアケア<br>～美しい髪とヘアスタイルを保つためのヘアケア～           | 59 |
|              | 6-11 | 美齢講座⑤ バラで人生豊かに(1)「バラ栽培講座」<br>～バラの魅力をも身近な生活に取込みましょう～  | 68 |
|              | 6-12 | 美齢講座⑥ バラで人生豊かに(2)「バラ歴史講座」<br>～バラの魅力をも身近な生活に取り込みましょう～ | 68 |
|              | 7-4  | 美齢講座⑦ 形を生み出す～脳と手のトレーニング<br>～形の創造とイメージの描写～            | 72 |
|              | 7-5  | 美齢講座⑧ ビューティーセルフケア<br>～ヘッド・フェイシャル・ハンドのセルフケア～          | 73 |
|              | 7-8  | 美齢講座⑨ フットケア<br>～足爪を健康に保つためのフットケア～                    | 74 |
|              | 8-1  | 美齢講座⑩ アピランスケアってなに<br>～がん治療に伴う外見の変化の悩みもケアの対象に～        | 75 |
|              | 8-3  | 美齢講座⑪ おしゃれでいきいきシニアファッション<br>～ファッションを楽しみましょう～         | 76 |
| ヤマザキ動物看護大学   | 4-33 | ベトロス論                                                | 36 |
|              | 4-34 | 高齢動物看護学                                              | 36 |
|              | 公開   | 動物栄養学<br>～療法食ってなに?犬猫の食事療法について～                       | 81 |
|              | 公開   | あっ!その手があったか「ものづくり」<br>～生物を真似る、生物を活かす～                | 81 |
| サレジオ工業高等専門学校 | 公開   | 犬猫の心理学<br>～犬猫のこころと行動習性に寄り添って～                        | 82 |
|              | 5-11 | 陶芸(5月開講コース) Aコース<br>～「ろくろ」で作る「やきもの」～                 | 57 |
|              | 5-12 | 陶芸(5月開講コース) Bコース<br>～「ろくろ」で作る「やきもの」～                 | 57 |
|              | 5-17 | English in the News 初級編<br>～時事問題から英語を理解する～           | 60 |
|              | 5-18 | English in the News 中級編<br>～時事問題から英語を理解する～           | 60 |
| 桜美林大学        | 5-19 | English in the News 中級上編<br>～時事問題から英語を理解する～          | 61 |
|              | 6-4  | 狂言体験入門講座<br>～狂言を楽しむ～                                 | 64 |
| 多摩大学         | 6-8  | 聴いて楽しいクラシック!「雑」楽のススめ!<br>～クラシック音楽入門の世界～              | 66 |
|              | 4-56 | 徳川儒者の葬送儀礼と死生観                                        | 48 |
|              | 5-15 | 江戸時代の庶民教育と儒学思想                                       | 59 |
|              | 6-15 | 英語で脳トレ<br>～簡単な英語表現と動作で、脳を鍛えよう～                       | 70 |
|              | 6-16 | 挫折なしの「やり直し英語入門」                                      | 70 |
|              | 7-3  | 江戸幕府の交通政策とその機能<br>～街道を往来する人々～                        | 72 |

## 協力機関による提供講座

| 大 学 名                            | 講座番号 | 講 座 名                                           | 頁  |
|----------------------------------|------|-------------------------------------------------|----|
| 公益財団法人東洋哲学研究所                    | 5-1  | 虚無から空へ<br>～西谷啓治の哲学探訪～                           | 52 |
|                                  | 公開   | わたしの生き方・あなたの生き方<br>～憲法で「幸せ」について考えてみた～           | 83 |
|                                  | 公開   | 常識とは何か<br>～善と悪・正義と差別に関する文化人類学的視点～               | 86 |
|                                  | 公開   | 難民とはなにか?<br>～国際社会における難民問題の歴史的理解～                | 86 |
| 東京富士美術館                          | 4-39 | 創造の扉を開いてみよう<br>～日本の芸術家たちの芸術と生涯～                 | 40 |
| 東海大学医学部付属八王子病院                   | 公開   | 栄養で病気を予防・治療する!<br>～人生100年時代の栄養を考える～             | 82 |
| 八王子市民活動協議会                       | 公開   | その症状は心不全の前兆かもしれない?<br>～隠れ心不全?予防できることを考えよう～      | 83 |
| 公益社団法人八王子法人会 東京税理士会 八王子支部 八王子税務署 | 公開   | 地域で生きがいを持ち暮らしを豊かにするために<br>～幸福学が示す安心、幸せな場づくりの道筋～ | 84 |
| 八王子学園都市大学                        | 公開   | 正しく知ろう!相続税<br>～万一の時、あわてないための基礎知識～               | 84 |
|                                  | 公開   | 不動産と税金<br>～不動産の取得・保有・売却でかかる税金について～              | 87 |
|                                  | 4-41 | 『枕草子』を読む(8)<br>～定子後宮と清少納言～                      | 41 |
|                                  | 4-60 | 源氏物語の和歌(37) Aコース<br>～和歌から読み解く源氏物語～              | 50 |
|                                  | 4-61 | 源氏物語の和歌(37) Bコース<br>～和歌から読み解く源氏物語～              | 51 |
|                                  | 5-2  | シェイクスピアの世界<br>～「アテネのタイモン」に見る人間不信～               | 52 |
|                                  | 5-20 | 新・多摩と八王子の江戸時代(3)<br>～地域の歴史と文化を探る～               | 61 |

# 広域地図



|                  |                             |                 |
|------------------|-----------------------------|-----------------|
| 1 工学院大学          | 10 創価大学                     | 19 山野美容芸術短期大学   |
| 2 明星大学           | 11 創価女子短期大学                 | 20 ヤマザキ動物看護大学   |
| 3 東京工業高等専門学校     | 12 東京薬科大学                   | 21 東京家政学院大学     |
| 4 帝京大学           | 13 拓殖大学                     | 22 サレジオ工業高等専門学校 |
| 5 帝京大学短期大学       | 14 中央大学                     | 23 デジタルハリウッド大学  |
| 6 東京造形大学         | 15 日本文化大学                   | 24 桜美林大学        |
| 7 東京純心大学         | 16 法政大学                     | 25 多摩大学         |
| 8 杏林大学(井の頭キャンパス) | 17 東京工科大学・日本工学院八王子専門学校      | A 八王子市学園都市センター  |
| 9 多摩美術大学         | 18 東京都立大学(南大沢キャンパス・日野キャンパス) |                 |

## 1 工学院大学

**住所** 〒192-0015 八王子市中野町2665-1

**TEL** 042-628-4821 **URL** <https://www.kogakuin.ac.jp/>

**交通** JR「八王子」駅、京王線「京王八王子」駅より西東京バスで20分。工学院大学下車。

## 2 明星大学

**住所** 〒191-8506 日野市程久保2-1-1

**TEL** 042-591-5111 **URL** <https://www.meisei-u.ac.jp/>

**交通** 多摩モノレール「中央大学・明星大学」駅下車、直結。

3

東京工業高等専門学校



**住所** 〒193-0997 八王子市桐田町1220-2  
**TEL** 042-668-5111 (代) **URL** <https://www.tokyo-ct.ac.jp/>  
**交通** 京王線「狭間」駅から徒歩5分。京王線「めじろ台」駅から徒歩15分。  
 JR「高尾」駅から徒歩25分。

4

帝京大学



**住所** 〒192-0395 八王子市大塚359  
**TEL** 0120-508-739 **URL** <https://www.teikyo-u.ac.jp/>  
**交通** 京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅より帝京大学構内行バス17分。京王線「高幡不動」駅より帝京大学構内行バス13分。  
 京王相模原線「小田急多摩センター」駅より帝京大学構内行バス18分。  
 多摩モノレール「大塚帝京大学」駅より徒歩約15分。

6

東京造形大学



**住所** 〒192-0992 八王子市宇津貫町1556  
**TEL** 042-637-8111 **URL** <https://www.zokei.ac.jp/>  
**交通** JR横浜線「相原」駅下車徒歩約15分。スクールバス約5分。

7

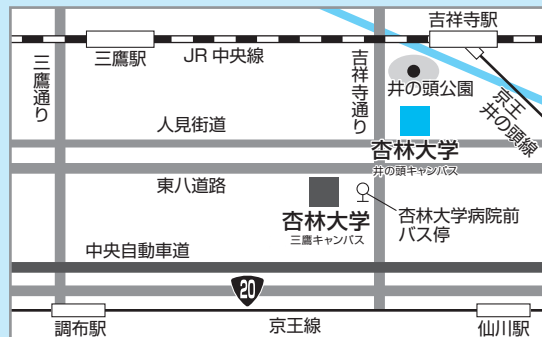
東京純心大学



**住所** 〒192-0011 八王子市滝山町2-600  
**TEL** 042-692-0326 **URL** <https://www.t-junshin.ac.jp/univ/>  
**交通** JR「八王子」駅北口・京王線「京王八王子」駅よりバス(ひよどり山経由)約15分。  
 JR「拜島」駅よりバス約20分。JR「秋川」駅北口よりバス約30分。  
 いずれも「純心学園前」下車。

8

杏林大学  
(井の頭キャンパス)



**住所** 〒181-8612 三鷹市下連雀5-4-1  
**TEL** 0422-47-8000 (代) **URL** <https://www.kyorin-u.ac.jp/>  
**交通** JR「吉祥寺」駅南口⑤番乗車場「三鷹」駅南口⑤番乗車場より杏林大学井の頭キャンパス行バス約15分。  
 京王線「千歳烏山」駅北口①番乗車場より吉祥寺駅行バス約20分。「野村病院」下車。  
 京王線「仙川」駅①番乗車場より吉祥寺駅中央口行バス約20分。「野村病院」下車。

9

多摩美術大学



**住所** 〒192-0394 八王子市鎌倉2-1723  
**TEL** 042-676-8611 **URL** <https://www.tamabi.ac.jp/>  
**交通** JR「八王子」駅南口⑤番乗車場より多摩美大行約20分(京王バス)。  
 JR「橋本」駅北口⑥番乗車場より多摩美大行約8分(神奈中バス)。

10

創価大学



**住所** 〒192-8577 八王子市丹木町1-236  
**TEL** 【大学】042-691-2215 【短期大学】042-691-2201  
**URL** <https://www.soka.ac.jp/>  
**交通** JR「八王子」駅より(西東京バス)創価大学循環バス、創価大正門・東京富士美術館下車。

11

創価女子短期大学

12

東京薬科大学



**住所** 〒192-0392 八王子市堀之内1432-1  
**TEL** 042-676-5111 **URL** <https://www.toyaku.ac.jp/>  
**交通** 京王線「平山城址公園」駅・京王相模原線「京王堀之内」駅より、路線バス各8分。  
 JR中央線「豊田」駅南口、スクールバス8分。







## 20 ヤマザキ動物看護大学



**住所** 〒192-0364 八王子市南大沢4-7-2  
**TEL** 042-653-0901 **URL** <http://www.yamazaki.ac.jp/>  
**交通** 京王相模原線「南大沢」駅下車、徒歩10分。

## 21 東京家政学院大学



**住所** 〒194-0292 町田市相原町2600  
**TEL** 042-782-9811 **URL** <https://www.kasei-gakuin.ac.jp/>  
**交通** JR横浜線「相原」駅下車、相原駅西口(のりば2番)からバス約9分。  
 京王線「めじろ台」駅下車、めじろ台駅(のりば4番)からバス約13分。  
 JR線「八王子」駅下車、八王子駅南口(のりば7番)からバス約30分。

## 22 サレジオ工業高等専門学校



**住所** 〒194-0215 町田市小山ヶ丘4-6-8  
**TEL** 042-775-3020 **URL** <http://www.salesio-sp.ac.jp/>  
**交通** 京王相模原線「多摩境」駅下車、徒歩約8分。

## 23 デジタルハリウッド大学



**住所** 〒192-0354 八王子市松が谷1番地  
**TEL** 042-670-2340 **URL** <https://www.dhw.ac.jp/>  
**交通** 多摩都市モノレール「松が谷」駅下車、徒歩1分。  
 京王線「小田急線」多摩センター駅下車、徒歩10分。

## 24 桜美林大学



**住所** 〒194-0294 町田市常盤町3758  
**TEL** 042-797-1583 **URL** <https://www.obirin.ac.jp/>  
**交通** 京王線「小田急線」多摩センター駅下車、スクールバス約20分。  
 JR横浜線「淵野辺」駅下車、スクールバス約8分。

## 25 多摩大学



**住所** 〒206-0022 多摩市聖ヶ丘4-1-1  
**TEL** 042-337-1111 **URL** <https://www.tama.ac.jp/>  
**交通** 京王線「小田急線」永山駅よりバス10分、  
 京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅よりバス約15分、いずれも「多摩大学」下車。

## 八王子市学園都市センター

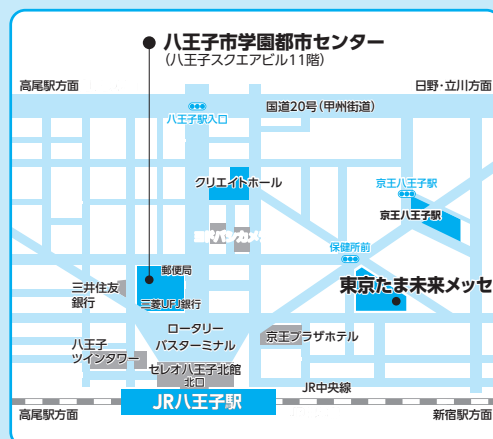
〒192-0083  
 東京都八王子市旭町9-1  
 八王子スクエアビル11階

令和6年度休館日(予定)

8月15日(木)、年末年始(12月29日～1月3日)、2月20日(木)

**TEL.042-646-5621**

※番号はお間違いないようご注意ください。



※交通手段・駐車場の有無など詳しくは、八王子学園都市大学事務局までお問い合わせください。

受講申込み

受講にあたって

開講月別講座一覧

分野別講座一覧

公開講座一覧

提供機関別講座一覧

25大学・会場マップ

## 講座概要の見方

各ページの申込締切日(上部に記載)      講座名      情報アイコン

講座番号      申込締切日 / 3月15日(金)

分野      4 - 35 定員 20名      韓国語講座入門編(前期)  
～ハングル文字をマスターしよう～      託児

基本情報      会場 学園都市センター  
MAP → P17  
曜日・回数・実施日  
月曜日 6回  
4月 8日・22日  
5月 13日・27日  
6月 10日・24日  
時間 13:30～15:00  
受講料 一般 5,000円  
学生 2,500円  
提供 東京純心大学  
備考

【講座内容】  
韓国語を学んだことがない初心者向けの講座です。アルファベットと違って記号のようなハングル文字を6回の講座で全てマスターすることを目指します。日本語は主に子音と母音の組み合わせで表現しますが、韓国語は英語と似ており、子音+母音に子音+母音+子音という組み合わせが存在します。ローマ字と形は違うが、書きやすく、覚えやすいです。アルファベットや絵を使って分かりやすく、楽しく説明します。まずはハングル文字が読めるようになりたいという方にお勧めします。

【講座計画】  
第1回 韓国語の特徴と文字の仕組み・母音の説明  
第2回 母音と子音を合わせての文字の説明・練習  
第3回 韓国語の二重母音の説明・練習  
第4回 バッチムとはどういう発音?  
第5回 発音のルールの説明・練習  
第6回 ハングルの読んでみよう

※本講座を申込んだ方は「韓国語講座」の他のクラスには同時に申込むことはできません。  
※この講座は令和5年度後期と同じ内容です。

受講生へのメッセージ  
韓国の文化に興味があり、日常でドラマや映画、歌などを楽しんだりしても韓国語にはあまり関心がなかった方はいっぱいいます。この講座を通してせめてハングルと呼ばれる韓国語の文字を学んでみませんか。独学で勉強していてもよく理解できない、まずは文字だけでもマスターしたいという方にお勧めします。もう一つのアルファベットを身につける気持ちでチャレンジしてみてください。

【講師】 具 軟和(く よんふあ) 看護学科/こども文化学科 非常勤講師  
韓国ソウル生まれ。お茶の水女子大学博士後期課程単位取得退学、日韓対照言語学専攻。  
NHK文化センター、秀林外語専門学校、2004年から2018年まで東京純心大学の韓国語非常勤講師を経て、現在はお茶の水女子大学、上智大学、武蔵野大学の非常勤講師として在職。

## アイコン一覧

### 情報アイコン



#### 正規科目講座

各大学の正規授業です。



#### 科目等履修講座

正規科目講座のうち、大学の単位を修得できる講座です。



#### オンライン講座

各大学のオンライン授業です。



#### 託児

講座を受講している間、満1歳～6歳までの小学校入学前のお子さんをお預かりできる講座です。必ず受講申込みと同時に申し込みください。



#### 駐車場

大学キャンパス内の駐車場を利用できる講座です。



#### オンデマンド

会場で行った講座を録画したものを後日配信します。視聴には事前の申込みが必要です。

4月  
開講講座

5月  
開講講座

6月  
開講講座

7月  
開講講座

8月  
開講講座

# 正規科目講座

大学の正規授業で、大学のキャンパスで  
正規の学生と共に受講する講座です。

---

※講座によって、パソコンやスマートフォンの使用が必要となることがあります。

※都合により、日程等の変更や開講が中止になる場合があります。

※科目等履修講座は申込期間、受講料等が異なります。  
詳細は 88 頁をご参照ください。



|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>4-1</b><br><b>デザイン</b>             | <b>定員 10名</b><br><b>現代デザイン論 A</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <b>会場</b>                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>東京造形大学</b><br><b>MAP → P15 6</b>   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>曜日・回数・実施日</b>                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>水曜日 14回</b>                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>4月 17日 24日</b>                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>5月 8日 15日 22日 29日</b>              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>6月 5日 12日 19日 26日</b>              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>7月 3日 10日 17日 24日</b>              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>時間</b>                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>10:50~12:30</b>                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>受講料</b>                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>一般 11,000円</b><br><b>学生 5,500円</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>提供</b>                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>東京造形大学</b>                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>備考</b>                             | <div> <div> <b>受講生へのメッセージ</b>  </div> <div> <p>・本講では「ネームプレート制」「マイク発言制」「隣席禁止制」の3つの課す。すなわち、自分の名前を掲出すること、発言を求められたらマイクで答えること、友人・知人の隣に座らないことの3つである。最初の授業で説明するが、これらを受け入れられない場合は受講を避けること。</p> <p>・「チャット」機能を積極的に用いて質疑応答を行う。</p> <p>・受講者の理解度に合わせ進行速度や内容は変更もありえる。</p> <p><b>【講師】沼田 真一(ぬまた しんいち) 造形学部 准教授</b> .....</p> <p>横浜市在住。東京造形大学准教授。専門は社会デザイン。博士(社会科学)。社会とは、すなわち、人と人のつながりを指し、デザインとは、すなわち、課題解決を指す。社会デザインとは、人と人、人とモノ、人と空間(地域)の関係をよりよいものに変わらせていくことである。横浜市旭区内では、「本」を通じた社会デザインに取り組んでいる。日本生活学会においては、「一箱古本市の参加者ネットワークに関する研究―横浜市での「みなまき一箱古本市」を事例にして―」(2019)「読書活動の推進による地域活性化に関する研究―横浜市旭区での実践を事例として―」(2020)、「一箱古本市における出店者ネットワークの特性に関する研究―「みなまき一箱古本市」出店者の出品書籍に注目して―」(2021)などの発表がある。</p> </div> </div> |

|                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>4-2</b><br><b>デザイン</b>             | <b>定員 10名</b><br><b>インダストリアルデザイン A</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <b>会場</b>                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <b>東京造形大学</b><br><b>MAP → P15 6</b>   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>曜日・回数・実施日</b>                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>金曜日 14回</b>                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>4月 19日 26日</b>                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>5月 10日 17日 24日 31日</b>             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>6月 7日 14日 21日 28日</b>              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>7月 5日 12日 19日 26日</b>              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>時間</b>                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>10:50~12:30</b>                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>受講料</b>                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>一般 11,000円</b><br><b>学生 5,500円</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>提供</b>                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>東京造形大学</b>                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>備考</b>                             | <div> <div> <b>受講生へのメッセージ</b>  </div> <div> <p>身の回りの工業製品をデザインという視点や歴史的視点、モノを生産するプロセスから見るとまた、新たな発見を感じるでしょう。</p> <p><b>【講師】森田 敏昭(もりた としあき) 造形学部 デザイン学科 教授</b> .....</p> <p>1986年(株)黒川雅之建築設計事務所入社。<br/> 1991年(有)エル・アイ・シー/森田敏昭設計事務所設立。<br/> 2000年札幌市立高等専門学校着任。現在、東京造形大学教授。<br/> 現在、地方都市でのモノづくりにおけるデザイン主導型商品開発システムの有用性について研究を進めている。</p> </div> </div> |

|                        |           |
|------------------------|-----------|
| <b>4 - 3</b>           | <b>定員</b> |
| <b>教育</b>              | <b>3名</b> |
| <b>会場</b>              |           |
| 創価大学                   |           |
| MAP → P15 10           |           |
| <b>曜日・回数・実施日</b>       |           |
| 月曜日 15回                |           |
| 学園都市大学のホームページでご確認ください。 |           |
| <b>時間</b>              |           |
| 10:45～12:15            |           |
| <b>受講料</b>             |           |
| 一般 11,000円             |           |
| 学生 5,500円              |           |
| <b>提供</b>              |           |
| 創価大学                   |           |
| <b>備考</b>              |           |

## 生涯学習概論

～いつでもどこでもだれでも学べる社会の実現へ～



人生100年時代が叫ばれ、「生涯学習」という言葉も広く知られるようになりました。この授業では、今「生涯学習」が強調されるようになった起点であるユネスコによる「生涯教育」の提案に遡り、その後「生涯教育」から「生涯学習」という表現に変わっていく世界的な動向・経過を紹介していきます。そして「生涯教育」の提案は単に生涯学び続ける意味だけでなく、世界中のすべての人が学びにアクセス出来るようになることを目指した「学習権保障」の提案であったことを踏まえ、「生涯教育・生涯学習」の理念・取り組みの今日までの経過をみていきます。

一方的な講義ばかりでなく、小グループに分かれての話し合いの時間も設けながら進めていきます。

受講生への

メッセージ



「生きることは学ぶこと」と言われるように、意識する・しないに関わらず、私たちの生活に「学び」は欠かせない存在です。この授業を通して、ご自身のより良い学び・学び方を見直す機会にいただければ幸いです。

【講師】平井 康章（ひらい やすあき） 通信教育部 准教授

東京都杉並区出身。創価大学教育学部卒。立教大学大学院博士課程前期修了。文学修士。全国社会教育職員養成研究連絡協議会・前代表理事。専門分野は生涯学習・社会教育。著書：『生涯学習概論（新版）』（創価大学通信教育部、2011、共著）、『社会教育行政』（創価大学通信教育部、2010、共編著）、『学びあいの創造』（東洋館出版社、1992、分担執筆）ほか。

|                |         |     |         |
|----------------|---------|-----|---------|
| 4 - 4          |         | 定員  |         |
| 経済             |         | 3名  |         |
| 会場             |         |     |         |
| 創価大学           |         |     |         |
| MAP → P15 10   |         |     |         |
| 曜日・回数・実施日      |         |     |         |
| 月・金曜日 30回      |         |     |         |
| 4月             | 5日      | 8日  | 12日 15日 |
|                | 19日     | 22日 | 26日 29日 |
| 5月             | 6日      | 10日 | 13日 17日 |
|                | 20日     | 24日 | 27日 31日 |
| 6月             | 3日      | 7日  | 10日 14日 |
|                | 17日     | 21日 | 24日 28日 |
| 7月             | 1日      | 5日  | 8日 12日  |
|                | 15日     | 19日 |         |
| 時間             |         |     |         |
| 10:45～12:15(月) |         |     |         |
| 14:50～16:20(金) |         |     |         |
| 受講料            |         |     |         |
| 一般             | 22,000円 |     |         |
| 学生             | 11,000円 |     |         |
| 提供             |         |     |         |
| 創価大学           |         |     |         |
| 備考             |         |     |         |

## 経済学史

～経済学ってどんな学問？経済学の歴史で考えます。～



経済学の歴史をたどりながら、現在の経済学説がどのように成立したかを学びます。あわせて、経済学を批判した諸学説と経済学を比較することで、経済学の見方を相対化する視点を得たいと思います。具体的な内容は以下の通りです。

1. 古典的自由主義  
18世紀にヨーロッパで展開された自由主義の潮流の中で、アダム・スミスが経済学を誕生させた経緯を考察。そのなかで、彼の「自由放任」論の意義を考えます。
2. 古典主義への批判  
古典的自由主義に対して意義を唱えた19世紀の思想、すなわち社会主義、功利主義を学び、そのなかで経済学がどのように変容したかを考えます。
3. 限界革命と経済学の展開  
1870年代に経済学で起こった「限界革命」を学び、現代の経済学に続く経済理論がどのように形成されたかを考察します。

4. 「科学」としての経済学  
功利主義の影響から脱して経済学を「科学」としようとしたSamuelsonや新厚生経済学の試みを紹介し、現代の経済学が直面している問題を考察します。
5. 市場か政府か  
ケインズとハイエクの論争を通して、市場経済が自由主義にとってどのような意味があるかを考えます。
6. 経済学と価値判断  
厚生経済学の展開を通し、経済学が価値判断といかにかわるべきかを考察します。
7. 日本の経済学  
大正期から昭和初期に経済学が日本にどのように受容されたかを考察し、社会における経済学の役割を考察します。
8. 経済学と人間--異端の経済学者  
異端の経済学者、経済学への批判者の理論を通し、経済学は人間をどのように捉えてきたかを考えます。

受講生への

メッセージ



入門レベルのミクロ経済学・マクロ経済学を学んだ学生向けの授業ですが、経済学を学んだことのない人にも理解でできる内容です。様々な経済学者が、それぞれの時代の課題とどのように向き合い、理論を発展させたかを学ぶことで、経済学とはどのような学問かを考えて行きます。

【講師】勘坂 純市（かんざか じゅんいち） 経済学部 経済学科 教授

1986年 東京大学経済学部卒業  
1993年 東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学  
博士（経済学）

著書：Kanzaka, J. (2018) The scattered and intermingled field system of Japan compared to the open-field systems of Europe, in C. Dyer, E. Thoen, T. Williamson (eds.), Peasants and their fields: The rationale of open-field agriculture, c. 700-1800, pp. 233-255  
Kanzaka, J. (2018) Manorialisation and demographic pressure in medieval England: an analysis of the Hundred Rolls of 1279-1280, Journal of Historical Geography 60, pp.11-23  
Kanzaka, J. (2018) Villein rents in thirteenth-century England: an analysis of the Hundred Rolls of 1279-1280, Economic History Review 55(4) pp. 593-618. ほか

|                             |                        |             |                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------|------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>4 - 5</b><br><b>八王子学</b> | <b>定員</b><br><b>3名</b> | <b>八王子学</b> |   |
| <b>会場</b>                   |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>創価大学</b>                 |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>MAP → P15 10</b>         |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>曜日・回数・実施日</b>            |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>木曜日 15回</b>              |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| 学園都市大学のホームページで確認ください。       |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>時間</b>                   |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>13:05～14:35</b>          |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>受講料</b>                  |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>一般 11,000円</b>           |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>学生 5,500円</b>            |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>提供</b>                   |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>創価大学</b>                 |                        |             |                                                                                                                                                                         |
| <b>備考</b>                   |                        |             |                                                                                                                                                                         |

八王子の過去、現在、未来について知ることをとおし、また八王子や多摩地域で活躍している各分野の専門家から学ぶことによって、身近な地域社会を知ることの大切さを認識し、在学中だけでなく卒業後も、自分の暮らす地域社会(海外を含む)をよりよく理解し、貢献していく意識と態度を養うことが目的です。

授業の流れとしては、主に八王子に関連する各分野で著名な外部講師や市職員を招聘して、60～70分程度の講義を行ってもらい、その後、10分～20分程度、その内容について質疑応答やディスカッションを行います。そこでは、自分の暮らしてきた町や住んでいる地域との比較をおこなったり、地域を知ることの意義などを学びます。

【講師】**杉山 由紀男 (すぎやま ゆきお)** 文学部 人間学科 教授／文学部 学部長 ……………

宮城県生まれ。創価大学大学院文学研究科社会学専攻博士後期課程単位取得退学。専門は社会学。

|                           |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
|---------------------------|------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>4 - 6</b><br><b>経営</b> | <b>定員</b><br><b>3名</b> | <b>Marketing</b><br><b>～ From an Asian Perspective ～</b> |   |
| <b>会場</b>                 |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>創価大学</b>               |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>MAP → P15 10</b>       |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>曜日・回数・実施日</b>          |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>火・金曜日 30回</b>          |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| 学園都市大学のホームページで確認ください。     |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>時間</b>                 |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>10:45～12:15</b>        |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>受講料</b>                |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>一般 22,000円</b>         |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>学生 11,000円</b>         |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>提供</b>                 |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>創価大学</b>               |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |
| <b>備考</b>                 |                        |                                                          |                                                                                                                                                                             |

Marketing is often defined as advertising - a highly visible activity by which organizations try to persuade consumers to buy products and services. However, marketing is much more than advertising and even the most skillful marketing cannot make consumers buy things that they don't want. Marketing involves the following activities: 1) identifying consumer needs, 2) formulating the segmenting, targeting, and positioning strategies, 3) setting the "marketing mix". With the real-life examples introduced, this course aims to cover the following topics:

1. An overview of marketing; 2. Ethics and the marketing environment; 3. Consumer

decision making

4. Business-to-business marketing; 5. Segmenting and targeting markets; 6. Market research; 7. Product concepts; 8. Developing and managing products; 9. Services, non-profit and other intangibles; 10. Marketing channels and distribution decisions; and more if the time permits.

受講生への  
メッセージ

Marketing is an important business area and mastering marketing knowledge can help your career. You are welcome to take the course, but you will benefit from this course only if you can maintain committed attendance.

【講師】**George Y. Wang (ジョージ・ワン)** 国際教養学部 国際教養学科 ……………

Prof. George Wang received his PhD degree from Imperial College London, UK, and his MBA degree from University of Connecticut, USA. Prior to his joining Soka University, he has served at University of Colorado Denver (USA) and National Kaohsiung University of Science & Technology (Taiwan). His research interest is on corporate finance, corporate governance, and investment appraisal. In addition to academics, Dr. Wang has rich industry work experience, such as consultant, chief financial manager, and independent board director at several publicly listed companies (PLCs). 著書: MKTG5, 5th Edition, Charles W. Lamb, Joseph F. Hair, Carl McDaniel, Jane Summers, Michael Gardiner, Publisher: Cengage, published: 9th November 2022, ISBN: 9780170453936. (The textbook can be purchased at the university bookstore.)

4 - 7

健康

定員  
3名

がん看護論



会場

創価大学  
MAP → P15 10

曜日・回数・実施日

月曜日 4回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

時間

9:00～10:30  
10:45～12:15

受講料

一般 6,500円  
学生 3,200円

提供

創価大学

備考

がんおよび治療による全人的苦痛を抱える者とその家族に対して、保健医療福祉システムとの連携を視野に入れ、患者と家族の生活の安寧と質の向上のための生きる力を引き出すとともに慈愛の看護につながる基礎知識・技術を学ぶ。具体的には、がん看護に関連する概念を理解し、がん看護にともなう倫理的課題、放射線療法、化学療法、手術療法および緩和ケアを受ける者ががんと共に生きる智慧の看護、療養生活を送る患者と家族のニーズ、ヘルスプロモーションを促すケア環境とチームアプローチ、施設-在宅および施設-施設間の移行期支援について学修する。

受講生への  
メッセージ



2024年度で6年にわたり、八王子学園都市大学 一般講座『いちよう塾』を担当させていただき市民の皆様へ受講いただいております。短い時間ですが、皆様と一緒にがん医療について考えて参りたいと存じます。

【講師】大釜 徳政（おおがま のりまさ）看護学部 看護学科 教授 ……………

大阪大学大学院医学系研究科 博士後期課程修了（博士）  
愛知県がんセンター勤務  
獨協医科大学大学院看護学研究科 准教授

4月  
開講講座

5月  
開講講座

6月  
開講講座

7月  
開講講座

8月  
開講講座

4 - 8

経営

定員  
3名

環境マネジメント



会場

創価大学  
MAP → P15 10

曜日・回数・実施日

火曜日 15回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

時間

13:05～14:35

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

創価大学

備考

気候変動の影響と思われる多発する大雨や洪水、真夏日の記録更新等、地球環境の危機を身近に感じるようになってきました。また、私たちが普段、利便性を求めて使用しているプラスチック製品やプラスチック包装の弊害も露呈されています。私たちの日々の活動が地球に負担をかけていると共に、企業活動も大きな負荷をかけています。今日では、環境に取り組まない企業は、存続できなくなるといった認識も浸透しつつあります。

本講義は、危機的な状況にある地球環境の現状を学んだ上で、国際レベル、国内レベルで企業がどのような環境問題を抱え、何を求められ、それにどう対処しているのかについて学んで行きます。

受講生への  
メッセージ

【主な講義トピック】  
資本主義とグローバリズム、持続可能性と国際的取り組み、環境経営のフレームワーク(EMS、ISOなど)、環境リスク、環境規制、環境コミュニケーション、環境経営戦略、ESG投資など。

身近な環境問題を、企業の視点でひも解くだけでなく、ご自身の身の周りの問題に置き換えて捉えられるよう平易に解説します。環境問題に対する答えは一つではありません。ぜひ、様々な角度から問題を捉え、熟考し、ディスカッションを通じてご自身なりの答えや考えを見つけて頂きたいと思います。

【講師】野村 佐智代（のむら さちよ）経営学部 経営学科 准教授 ……………

専門は「財務管理論」「環境マネジメント」。研究テーマは「地球環境問題解決のための金融市場改革」。  
神奈川大学経済学部卒業。明治大学経営学研究科経営学単位取得満期退学。博士（経営学）。  
英国曉星国際大学専任講師、英国レディング大学客員研究員、埼玉学園大学経営学部准教授を経て現職。  
日本財務管理学会理事、環境経営学会理事、日本証券経済学会幹事を務める。  
著書：・野村 佐智代・日本中小企業・ベンチャー ビジネスコンソーシアム編(2022)『中小企業のSDGs：求められる変化と取組みの実例』中央経済社。  
・鳥居 陽介編(2022)『テキスト財務管理論(第6版)』中央経済社。  
・野村 佐智代・山田 雅俊・佐久間 信夫編(2021)『現代環境経営要論』創成社。

公開講座



4 - 9  
言語

定員  
5名

翻訳英語 I



会場

拓殖大学

MAP → P16 13

曜日・回数・実施日

火曜日 13回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

時間

13:50～15:35

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

拓殖大学

備考

※別途教材費がかかる場合があります。

【授業形態】 対面授業

【授業の目的及び到達目標】

本科目は、実践的な翻訳練習を通して翻訳スキルを習得するとともに、外国語学習の実践的な方法および異文化コミュニケーションに関する理解を深めることを目的とします。学生諸君が卒業後に社会のさまざまな異文化状況において期待される日英・英日双方向による翻訳者の役割(多分野・多ジャンルの翻訳)を果たすことができるだけの翻訳スキルの習得が到達目標です。

【授業計画】

- 第1回：入門的な翻訳体験をしながら、本科目の趣旨を学びます。  
\* 以下、翻訳課題は履修生の学習状況により適宜決めます。  
第2回：翻訳課題 ① 翻訳英文法に基づいて、日本語らしい翻訳について考えます。  
第3回：翻訳課題 ② エッセイを使って、短編の英文の翻訳を行います  
第4回：翻訳課題 ③「となりのトトロ」(1)を使って、日本語から英語の映画字幕翻訳を行います。

- 第5回：翻訳課題 ③「となりのトトロ」(2)を使って、異文化の翻訳について考えます。  
第6回：翻訳課題 ③「となりのトトロ」(3)を使って、英日語の会話スタイルの相違について考えます。  
第7回：翻訳課題 ④ オバマ大統領広島演説(1)を使って、政治テキストの翻訳について考えます。  
第8回：翻訳課題 ④ オバマ大統領広島演説(2)を使って、政治テキストの政治イデオロギーについて考えます。  
第9回：翻訳課題 ④ オバマ大統領広島演説(3)を使って、翻訳の目的、テキストタイプや翻訳規範について考えます。  
第10回：翻訳課題 ⑤ ドラえもん(1)を使って、マンガメディアの翻訳について考えます。  
第11回：翻訳課題 ⑤ ドラえもん(2)を使って、口語英語や英語の言語規範について考えます。  
第12回：翻訳課題 ⑥ I AM A CAT / 吾輩は猫であるを使って、文芸作品の翻訳について考えます。  
第13回：今学期の翻訳パフォーマンステストを行い、フィードバックをします。

受講生への  
メッセージ

通訳翻訳の勉強を通して、英語力と日本語力を鍛えながら、世界の様々な問題について一緒に考え、言語について深い議論を交わしましょう。



【講師】河原 清志(かわはら きよし) 外国語学部 教授

1995年3月 上智大学法学部国際関係法学科卒業 法学士  
著書(単著) 2017年3月『翻訳等価再考—翻訳の言語・社会・思想』晃洋書房  
著書(共著) 2017年12月『多文化共生時代の英語教育論』いづな書店 ほか

4 - 10  
言語

定員  
5名

時事中国語 I



会場

拓殖大学

MAP → P16 13

曜日・回数・実施日

水曜日 13回

|    |     |     |     |     |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 4月 | 17日 | 24日 |     |     |
| 5月 | 1日  | 8日  | 15日 | 22日 |
|    |     | 29日 |     |     |
| 6月 | 5日  | 12日 | 19日 | 26日 |
| 7月 | 3日  | 17日 |     |     |

時間

11:15～13:00

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

拓殖大学

備考

※指定教科書の購入が必須となります。  
※オンデマンド授業のため当日授業資料掲載します。  
※対面授業日あり  
4/24、5/8、5/15、5/29、6/12、6/26、7/3  
※日程は変更になる場合があります。

オンデマンド型授業

【授業の目的及び到達目標】

現代中国の時事問題を理解するために『時事中国語の教科書』を用い、内政・外交・経済・生活等に関する文を読み進める。テキストの内容を録音したCDを活用しながら中国の時事的な事情を中国語で聞き、理解して修得していくことを到達目標とする。

【授業計画】

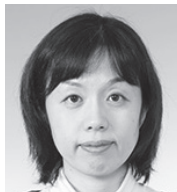
オンデマンド型授業

- 第1回：イントロダクションとして、動画を視聴しながら一緒に音読し、解説と日本語訳を聞きながらディクテーションと日本語訳をして、提出する。  
第2回：動画を視聴しながら一緒に音読し、解説と日本語訳を聞きながらディクテーションと日本語訳をして、提出する。  
第3回：動画を閲覧しながら、本文のシンクロディッピング、リプロダクション、シャドーイングを実施し、指定された箇所の音声を読み、録音して提出する。  
第4回：動画を閲覧しながら、本文の音声を確認し日本語訳をまとめる。課題の音声ディクテーション及び日本語訳をし、提出する。  
第5回：動画を閲覧しながら、本文のシンクロディッピング、リプロダクション、シャドーイングを実施し、指定された箇所の音声を読み、録音して提出する

- 第6回：動画を閲覧しながら、本文の音声を確認し日本語訳をまとめる。課題の音声ディクテーション及び日本語訳をし、提出する。  
第7回：動画を閲覧しながら、本文のシンクロディッピング、リプロダクション、シャドーイングを実施し、指定された箇所の音声を読み、録音して提出する。  
第8回：動画を閲覧しながら、本文の音声を確認し日本語訳をまとめる。課題の音声ディクテーション及び日本語訳をし、提出する。  
第9回：動画を閲覧しながら、本文のシンクロディッピング、リプロダクション、シャドーイングを実施し、指定された箇所の音声を読み、録音して提出する。  
第10回：動画を閲覧しながら、本文の音声を確認し日本語訳をまとめる。課題の音声ディクテーション及び日本語訳をし、提出する。  
第11回：動画を閲覧しながら、本文のシンクロディッピング、リプロダクション、シャドーイングを実施し、指定された箇所の音声を読み、録音して提出する。  
第12回：動画を閲覧しながら、本文の音声を確認し日本語訳をまとめる。課題の音声ディクテーション及び日本語訳をし、提出する。  
第13回：第1回～第12回で学習した内容を振り返り、またその理解を深めるために課題を実施する。課題のフィードバックは、Blackboard を通じて行う。

受講生への  
メッセージ

「様々な人と触れ合い、色々な世界を見てみたい」と考え、学生時代から青春18きっぷ等を使い日本国内を旅行しました。卒業後は中国に留学し、空いている時間は列車に20時間座ったりしながら中国国内を旅行しました。その中で色々な土地へ赴き様々な人と触れ合い色々学びました。中国語でも“百聞不如一见”(百聞は一見に如かず)という言葉があるように、実際にその地域へ行き人と触れ合ってこそ本当のものが見えてくるのではないかと思います。今後も経験を積み重ねて学生に伝えていきたいです。



【講師】永江 貴子(ながえ たかこ) 外国語学部 教授

2008年3月 お茶の水女子大学人間文化研究科比較社会文化学専攻博士後期課程修了  
著書(単著) 2014年3月 だいたい中国語入門 使える文法 三修社  
2015年7月 もやもやを解消! 中国語文法ドリル 三修社  
学術論文(単著) 2005年 折衝における“幫”と“給”の選択について—台湾国語と普通話との比較から『中国語学』252 ほか

4 - 11

言語

定員  
5名

会場

拓殖大学  
MAP → P16 13

曜日・回数・実施日

水曜日 13回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

時間

9:20～11:05

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

拓殖大学

備考

※別途教材費がかかる場合があります。

通訳英語 I



【授業形態】 対面授業

【授業の目的及び到達目標】

本科目は、実践的な通訳訓練を通して通訳スキルを習得するとともに、外国語学習の実践的な方法および異文化コミュニケーションに関する理解を深めることを目的とします。学生諸君が卒業後に社会のさまざまな異文化状況において期待される日英・英日双方向による通訳者の役割（ある程度の実務レベルの逐次通訳・同時通訳）を果たすことができるだけのスキル習得が到達目標です。

【授業計画】

- 第1回：Savern Suzuki's Legendary Speech(1) を使って、本授業が扱う通訳訓練法を体験します。  
\*以下、通訳課題は履修生の学習状況により適宜決めます。  
第2回：Savern Suzuki(2)を使って、通訳訓練法による英語力強化法を学びます。  
第3回：Savern Suzuki(3)を使って、同時通訳を体験します。

- 第4回：Shigeru Ban (1) を使って、順送り訳と同時通訳文法を学びます。  
第5回：Shigeru Ban (2) を使って、短文の同時通訳のコツをつかみます  
第6回：Eruption of Mt. Fujiを使って、簡単なサイトトランスレーションを行います。  
第7回：Japanese Drumを使って、実務的なサイトトランスレーションを行います。  
第8回：Malala Yousafzai (1) を使って、同通文法を学びます。  
第9回：Malala Yousafzai (2) を使って、同通文法をさらに学びます。  
第10回：Barack Obama's Hiroshima Speech (1) を使って、同通文法の自動化を図ります。  
第11回：Michelle Obama(1) を使って、ノートテキングを体験します。  
第12回：Michelle Obama(2) を使って、ノートテキングと言語処理のあり方を学びます。  
第13回：今学期の音源の通訳パフォーマンステストを行い、フィードバックをします。

受講生への

メッセージ

通訳翻訳の勉強を通して、英語力と日本語力を鍛えながら、世界の様々な問題について一緒に考え、言語について深い議論を交わしましょう。



【講師】河原 清志(かわはら きよし) 外国語学部 教授

1995年3月 上智大学法学部国際関係法学科卒業 法学士  
著書(単著)：2017年3月『翻訳等価再考—翻訳の言語・社会・思想』晃洋書房  
著書(共著)：2017年12月『多文化共生時代の英語教育論』いっすな書店 ほか

4 - 12

政治

定員  
5名

会場

拓殖大学  
MAP → P16 13

曜日・回数・実施日

火曜日 13回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

時間

11:15～13:00

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

拓殖大学

備考

※指定教科書の購入が必須となります。

政治と民族



【授業の目的及び到達目標】

1994年に大虐殺の起こったルワンダを中心に上げながら考えていきます。アフリカ訪問180回超のジャーナリスト・大津司郎さんによる「最新アフリカ事情」を月に1回行います。講義と現地の生々しい情報がクロスした日本で「オンリーワン」の授業です。アフリカの紛争について自分なりの考えを得ることが目的です。「卒業認定・学位授与の方針」のなかでうたわれた「専門的知識」を身につけることが到達目標です。

【授業計画】

- 第1回：オリエンテーション：授業の内容紹介、この授業の目指すもの、教員自己紹介など。  
アフリカの現状について一般的な説明をいたします。  
第2回：ルワンダの悲劇について ①：何が虐殺を生んだのか？ルワンダ虐殺は、ツチとツツという2つのエスニック間で起きた悲劇だと言われています。もともと共生していた2つの集団が、争うようになったのはなぜなのか。植民地時代をふりかえります。  
第3回：最新アフリカ事情 ①(大津司郎さん)

- 第4回：ルワンダの悲劇について ②：虐殺と国際社会の対応。国連は何をしたの(あるいはしなかったのか)。  
第5回：ルワンダの悲劇について ③：虐殺の背景にあるもの。ルワンダは、実はそれに続くコンゴ民主共和国の地下資源への入り口ではなかったのか？  
第6回：最新アフリカ事情 ②(大津司郎さん)  
第7回：人間の安全保障について：なぜ必要なのか？アフリカの破綻国家について。  
第8回：日本とアフリカ：日本にとって遠い国………ではない！特に中国のプレゼンスの大きさと、日本のプレゼンス(のなさ)について。  
第9回：開発と民主化 ①：開発途上国の抱えるジレンマ。開発が先か民主化が先か？  
第10回：開発と民主化 ②：「デモクラシーは最悪の制度」か？さまざまな政治制度のメリットデメリットについて考えます。  
第11回：最新アフリカ事情 ③(大津司郎さん)  
第12回：ルワンダからコンゴ民主共和国(DRC)へ。なぜ「アフリカ大戦」は起きたのか。  
第13回：ポール・カガメとルワンダの未来。大津さんと私を中心に、フリーディスカッションを行います。

受講生への

メッセージ

人それぞれ人生にはターニングポイントがあります。その時、何を選ぶのか、それとも何もしないかー。その後の人生は大きく変わってきます。大学は、自分の人生を変えるひとつのターニングポイントです。人は生きて行く中で、知らないうちに固定観念を持ってしまいます。大学は、こうした固定観念を取り除いて、新しい視点を養い、自分の将来の可能性を広げていく場です。



【講師】野村 明史(のむら あきふみ) 海外事情研究所 准教授

2001年3月 東京工業大学大学院 社会理工学研究科 価値システム専攻 博士後期課程 修了(学術博士：Ph.D.) 学術博士  
著書(単著)：2006年6月 東アジア長期統計「社会指標」 朝倉書房  
著書(単著)：2020年3月『プレスステップ政治学』(第3版) 弘文堂  
学術論文(単著)：2020年12月「反政府デモと王室観の変化—タイの学生運動とは何か？」「改革者」政策研究フォーラム  
学術論文(単著)：2021年11月 タイ：半分のデモクラシーはどこに行くのか『海外事情』2021年11・12月号 ほか



## 4 - 13 経済

定員  
5名

## 人口学



### 会場

拓殖大学

MAP → P16 13

曜日・回数・実施日

木曜日 13回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

### 時間

17:40～19:25

### 受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

### 提供

拓殖大学

### 備考

#### 【授業形態】 対面授業

#### 【授業の目的及び到達目標】

現在多くの諸国で新しい人口問題に直面しています。まず少子高齢化が先進国だけではなく途上国にも広がりつつあります。また、グローバル化時代となり、国境を越えた国際人口移動が問題となっています。そこで本クラスでは、まず人口学の基礎である出生率と死亡率の現状と決定要因について理論的に学ぶことを目的とします。その上で、今日問題になりつつある少子高齢化と国際人口移動について理論的に理解すると同時に、政策的対応について、自分の意見が述べられるようになることを到達目標とします。

#### 【授業計画】

- 第1回：人口学は学際的学問であり、政治、経済、社会の諸側面と密接に関係しています。現在の世界人口の分布と変動について解説します。
- 第2回：人口変動を理解するための基本的視点を学びます。また、近代化とともに生じた出生率、死亡率の変化を説明する人口転換理論について解説します。
- 第3回：死亡率の動向について学びます。発展とともに死因構造は感染症から生活習慣病へと変化しました。
- 第4回：途上国の衛生環境で効果的医療とは何か。プライマリーヘルスケアの考え方について学びます。なお、第2回から第4回の内容について中間試験（もしくはレポート試験）を行います。BBおよび授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。
- 第5回：出生率の変化の動向について、また出生率の動向に影響する生物学的要因と社会的要因の関係について学びます。

- 第6回：日本の少子化の原因について、社会、経済、文化的観点から学びます。また、日本の少子化対策の問題点について検討します。
- 第7回：高齢化はなぜ問題なのか、日本の高齢化と社会保障政策を事例に学びます。
- 第8回：高齢者の介護のために日本で導入された政策である「地域福祉」と介護保険について紹介します。なお、第4回から第8回の内容について中間試験（もしくはレポート試験）を行います。BBおよび授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。
- 第9回：まず国際人口移動について定義し、国際人口移動の動向がいつどのように変化したのか、その特徴を地域別に概説します。また、現在問題となっている難民問題についても説明します。
- 第10回：日本は移民の送出国だった時期があります。戦前からさかのぼり、新たな移民流入が始まる1980年代までの特徴について紹介します。
- 第11回：日本の「移民政策」は、少子高齢化に伴い「バックドア」から「サイドドア」へと大きく変貌しました。この時期の政策的変更を中心に検討します。
- 第12回：日本の「移民政策」は、いよいよ労働力不足を背景にした外国人労働者受け入れに舵を切りました。現在の状況と今後の方向性について展望します。
- 第13回：多文化社会化が進む日本経済と社会が直面する様々な課題について検討します。なお、第9回以降の内容について期末試験（レポート試験）を行います。BBを通じて試験の結果についてフィードバックを行います。

#### 受講生への メッセージ



私の専門は社会学、なかでも人口学、都市社会学とアジア社会研究です。学部時代には人類学専攻だったため、社会学的計量分析と同時に、人類学的質的分析の重要性も理解しています。現在フィリピンの社会問題の研究と八王子の多文化共生問題に関し、研究のかたわら、実際の活動に参加しています。国内外におけるボランティア活動と海外留学、海外インターンシップを応援しています。

【講師】新田 夏実（あらため なつみ）国際学部 教授

私の専門は社会学、なかでも人口学、都市社会学とアジア社会研究です。学部時代には人類学専攻だったため、社会学的計量分析と同時に、人類学的質的分析の重要性も理解しています。現在フィリピンの社会問題の研究と八王子の多文化共生問題に関し、研究のかたわら、実際の活動に参加しています。国内外におけるボランティア活動と海外留学、海外インターンシップを応援しています。

著書（共著）：2015年5月「フィリピンの移民政策」『市民が提案するこれからの移民政策—NPO法人APFSの活動と世界の動向から』現代人文社 176-186

2021年3月「フィリピンの日本人・日系人社会—歴史的変遷と今後の展望—」『グローバル化時代の海外日本人社会』所収  
学術論文（共著）：2014年9月「高齢者福祉と介護保険—見直しに揺れる日本の地域福祉—」  
学術論文：2018年9月「発達途上都市の研究—比較都市社会学への招待—」

## 4 - 14 文化

定員  
5名

## 東南アジア



### 会場

拓殖大学

MAP → P16 13

曜日・回数・実施日

水曜日 13回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

### 時間

17:40～19:25

### 受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

### 提供

拓殖大学

### 備考

#### 【授業の目的及び到達目標】

東南アジア各国の社会を理解した上で、政治、産業、直接投資・貿易などの経済構造や経済政策、各国が抱える課題について理解し、多様な東南アジア各国を、国別に比較し理解を深めるとともに、ASEANにおける地域大での取り組みについても理解することを目的とする。東南アジアについて、体系的に理解し、自らの言葉で東南アジアについて議論、分析ができる水準に達することを到達目標とする。

#### 【授業計画】 対面授業

- 第1回：講義全体の流れを解説するとともに、東南アジアの地理的特性（陸のアジア、海のアジア）や歴史、宗教・人種・民族、経済概観（人口、経済規模、所得水準等）など、東南アジアの全体像について概説する。
- 第2回：タイの社会、王室や軍、政党など政治構造の特徴を理解する。
- 第3回：タイの経済発展、バンコクを中心とする産業集積、タイが直面する中所得国の罌や近年の経済政策について説明する。
- 第4回：東南アジアの大国であるインドネシアの社会、国家形成の特徴、スハルト元大統領時代から現在の政治構造への変遷を理解する。
- 第5回：インドネシアの自動車をはじめとする産業構造、経済政策を説明する。
- 第6回：シンガポール社会、政治史、統治体制について学ぶ。
- 第7回：小テスト及びフィードバックとしての解説を行う（進捗に応じて実施日を変更する場合がある）。これまでの経済発展の特徴、産業・誘致政策、アジアのハブとなっている投資環境を理解した上で、直面する課題を説明する。

- 第8回：多様な民族構造を反映したプミトラ政策、マハティール元首相時代からのエレクトロニクス（電気・電子産業）を中心とする輸出主導型の成長や近年のインフラ開発などの経済政策を理解する。
- 第9回：フィリピンの歴史・政治を概観した上で、海外からの送金に支えられる経済や財閥を中心とする経済構造とともに、投資環境について説明する。
- 第10回：ベトナムの歴史やドイモイ政策以降の経済改革を概観した上で、縫製業やエレクトロニクス産業など成長する産業やCPTPP参加などの通商政策について説明する。
- 第11回：カンボジアの歴史、政治を理解し、経済面では拡大する縫製品の輸出に加え、カンボジアが直面する課題を説明する。東南アジア最後のフロンティアとして注目されるミャンマーの歴史と政治、直面する課題について説明する。
- 第12回：ラオスの歴史、政治構造を概観した上で、内陸国ラオスの資源、電力を中心とする産業構造や投資環境とその課題について説明する。ブルネイの政治と経済を概観する。ASEANの形成過程を学ぶとともに、その中核となるASEAN経済共同体（AEC）について、物品貿易分野の自由化を中心に説明する。
- 第13回：学期試験及びフィードバックとしての解説、これまでの授業を総括する。

#### 受講生への メッセージ



教員になる前は、政府系機関であるジェトロで調査業務に携わり、インドとシンガポールに駐在し、変貌するアジア経済、FTAを中心とする政策課題に向き合ってきました。アジア経済や通商政策について理解を深めていく楽しさとともに共有していきたいと考えています。

【講師】椎野 幸平（しいの こうへい）国際学部 准教授

1994年3月 明治大学経営学部卒 学士（経営学）

2017年3月 青山学院大学大学院国際政治経済学部国際経済学科 修士 国際経済学修士 修士（国際経済学）

著書（単著）：2022年3月「変容する現代インド経済 再生可能エネルギー、デジタル分野を中心に」

「アジア経済論」（小林尚朗・山本博史・矢野修一・春日尚雄編）

2022年9月「貿易構造からみるインドの製造業：保護主義的な通商政策の背景」『これからのインドビジネス—政治・経済・社会・ビジネス環境—』（ジェトロ編）ほか

|                            |          |
|----------------------------|----------|
| 4 - 15                     | 定員<br>5名 |
| 言語                         |          |
| 会場                         |          |
| 拓殖大学<br>MAP → P16 13       |          |
| 曜日・回数・実施日                  |          |
| 木曜日 13回                    |          |
| 学園都市大学のホームページ<br>でご確認ください。 |          |
| 時間                         |          |
| 13:50～15:35                |          |
| 受講料                        |          |
| 一般 11,000円<br>学生 5,500円    |          |
| 提供                         |          |
| 拓殖大学                       |          |
| 備考                         |          |

日本語・日本人論



【授業形態】 対面授業

【授業の目的及び到達目標】

大きく2つの目的をもって進める。「日本人論」や「日本語論」というものは巷に多く存在するが、それらが成立した（あるいは必要とされた）歴史的経緯に目を向け、できるだけメタ意識を持って「日本人」や「日本語」を論じる素養を身につけることを目指す。さらに、言語と文化の関係性に焦点を当て、「日本語らしさ」と指摘されるものについて、いくつかの議論の構造を理解する。「日本人」や「日本語」に対する直感的イメージを否定するわけではないが、その感覚を成立させているものについて、一歩引いた態度で考察できるようになることが目標である。

【授業計画】 対面授業

- 第1回：「日本人」とはだれを指すのか「日本人」は、いつからどのように「自分たち」を均質的な民族として描き出すようになったのか、歴史的経緯を概観すると同時に、現代の文脈も踏まえて「日本人」とは何かを考える。
- 第2回：「日本人論」はなぜ必要とされてきたか(1)日本では「日本人論」への関心が高いとされ、事実、「日本人論」に区分けされる書籍は膨大に上る。代表的なものを取り上げ、「日本人論」が求められてきた時代背景を考える。
- 第3回：「日本人論」はなぜ必要とされてきたか(2)引き続き、「日本人論」をめぐる議論を概観し、現代のメディア等に現れる日本人像についても取り上げる。

- 第4回：「日本語」はいつから「日本語」か(1)現代日本人が無自覚に「日本語」と捉えているものが、どのような経緯をたどってきているのか、特に近現代の「国語・国字問題」に焦点を当てて概観する。
- 第5回：「日本語」はいつから「日本語」か(2)引き続き、日本語観の変遷について概観する。
- 第6回：「言語は文化を反映している」のか(1)一般に言語と文化の関係について、これまでどのような議論がなされてきたかを概観する。
- 第7回：「言語は文化を反映している」のか(2)引き続き、言語と文化の関係をめぐる議論を概観し、具体的な事例も参照する。
- 第8回：文法と「日本語らしさ」「日本語らしさ」と指摘されるものについて、特に文法面の現象を取り上げる。
- 第9回：配慮・心地よさと「日本語らしさ」「日本語らしさ」と指摘されるものについて、丁寧さやコミュニケーションにおける快・不快の文化差に焦点を当ててみていく。
- 第10回：日本語教育と「日本語らしさ」「日本語らしさ」という概念を日本語教育の文脈で考える。
- 第11回：「日本語」の多様性とこれから「日本語」の多様性に焦点を当て、ここまでに取り上げていない、方言、位相語などについても理解を深める。
- 第12回：まとめとふりかえり授業全体をふりかえり、議論を深め、試験に備える。
- 第13回：試験とフィードバック試験を行い、ポイントとなる点について解説する。

受講生への

メッセージ



大学卒業後、さまざまな仕事を経験したのち、日本語教師に。昔の自分にとっては思いがけないことに、「ことば」を研究対象とする道に進むことになりました。「ことば」は人間活動のあらゆる事象とかがかりがあるので、その研究のアプローチのしかたは実にさまざまです。「ことば」を深く知るために、広げるべき視野は無限大といってもいいでしょう。興味がひとつに止まらないという人、その関心のひとつと「ことば」の関わりを探索することから大学での学びを始めてみませんか。

【講師】小井 亜津子（こい あつこ） 外国語学部 准教授 ……………

2002年3月 東京大学文学部歴史文化学科考古学コース卒業  
2012年3月 拓殖大学大学院言語教育研究科博士前期課程修了  
2018年3月 拓殖大学大学院言語教育研究科博士後期課程修了  
学術論文(単著)：2021年10月 「2変数の相関性を表す文の記述的研究―決まる／変わる／異なる／違う」を述語とする文を対象に―  
2022年3月 <聞き手行為+テモラッテモイ>構文を発話する話し手の4タイプ  
2022年10月 テモイと共に起るテモラウとテクレルの非対称性

|                            |          |
|----------------------------|----------|
| 4 - 16                     | 定員<br>5名 |
| 文化                         |          |
| 会場                         |          |
| 拓殖大学<br>MAP → P16 13       |          |
| 曜日・回数・実施日                  |          |
| 火曜日 13回                    |          |
| 学園都市大学のホームページ<br>でご確認ください。 |          |
| 時間                         |          |
| 9:20～11:05                 |          |
| 受講料                        |          |
| 一般 11,000円<br>学生 5,500円    |          |
| 提供                         |          |
| 拓殖大学                       |          |
| 備考                         |          |

日本語文化基礎



【授業形態】 対面授業

【授業の目的及び到達目標】

言語表現のスタイルは、時、場所、相手によって変わります。また、それぞれの場合の「最適」なスタイルは、表現者の母語や背景とする文化によっても異なり、表現者と受け手の文化が異なることが誤解の原因となることもあります。この授業の目的は、日本語の表現スタイルがどのように成り立っているのかを知ることにあります。表現スタイルを左右する要因を知ることによって、場面と文化を考慮した日本語表現スタイルを使用できるようになることを目指します。

【授業計画】

- 第1回：言語と言語が使用される文化・社会と密接に結びついていることを、予習課題へのフィードバックも交えながら、社会言語学の視点から検討します。
- 第2回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②言語相対性仮説の視点で、言語と文化がどのように関わっているのかを、予習課題へのフィードバックも交えながら、検討します。
- 第3回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②カテゴリー化を例に、異なる文化における世界認知のあり方と言語のあり方の間の普遍性と固有性について、予習課題へのフィードバックも交えながら、検討します。
- 第4回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、事態のとらえ方がどのように言語表現に表れるかを、予習課題へのフィードバックも交えながら、検討します。
- 第5回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、予習課題へのフィードバックも交えながら、アイデンティティの視点から人称代名詞と呼称語の使用について検討します。

- 第6回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、比喩表現について、予習課題へのフィードバックも交えながら、認知意味論の視点で検討します。
- 第7回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、予習課題へのフィードバックも交えながら、メタファーと共感の視点から感覚形容詞について検討します。
- 第8回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、ラポール・マネジメントの視点から、予習課題へのフィードバックも交えながら、対人配慮の言語表現への表れ方について検討します。
- 第9回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、コンテキスト、会話の含みの観点から、メッセージの意味と意図について、予習課題へのフィードバックも交えながら検討します。
- 第10回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、会話スタイルについて、予習課題へのフィードバックも交えながら、検討します。
- 第11回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②予習課題へのフィードバックも交えながら、地域方言の特性、言語政策や共通語とのかかわりの視点から、日本語の多様性について検討します。
- 第12回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②予習課題へのフィードバックも交えながら、性差、世代差、メディアの視点から、日本語の多様性について検討します。
- 第13回：① 復習課題(前回テーマ)へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、ことば遊びが成立する要件について、予習課題へのフィードバックも交えながら、言語面、文化面から検討します。

受講生への

メッセージ



学部・学科に関係なく、日本語や日本語教育に関心を持つ人、留学生との交流や異文化間コミュニケーションについて興味を持つ人は、気軽に研究室をたずねてください。

【講師】近藤 真宣（こんどう まさみ） 外国語学部 教授 ……………

1982年3月 慶応義塾大学 文学部 史学科(東洋史専攻)卒業  
著書(共著)：2016年7月『第69代横綱白鵬関研究』拓殖大学  
学術論文(単著)：2010年3月 日本語教育における評価の役割―統合評価法の可能性― ほか



## 4 - 17 言語

定員  
5名

### 初級スペイン語① I



#### 会場

拓殖大学

MAP → P16 13

曜日・回数・実施日

月曜日 13回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

#### 時間

15:45～17:30

#### 受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

#### 提供

拓殖大学

#### 備考

※指定教科書の購入が必須となります。  
※後期「初級スペイン語①Ⅱ」の受講に必修科目。

【授業形態】 対面授業

【授業の目的及び到達目標】

場面に応じたコミュニケーション力、スペイン語運用能力を身につけることを目的としています。①で文法の基礎を学び、②は応用として主に口頭練習の活動を行い、映像を通して文化についても学びます。

【授業計画】

- 第1回：目標：スペイン語で挨拶しよう！  
アルファベット、発音（母音・子音・音節分け・アクセントについての学習）
- 第2回：目標：スペイン語で挨拶しよう！  
音節分けやアクセントの規則に注意しながらスペイン語の発音に慣れる、聞き取りや発音
- 第3回：目標：依頼や注文の簡単な表現ができる  
文法：名詞の性（男性・女性）、数（単数・複数）/ 定冠詞・不定冠詞、主格人称代名詞、所有形容詞
- 第4回：目標：依頼や注文の簡単な表現ができる  
文法：名詞の性（男性・女性）、数（単数・複数）/ 定冠詞・不定冠詞、主格人称代名詞、所有形容詞
- 第5回：目標：タクシーで行き先を伝えることができる  
文法：形容詞、動詞serの直説法現在の活用と用法、否定文と疑問文

- 第6回：目標：タクシーで行き先を伝えることができる  
文法：形容詞、動詞serの直説法現在の活用と用法、否定文と疑問文
- 第7回：目標：ある特定の場所について尋ねることができる  
文法：動詞estar直説法現在の活用と用法、前置詞、指示形容詞、指示代名詞
- 第8回：目標：ある特定の場所について尋ねることができる  
文法：動詞estar直説法現在の活用と用法、前置詞、指示形容詞、指示代名詞
- 第9回：目標：人や物の存在や所在、状態や性質を表すことができる  
文法：存在を表すhay、serとestarの使い分け、数・時刻・日付
- 第10回：目標：人や物の存在や所在、状態や性質を表すことができる  
文法：存在を表すhay、serとestarの使い分け、数・時刻・日付
- 第11回：目標：現在のこと、習慣的な行為を表すことができる  
文法：規則活用する一般動詞の活用と用法
- 第12回：目標：現在のこと、習慣的な行為を表すことができる  
文法：規則活用する一般動詞の活用と用法
- 第13回：学期試験及びフィードバックとしての解説

受講生への

#### メッセージ



1987年生まれ。学部時代にスペイン語を専攻し、大学院からは文化人類学という学問をやってきました。文化人類学は異文化を研究することで自文化の当たり前を問い直すことにその醍醐味があります。この側面は、日本語（母語）とスペイン語（外国語）、二つの異なる言語（世界）を有するスペイン語学科の皆さんだからこそ、より深く実感できるものだと思います。皆さんも文化人類学的なものの見方を体験してみませんか？

【講師】池田 朋洋（いけだ ともひろ） 外国語学部 助教

2011年3月 上智大学外国語学部イスパニア語学科 卒業  
2013年3月 東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻文化人類学コース 修士課程 修了 修士（学術）  
学術論文（単著）：2016年10月 スペイン「住宅ローン被害者の会」におけるエンパワメント 一人の自律性と運動の集合性をめぐって『超域文化科学紀要』第21号 ほか

## 4 - 18 政治

定員  
5名

### 日米関係



#### 会場

拓殖大学

MAP → P16 13

曜日・回数・実施日

13回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

#### 時間

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

#### 受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

#### 提供

拓殖大学

#### 備考

※指定教科書の購入が必須となります。

【授業形態】 対面授業

【授業の目的及び到達目標】

本講義の目的は、日米関係の歴史を学習し、日本にとって特殊な二国間関係の誕生から発展、そして現状を解明することである。

19世紀から始まる日米関係の歴史は、友好と対立の歴史でもあった。この関係を総合的に学習し、現在両国間で発展しつつある問題に関する理解を深めることで、特定の二国間関係が国際関係の影響を受けながら変化する様子を知る。

本授業は、二国関係の歴史的文脈を理解し、これを用いて日米関係の将来に対する提言ができる能力を身につけることを到達目標とする。

【授業計画】

- 第1回：授業計画の説明を行うと共に、日米関係の現在地を解説し、なぜ日米関係を学ぶ必要があるかを説明する。
- 第2回：ペリー来航から日露戦争に至るまでの間の、日米関係の確立期について解説する。
- 第3回：日露戦争から第一次世界大戦に至る、両国間の緊張関係が高まっていく過程を解説する。

- 第4回：戦間期の日米関係を俯瞰する。
- 第5回：日米関係が戦争に向かう過程で、何が問題であったのかを解説する。
- 第6回：第二次世界大戦後の日米関係の歴史を振り返る。
- 第7回：日米安全保障条約を、条文ごとに解説し、その政策的意味を提示する。
- 第8回：日米安全保障協力の指針（ガイドライン）の内容を解説する。
- 第9回：日米安全保障関係において、今日問題となっている諸問題を解説する。
- 第10回：日米経済関係の歴史を振り返る。特に1980年代以降の日米経済摩擦について、その経緯と、今日の日米関係に及ぼした影響を解説する。
- 第11回：1990年以降の日米経済関係を解説する。日米経済摩擦の時代から、WTOの下での日米経済関係、そしてバイデンの国際経済政策と日本の対応について解説する。
- 第12回：バイデン政権下の日米関係について、最新の米国の日本専門家の論考などを参考にしながら解説する。
- 第13回：日米間の人的交流の歴史を振り返り、留学等の方法を解説する。

受講生への

#### メッセージ



大学生活において必ず身に付けなければならないのは、考える習慣です。現代社会で発生する出来事は、しばしば通常の想定を超えるものがあります。そのため、目の現象や経験に左右されるのではなく、基礎的な見識と教養を身に付け、社会が必要とした時に適切な対応が取れるようになる必要があります。そのため、大学では、腰を据え、古典を読み、学生同士で議論を重ね、教養を磨いて欲しいと思います。大学院生は、現場における見聞を深め、外における議論に積極的に参加し、自らの発信力を高める努力をして欲しいと思います。

【講師】佐藤 丙午（さとう へいご） 国際学部 教授

2004年4月 防衛庁防衛研究所研究部第五研究室主任研究官  
著書（共著）：2012年 「国連軍備登録制度」、「小型武器規制」他 黒沢満編著「軍縮問題入門（第4版）」（東信堂）  
2012年 核不拡散と核軍縮 竹内俊隆編著「21世紀の国際関係入門」  
2012年2月 Nuclear Nonproliferation and U.S.-Japan Cooperation Yuki Tatsumi, The New Nuclear Agenda: Prospects for U.S.-Japan Cooperation, Stimson 2012 ほか

4 - 19

言語

定員  
5名

会場

拓殖大学  
MAP → P16 13

曜日・回数・実施日

木曜日 13回

学園都市大学のホームページ  
で確認ください。

時間

11:15～13:00

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

拓殖大学

備考

※日本人受講生も歓迎します。

日本語教育概論（留学生クラス）



【授業形態】 対面授業  
【授業の目的及び到達目標】  
本授業は、日本語教育に関連したさまざまな分野を概観することと視野を広げることを目的とします。そのために、今後の専門的な学習に向けて、学習者自身で方向性を探索するための視座を得ることを目指します。授業では対話と協働的活動を取り入れ、様々な教育や実践についての理解を深めます。

【授業計画】  
第1回：授業の流れおよび評価方法などについて確認する。日本語教育と国語教育との違いを考える。  
第2回：歴史的な観点から、日本語教育について概観する。そのうえで、世界の様々な国の言語と日本語教育という視点から、各国の言語環境および国による学習者のニーズ・母語などの特徴を概観し、それぞれに違いがあることを理解する。  
第3回：複言語複文化主義とその背景について確認し、「やさしい日本語」の意義について考える。  
第4回：日本語らしさを表す特徴について知る。日本語の主観性について理解し、英語等と比較しながら母語による捉え方の違いについて考える。  
第5回：日本語らしさを表す特徴について知る。共感を示すための日本語のしくみについて考える。  
第6回：言語知識だけではカバーできない社会言語学的要素について概観する。最初に話者の属性による言語変種や言語変容について考える。

第7回：協調の原理や関連性理論などについて概略を理解する。その上で、語用論の捉え方について、経験を振り返りながら概観する。基本的な知識として、日本語の音節、アクセント、イントネーション、プロミネンスなどの音声教育について概観する。また、母語別の特徴や難しさについて考える。  
第8回：コミュニケーションとは何かを考えながら、ボライトネス理論およびコミュニケーションストラテジーを確認する。  
第9回：言語学習において特に重要だと考えられる概念について概観する。言語間距離について理解する。  
第10回：記憶や動機付けなどの学習における学習者心理の作用について概観する。  
第11回：日本語教育における基本的な知識として、動詞／形容詞の分類と活用、助詞／副助詞の捉え方について理解し、日本語の教え方について考える。  
第12回：日本語の文字と語彙の教育について概観する。また、非漢字圏の学習者と漢字圏の学習者のつまづきやすい点を整理し、教育の現状と課題について考える。  
第13回：第1回で持った疑問がどのように解消され、どのような知見を得たかについて共有し、レポート課題に対するフィードバックを行う。その上で、授業全体を振り返り、日本語教育に必要な知識・能力・態度について改めて考える。

受講生への  
メッセージ



みなさんとの出会いは一期一会ですから、この時間を大切にしていきたいです。みなさんの成長とともに、私自身もいろいろな挑戦をしながら勉強していきたいと思っています。

【講師】中村 かおり（なかむら かおり） 外国語学部 准教授 ……………  
1999年3月 杏林大学大学院 国際協力研究科 博士前期課程 修了  
著書（共著）：2018年12月 ことばでおぼえるやさしい漢字ワーク初級2 スリーエーネットワーク  
学術論文（共著）：2022年5月 レポート・論文作成のための引用指導の課題—初年次生と大学院生に対する引用箇所判断の調査から— 日本語／日本語研究13 ほか

4 - 20

心理

定員  
5名

会場

東京工科大学  
MAP → P16 17

曜日・回数・実施日

月曜日 14回

4月 15日 22日  
5月 6日 13日 20日 27日  
6月 3日 10日 17日 24日  
7月 1日 8日 15日 22日

時間

15:10～16:50

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

東京工科大学

備考

※科目等履修  
詳細は88ページ参照。  
  
※5月6日、7月15日は祝日  
開講します。

社会心理  
～社会の中で私たちの心はどう働くのか～

 **大学  
単位**

【授業方法】  
各テーマについて講義を中心に過ごします。いくつかのテーマにおいては、講義に先立って体験を尋ねたり、小調査を実施しながら進めます。  
すべての課題提出はMoodleを利用します。ノートPC等、Moodleを利用できる環境を準備してくること。

【履修上の注意】  
・履修希望者の人数によって受講制限をする場合がありますので、必ず履修希望調査に回答して下さい。  
・講義の中で扱う各テーマについて能動的に学び、自分の考えを表明する姿勢を求めます。

【準備学習】  
平日頃からニュース報道などに積極的に接し、今社会で何が問題となっているのかについて知識をもって臨んでください。

【成績評価方法・基準（科目等履修生のみ）】  
提出課題（小テスト、ミニレポート、受講レポート）（40%）、期末試験（60%）によって評価します。100点満点中60点以上が単位認定条件です。  
課題に対するフィードバックは講義内、またはMoodleを通じて行います。

【教科書】 指定しません

【参考書】  
池田謙一ほか著、社会心理学 補訂版、有斐閣、2019  
J. R. スミス & S. アレクサンダー著、樋口・藤島監訳、社会心理学再入門—ブレイクスルーを生んだ12の研究、新曜社、2017  
北村・浦ほか著、展望 現代の社会心理学1～3、誠信書房、2010

【授業計画】  
第1回：イントロダクション—社会心理学とは  
第2回：自己  
第3回：感情  
第4回：態度と説得  
第5回：対人関係  
第6回：攻撃行動  
第7回：リスク認知とコミュニケーション  
第8回：ステレオタイプ  
第9回：集団間の関係  
第10回：同調と逸脱  
第11回：流言  
第12回：世論  
第13回：ソーシャルネットワーク  
第14回：まとめ

【持ち物】 ノートPC

受講生への  
メッセージ

人は、なぜか見栄を張ってしまったり、差別的な見方をしてしまったり、他の人たちの意見に流されてしまったりするものです。一方で、自らの危険を顧みずに誰かを助けたり、仲間と協力しあって物事を達成する喜びを味わいます。そうした私たちの日常的な行動や心の動きは、人ががわめて社会的な存在であることと深く関係しています。本講義では、社会心理学の諸理論や基礎的概念を習得することによって、社会の中で人間がどのような行動をとるのか、どのような心の動きが起こるのか、その背後にある法則性を理解することを目指します。

【講師】鈴木 万希枝（すずき まきえ） 教養学環 教授 ……………  
修士（社会学）  
略歴：慶應義塾大学文学部卒業、同大学大学院社会学研究科修士課程・博士課程修了  
専門分野：メディア心理、ニュース研究  
著書：メディア・オーディエンスの社会心理学 改訂版、改訂 プロジェクト学習で始めるアクティブラーニング入門—テーマ決定からプレゼンテーションまで—



4 - 21  
科学 定員 5名

サステイナブル工学基礎



会場

東京工科大学

MAP → P16 17

曜日・回数・実施日

月曜日 14回

|    |     |     |     |     |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 4月 | 15日 | 22日 |     |     |
| 5月 | 6日  | 13日 | 20日 | 27日 |
| 6月 | 3日  | 10日 | 17日 | 24日 |
| 7月 | 1日  | 8日  | 15日 | 22日 |

時間

8:50～10:30

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

東京工科大学

備考

テキスト代：2,640円  
※受講料の他必要となります。

※科目等履修  
詳細は88ページ参照。

※5月6日、7月15日は祝日  
開講します。

【授業方法】

講義は教科書に沿って進め、適宜補助資料を参照する。基本は三学科合同での授業だが、途中各学科に分かれてより専門的な講義と学内設備の見学等を行う。

受講者は聴講に加え、与えられた演習課題やワークシートに取り組みサステイナブル工学に関する知識と評価手法を習得していく。また、講義の中間および最終段階では提示された課題についてグループワークによる討議等を行い、問題の理解度を受講者が相互に確かめつつ解決策を検討する。さらに、自身の考察内容を個別のレポートにまとめ、知識の整理と高度化を図る。

授業中の演習課題等では学習支援システムmoodleを利用するので授業に際してノートPCは必須である。

【履修上の注意】

本講義で多くのデータを紹介する「環境白書」および「エネルギー白書」の最新版をダウンロードし、講義期間中に一度は必ず目を通すこと。

【準備学習】

授業前に必ず下記教科書の当該部分を一読し、概要を把握しておく。授業後は教科書に掲載された演習問題に取り組むとともに、講義や討議の内容を次回までに整理する。また、ワークシート等の課題が与えられた場合は、期限を厳守し必ず提出すること。

【成績評価方法・基準(科目等履修生のみ)】

各授業で行う小テスト・演習課題等による理解度チェック(50%)、レポートの内容(20%)、期末試験の成績(30%)により総合的に評価する。なお、各%は目安である。

【教科書】

芝池成人編著「サステイナブル工学基礎」(コロナ社、2018)

受講生への

メッセージ

サステイナブル工学とは、持続可能な社会(サステイナブル社会)の実現に貢献するために、研究や技術開発において、ライフサイクル思考に基づいて planet (地球環境との調和)、people (生活の質の向上)、prosperity (経済の活性化) という3つの視点を同時に考慮し、それぞれを望ましい水準に保つとともに、将来に渡って維持・向上する方向での科学的なアプローチを実践する工学である。本授業では、サステイナブル工学を実践する研究者や技術者の必須要件として、工学技術の新たな基盤となるライフサイクル思考をはじめ、環境やエネルギーの問題とその解決に向けた機械工学、電気電子工学、応用化学の各分野における技術的な課題や対策事例、ならびに製品等のサステイナビリティの測定に有効な指標や分析・評価を可能とするライフサイクルアセスメント等の手法について包括的に学ぶ。

【講師】江頭 靖幸 (えがしら やすゆき) 工学部 応用化学科 教授 ……………

博士(工学)

略歴：東京大学大学院工学系研究科博士課程単位取得退学

専門分野：化学工学、反応工学

著書：水学への誘い、沙漠の事典、魅力ある授業のために2、沙漠を森に

野田 龍之介 (のだ りゅうのすけ) 工学部 機械工学科 教授・博士(工学) ……………

高橋 秀智 (たかはし ひでとも) 工学部 機械工学科 教授・博士(工学) ……………

木村 康男 (きむら やすお) 工学部 電気電子工学科 教授 ……………

4 - 22  
情報 定員 5名

情報セキュリティ  
～コンピュータの知識を増やし論理的思考力を伸ばす～



会場

東京工科大学

MAP → P16 17

曜日・回数・実施日

火曜日 14回

|    |     |     |     |     |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 4月 | 16日 | 23日 |     |     |
| 5月 | 7日  | 14日 | 21日 | 28日 |
| 6月 | 4日  | 11日 | 18日 | 25日 |
| 7月 | 2日  | 9日  | 16日 | 23日 |

時間

10:45～12:25

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

東京工科大学

備考

テキスト代：3,300円  
※受講料の他必要となります。

※科目等履修  
詳細は88ページ参照。

【授業方法】

ノートPCの使用と学内ネットワークへの接続を前提に、講義形式で授業を行う。全受講者はノートPC必携とする。

【準備学習】

コンピュータ概論I、コンピュータ概論II、情報リテラシーの内容を理解していることを前提に講義を行うので、これらの科目の単位取得が無にかかわらず、本講義の開始日までにその内容を理解していること。

予習として、次の回の授業に必要な前提知識を、コンピュータ概論I、コンピュータ概論II、情報リテラシーの教科書を使って再確認する。

復習として、その回の授業におけるMoodleの小テストで不正解となった項目について、講義資料と照らし合わせて確認する。

【履修上の注意】

コンピュータ概論I、コンピュータ概論II、情報リテラシーの内容を理解していることを前提に講義を行うので、これらの科目の単位取得が無にかかわらず、本講義の開始日までにその内容を理解していること。

予習として、次の回の授業に必要な前提知識を、コンピュータ概論I、コンピュータ概論II、情報リテラシーの教科書を使って再確認する。

復習として、その回の授業におけるMoodleの小テストで不正解となった項目について、講義資料と照らし合わせて確認する。

【成績評価方法・基準(科目等履修生のみ)】

数回の課題レポートおよび期末試験により成績評価を行う。期末試験結果とレポートは、100対27の比率で総合成績に反映する。

Moodle小テストの得点はこれに期末試験の最大15%の割合で加算される。

受講生への

メッセージ

本講義は情報セキュリティについての理解を深めることを目的とする。ネットワークを介した不正攻撃、コンピュータウイルスの仕組みや対策、ファイアウォールの原理などのネットワークセキュリティ、共通鍵暗号、公開鍵暗号、ハッシュなどの暗号技術、暗号理論を応用した認証技術、電子透かし技術、匿名化通信、IoTセキュリティについての解説を行う。

この授業では主に論理的な思考力を身につけることを目的としている。さらに、実学に基づく専門能力を鍛えることを目指している。

【講師】宇田 隆哉 (うだ りゅうや) コンピュータサイエンス学部 コンピュータサイエンス学科 准教授 ……

博士(工学)

略歴：慶應義塾大学大学院修了

専門分野：ネットワークセキュリティ

レポートおよび小テストのフィードバックはMoodleにて行う。

【教科書】

宮地充子、菊池浩明編著、「IT Text 情報セキュリティ 改訂2版」、オーム社(2022年)

【授業計画】

第1回：情報セキュリティの目的、技術的対策方法について概要を学ぶ

第2回：不正攻撃に対するコンピュータの脆弱性、攻撃手法と対策について学ぶ

第3回：代表的コンピュータウイルスの種類と機能、対策について学ぶ

第4回：ファイアウォールの仕組み、NAT、DMZについて学ぶ

第5回：共通鍵暗号、ハッシュの技術について学ぶ

第6回：公開鍵暗号の技術について学ぶ

第7回：電子署名、タイムスタンプなどの認証技術について学ぶ

第8回：認証技術を応用したSSL、S/MIME、PGP、VPN、WEPの仕組みについて学ぶ

第9回：PKIの基礎について学ぶ

第10回：電子透かしについて学ぶ

第11回：ブロックチェーン技術について学ぶ

第12回：バイオメトリクスについて学ぶ

第13回：IoTセキュリティについて学ぶ

第14回：総復習を行う

【持ち物】 ノートPC



4 - 23

環境

定員  
5名

地球環境科学  
～大気や水にかかわる現象を学んで地球環境を考える～



大学  
単位

会場

東京工科大学  
MAP → P16 17

曜日・回数・実施日

火曜日 14回

4月: 16日, 23日

5月: 7日, 14日, 21日, 28日

6月: 4日, 11日, 18日, 25日

7月: 2日, 9日, 16日, 23日

時間

8:50～10:30

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

東京工科大学

備考  
※科目等履修  
詳細は88ページ参照。

【授業方法】

授業では要点を解説するとともに、質問と応答を重視したアクティブラーニングの形式でおこなう。LMS (Moodle) 上に講義資料をあらかじめ掲載しておくので、授業前に目を通しておくことが望ましい。これらの講義資料に目を通すことによって、実学に基づく専門能力が養成されるとともに、地球環境に関するデータを読み解くことによって、分析・評価能力が育成されるように工夫されている。毎回の授業では、出席の確認をかねた小課題を課すことによって、自律的な学びを定着させ、また、さまざまな問題に対する幅広い意見を拾い上げることで、問題解決力を育成する。LMS (Moodle) 上で回答する課題も用意しているので、その回答が可能なデバイス (たとえばノートPC) が必要である。

【履修上の注意】

この科目の受講のために前もって履修が必要な科目は設定していないが、基本的な化学についての講義、および、基本的な化学実験を経験していることが望ましい。

【準備学習】

予習のための講義資料をMoodleに掲載しているので、事前に目を通しておくこと。また、復習のためのキーワードを別に提示しているので、授業後にそれらの語句が自分のことばで説明できるようになっているか、毎回、確認してください。

【成績評価方法・基準 (科目等履修生のみ)】

60点を期末試験、40点を14回の講義中に回収する課題の評価とし、その合計で評価する。期末試験には合格最低点がある。また、小課題にも合格するための最低提出回数が設定されている (原則として毎回提出)。毎回の課題については、回答例や考え方を授業中に解説し、フィードバックをおこなう。

【教科書】 指定しない

【参考書】

松本淳著「はじめての大気環境化学」コロナ社 (2015)  
D.J.ジェイコブ著「大気化学入門」東京大学出版会 (2002)  
小倉義光「一般気象学」東京大学出版会 (2016)  
浦瀬太郎著「公害防止管理者 [水質関係] 完全合格教本 (改訂3版)」新星出版社 (2018)  
山崎友紀著「地球環境学入門」講談社 (2020)

【授業計画】

第1回: 地球大気の組成と大気の垂直分布 (秋元)  
第2回: 大気の安定度と雲の形成 (秋元)  
第3回: 気圧と気象 (秋元)  
第4回: 地球規模での大気の循環と世界の気候 (秋元)  
第5回: 二酸化炭素の存在量と循環 (秋元)  
第6回: 太陽活動と地球の温度 (秋元)  
第7回: 温室効果と地球の放射 (秋元)  
第8回: 有機物の地球上での循環と反応、測定 (浦瀬)  
第9回: 栄養塩の地球上での循環と反応、測定 (浦瀬)  
第10回: 水の成層と水質現象 (浦瀬)  
第11回: 病原微生物と地球環境問題 (浦瀬)  
第12回: 難分解性化学物質の毒性評価、地球規模での挙動 (浦瀬)  
第13回: 水処理技術の基礎 (物理処理、化学処理、生物処理) (浦瀬)  
第14回: 上下水道などの環境管理施設 (浦瀬)

【持ち物】 ノートPC

受講生への  
メッセージ

環境関連の業界 (たとえば、環境分析コンサルタント業、水処理業、農業法人、種苗業など)、あるいは、企業の環境管理部門への就職を目指す学生に必須となる地球環境およびそれを構成する大気圏、水圏の様々な現象について、講義する。また、他産業へ就職する学生にとっても、持続的な社会における判断や戦略に役立つ基礎的素養を本講義によって身につけることができる。具体的には、大気の運動、地球の熱収支、水質現象、人類に影響を与える化学物質や微生物に関する地球規模での問題についての基本的知識を講義する。

【講師】 浦瀬 太郎 (うらせ たろう) 応用生物学部 教授 ……………

博士 (工学)  
専門分野: 上下水道、環境化学、水処理プロセス、環境水質学、環境中の医薬品や臭気物質、薬剤耐性菌 (キーワード: 上下水道、水質化学、環境分析、医薬品の環境影響、臭気)  
著書: におい嗅ぎGCを利用した下水処理水の臭気分析

秋元 卓央 (あきもと たくお) 応用生物学部 教授・博士 (工学) ……………

4 - 24

コンピュータ

定員  
5名

3次元コンピュータグラフィックス論  
～ CG 映像を生成する計算技術を体系的に解説～



大学  
単位

会場

東京工科大学  
MAP → P16 17

曜日・回数・実施日

木曜日 14回

4月: 18日, 25日

5月: 9日, 16日, 23日, 30日

6月: 6日, 13日, 20日, 27日

7月: 4日, 11日, 18日, 25日

時間

15:10～16:50

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

東京工科大学

備考  
テキスト代: 3,960円  
※受講料の他必要となります。  
  
※科目等履修  
詳細は88ページ参照。

【授業方法】

授業資料は予習のために事前配布する。履修生は事前に質問を提出することができる。スライドを使った講義がメインだが、履修生の事前質問への回答に重点を置く。それに加え以下のような方法で受講生の理解を深める。

- ・授業中にCGソフトやサンプルプログラムを各自が実行し、習ったことを実際にCG表示して確かめるアクティブラーニングを実施する
- ・小テストを行い、授業時間内に正答率を確認し講師が解説を行う
- ・課題として、通常の文章レポートのほか簡単なCGモデル作成などを行うプログラム言語としてProcessingを用いる。また、フリーのCGソフトであるPOV-Rayを利用した形状モデリングを行う。

授業にはノートPC持参のこと。

【履修上の注意】

本科目を修得することによって、授業範囲に関してはCG-ARTS協会のCGエンジニア検定エキスパート相当の力がつく。ただし、実際の検定受験にあたっては授業範囲外の分野の自己学習が必要である。

【準備学習】

「CG数理の基礎」を受講していることを前提として授業を行う。未受講の学生には、過去の「CG数理の基礎」授業資料で事前に自主学習しておくことを推奨する。  
「CG・ゲームのための数学」「CG制作の基礎」「デジタル映像表現論」を受講しておくことが望ましい。  
各回授業の一週間前をめどに授業スライド資料を配布する。履修生は予習として資料に目を通しておくこととする。予習時に生じた疑問は事前質問として任意提出することができる。事前質問に対して教員は回答を授業時に説明する。各回授業の復習として、スライド全体を見直すほか、教科書の該当ページを読んで多角的な観点から内容を理解することを推奨する。また、小テストを再度解答し、内容理解が問題解決に結びついているかを確認すること。

【成績評価方法・基準 (科目等履修生のみ)】

数回のレポート課題の評価と期末試験結果を50:50の比率で総合成績に反映する。100点満点で60点以上を合格とする。  
授業中の小テストは、教員による理解度確認と出席確認が目的で、原則として成績には反映しない。ただし、提出回数が極端に少ない場合は成績判定に影響する。フィードバックとして、小テスト実施直後に解答分布を提示し、誤答の多い部分について詳しい解説を行う。  
事前質問の提出頻度と内容に応じて総合成績に最大10点を加算する。

【教科書】

コンピュータグラフィックス (CG-ARTS協会)

【参考書】

コンピュータ情報処理 (CG-ARTS協会) (上記教科書とこの参考書のどちらか一方でよい)

【授業計画】

第1回: ガイダンス、CG技術の概要  
第2回: ビューイングパイプライン (座標変換、投影、クリッピング)  
第3回: モデリングの基礎 (形状表現、曲線・曲面)  
第4回: モデリングシステム (CADシステム、形状入力、フォトグラメトリ、デジタルアーカイブ)  
第5回: 隠面消去 (実行ソート法、スキャンライン法、Zバッファ法)  
第6回: シューディング (照明モデル、反射モデル、BRDF、スムーズシェーディング)  
第7回: 影付け・マッピング (シャドウマップ、シャドウポリゴン、テクスチャ、パンフマップ、環境マップ)  
第8回: CGシステムとリアルタイムレンダリング (GPU、グラフィックスパイプライン、シェータ)  
第9回: レイトレーシング法 (交差判定、反射・屈折、高速化)  
第10回: フォトンマッピング法 (モンテカルロ法、k-dツリー、集光現象)  
第11回: ボリュームレンダリング (等値面、レイキャスティング、散乱)  
第12回: 特殊なレンダリング (IBR、NPR)  
第13回: キャラクターアニメーション (インバースキネマティクス、形状変形、モーションキャプチャ)  
第14回: 特殊効果・動きのシミュレーション (剛体、柔軟物体、流体)

【持ち物】 ノートPC

受講生への  
メッセージ

3次元コンピュータグラフィックス (3DCG) の理論のうち、レンダリング技術を中心として、3次元モデルをリアルに表現する手法を学ぶ。網羅的な内容であるが、一部の項目に関してはプログラムの実装など詳細を説明する。  
この科目を受講することによって、3DCG表現で使われる技法を深く理解することができる。流行に左右されない普遍的な技術を解説するので、受講者は長く役立つ知識を身につけることができる。

【講師】 柿本 正憲 (かきもと まさのり) メディア学部 教授 ……………

博士 (情報理工学)  
略歴: 東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻博士課程修了  
専門分野: ビジュアルコンピューティング、コンピュータグラフィックス  
著書: CG数理の基礎

4 - 25 定員 5名  
政治

国際関係論  
～世界と日本の今を知る～



会場

東京工科大学

MAP → P16 17

曜日・回数・実施日

木曜日 14回

|    |     |     |     |     |  |
|----|-----|-----|-----|-----|--|
| 4月 | 18日 | 25日 |     |     |  |
| 5月 | 9日  | 16日 | 23日 | 30日 |  |
| 6月 | 6日  | 13日 | 20日 | 27日 |  |
| 7月 | 4日  | 11日 | 18日 | 25日 |  |

時間

8:50～10:30

受講料

一般 11,000円  
学生 5,500円

提供

東京工科大学

備考

※科目等履修  
詳細は88ページ参照。

【授業方法】

教科書はなく、プリントを使用します。ノートを取るよりもその場で理解し、批判的に考えて、質問や疑問を提示して下さい。

【履修上の注意】

履修希望調査を必ず提出してください。私語等の講義の妨げになる行為を禁止します。電車の遅延等の正当な理由のない遅刻も認めません。以上を前提に履修して下さい。

【成績評価方法・基準(科目等履修生のみ)】

5回的小テスト(予告なし)で評価します。合計10点満点で5点以上が合格の目安です。毎回(小テスト実施回を除く)の受講投稿の優れたものは加算します。投稿(質問)へのフィードバック(回答)は次の講義で行います。

【教科書】 指定しません。

【参考書】

中西寛『国際政治とは何か』中央公論新社  
ジョセフ・ナイ『国際紛争』有斐閣  
ロスリング『FACTFULNESS』日経BP

【授業計画】

- 第1回：世界の多様性(1)
- 第2回：世界の多様性(2)
- 第3回：グローバリゼーション(1)経済
- 第4回：グローバリゼーション(2)文化
- 第5回：グローバリゼーション(3)環境
- 第6回：反グローバリゼーション(1)民族・人種
- 第7回：反グローバリゼーション(2)宗教
- 第8回：反グローバリゼーション(3)経済・文化
- 第9回：アメリカ極支配は終わるか
- 第10回：民主主義の危機
- 第11回：食で見る世界
- 第12回：スポーツで見る世界
- 第13回：戦争と平和
- 第14回：数字で見る世界

受講生への

メッセージ

世界は様々な政治体制・民族・宗教の200の国からなります。1990年頃東西冷戦が終わり、多様な世界がグローバリゼーションによって「アメリカ化」するかと思われました。しかし、21世紀に入って、反グローバリゼーションの動きが強まっています。グローバリゼーション(統合)と反グローバリゼーション(分裂)をキーワードにして、世界の現状を政治・経済・文化・宗教等の多様な視点で学びます。常に、世界の中の日本を意識して国際情勢の解説や他国との比較を行います。以上によって、国際的な教養だけでなく、異文化や異なる政治的立場の間での「対話」ができる論理的な思考力、コミュニケーション能力を身に付け、政治や日本を論じられる社会人となることを目指します。自然科学と異なり、正解のないのが社会科学ですが、学習によって以上の成果が期待できます。

【講師】 落合 浩太郎(おちあい こうたろう) 教養学環 教授 ……………

法学修士

略歴：慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了  
専門分野：国際関係論、安全保障、インテリジェンス

4 - 26 定員 2名  
健康

生体学



会場

山野美容芸術短期大学

MAP → P16 19

曜日・回数・実施日

15回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

時間

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

受講料

詳細は88ページへ

提供

山野美容芸術短期大学

備考

※この講座は科目等履修のみ  
です。詳細は88ページ参照。

運動・身体活動とは何か、健康増進・生活習慣病予防と運動・身体活動の関係、健康づくりの具体策について科学的根拠に基づいて教授する。

※ZOOMによる同時双方向(リアルタイム)のオンライン授業とする場合があります。

※原則15週の授業ですが、状況により休講などで回数の調整をする場合があります。

受講生への

メッセージ

- ・本科目は、授業時間外に実施していただく課題が多くなります。
- ・グループや個人で、学んだ内容に対する意見を発表をしていただきます。
- ・他者の意見に傾聴し、適宜意見や感想を述べていただきます。
- ・問いを与え回答させるとともに回答に対する解説など双方向の授業を展開します。

【講師】 永松 俊哉(ながまつ としや) 美容総合学科 教授 ……………

美容総合学科 教授 博士(保健学)

福岡教育大学大学院教育学研究科修了 公財)明治安田厚生事業団体力医学研究所所長を経て現職  
専門分野は公衆衛生学、運動生理学、健康科学

著書：新運動生理学(下巻) 真興交易医書出版部 2001年

運動とメンタルヘルス 杏林書院 2012年

ポジティブ脳に切り替えるストレッチ メディカルトリビューン社 2014年

ストレッチで不調を改善する伸活 学研パブリッシング 2014年

Depression Frontier 医薬ジャーナル社 2015年

発達と老化の理解 こころとからだの仕組み 全国社会福祉協議会 2016年

こころの健康シリーズVII 日本精神衛生会 2019年

ないすらいふ情報 中高年齢者雇用福祉協会 2020年

学生のための健康管理学 南山堂 2021年







4 - 29

コミュニケーション

定員  
2名

## 美しいサービス

大学  
単位

## 会場

山野美容芸術短期大学

MAP → P16 19

## 曜日・回数・実施日

15回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

## 時間

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

## 受講料

詳細は88ページへ

## 提供

山野美容芸術短期大学

## 備考

※この講座は科目等履修のみ  
です。詳細は88ページ参照。

お客様の気持ちを察し深掘りすること、お客様の期待に応えることとはどのようなことかを理解します。そのためには、ディプロマポリシーにある「多様な価値観や考え方を理解し受け入れる能力」を培います。また「日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力」を身につけることで、日本が誇る「おもてなし」とはどのようなことかを理解すると共に、実践することができます。サービスする相手の喜びが自分の喜びとなることに気づき、仕事とは・プロフェッショナルということとはどのようなことかを考えていきます。

【持ち物】 筆記用具等

※ZOOMによる同時双方向(リアルタイム)のオンライン授業とする場合があります。

※原則15週の授業ですが、状況により休講などで回数の調整をする場合があります。

【講師】原 素子(はら もとこ) 非常勤講師 .....

4 - 30

教養

定員  
2名

## 伝承美(茶道)

大学  
単位

## 会場

山野美容芸術短期大学

MAP → P16 19

## 曜日・回数・実施日

15回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

## 時間

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

## 受講料

詳細は88ページへ

## 提供

山野美容芸術短期大学

## 備考

教材費: 9,130円  
※受講料の他必要となります。※この講座は科目等履修のみ  
です。詳細は88ページ参照。

社会で活躍するためには、専門的な知識や技術の習得のみならず、洗練された接客マナーが求められます。各回とも講義と実技(点前の稽古)を組み入れ、帛紗の扱い・帛紗さばき・お茶の点て方・飲み方を学びます。講義では、禅語の読み方・意味を学び、日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できるよう育成する。

【持ち物】 腰紐、白いソックス、  
髪を束ねるゴム

※ZOOMによる同時双方向(リアルタイム)のオンライン授業とする場合があります。

※原則15週の授業ですが、状況により休講などで回数の調整をする場合があります。

【講師】河原 薫(かわはら かおる) 非常勤講師 .....

| 4 - 31                          | 定員<br>2名       | 伝承美（着装）Ⅰ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 大学<br>単位                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会場                              |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 山野美容芸術短期大学<br>MAP → P16 19      |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 曜日・回数・実施日                       |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 15回                             |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 学園都市大学のホームページ<br>でご確認ください。      |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 時間                              |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 学園都市大学のホームページ<br>でご確認ください。      |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 受講料                             |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 詳細は88ページへ                       |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 提供                              |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 山野美容芸術短期大学                      |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 備考                              |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| 教材費：10,000円<br>※受講料の他必要となります。   |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
| ※この講座は科目等履修のみ<br>です。詳細は88ページ参照。 |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |
|                                 | 受講生への<br>メッセージ | <p>① 実習時は髪を一つに束ねる事、素足入室は厳禁<br/>② コンテスト練習、試験のための自主練習は授業時間外に実施することもあります。</p> <p>【講師】佐藤 美奈子（さとう みなこ）美容総合学科 教授 ……………</p> <p>上野学園大学器楽学科ピアノ専攻卒業（中学・高校教員免許取得）、山野美容専門学校通信課程卒業（美容師免許取得）、山野流着装宗伝、全日本ブライダル協会ブライダルコンサルタント、ウエディングプランナー、NPO法人全日本ブライダル協会ブライダル講師、Jafa日本フォーマル協会フォーマルスペシャリスト、ヤマノビューティーウエルネス パーソナルカラーアドバイザー、日本ダイエット推進センター ダイエットスペシャリスト、着装研究センター設立、同志社大学大学院総合政策科学研究科博士（前期課程）<br/>著書：ヘアと帯結び2011（共著）美容総合出版 2010年<br/>ヘアと帯結び2012（共著）美容総合出版 2011年<br/>「笑顔という、たったひとつのルール」（著書参与）幻冬舎 2015年<br/>「和装花嫁と列席者の装いバイブル」（著書参与）世界文化社 2015年<br/>さもの知識検定公式教本 さもの知識全書（企画構成）世界文化社 2017年<br/>別冊家庭画報 振袖大好き（共著）2018年</p> | <p>【持ち物】 半紙、筆記用具、白ソックス、白タオル5本、ハサミ、名前ペン、脱脂綿50g（1枚の大きなもの）<br/>女子は前後の衿が大きく開いたシャツ（キャミソール）、7分丈迄のレギンス、男子はVかU字型シャツ、短パン</p> <p>※ZOOMによる同時双方向（リアルタイム）のオンライン授業とすることがあります。<br/>※原則15週の授業ですが、状況により休講などで回数の調整をすることがあります。</p> |

| 4 - 32                          | 定員<br>2名                                                                            | 色彩学                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 大学<br>単位                                                                                    |
|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会場                              |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 山野美容芸術短期大学<br>MAP → P16 19      |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 曜日・回数・実施日                       |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 15回                             |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 学園都市大学のホームページ<br>でご確認ください。      |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 時間                              |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 学園都市大学のホームページ<br>でご確認ください。      |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 受講料                             |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 詳細は88ページへ                       |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 提供                              |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 山野美容芸術短期大学                      |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 備考                              |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| 教材費：1,500円<br>※受講料の他必要となります。    |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
| ※この講座は科目等履修のみ<br>です。詳細は88ページ参照。 |                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |
|                                 |  | <p>【講師】栗本 佳典（くりもと よしのり）美容総合学科 教授 ……………</p> <p>多摩美術大学美術学部油画科卒業<br/>多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻修了<br/>私立橘学苑勤務（非常勤講師）<br/>多摩美術大学油画研究室勤務<br/>1987 多摩美術大学大学院修了 日本グラフィック展佳作賞<br/>1998 東京国際ミニプリントトリエンナーレ展審査員特別賞<br/>2012 町田市立国際版画美術展にて公開制作<br/>日本美術家連盟会員、日本版画協会会員 専門分野は美術教育・版画制作<br/>著書：美容師のための造形と色彩 山野インターナショナル 1998年<br/>新しい木版画入門（共著）誠文堂新光社 2000年<br/>だれでもできる木版画はがき（共著）誠文堂新光社 2000年</p> | <p>※ZOOMによる同時双方向（リアルタイム）のオンライン授業とすることがあります。<br/>※原則15週の授業ですが、状況により休講などで回数の調整をすることがあります。</p> |

## 4 - 33 心理

定員  
3名

### ペットロス論



#### 会場

ヤマザキ動物看護大学

MAP → P17 20

#### 曜日・回数・実施日

15回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

#### 時間

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

#### 受講料

一般 11,000円

学生 5,500円

#### 提供

ヤマザキ動物看護大学

#### 備考

ペットロスの定義、社会的背景、悲嘆反応、立ち直りのプロセス等を概観した後、ペット喪失前後の飼い主とペットの関係性、悲嘆の多様性、周囲の他者との関係性等、ペットロスに影響を及ぼす諸要因を学びます。最新の関連研究の考察も含め、ペットロスに対する予防と対処について知識を深めてゆきましょう。

#### 受講生への

#### メッセージ



大切なペットとも、いつかはお別れしなければなりません。ペットロスへの理解を深め、支援や予防を目指しましょう。その知識は、いずれ人間家族を見送る日への備えにもなることでしょう。梅雨前に（日程未決定）府中市内にある慈恵院付属多摩犬猫霊園を見学予定です。講義2回分として実施いたしますので、一般受講生もお申し出のうえ参加可能です（当日の現地までの交通費は各自でご負担下さい）。このため、学内実施の座学講義は13回となります。

【講師】新島 典子（にいじま のりこ） 動物看護学部 動物人間関係学科 教授 ……………

専門社会調査士、ヒトと動物の関係学会評議員。専門は、ペットの社会学・死生学。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程満期退学。東京大学特任研究員として死生学の研究に従事したほか、麻布大学、東京歯科大学、横浜国立大学、区民大学他でも講師を歴任。著書：共編著に『ヒトと動物の死生学』秋山書店、共著書に『東大ハチ公物語』東京大学出版会、『動物のいのちを考える』朔北社、『感情社会学の展開』北樹出版、『明るい老犬生活』文一総合出版、『動物の事典』朝倉書店、『Companion Animals in Everyday Life』Palgrave Macmillan、『現代社会と家庭動物』動物愛護社会推進協会、『家族社会学事典』丸善出版ほか。

## 4 - 34 教養

定員  
3名

### 高齢動物看護学



#### 会場

ヤマザキ動物看護大学

MAP → P17 20

#### 曜日・回数・実施日

15回

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

#### 時間

学園都市大学のホームページ  
でご確認ください。

#### 受講料

一般 11,000円

学生 5,500円

#### 提供

ヤマザキ動物看護大学

#### 備考

全15回で、高齢動物と高齢動物をめぐる状況を始めとして、高齢動物で問題となる様々な疾患について学びます。高齢動物で問題となる疾患とは循環器疾患、呼吸器疾患、消化器・内分泌疾患、運動器・神経疾患、認知障害、腫瘍疾患、皮膚疾患、眼科疾患、術後管理・リハビリテーション、感染症、泌尿器疾患、歯科疾患がありますが、これらの看護について学びます。さらに最後にグリーフケアについても学びます。

#### 受講生への

#### メッセージ

人間と同じように犬や猫も年をとります。年をとった動物には人間と同じような病気や動物特有の病気がでます。最近の動物病院では10歳以上の犬や猫の受診が増えています。本学4年生と一緒に高齢動物で問題となる病気の看護について学びましょう。

【講師】富田 幸子（とみた さちこ） 動物看護学部 動物看護学科 教授 ……………

専門は心血管発生学。ヤマザキ動物看護大学では1年生から4年生まで臨床系の科目を担当。高齢動物看護学はその1科目。著書：「新 先天性心疾患を理解するための臨床心臓発生学」メディカルビュー社、2022年



# 一般講座

大学及び協力機関から学園都市大学（いちょう塾）  
のために企画提供された講座です。

※状況によっては、定員を変更する場合があります。

4 - 35 定員 20名  
言語

韓国語講座入門編（前期）  
～ハングル文字をマスターしよう～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

月曜日 6回

4月 8日・22日

5月 13日・27日

6月 10日・24日

時間

13:30～15:00

受講料

一般 5,000円

学生 2,500円

提供

東京純心大学

備考

【講座内容】

韓国語を学んだことがない初心者向けの講座です。アルファベットと違って記号のようなハングル文字を6回の講座で全てマスターすることを目指します。日本語は主に子音と母音の組み合わせで表現しますが、韓国語は英語と似ており、子音+母音に子音+母音+子音という組み合わせが存在します。ローマ字と形は違うが、書きやすく、覚えやすいです。アルファベットや絵を使って分かりやすく、楽しく説明します。まずはハングル文字が読めるようになりたいという方にお勧めします。

【講座計画】

- 第1回 韓国語の特徴と文字の仕組み・母音の説明
- 第2回 母音と子音を合わせての文字の説明・練習
- 第3回 韓国語の二重母音の説明・練習
- 第4回 パッチムとはどういう発音？
- 第5回 発音のルールの説明・練習
- 第6回 ハングルの読んでみよう

※本講座を申込んだ方は「韓国語講座」の他のクラスには同時に申込みことはできません。

※この講座は令和5年度後期と同じ内容です。

受講生への

メッセージ



韓国の文化に興味があり、日常でドラマや映画、歌などを楽しんだりしても韓国語にはあまり関心がなかった方はい多いと思います。この講座を通してせめてハングルと呼ばれる韓国語の文字を学んでみませんか。独学で勉強していてもよく理解できない、まずは文字だけでもマスターしたいという方にお勧めします。もう一つのアルファベットを身につける気持ちでチャレンジしてみてください。

【講師】 具 軟和（ぐ よんふあ） 看護学科/こども文化学科 非常勤講師

韓国ソウル生まれ。お茶の水女子大学博士後期課程単位取得退学、日韓対照言語学専攻。NHK文化センター、秀林外語専門学校、2004年から2018年まで東京純心大学の韓国語非常勤講師を経て、現在はお茶の水女子大学、上智大学、武蔵野大学の非常勤講師として在職。

4 - 36 定員 17名  
言語

韓国語講座初級編（前期）  
～優しく楽しく学ぶ韓国語～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

月曜日 8回

4月 8日・22日

5月 13日・27日

6月 10日・24日

7月 8日

8月 5日

時間

15:20～16:50

受講料

一般 6,500円

学生 3,200円

提供

東京純心大学

備考

ハングルの文字が全て読めて、基本文法「-요(ヨ)体」を少し理解できているレベルの方にお勧めします。使用度が高いいくつかの文法を取り上げ、説明とともに会話の練習も行います。1～2年学習しても文法が苦手で読んだり聞いたりしたことがある表現だが、身に付かず、会話レベルまで辿り着かないことは多いと思います。

まずは、簡単な会話文をしっかり発音しながら正しく使える練習を重ねていきます。すでに覚えている会話なら、応用して練習もできるでしょう。実際に運用できるよう、「生きていることば」に触れながら学ぶことができると思います。

分かりやすく、日本語と比べながら説明するので、この際に文法をもう少し理解できるようになりたい方にもお勧めします。テキストはありません、毎回資料をお配りいたします。ノートと筆記用具をご持参ください。

【講座計画】

- 第1回 「週末は何をしますか。」丁寧形「-요(ヨ)体」の説明・練習
- 第2回 「浅草に行ってみましたか。」(～てみる)補助動詞を使った表現
- 第3回 「八王子駅の前にあります。」位置表現を覚えよう
- 第4回 「これは辛くないですよ」変則活用を覚える
- 第5回 「맛있는 가게를 가르쳐 주세요」美味しいお店を教えてください。連体形の練習 ①
- 第6回 連体形の練習 ②
- 第7回 「先週は何をしましたか。」過去形の練習
- 第8回 「～するつもりです」予定を表す表現

※本講座を申込んだ方は「韓国語講座」の他のクラスには同時に申込みことはできません。

受講生への

メッセージ



語学に興味があっても文法が難しい、あるいはお持ちのテキストの説明が分かりづらいと思ったことはありませんか。初級レベルの学習経験はあるが、中級レベルに行く寸前に止めてしまったり、テレビ・ラジオ講座で独学で勉強をしたことはあるもののなかなか先へ進まることができず進歩しないままやめてしまったという方々のため、簡単なフレーズをしっかり練習する講座を設けました。ご興味のある方、ぜひご参加ください。

【講師】 具 軟和（ぐ よんふあ） 看護学科/こども文化学科 非常勤講師

韓国ソウル生まれ。お茶の水女子大学博士後期課程単位取得退学、日韓対照言語学専攻。NHK文化センター、秀林外語専門学校、2004年から2018年まで東京純心大学の韓国語非常勤講師を経て、現在はお茶の水女子大学、上智大学、武蔵野大学の非常勤講師として在職。

4 - 37 定員 17名  
言語

韓国語講座中級編（前期）  
～分かりやすく、楽しく会話してみよう～

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

月曜日 8回

|    |     |     |
|----|-----|-----|
| 4月 | 8日  | 22日 |
| 5月 | 13日 | 27日 |
| 6月 | 10日 | 24日 |
| 7月 | 8日  |     |
| 8月 | 5日  |     |

時間

18:00～19:30

受講料

一般 6,500円  
学生 3,200円

提供

東京純心大学

備考

【講座内容】

この講座は、2年～3年ほど韓国語を学習した経験がある方向けの講座です。様々なジャンルから韓国語の文章を取り上げ、読んだり、聞いたり、しながら日本語に訳す時間を設けました。その中から実用的な表現を中心に会話の練習も行いたいと思います。また、講座の前後に自分のことばで簡単に会話をする機会もあると思いますので、積極的に韓国語を話すチャンスもあります。「読む、聞く、話す、書く」全ての練習が出来る講座となります。

語学は、自宅での学習と違って他の学習者と一緒に勉強することによって、モチベーションも違ってくると思います。独学と違って話せる相手、聞いてくれる相手がいると、さらに意欲が湧いてくるのではないのでしょうか。8回の講座で「生きている韓国語」に触れてみませんか。資料などは全てこちらでご用意します。

【持ち物】 筆記用具

【講座計画】

- 第1回 インターネットのニュースを読む ①
- 第2回 雑誌の記事を読む ①
- 第3回 テレビのコマーシャルで覚える韓国語 ①
- 第4回 韓国の「詩」を読みましょう ①
- 第5回 歌詞で覚える韓国語表現(連体形の練習)
- 第6回 テレビのコマーシャルで覚える韓国語 ②
- 第7回 新聞の記事を読んで解釈してみよう ②
- 第8回 韓国の「詩」を読みましょう ②

※本講座を申込んだ方は「韓国語講座」の他のクラスには同時に申込みことはできません。

受講生への

メッセージ



最近、欧米での韓国語の学習者が少しずつ増えているそうです。そのきっかけはドラマだったり、k-pop や youtube だったり様々ですが、続けて学びながらことばを使いこなせることができるかどうかは、学習者の意志、必要性、環境など人それぞれだろうと思います。「継続は力なり」と言います、途中で韓国語の勉強をやめていた方、覚えた表現が分かっても話す機会がほとんどない方、この機会に新たに韓国語と文化に触れてみてください。

【講師】 具 軟和 (ぐ よんふあ) 看護学科/こども文化学科 非常勤講師

韓国ソウル生まれ。お茶の水女子大学博士後期課程単位取得退学、日韓対照言語学専攻。NHK文化センター、秀林外語専門学校、2004年から2018年まで東京純心大学の韓国語非常勤講師を経て、現在はお茶の水女子大学、上智大学、武蔵野大学の非常勤講師として在職。

4 - 38 定員 16名  
環境

環境思想  
～古典から学ぶ未来へのメッセージ～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

木曜日 4回

|    |     |     |
|----|-----|-----|
| 4月 | 11日 | 25日 |
| 5月 | 9日  | 23日 |

時間

10:20～11:50

受講料

一般 3,500円  
学生 1,700円

提供

工学院大学

備考

本講義では、環境問題のテーマ化に際して重要な意味を持った著作を、可能な限り原典を「読む」ことを通して解説します。また、経済成長・テクノロジーと環境保護との緊張関係という現代的問題を考察することで、「豊かでなければ私たちは幸せになれるのか」という根本問題に迫りたいと思います。具体的には次のような内容を予定しています。

- ① レイチェル・カーソン『沈黙の春』より
- ② 「成長の限界」から「持続可能な開発」「SDGs」へ
- ③ なぜ環境を保護するのか ～ 環境思想の多様性
- ④ 「豊か」でなければ私たちは幸せになれるのか ～ 環境と経済

思想をキーワードとした4回シリーズの講座としました。本講座に引き続き、「環境政策」が開講される予定です。両科目は独立した科目であり、いずれか一方を受講することも、両方続けて受講することも可能です。

受講生への

メッセージ



「なぜ」「どのように」「どの程度」環境を保護すべきかという考え方はさまざまで、相対立することもあります。例えば、経済的豊かさを享受しながら環境に優しいライフスタイルをめざすのか、経済成長そのものを問い直すのか。環境政策が今日のようなかたちで定着するまでには、さまざまな思想的試みがありました。古典をひもとく思索することは、環境政策への理解にも幅を持たせてくれるでしょう。

ドブソン編著『原典で読み解く環境思想入門』（ミネルヴァ書房、1999年）も有益な手引き書です。

【講師】 小野 一 (おの はじめ) 教育推進機構 教授

専攻は現代ドイツ政治学。一橋大学社会学研究科博士後期課程中退(最終の学位は法学修士)。大学院在学中に5年間ドイツに留学しています。1998年以来、工学院大学に奉職し、政治学や国際関係論系列の講義を担当。環境問題などの新しい政策課題にも関心を持っています。

著書：『ドイツにおける「赤と緑」の実験』(御茶の水書房、2009年)、『緑の党』(講談社、2014年)、『脱原発社会を求める君たちへ』(幻冬舎、2018年)など。他に、共著や執筆参加もあり。



4 - 39 定員 54名  
芸術

創造の扉を開いてみよう  
～日本の芸術家たちの芸術と生涯～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

火曜日 7回

4月 9日・16日

5月 14日・21日

6月 4日・11日

7月 2日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 5,500円

学生 2,700円

提供

東京富士美術館

備考

本来、芸術は限られた人だけに与えられたものではありません。

創作者たちの心の世界に分け入って、その創造の営みの一端に触れることによって、私たちの生命に内在する無限の創造の扉を開けるきっかけになるかもしれません。

この講座では1回の講座で一人のアーティストを取り上げます

- 1 小堀遠州
- 2 富岡鉄斎
- 3 青木繁
- 4 坂本繁二郎
- 5 国吉康雄
- 6 三岸好太郎
- 7 イサム・ノグチ



【講師】野口 満成 (のぐち みつなり) 東京富士美術館 前館長 ……………

愛知県立芸術大学美術学部卒業  
東京富士美術館前館長  
画家

4 - 40 定員 30名  
科学

暮らしを支えるロボット技術  
～ロボットと自動運転の仕組みが知りたい！～

会場

工学院大学  
MAP → P14 1

曜日・回数・実施日

水曜日 4回

4月 10日・17日・24日

5月 8日

時間

19:00～20:30

受講料

一般 3,500円

学生 1,700円

提供

工学院大学

備考

私たちの暮らしには、既に数多くのロボットが様々な分野で活躍しています。床掃除ロボットを代表とする多くの家電製品が販売されており、我々の生活をサポートしてくれています。交通手段においては、自動車の自動運転実現への動きが加速しています。自動運転はレベル1からレベル5まで区分されていますが、既に高速道路での条件付き自動運転が可能なレベル3対応の車が販売されています。

この講座では、ロボットと自動運転車が動く仕組みを説明し、講師が研究開発の中で感じていることをお話しします。また、人とロボットが共存する理想の社会を作るために求められる技術をご紹介します。

- ・ 1回目：ロボットはなぜ動く？（移動体の制御の流れ）
- ・ 2回目：生活周りのロボットの仕組み（窓掃除ロボット、床掃除ロボット、芝刈りロボット）
- ・ 3回目：自動運転の仕組み（センシング、判断、制御）
- ・ 4回目：理想のロボットを作るためには（ロボット技術の展望）

※この講座は令和5年度前期講座とおおむね同じ内容ですが、一部変更して行います。

※会場は工学院大学です。ご注意ください。

受講生への  
メッセージ



本講義では、床掃除ロボットを代表とする、我々の生活周りで活躍しているロボットについてお話しします。工学分野に馴染みのない方でも受講できるよう、基礎的なところからお話ししますので、ロボットや車の研究開発に興味のある方は是非受講を検討してみてください。

【講師】禹 ハンウル (う はんうる) 工学院大学 工学部機械システム工学科 准教授 ……………

韓国清州市出身。韓国で高校を卒業後、2003年日本に留学。2008年東京大学工学部航空宇宙工学科卒業、2010年東京大学大学院新領域創成科学研究科先端エネルギー専攻で修士課程を修了。その後、韓国に帰国し、LG Electronics CTO HAE Research Centerに入社。2010年から2014年まで主任研究員として窓掃除ロボット、床掃除ロボット、芝刈りロボットの開発を担当。2015年、東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻博士課程に進学し、自動運転の研究に取り組み、2018年に博士学位を取得。秋田県立大学システム科学技術学部知能メカトロニクス学科助教、東京大学大学院総合研究機構統合廃炉工学講座特任講師を経て、2022年に工学院大学工学部機械システム工学科准教授に着任。現在は、移動ロボット、自動運転、遠隔操作システムの研究に取り組んでいる。

|                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                             |  |    |
|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----|
| <b>4 - 41</b><br><b>文学</b><br>定員 54名              | <b>『枕草子』を読む(8)</b><br><b>～定子後宮と清少納言～</b>                                                                                                                                                                                                                    |  | 託児 |
| <b>会場</b>                                         | 『枕草子』の中には、日記的章段と呼ばれる、清少納言が女房として仕えた定子後宮での様々なできごとを描いた段が数多くあります。「日記的」といっても、日々を記録したわけではなく、記されているのは清少納言の宮仕えにまつわる記憶のなかでも特に選び取られた「場」でした。つまり、清少納言が厳選し、書き残しておきたかった定子後宮の思い出だったといえます。                                                                                  |  |    |
| <b>学園都市センター</b><br><b>MAP → P17</b>               | この講座では、天皇家及び藤原氏をめぐる歴史と政治、当時の文化についても触れながら、中宮定子を中心とした教養・才気あふれる『枕草子』の世界を読み解いてゆきたいと思います。                                                                                                                                                                        |  |    |
| <b>曜日・回数・実施日</b>                                  | 今期は、道隆存命期の華やかな定子後宮に気後れする清少納言の初出仕の頃の話や、乳母・成信・大蔵卿など定子をとりまく様々な人々の話など、長短様々な話を読んでゆきます。                                                                                                                                                                           |  |    |
| <b>木曜日 6回</b>                                     | 第1回 「宮にはじめてまゐりたるころ」(177段)①<br>第2回 「宮にはじめてまゐりたるころ」(177段)②<br>第3回 「細殿にびんなき人なむ」(222段)、<br>「三条の宮におはしますころ」(223段)、<br>「御乳母の大輔の命婦日向へくだるに」(224段)<br>第4回 「一条院をば今内裏とぞいふ」(228段)<br>第5回 「成信の中將こそ」(256段)、<br>「大蔵卿ばかり耳とき人はなし」(257段)<br>第6回 「御前にて人々とも、また物仰せらるついでなどに」(259段) |  |    |
| 4月 11日<br>5月 9日<br>6月 13日<br>7月 11日<br>8月 22日・29日 |                                                                                                                                                                                                                                                             |  |    |
| <b>時間</b>                                         | <b>10:20～11:50</b>                                                                                                                                                                                                                                          |  |    |
| <b>受講料</b>                                        |                                                                                                                                                                                                                                                             |  |    |
| <b>一般 5,000円</b><br><b>学生 2,500円</b>              |                                                                                                                                                                                                                                                             |  |    |
| <b>提供</b>                                         | <b>八王子学園都市大学</b>                                                                                                                                                                                                                                            |  |    |
| <b>備考</b>                                         | 受講生への<br><b>メッセージ</b>                                                                                                                                                                                                                                       |  |    |
|                                                   | 今回からの受講も歓迎いたします。『枕草子』(三巻本)の日記的章段は時系列で書かれているわけではないので、どの段からでも読むことができます。                                                                                                                                                                                       |  |    |
|                                                   |                                                                                                                                                                           |  |    |
|                                                   | <b>【講師】岡田 ひろみ(おかだ ひろみ) 共立女子大学 文芸学部 教授</b>                                                                                                                                                                                                                   |  |    |
|                                                   | 平安文学の中でも、物語・和歌を中心に研究。特に最近、物語の作中和歌、和歌に用いられる文付け枝や料紙、贈り物など、コミュニケーションに関わる様々な表現媒体について考えている。勤務校での授業では「古今和歌集」や「枕草子」「源氏物語」等を担当。                                                                                                                                     |  |    |

|                                      |                                                                                                                                                                                                                                         |  |    |
|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----|
| <b>4 - 42</b><br><b>歴史</b><br>定員 16名 | <b>体験的「日本文化」論</b><br><b>～「どうする家康」から「光る君へ」へ～</b>                                                                                                                                                                                         |  | 託児 |
| <b>会場</b>                            | 一昨年度はコロナ、昨年度は日本社会の変化・変容につき、各年表に基づいて、お話ししました。特に昨年度の受講者は、平均年齢が私より高く、びっくりするとともに、その向学心の旺盛さに、敬服いたしました。                                                                                                                                       |  |    |
| <b>学園都市センター</b><br><b>MAP → P17</b>  | 過去2回の感想などを拝見した結果、今回は標題のように、「軌道修正」しました。すなわち、今から40年以上前の若かりし頃、私はドイツに留学しました。その時にした「とある体験」から、自分の母国である日本に興味を持ち、歴史や文化について、今まで様々な勉強を重ねてきました。                                                                                                    |  |    |
| <b>曜日・回数・実施日</b>                     | <b>金曜日 5回</b>                                                                                                                                                                                                                           |  |    |
| 4月 12日・19日・26日<br>5月 10日・17日         | そこで今回は、この「体験」に基づいて、5回に分けて「日本文化」を語ってみたいと思います。                                                                                                                                                                                            |  |    |
| <b>時間</b>                            | <b>13:30～15:00</b>                                                                                                                                                                                                                      |  |    |
| <b>受講料</b>                           |                                                                                                                                                                                                                                         |  |    |
| <b>一般 4,000円</b><br><b>学生 2,000円</b> |                                                                                                                                                                                                                                         |  |    |
| <b>提供</b>                            | <b>中央大学</b>                                                                                                                                                                                                                             |  |    |
| <b>備考</b>                            | 受講生への<br><b>メッセージ</b>                                                                                                                                                                                                                   |  |    |
|                                      | 切り口は、NHKの大河ドラマが、昨年の「家康」(江戸時代)から、今年の「光る君へ」(平安時代の紫式部・藤原道長)へと移りますので、その辺にちなんでお話をしようと思っています。「女手(ひらがな)」のお話から始めて、たらこスバグティ、そして日本アニメの話などです。                                                                                                      |  |    |
|                                      | その際、(学園への)感想の中に、「八王子学」についても聞きたい、との要望もありました。そこで、適宜それらも織り込むつもりです(大久保長安、肥沼信次など)。どうぞ、お気軽にご参加ください。                                                                                                                                           |  |    |
|                                      | <b>【講師】石川 敏行(いしかわ としゆき) 中央大学法科大学院フェロー</b>                                                                                                                                                                                               |  |    |
|                                      | 1951(昭和26)年、東京都に生まれる。中央大学法学部卒、同大学院修了。1976(昭和51)年4月、中央大学法学部助手。助教授を経て、1987(昭和62)年4月、同教授。その後、ロースクールの創設とともに2004(平成16)年4月、中央大学法科大学院教授。2010(平成22)年3月15日から2019(平成31)年3月31日まで3期(9年)、運輸安全委員会(国土交通省)委員(特別職国家公務員)。現在は年金生活者。八王子市に在住は、1983(昭和58)年から。 |  |    |
|                                      | 著書：主な著作：『新プロゼミ行政法——「3つの手続」で行政法の基本を学ぶ』(単著、2020(令和2)年・実務教育出版)、『はじめての行政法(第5版)』(共著、有斐閣・2022(平成4)年)など。                                                                                                                                       |  |    |
|                                      |                                                                                                                                                      |  |    |

4 - 43 定員 24名  
言語

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

金曜日 8回

4月 12日 19日 26日

5月 10日 17日 24日

6月 7日 14日

時間

13:30～15:00

受講料

一般 6,500円

学生 3,200円

提供

中央大学

備考

テキスト代: 2,200円(税抜)  
(事前にご用意ください)  
※受講料の他必要となります。

わかる！楽しいフランス語（基礎編）  
～まじめなフランス語から、観光、美食、ワインまで～

託児

加賀野井の作成した教科書『フランス語の彼方に』を使用し、ABCから始め、易しい表現を通して、フランス文化やフランス人の考え方を身につけてまいりましょう。例文は、丸暗記すればそのまま日常会話に使えるものですが、これが同時に、名句・名言であったり、映画の有名なセリフの一節であったりするよう仕組んでいます。ですから、万一、この講座でフランス語が自在な状態にまでは至らなくても、フランス文化を知るといいうゆる異文化コミュニケーションの授業としても活用いただけることと思います。話題は、フランス文学・思想からグルメ・ワインに至るまで、映画・音楽・美術を横断しながらさまざまに広げてゆきたいと考えています。早くコロナが終息し、気軽にパリをそぞろ歩きできるようになるといいですね。

【テキスト】事前にご用意ください  
加賀野井秀一「フランス語の彼方に」  
朝日出版

※テキストの取り寄せに時間がかかる場合があります。

※本講座は通年（前期・後期）での学習を想定しカリキュラムを組んでおります。

※本講座を申込んだ方は「わかる！楽しいフランス語」の他のクラスを同時に申し込むことはできません。

受講生への  
メッセージ



フランス語とはまったく初めての出会いであるという方も、大学時代に第二外国語でとっただけで、結局、挫折してしまっただけでいらっしゃる方も、どうぞ気軽にご参加ください。外国のことは、いくら理屈で聞いても本当のところは分らず、言葉を介して、とりわけまなななコミュニケーションを通じて、少しずつ理解できるようになるものです。まずは心を白紙にもどして、ABCやあいさつから、ゆっくりと楽しみながら学んでまいりましょう。パリの美術館、公園の散歩、週末のレストラン、音楽会の楽しみ方、鉄道の旅…脱線話にも事欠きません。皆さんは何に惹かれるでしょうか。

【講師】加賀野井 秀一（かがのい しゅういち）名誉教授 ……………  
中央大学文学部仏文科卒業。同大学院、パリ大学大学院で学ぶ。以後、34年間にわたり、中央大学で教鞭をとる。専攻はフランス現代思想、哲学、言語学、メディア論。  
著書：『メルロー＝ポンティ 触発する思想』、『異文化博物館へようこそ』（共に白水社）、『20世紀言語学入門』、『知の教科書 ソシユール』（共に講談社）、『日本語は進化する』（NHK出版）、『日本語を叱る』（筑摩書房）、訳書にルビシオン『極限への航海』（岩波書店）、ミシュレ『海』（藤原書店）、ドゥルーズ『哲学の教科書』（河出書房新社）、監修書に『メルロー＝ポンティ 哲学者事典』（白水社）など

4 - 44 定員 24名  
言語

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

金曜日 8回

4月 12日 19日 26日

5月 10日 17日 24日

6月 7日 14日

時間

15:20～16:50

受講料

一般 6,500円

学生 3,200円

提供

中央大学

備考

テキスト代: 1,300円(税抜)  
(事前にご用意ください)  
※受講料の他必要となります。

わかる！楽しいフランス語（応用編）  
～まじめなフランス語から、観光、美食、ワインまで～

託児

基礎編にひきつづき、ちょっぴり高度なフランス語にもアプローチしてみましょう。日常的な会話を楽しみ、少し短い文を読むことにも挑戦しましょうか。

基礎編では「観光、美食、ワインまで」と記しているながら、文法を身につけるため、あまり大きな脱線はできませんでしたが、応用編では、華の都パリの日常生活に始まり、フランス全土の特色に言及して、観光案内から歴史や思想にいたるまで、さまざまな文化的背景についてもお話ししてみたいと考えています。フランス語の授業というだけではなく、異文化を知るための講座としても活用してください。

昨年度の内容とは違うものを用意しましたので、前回の応用編を受講されたみなさんも、ふるってご参加ください。

【テキスト】事前にご用意ください  
「フランス史を創った人々」  
Les Grands Hommes de la France  
R. de Roussyde Sales 著/ 加賀野井秀一 編  
定価 1,430円(本体1,300円+税)  
ISBN 978-4-384-25022-0 C1085  
三修社

※本講座は通年（前期・後期）での学習を想定しカリキュラムを組んでおります。

※令和5年度後期と同じテキストです。今回はルイ14世の時代から始める予定です。

※本講座を申込んだ方は「わかる！楽しいフランス語」の他のクラスを同時に申し込むことはできません。

※テキストの取り寄せに時間がかかる場合があります。

受講生への  
メッセージ



基礎編を受講された方にはお分かりでしょうが、この授業にはきわめて真面目なところと、脱線して楽しく道草を食うところが同居しています。学問の原動力はひとえに好奇心ですので、教師・生徒の枠組みをこえて、同好の士としてふるってご参加ください。

【講師】加賀野井 秀一（かがのい しゅういち）名誉教授 ……………  
中央大学文学部仏文科卒業。同大学院、パリ大学大学院で学ぶ。以後、34年間にわたり中央大学で教鞭をとる。専攻はフランス現代思想、哲学、言語学、メディア論。  
著書：『メルロー＝ポンティ 触発する思想』、『異文化博物館へようこそ』（共に白水社）、『20世紀言語学入門』、『知の教科書 ソシユール』（共に講談社）、『日本語は進化する』（NHK出版）、『日本語を叱る』（筑摩書房）、訳書にルビシオン『極限への航海』（岩波書店）、ミシュレ『海』（藤原書店）、ドゥルーズ『哲学の教科書』（河出書房新社）、監修書に『メルロー＝ポンティ 哲学者事典』（白水社）などがある。



4 - 45 定員 文化 15名

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 8回

|    |     |     |
|----|-----|-----|
| 4月 | 13日 | 27日 |
| 5月 | 11日 | 25日 |
| 6月 | 8日  | 22日 |
| 7月 | 6日  | 13日 |

時間

10:20～11:50

受講料

一般 6,500円  
学生 3,200円

提供

東京工業高等専門学校

備考

英語の人生相談から考えるアメリカ社会の光と影  
～「アメリカ社会の内側」から学ぶ「生きた英語」～

本講座では、アメリカで広く一般市民に支持され、多くの読者を持つ人生相談のコラム“Dear Abby”を教材とし、生きた英語を学びつつ現代アメリカ社会の光と影に迫ってゆきます。

“Dear Abby”の人生相談コラムには実に様々な相談が寄せられます。夫婦関係、家族関係、親戚・隣人・友人との付き合い、子育てや躾・教育問題、孤独、恋愛、キャリア、生き甲斐、老後等々、どれを取っても日本に住む私たちにも興味深いものばかりです。講座では、毎回読者から寄せられるそうした相談の中から1件を取り上げ、その社会背景を学ぶと共に相談内容の解決方法を一緒に考え、そこから得られる気付きを語り合います。具体的には、相談者のプロフィールや身の上を謎解き風に推測したり、回答者のAbbyがどのようにアドバイスするか

をあれこれ想像したり、楽しみながら講座を進めます。

講座では、語彙の意味を調べるので、英語の辞書を持参してください。紙の辞書、電子辞書を問いません。また、辞書でなくても、スマホの検索機能を使うことも可能です。

【持ち物】 筆記用具 英語の辞書など

受講生への

メッセージ



本講座は「人生相談」を切り口として、「英語」と「アメリカ文化」を学ぼうということを目指しています。高校1年程度の英語力があれば十分に講座を楽しんでいただけたと思います。昔学んだ英語をもう一度やり直してみたい、今の自分を振り返るヒントとして彼らの知恵と経験から学んでみたい、余暇を活用して知的な刺激を得てみたい。このようにいろいろな意味での「学び直し」に挑戦し、より豊かな人生を生きてみたいと考えている方々にお薦めです。取り上げる相談は毎回新しいものを選んでるので、リピーターも歓迎します。

【講師】 竹田 恒美(たけだ つねみ) 東京工業高等専門学校 名誉教授 ……………

国際基督教大学卒。Columbia University Teachers College 修士課程修了。専門は英語教育学・日本語教育。東京工業高等専門学校名誉教授。日本多読学会(JERA)元会長。Metropolia University of Applied Sciences客員講師。日本国際教育支援協会公認日本語教師。

4 - 46 定員 情報 16名

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 6回

|    |        |
|----|--------|
| 4月 | 13日    |
| 5月 | 11日    |
| 6月 | 1日     |
| 7月 | 6日     |
| 8月 | 3日・31日 |

時間

13:30～15:00

受講料

一般 5,000円  
学生 2,500円

提供

東京工業高等専門学校

備考

暗号の歴史と数理

歴史的に、スパイ・兵士・ハッカー・海賊・商人・暴君・政治活動家など、他人と秘密を共有する必要がある人たちは暗号に頼ってきました。現在では、インターネット上での買い物での安全性や契約上の本人認証といった様々なシーンで、暗号は不可欠となっています。その暗号理論発展の歴史において、暗号理論学者・数学者と盗聴者がどのような攻防を繰り返してきたか、その一端を味わってもらえればと思います。

本講座では、暗号の歴史について、紀元前から使われていた「シーザー暗号」から始め、「転置式暗号」、「アフィン暗号」、「単一換字式暗号」、「ヴィジユネル暗号」とコンピュータ実用化前の暗号が、どのように解読され、どのような工夫の下で進化してきたか、歴史と数理の側面から

解説します。そして、コンピュータの登場から、インターネットの普及、そして量子コンピュータの登場、といった現代暗号・特に公開鍵暗号について、その仕組みや性質を解り易く紹介したいと考えています。

(注意)

本講座では、法律上のトラブルを引き起こす様な危険なものは取り扱いません。

※この講座は令和5年度後期講座とおおむね同じ内容ですが、最終回は最新の動向を扱います。

受講生への

メッセージ



数理と聞いて身構える方もおられると思いますが、歴史パートだけでも楽しんでいただけるよう構成をしますので、ぜひ暗号の世界をご体験ください。

また、コンピュータやタブレットを用いた暗号実装・解読の実演も行う予定ですので、余力がある方はパソコンとネット環境を用意頂ければ、より楽しんでいただけたと思います。

【講師】 南出 大樹(みなみで ひろき) 一般教育科 講師 ……………

最終学歴 神戸大学大学院理学研究科博士課程  
現在 東京工業高等専門学校 講師

博士課程までは、純粋数学である「数論幾何」を専門としていたが、現職に就いた際に、自身の数学を社会に還元したいと思い、東京工業大学にも籍を置きながら暗号理論を研究している。

**4 - 47** **言語** **定員 15名**

**会場**

**学園都市センター**  
MAP → P17

**曜日・回数・実施日**

**土曜日 8回**

4月 13日 20日

5月 11日 25日

6月 15日 22日

7月 6日 27日

**時間**

**10:20～11:50**

**受講料**

**一般 6,500円**

**学生 3,200円**

**提供**

**明星大学**

**備考**

テキスト代：3,300円  
(事前に書店等でご購入ください)  
※受講料の他必要となります。

**ラテン語を始めてみようⅢ**  
**～楽しく学ぶラテン語初歩の初歩～**

本講座では、世界帝国・ローマの主要な言語であったラテン語を初歩から学びます。ラテン語によって表された哲学や文芸は、ヘレニズム期には古典ギリシア語に対し副次的なものでしかなかったのですが、ローマ共和政末期から帝政期になるとその数は膨らみ、キケロの弁論や書簡、カエサルやウァレリウス・マキシムスの詩、ペトリウスやアプレイウスの小説、アウグスティヌスらのキリスト教文献を中心に、余波はルネッサンス期に至るまで続きます。

言語の系統という観点からすれば、インドヨーロッパ語に属するラテン語は、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ルーマニア語等の祖先に当たり、フランス語を経由して英語にも多くの語彙を提供しています。しかし文法体系はこれらの語とは異なる点が少なくありません。そのような古典ラテン語の発音

や文法を、教科書に即して初歩の初歩から学ぶこと、これが本講座の目的です。

具体的に列挙すれば、

- 1) 名詞・形容詞については各種の変化
- 2) 動詞については規則的な動詞の能動態の時制変化

となります。また本講座では、同時に、ヨーロッパ文化を形作るもう一つの古典語であるギリシア語や、ギリシア・ローマ文化についても「こぼれ話」を詰め合わせて行く予定です。テキストは松平千秋・国原吉之助『新ラテン文法』東洋出版を使用しますので、事前に用意しておいてください。

※今回の講座は『ラテン語を始めてみようⅡ』のつづきとなり、第21課前後から始める予定ですが、初回でこれまでの内容の復習を行う予定です。

受講生への

**メッセージ**

ラテン語は難しいという印象があるかもしれませんが、けれどもオーラルコミュニケーションが求められる場合は(おそらく?)、ありませんので、ゆっくりと学習してください。ただし語学は一度休んでしまうと、追いつくのが難しい場合があります。その時は申し出てください。遅れた分は少し急げば必ずフォローアップできます。

【講師】金澤 修(かなざわ おさむ) 教育学部 非常勤講師

明星大学全学共通教育にてラテン語を担当。

東京都立大学人文科学専攻科哲学専攻博士課程満期取得退学。

専門は古代ギリシア・ローマの哲学、比較思想。

著書：著書に『内在と超越の闘い』共編(知泉書館)、『原子論の可能性』共著(法政大学出版局)、『世界哲学史 1』共著(ちくま書房)、『西洋古典学へのアプローチ』共著(晃洋書房)。

翻訳にアリストテレス『動物誌』(上下)共訳、同『宇宙について』(岩波書店)

**4 - 48** **言語** **定員 15名**

**会場**

**学園都市センター**  
MAP → P17

**曜日・回数・実施日**

**土曜日 8回**

4月 13日 20日

5月 11日 25日

6月 15日 22日

7月 6日 27日

**時間**

**13:30～15:00**

**受講料**

**一般 6,500円**

**学生 3,200円**

**提供**

**明星大学**

**備考**

テキスト代：3,300円  
(事前に書店等でご購入ください)  
※受講料の他必要となります。

**ラテン語を始めてみようⅤ**  
**～楽しく学ぶラテン語初歩の初歩～**

本講座では、世界帝国・ローマの主要な言語であったラテン語を初歩から学びます。ラテン語によって表された哲学や文芸は、ヘレニズム期には古典ギリシア語に対し副次的なものでしかなかったのですが、ローマ共和政末期から帝政期になるとその数は膨らみ、キケロの弁論や書簡、カエサルやウァレリウス・マキシムスの詩、ペトリウスやアプレイウスの小説、アウグスティヌスらのキリスト教文献を中心に、余波はルネッサンス期に至るまで続きます。

言語の系統という観点からすれば、インドヨーロッパ語に属するラテン語は、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ルーマニア語等の祖先に当たり、フランス語を経由して英語にも多くの語彙を提供しています。しかし文法体系はこれらの語とは異なる点が少なくありません。そのような古典ラテン語の発音

や文法を、教科書に即して初歩の初歩から学ぶこと、これが本講座の目的です。

具体的に列挙すれば、

- 1) 名詞・形容詞については各種の変化
- 2) 動詞については規則的な動詞の能動態の時制変化

となります。また本講座では、同時に、ヨーロッパ文化を形作るもう一つの古典語であるギリシア語や、ギリシア・ローマ文化についても「こぼれ話」を詰め合わせて行く予定です。テキストは松平千秋・国原吉之助『新ラテン文法』東洋出版を使用しますので、事前に用意しておいてください。

※今回の講座は『ラテン語を始めてみようⅣ』のつづきとなり、第31課前後から始める予定ですが、初回でこれまでの内容の復習を行う予定です。

受講生への

**メッセージ**

ラテン語は難しいという印象があるかもしれませんが、けれどもオーラルコミュニケーションが求められる場合は(おそらく?)、ありませんので、ゆっくりと学習してください。ただし語学は一度休んでしまうと、追いつくのが難しい場合があります。その時は申し出てください。遅れた分は少し急げば必ずフォローアップできます。

【講師】金澤 修(かなざわ おさむ) 教育学部 非常勤講師

明星大学全学共通教育にてラテン語を担当。

東京都立大学人文科学専攻科哲学専攻博士課程満期取得退学。

専門は古代ギリシア・ローマの哲学、比較思想。

著書：著書に『内在と超越の闘い』共編(知泉書館)、『原子論の可能性』共著(法政大学出版局)、『世界哲学史 1』共著(ちくま書房)、『西洋古典学へのアプローチ』共著(晃洋書房)。

翻訳にアリストテレス『動物誌』(上下)共訳、同『宇宙について』(岩波書店)

4 - 49 定員 15名  
言語

古典ギリシア語を始めてみようⅢ  
～楽しく学ぶ古典ギリシア語初歩の初歩～

会場  
学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日  
土曜日 8回

4月 13日 20日  
5月 11日 25日  
6月 15日 22日  
7月 6日 27日

時間  
15:20～16:50

受講料  
一般 6,500円  
学生 3,200円

提供  
明星大学

備考  
テキスト代：2,640円  
(事前に書店等でご購入ください)  
※受講料の他必要となります。

本講座では、古典ギリシア語の習得を目指しています。一口に古代ギリシア語といっても、ミューケーナイ、イオニア、ドーリア、レスボス等、時代・地域にわたって複数の方言が存在していましたし、さらに散文や詩などといった文芸のジャンルによっても使われる方言や語彙が異なっていました。翻って本講座では「紀元前5世紀から4世紀にかけてのアテナイで散文に使用されたギリシア語」と限定して学習したいと思います。

この方言はプラトンやアリストテレスをはじめとした哲学・思想、トゥキュディデスやヘロドトスなどの歴史文学、リュシアスなどの法廷弁論やソフィスト達の議論など多彩な内容をカバーしていますし、一般に他の古代ギリシア語を学習する際の出発点となるものです。これを習得することで他の方言への道も、またコイナーといわれる新約聖書を記した後代のギリシア語への道も開けてくるものと思われます。

そのような古代ギリシア語の発音や文法を、教科書に即して初歩の初歩から学ぶこと、これが本講座の目的です。具体的に列挙すれば、

- 1) 名詞・形容詞については各種の変化
- 2) 動詞については規則的な動詞の能動態の時制変化

となります。また本講座では、同時に、ヨーロッパ文化を形作るもう一つの古典語であるラテン語やギリシア・ローマ文化についても「こぼれ話」を詰め合わせて行く予定です。

テキストは田中美知太郎・松平千秋『ギリシア語入門・新装版』(岩波書店)を使用しますので、事前に用意しておいてください。

※今回の講座は『古典ギリシア語を始めてみようⅡ』のつづきとなり、第20課前後から始める予定ですが、初回でこれまでの内容の復習を行う予定です。

受講生への

メッセージ

It's Greek to me という成句があるくらい、ギリシア語は難しいと言う印象を持たれるかもしれませんが、けれどもオーラルコミュニケーションが求められる場合は(おそらく?)、ありませんので、ゆっくりと学習してください。ただし語学は一度休んでしまうと、追いつくのが難しい場合があります。その時は申し出てください。遅れた分は少し急げば必ずフォローアップできます。

【講師】金澤 修(かなざわ おさむ) 教育学部 非常勤講師

明星大学全学共通教育にてラテン語を担当。  
東京都立大学人文科学専攻科哲学専攻博士課程満期取得退学。  
専門は古代ギリシア・ローマの哲学、比較思想。  
著書：著書に『内在と超越の闘い』共編(知泉書館)、『原子論の可能性』共著(法政大学出版局)、『世界哲学史 1』共著(ちくま書房)、『西洋古典学へのアプローチ』共著(晃洋書房)。  
翻訳にアリストテレス『動物誌』(上下)共訳、同『宇宙について』(岩波書店)

4 - 50 定員 16名  
教養

続・英語で学ぶ社会的「性」とアンコンシャス・バイアス  
～一挙両得！英語と男女共同参画の扉を同時に開く～

会場  
学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日  
土曜日 3回

4月 13日 20日 27日

時間  
18:00～19:30

受講料  
一般 2,500円  
学生 1,200円

提供  
杏林大学

備考

「変化」には、一気に来るものと、長い時間をかけてじわじわと感じられるものとがあります。

いわゆる「革命」や「疫病の流行」など、突発的な対応を求められるのは前者、10数年前の映像を見て(当時はまったく抱かなかった)違和感を覚えるのは後者の変化です。

「英語力が上がった！」という実感や、「男女共同参画」への意識も、「気づいたら何か変わってた」というもので、後者の変化に属します。

本講座で扱う「アンコンシャス・バイアス」とは「無意識の偏見」ということ。仕事や人間関係で後ろ指を指されないように、お互い心地よく

暮らせるように、「アンコンシャス・バイアス」について、言語学・心理学・社会学等の観点から学んでいきましょう。

1. 言語学から見た社会的「性」
2. アンコンシャス・バイアスの過去・現在・未来
3. アンコンシャス・バイアスをどう乗り越えるか

※本講座は、令和5年前期「英語で学ぶ社会的『性』とアンコンシャス・バイアス」の続編です。事例として扱う内容は重複させませんので、はじめての方も、2回目の方も歓迎いたします。

受講生への

メッセージ

「アンコンシャス・バイアス」を学ぶついでに「英語の勉強もしてしまおう」という企画ですが、受講に際し、高度な英語力を求めるということはまったくありません。むしろ授業の中で、自然な形で英語に接することを楽しんでください。

【講師】八木橋 宏勇(やぎはし ひろとし) 外国語学部 英語学科 教授

慶應義塾大学文学部卒、同大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。現在、杏林大学外国語学部教授。  
著書：主な著訳書は『聖書と比喩』(聖書起源のイデオロギイ42章)、『世界の英語と社会言語学』(以上、慶應義塾大学出版会)、『プログレッシブ英和辞典第5版』(小学館)、『最新英語学・言語学用語辞典』(言語は本能かー現代言語学の通説を検証するー)、『認知言語学の未来に向けて』(開拓社)、『認知言語学大辞典』(実例で学ぶ英語学入門ー異文化コミュニケーションのための日英対照研究ー)(朝倉書店)など。





4 - 51 定員 16名  
芸術

日本画に親しむ(武田先生クラス)  
～初心者から上級者まで自由な発想を大切に描く～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

月曜日 8回

4月 15日 22日

5月 13日 20日 27日

6月 3日 10日 17日

時間

13:30～16:30

受講料

一般 13,000円

学生 6,500円

提供

多摩美術大学

備考

教材費:5,000円  
※受講料の他必要となります。

【講座内容】

銀箔を用いて装飾的な表現を試みる。

【授業計画】

- 第1回 画材説明、パネルに和紙を水張り
- 第2回 胡粉、箔の説明
- 第3回 岩絵具の説明、彩色
- 第4回～第7回 制作期間
- 第8回 まとめ、講評会

※坂本藍子先生の「日本画に親しむ」と同じテーマ・材料を用います。

受講生への

メッセージ

敷居が高い、技法が難しいといった日本画に対する先入観に囚われることなく、より自由な思考と発想で楽しく表現することを目指します。



【講師】武田 州左(たけだ くによさ) 美術学部 絵画学科 日本画専攻 教授 ……………

'85多摩美術大学大学院日本画専攻卒業。'95～'97武蔵野美術大学非常勤講師、'00～'09名古屋造形芸術短期大学客員教授。'84より創画展に出品、春季展賞6回、創画賞4回。'84以降ほぼ毎年個展、これまでに36回。'92文化庁芸術家インターシップ研修員、'93現代絵画の一断面「日本画」を越えて、'98五島記念文化財団美術新人賞受賞、これにより1年間ニューヨークにて研修。現在創画会会員。

4 - 52 定員 16名  
芸術

日本画に親しむ(坂本先生クラス)  
～初心者から上級者まで自由な発想を大切に描く～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

火曜日 8回

4月 16日 23日

5月 7日 14日 28日

6月 11日 18日 25日

時間

13:30～16:30

受講料

一般 13,000円

学生 6,500円

提供

多摩美術大学

備考

教材費:5,000円  
※受講料の他必要となります。

【講座内容】

銀箔を用いて装飾的な表現を試みる。

【授業計画】

- 第1回 画材説明、パネルに和紙を水張り
- 第2回 胡粉、箔の説明
- 第3回 岩絵具の説明、彩色
- 第4回～第7回 制作期間
- 第8回 まとめ、講評会

※武田州左先生の「日本画に親しむ」と同じテーマ・材料を用います。

受講生への

メッセージ

自由な発想と感性を大切にし、それぞれの意向にあった作品づくりを楽しめるクラスにできればと思います。モチーフの用意はございませんので、各自で描きたいものを描いて頂きます。



【講師】坂本 藍子(さかもと あいこ) 美術学部 絵画学科 日本画専攻 元非常勤講師 ……

1977年 東京都生まれ  
2001年 多摩美術大学美術学部日本画科卒業  
2003年 多摩美術大学美術研究科日本画修士課程修了  
2011年 多摩美術大学日本画科 非常勤講師  
個展  
そごう美術館(横浜、神戸、広島、千葉、柏、大宮、心斎橋、徳島)、西武美術館(池袋、福井、秋田、高槻、八尾)  
高島屋美術館(日本橋)、三越美術館(仙台)、大丸美術館(東京、福岡、心斎橋)、大和デパート(香林坊)、名古屋松坂屋、阪急神戸、佐藤美術館(新宿)、高輪会(高輪プリンスホテル) 2012、2019、他、グループ展多数

4 - 53 定員 16名  
芸術

日本画の絵具で楽しく描く！  
～小さい屏風に描く日本画～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

水曜日 8回

|    |     |     |     |  |
|----|-----|-----|-----|--|
| 4月 | 17日 | 24日 |     |  |
| 5月 | 8日  | 15日 | 29日 |  |
| 6月 | 12日 | 19日 |     |  |
| 7月 | 3日  |     |     |  |

時間

13:30～16:30

受講料

一般 13,000円  
学生 6,500円

提供

多摩美術大学

備考

教材費：5,000円  
※受講料の他必要となります。

【授業計画】

第1回～2回 日本画画材説明と課題の説明  
第3回～8回 制作



<参考写真>

受講生への

メッセージ



日本画の画材でそれぞれのペースで制作できます。

今回のお題は屏風です。折り曲げてできる立体的な画面に描く事で平面には無い面白い作品になると思います。描くものは自由です。別の和紙などに描いた絵をコラージュの様に「貼りませ屏風」にするのも素敵ですね！

【講師】木下 めいこ (きのした めいこ) 日本画・芸術学科 元非常勤講師・美術家連盟会員

2000年多摩美術大学日本画専攻卒業  
2002年多摩美術大学美術研究科絵画専攻日本画領域修了  
2003年第1回奈良万葉日本画大賞展準大賞  
2012年Artist Group風(東京都美術館)以降'13 '14 '17 '18 '19 '21  
2013年第1回小泉淳作記念日本画大賞展東大寺賞  
2015年第3回郷さくら美術館桜花賞展優秀賞  
2015年第6回東山魁夷記念日経日本画大賞展  
2016年個展(日本橋高島屋)その他個展グループ展多数 日本美術家連盟会員、多摩美術大学日本画・芸術学科元非常勤講師

4 - 54 定員 32名  
文学

『平家物語』の世界を読む 第7期  
～「物語られる歴史」をいかに読むか～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

水曜日 8回

|    |     |     |     |     |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 4月 | 17日 | 24日 |     |     |
| 5月 | 8日  | 15日 | 22日 | 29日 |
| 6月 | 12日 | 19日 |     |     |

時間

10:20～11:50

受講料

一般 6,500円  
学生 3,200円

提供

明星大学

備考

テキスト代：792円  
(事前に書店等でご購入ください)  
※受講料の他必要となります。

『平家物語』、誰もが一度は聞いたことのある名です。学校で冒頭部分を暗唱したことを思い出す方も多いでしょう。その際、「諸行無常」「盛者必衰」という言葉とともにこの書物の名前を覚えたのではないのでしょうか。

そのタイトルにあるように平家＝平清盛の一族の栄枯盛衰を描くのみならず、源氏方の木曾義仲、源義経の滅亡をも描いたこの壮大な滅びの物語は、いつしか日本人のアイデンティティの一部を形成するに至りました。滅びゆくものに涙する感性は、『平家物語』を土台にしているといっても過言ではありません。現代の私たちも、この平安末期を舞台にした滅びの文学と決して切り離されてはいないのです。

講座では端折ることなくすべての章をじっくりと読んでみたいと思っています。今期は

2021年度前期から開講いたしました同名講座の第7期です。第六巻から読み進める予定ですが、これまで読んだ箇所を含めて振り返りながら進めてまいりますので、今期から参加される方も大歓迎です。六巻では平家の棟梁である平清盛が亡くなり、いよいよ源氏による反抗が本格化します。古典文学の精髓を、ともに味わっていきましょう。

【教科書】 事前に書店等でご購入ください。

角川ソフィア文庫版『平家物語(上)』

(佐藤謙三校注792円)

※『ビギナーズクラシック平家物語』ではありません。ご注意ください。

受講生への

メッセージ



講座では原文を読み、現代語訳や資料を参照しながら解説をしていきます。古典文法や古語の知識は必要ありませんので、気楽にご参加ください。また、共通テキストとして、角川ソフィア文庫版『平家物語(上)』(佐藤謙三校注 792円)を使用いたします。あらかじめご準備くださいますよう、お願いいたします。

\*同文庫から『ビギナーズクラシック 平家物語』も出版されていますが、講座で使用するのは『ビギナーズクラシック』版ではありません。ご購入の際にはくれぐれもご注意ください。

【講師】金子 祥之 (かねこ よしゆき) 教育学部教育学科 非常勤講師

明治大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学 明星大学非常勤講師研究テーマ：主として19世紀末オーストリアの文学・演劇・文化

4 - 55 定員 20名  
言語

中国語基礎  
～発音と言葉に触れてみませんか～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

水曜日 8回

4月 17日、24日  
5月 8日、15日、22日  
6月 5日、12日、19日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 6,500円  
学生 3,200円

提供

明星大学

備考

教科書代：2,420円(税込)  
(事前に書店等でご購入ください)  
※受講料の他必要となります。

【講座内容】

本講座は、中国語の基礎を学びたい方、中国語を初めて学ぶ方を対象としています。

中国語の発音を学びながら、基本文型(主にももの場所、ものの数の表現)を学ぶ予定です。

日本語とは少し違うことばの造りを一緒に発見していきましょう。

また、中国語の発音にも慣れ親しみ、音の世界を楽しみましょう。

※今回の講座は、同じ教科書を使用した昨年度前期・後期の中国語講座『はじめての中国語』の続きとなりますが、これまでの内容の復習をしながら進めていく予定です。発音は、学びながら慣れていく形となります。

【授業計画】

第1回 どんな発音？ かなめの文型！(発音：第1課～第4課、文型：第5課～第8課)

・第2回以降は、毎回発音コーナーを設けて発音を練習していきます。

第2回から第8回：

- ・第9課：「～は…にある」・「～から」
- ・第10課：ものの数を表現する・「～には…がいくつある」
- ・第11課：「どうぞ～してください」・「～がいくつほしい」

※進度は受講するみなさんの様子を見て調整する可能性があります。

【目標】

- ①中国語の発音の要である4つの声調(音の高低)をマスターすること。
- ②より正確な発音ができること。
- ③教科書の文型を使った簡単な日常会話ができること。
- ④楽しい発見をすること。

【教科書】事前にご用意ください。

陳淑梅『かんたん楽シヨウ！初級中国語 入門編』朝日出版社、2023年。  
ISBN978-4-255-45372-9 C1087

受講生への

メッセージ

中国語は、音とことばの世界について知れば知るほど面白みが増します。その中国語ワールドの入り口の水先案内人を務めたいと思います。



【講師】杉本 公子(すぎもと きみこ) 教育学部 非常勤講師 ……………

明星大学、法政大学 中国語非常勤講師。

東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程単位取得退学。

著書：共訳に、周而復著『長城万里関6 霧の重慶』(上中巻、三文舎)(下巻、教育評論社)、韓石泉著・韓良俊編『韓石泉自伝——医師からみた台湾近現代史』(あるむ出版)。

4 - 56 定員 54名  
歴史

徳川儒者の葬送儀礼と死生観

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

木曜日 2回

4月 18日、25日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 2,000円  
学生 1,000円

提供

多摩大学

備考

徳川時代から現在にいたるまで、葬式といえど仏教というイメージが一般的にはあるかと思っています。そういった側面ももちろんありますが、

それこそ徳川時代においても、葬送儀礼は、多種多様でした。たとえば、当時、“知識人”と見なされていたような儒学者たちも、仏教とは異な

った角度から葬送儀礼を実践しようと試みていたのです。なぜ、仏教に対抗して“儒式”にこだわったのでしょうか。それは、彼らの死生観・身心観などが、少々仏教と異なっていたからで

す。本講義では、仏教に対抗しようとしたのはどのような点であったのかを考えてゆきます。

また、儒学思想というのは、本来、中国から伝わってきたものです。徳川時代という時代も風土もまったく違うところで、どのような“実

践”を意識していたのでしょうか。それこそ古代

以来の“外来思想の受容”という観点からも、徳川時代の儒者が、どのように社会に儒学思想を

溶け込ませようとしたのかという観点の分析にも繋がるのです。

以上のような内容を、前後2回に分けて講義をします。

前半は、徳川儒者の死生観や、徳川日本の風土に合わせた葬送儀礼を中心にお話する予定です。

また、後半では、葬送儀礼のみならず徳川儒者における墓祭(墓参り)などについても取り上げてお話する予定です。

受講生への

メッセージ

ちょっとしたことであっても、新たな学びを得られることは、生活を豊かなものにしてゆくことに繋がるのだと思うしております。

もちろん、今回のお話は、歴史のなかの小さなトピックかもしれませんが。ただ、現代の自分が見ている世界や考えとどう違うのか、逆に、どう自分の考えと繋がるのか、そのようなことを考える材料として活用してもらえると幸いです。

【講師】高橋 恭寛(たかはし やすひろ) 経営情報学部 事業構想学科 准教授 ……………

専攻は近世日本思想史。とりわけ徳川時代の儒学思想を研究している。

東北大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士(文学)。

東日本国際大学准教授等を経て、現在、多摩大学経営情報学部准教授。

著書：論文「日本陽明学派と懷徳堂諸儒者の思想交差」(『日本学研究』30)、「淵岡山における『藤樹学』の展開」(『研究東洋：東日本国際大学東洋思想研究所紀要』8)、「中江藤樹の福善禍淫論再考」(『日本思想史』44)ほか。





4 - 57 定員 24名  
文化

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

金曜日 4回

4月 19日

5月 10日 24日

6月 7日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 3,500円

学生 1,700円

提供

東京純心大学

備考

教材費：1,500円

(絵本・韓紙工芸材料費)

※受講料の他必要となります。

絵本と韓紙工芸で学ぶハングルと朝鮮・韓国の文化  
～教養としての朝鮮・韓国。遊ぶように始めます～

託児

絵本でまなぶ、ゼロからのハングルと朝鮮・韓国の文化講座です。ハングルは全く読めないという方も、朝鮮・韓国語学習歴のある方も、一緒に楽しみます。

子どもたちが絵本の読み聞かせを糧として、その国の言葉と文化を身に付けるように、私たち大人も、隣国の精神文化の深い部分を絵本の世界に入り込んで遊ぶように学んでみたいと思います。

ネイティブによる読み聞かせを聞きながら、動画となった絵本をとおして、ハングルと友達になります。

韓紙工芸を体験しながら、朝鮮の伝統文化を楽しみます。

韓国の詩人・児童文学者の人と暮らしを垣間見ながら、精神文化の根っこを探ります。

最後は、受講生によるフリートークで私の韓国体験を分かち合います。聞き役に徹してもかまいません。疑問・質問・討論なんでもありです。

【1回目】—ネイティブによる原語の読み聞かせを聞きながら、動画で見る『トッケビとどんぐりムク』(講師翻訳による邦訳版は福音館書店から出版されています。教科書として配布します(すでにお持ちの方は他の絵本と交換いたします。))

【2回目】—韓紙工芸体験と世界遺産・安東河回マウルに見る朝鮮の伝統家屋と伝統文化。朝鮮・韓国の昔話の世界(韓紙工芸作品作りを体験します。材料・道具はこちらで準備いたします。)

【3回目】—韓国の作家とその暮らし・人柄(権正生／イ・サンギョ／イ・チュノ)

【4回目】—ネイティブによる原語の読み聞かせと動画で見る朝鮮・韓国の昔話。そして座談会と分かち合い。



『トッケビとどんぐりムク』

再話：イ サンギョ

絵：ナ ヒョンジョン

訳：おおたけきよみ

福音館書店、2015年

受講生への  
メッセージ



私が初めて＜韓国＞に出会ったのは1988年、ソウルオリンピックの年です。ハングル文字を見たのも、韓国語の響きを聞いたのもこの時が初めてでした。そしてこの年、韓国人作家による初めての現代韓国絵本が誕生しました。それから35年。いまや世界で最も注目される韓国の絵本を通して隣国の歴史と文化に親しみたいと思います。

【講師】大竹 聖美(おおたけ きよみ) 現代文化学部 子ども文化学科 教授 ……………

韓国児童文学翻訳・研究。白百合女子大学大学院文学部児童文学専攻修士課程修了後、日韓文化交流基金訪韓研究員、大韓民国政府招聘留学生としてソウル・延世大学大学院教育学部博士課程にて博士(教育学)学位取得。アジア児童文学日本センター理事、韓国児童文学学会国際理事、韓国児童青少年文学学会国際理事、日本ペンクラブ・日本文藝家協会会員。優れた韓国の絵本の翻訳・講演等多数。

著書：(単著)『植民地朝鮮と児童文化』(社会評論社)／(共著)『絵本の絵を読む』(ミネルヴァ書房)、『絵本をひらく』(人文書院)、『10歳の質問箱』(小学館)、『いま、この研究がおもしろい』(岩波ジュニア新書)など。／(翻訳)『チェック』(トッケビとどんぐりムク)(ともに福音館書店)、『とらとほしがき』『ぼくって、ステキ?』(ともに光村教育図書)、『非武装地帯に春がくると』(童心社)、『わたしたちのケーキのわけかた』(偕成社)など。

4 - 58 定員 24名  
健康

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

金曜日 3回

4月 19日

5月 17日

6月 21日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 2,500円

学生 1,200円

提供

東京純心大学

備考

がんの治療とリンパ浮腫  
～リンパ浮腫の起こる理由やケアについて学びます～

託児

内容：乳がん、婦人科がん、泌尿器がん、皮膚がんなどの手術に伴うリンパ節郭清によって起こる、リンパ浮腫について、学びます。

対象：リンパ浮腫のことをもっと知りたい、患者さん、ご家族、看護師

第1回目：リンパ浮腫の基礎知識

どうしてリンパ浮腫になるのか、どのような対応策があるのか、ガイドラインを学びます。

第2回目：シンプルリンパドレナージ

自分で行う予防の手技を学びます。腕、足のドレナージの正しい方法を身につけましょう。

第3回目：圧迫療法の実践

弾性ストッキングや包帯などを使った適切な圧迫について学びます。陰部の浮腫みなどへの応用の実際についてもご紹介します。

受講生への  
メッセージ



一般的なリンパ浮腫の知識や技術(ドレナージ、弾性装具)について深めたい、患者さんやご家族はもちろん、ケア力を高めたい看護職やリハビリ職の方、皆で学んでいきましょう。

1回目にご質問などのアンケートを取らせていただきます。2・3回目にはそのお答えを皆さんで共有しながら、学びを深めていきたいと思います。

【講師】宗定 水奈子(むねさだ みなこ) 看護学部 看護学科 講師 ……………

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 成人／緩和ケア看護学分野看護師コース修了(保健学修士)。がん看護専門看護師、リンパ浮腫療法士。総合病院の病棟にてリンパ浮腫のリスクのある患者さんへの退院支援、看護外来では10年間がん相談、リンパ浮腫相談を担当。2021年4月より現職。

4 - 59 定員 健康 32名

美齢講座① 美しく健やかに生きる  
～おしゃれ身だしなみを意識して～

**会場**  
学園都市センター  
MAP → P17  
**曜日・回数・実施日**  
土曜日 1回  
4月 20日  
**時間**  
10:20～11:50  
**受講料**  
一般 1,000円  
学生 500円  
**提供**  
山野美容芸術短期大学  
**備考**

我が国の男性の平均寿命も80歳を超え、65歳以上人口は全体の4人に一人以上の割合となりました。また、全国には100歳以上の方が8万人以上いらっしゃり、「人生100年時代」とも言われるようになってきています。こうした日本の社会では、より健やかに、そして美しく生きていきたいという願いは、多くの方の願いとなってきています。

そこで、その願いをかなえるためにも「美しさ」や「健やかさ」をどのように捉え、日々の生活の中でどのように意識していくかのヒントと一緒に考える講座にしていきたいと考えています。

「美しさ」も「健やかさ」も、幸せに生きていくための大きな、そして大切な資源であるという前提でお話ししたいと思います。

この講座は、この後に続く「美齢講座」のオリエンテーションの位置づけにもなっています。

受講生への  
メッセージ

自分自身への理解を深める心理テストから、ストレスチェック、そしてタイプ別のストレス対処法、さらには高齢者の肌の特徴とそれぞれへの対処法にも言及します。  
楽しい雰囲気、明日からの生き方を少々考えてみる時間としましょう。



【講師】木村 康一(きむら こういち) 美容総合学科 教授

東京学芸大学卒業、同大学院(教育学)終了。その後博士(医学)。群馬大学医学部、順天堂大学医学部助手を経て現職。日本美容福祉学会理事、日本コニパーサルカラー協会理事、日本健康検定協会副会長。  
著書：「保健・衛生ノート」(ぎょうせい)、「学生のための健康管理学」(南山堂)、「健康管理する人が必ず知っておきたい栄養学の〇と×」(誠文堂新光社)、「美道論」(国際美容協会)、他

4 - 60 定員 文学 54名

源氏物語の和歌(37) Aコース  
～和歌から読み解く源氏物語～

託児

**会場**  
学園都市センター  
MAP → P17  
**曜日・回数・実施日**  
火曜日 5回  
4月 23日  
5月 28日  
6月 4日  
7月 2日  
8月 27日  
**時間**  
13:30～15:00  
**受講料**  
一般 4,000円  
学生 2,000円  
**提供**  
八王子学園都市大学  
**備考**

源氏物語には800首近い和歌が含まれています。和歌は、その機能によって贈答歌、独詠歌、唱和歌の3つに分類されますが、源氏物語の作者は、この和歌の機能を見事に活かしてすばらしい作品を書き上げています。この講座では、それらの和歌に焦点を当てながら、源氏物語を読み進めていきますが、物語の和歌は、その和歌がどのような場面で、どのような心理状態で詠まれているのかを知らなければ、和歌そのものの意味も正しく読みとることができません。従って、和歌だけでなく、その前後の文章や物語の流れも読んでいくこととなります。

今期は、横笛巻の続きと鈴虫巻を読む予定です。

秋の夕暮れ、落葉の宮を見舞った夕霧は、宮の母御息所から、柏木遺愛の横笛を贈られます。その夜、夢に柏木が現れ、笛を伝えたい人は他にあった、と告げました。夕霧は柏木のために供養を行い、笛の処置を源氏に相談しようと六条院を訪れました。源氏はその笛の由来を語り、自分が預かろうと言いますが、夕霧が話した柏木の遺言については、そのよ

うな覚えはないと、切り捨てました。

翌年の夏、女三の宮の持仏間眼の供養が営まれました。源氏は仏具一式を新調し、紫の上も心を合わせて準備しました。その法要は盛大ですばらしいものでしたが、女三の宮の尼姿ははかなげに見え、源氏は彼女に来世を誓うのでした。朱雀院は宮が三条宮へ移るよう勧めますが、宮を手離したくない源氏は反対します。

秋になると、源氏は宮の住む前庭を野の風情にしつらえ、鈴虫を放ちます。八月十五夜、宮を訪れた源氏は琴を弾き、二人は鈴虫の歌を唱和します。折から、夕霧や弾兵部卿の宮なども訪れて、管弦の宴が始まりました。そこへまた、冷泉院より使者が来て、源氏は一同を引き連れて参上し、詩歌管絃に夜を明かします。退出の際、秋好中宮から出家の意向を打ち明けられた源氏は、強く諫めませんが、中宮は母御息所の死霊の噂に心痛し、亡き母の苦しみを少しでも軽減できたならばと願うのでした。

※本講座は「源氏物語の和歌(37)Bコース」と同じ内容です。Bコースに同時にお申込みはできません。



【講師】篠塚 純子(しのづか すみこ) 共立女子大学 名誉教授

東京外国語大学フランス語科卒業。2008年3月まで共立女子大学国際文化学部日本コース所属の教授として日本古典文学(日記、物語、和歌)に関わる授業を担当。主な著書に「和泉式部-いのちの歌-」(至文堂)、「古典の森のプロムナード」(不識書院)、「蜻蛉日記の心と表現」(勉誠社)、歌集に「線描の魚」(不識書院)、「音楽」(不識書院)がある。

4 - 61 定員 54名  
文学

源氏物語の和歌(37) Bコース  
～和歌から読み解く源氏物語～

託児

会場  
学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

火曜日 5回

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 4月 23日 |  |  |
| 5月 28日 |  |  |
| 6月 4日  |  |  |
| 7月 2日  |  |  |
| 8月 27日 |  |  |

時間

15:20～16:50

受講料

一般 4,000円  
学生 2,000円

提供

八王子学園都市大学

備考

源氏物語には800首近い和歌が含まれています。和歌は、その機能によって贈答歌、独詠歌、唱和歌の3つに分類されますが、源氏物語の作者は、この和歌の機能を見事に活かしてすばらしい作品を書き上げています。この講座では、それらの和歌に焦点を当てながら、源氏物語を読み進めていきますが、物語の和歌は、その和歌がどのような場面で、どのような心理状態で詠まれているのかを知らなければ、和歌そのものの意味も正しく読みとることができません。従って、和歌だけでなく、その前後の文章や物語の流れも読んでいくことになります。

今回は、横笛巻の続きと鈴虫巻を読む予定です。

秋の夕暮れ、落葉の宮を見舞った夕霧は、宮の母御息所から、柏木遺愛の横笛を贈られます。その夜、夢に柏木が現れ、笛を伝えたい人は他にあった、と告げました。夕霧は柏木のために供養を行い、笛の処置を源氏に相談しようと六条院を訪れました。源氏はその笛の由来を語り、自分が預かろうと言いますが、夕霧が話した柏木の遺言については、そのよ

うな覚えはないと、切り捨てました。

翌年の夏、女三の宮の持仏間眼の供養が営まれました。源氏は仏具一式を新調し、紫の上も心を合わせて準備しました。その法要は盛大ですばらしいものでしたが、女三の宮の尼姿ははかなげに見え、源氏は彼女に来世を誓うのでした。朱雀院は宮が三条宮へ移るよう勧めますが、宮を手離したくない源氏は反対します。

秋になると、源氏は宮の住む前庭を野の風情にうつらえ、鈴虫を放ちます。八月十五夜、宮を訪れた源氏は琴を弾き、二人は鈴虫の歌を唱和します。折から、夕霧や嵯峨兵部卿の宮なども訪れて、管弦の宴が始まりました。そこへまた、冷泉院より使者が来て、源氏は一同を引き連れて参上し、詩歌管絃に夜を明かします。退出の際、秋好中宮から出家の意向を打ち明けられた源氏は、強く諫めますが、中宮は母御息所の死霊の噂に心痛し、亡き母の苦しみを少しでも軽減できたならばと願うのでした。

※本講座は「源氏物語の和歌(37)Aコース」と同じ内容です。Aコースに同時にお申込みはできません。



【講師】篠塚 純子(しのづか すみこ) 共立女子大学 名誉教授

東京外国語大学フランス語科卒業。2008年3月まで共立女子大学国際文化学部日本コース所属の教授として日本古典文学(日記、物語、和歌)に関わる授業を担当。主な著書に『和泉式部-いのちの歌-』(至文堂)、『古典の森のプロムナード』(不識書院)、『蜻蛉日記の心と表現』(勉誠社)、歌集に『線描の魚』(不識書院)、『音楽』(不識書院)がある。

4 - 62 定員 15名  
健康

美齢講座② 美しい歩き方を学んで体力アップ  
～美しく歩くポイントとそのための軽い体操を～

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 1回

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 4月 27日 |  |  |
|--------|--|--|

時間

10:20～11:50

受講料

一般 1,000円  
学生 500円

提供

山野美容芸術短期大学

備考

自立した生活を送る上で、人に頼ることなく移動したり外出したりするためには歩行能力を維持しておくことが大切です。そして、美しく正しい姿勢で歩くと、疲労やケガも起こりにくく、見た目も若々しくなります。結果的に健康度や体力の低下防止に繋がります。では、美しく正しい歩き方とはどのようなもののでしょうか。この講座では、実際に歩いてみて動作をチェックしながら美しい歩き方を学んでいきます。また、歩行に関わる筋力は、加齢に伴って徐々に低下します。そこで、筋肉の量や力を維持改善するための簡単な筋肉トレーニングについても説明します。自宅でできるお手軽なメニューですので、ぜひ覚えて自宅で実践してみてください。

受講生への  
メッセージ



いつまでも健康で快活な生活を送るために、美しく正しい歩き方を身につけましょう。望ましい歩き方を維持するための筋トレについても解説します。実際に歩いたり、ストレッチや軽い筋トレを体験していただくので、体を動かしやすい服装でご参加ください。

【講師】永松 俊哉(ながまつ としや) 美容総合学科 教授

美容総合学科 教授 博士(保健学)  
福岡教育大学大学院教育学研究科修了(公財)明治安田厚生事業団体力医学研究所所長を経て現職  
専門分野は公衆衛生学、運動生理学、健康科学

著書：新運動生理学(下巻) 真興交易医書出版部 2001年、運動とメンタルヘルス 杏林書院 2012年、ポジティブ脳に切り替えるストレッチ メディカルトリビューン社 2014年、ストレッチで不調を改善する伸活 学研パブリッシング 2014年、Depression Frontier 医業ジャーナル社 2015年、発達と老化の理解・こころとからだの仕組み 全国社会福祉協議会 2016年、こころの健康シリーズVII 日本精神衛生会 2019年、ないすらいふ情報 中高年齢者雇用福祉協会 2020年、学生のための健康管理学 南山堂 2021年



5-1  
文化

定員  
54名

虚無から空へ  
～西谷啓治の哲学探訪～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

木曜日 8回

|    |     |     |     |     |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 5月 | 16日 | 30日 |     |     |
| 6月 | 6日  | 13日 | 20日 | 27日 |
| 7月 | 4日  | 11日 |     |     |

時間

13:30～15:00

受講料

一般 6,500円  
学生 3,200円

提供

公益財団法人 東洋哲学研究所

備考

哲学の発祥地ギリシアは濃き光と海の青さに満たされた世界です。彼らの語る理性はそれゆえ、人間存在の根底へとその光線を刺しこみ、その一方で宇宙の広がりや理法によって張り巡らされています。しかし中世を経て近代の末期になれば、その光は徐々に陰ります。陰りの起源はニーチェによって虚無として露わとなります。ハイデガーはニーチェとの対決のなかに虚無を哲学的問題にします。

西田幾多郎を嚆矢とする日本哲学には陰影が潜んでいます。西田の血脈を継いだ西谷啓治は西洋哲学の終末を日本独特の陰影のなかで受けとめ、彼は空の世界を開示していきます。本講座ではその一端を味わっていきます。

- 第1回：イントロダクション：無常の可視化としての不浄
- 第2回：日本文化としての陰影
- 第3回：ニーチェ：実存としてのニヒリズム
- 第4回：ハイデガー：哲学としてのニヒリズム
- 第5回：虚無の深層
- 第6回：空の立場
- 第7回：情意としての空
- 第8回：残された宿題

受講生への  
メッセージ

哲学は自己の内面を見つめることです。何も畏まることはありません。しかし自己の深部にはこれまで経験したことのない世界が広がっていることは確実です。哲学は自己の内面世界への探訪です。



【講師】山崎 達也(やまざき たつや) 東洋哲学研究所 主任研究員 ……………

創価大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。ドイツ・ポフム大学カトリック神学部に研究留学。創価大学・都留文科大学非常勤講師。博士(文学)  
著書：『哲学と神学のハルモニア』(単著：知泉書館)、

5-2  
文学

定員  
32名

シェイクスピアの世界  
～『アテネのタイモン』に見る人間不信～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

金曜日 6回

|    |     |     |     |  |
|----|-----|-----|-----|--|
| 5月 | 10日 | 17日 | 24日 |  |
| 6月 | 7日  | 14日 | 21日 |  |

時間

13:30～15:00

受講料

一般 5,000円  
学生 2,500円

提供

八王子学園都市大学

備考

タイモンは善良で気前のいい金持ちです。豪華な宴会を催し、追従者の甘言に乗せられて金銭を与え続けた結果、破産して人々に借金を願いますが、誰も助けてくれません。忘恩と裏切りに気付いた彼は激怒し、極度の人間不信に陥り、人間嫌いになり、毒舌家になります。そして復讐を企てた後、森で隠遁生活を送り、海辺に泉下の居場所を求めます。

劇中には、金の本質についての考察をはじめとして、浪費による没落の悲惨さや、絶望し孤独に耐える人間の心理が描かれています。

また金銭欲や身勝手さが暴かれ、社会への辛辣で鋭い風刺が見られます。更に、自己と他者との関係や人間性を問う普遍的なテーマが扱われ、現代社会にも通じる問題が提起されています。例えば作者はアテネの武人に、「戦争には平

和を生ませよ、平和には戦争を止めさせよ」と語らせていますが、この言葉は、今日の社会の分断への警告としても通用しそうです。

本講座では、悲劇的主人公の原型ともいえるタイモンの心の内に分け入り、多様な見方をされてきた当作品への理解を深めて頂ければ幸いです。

以下の要領で、講座を進める予定です。

- 第1回 序論
- 第2回～第4回 作品を読む
- 第5回 上演と批評
- 第6回 作品解釈の発表と討論

受講生への  
メッセージ

日本語版の『アテネのタイモン』をご用意ください。



【講師】川地 美子(かわち よしこ) 杏林大学 外国語学部 英米語学科 元教授 ……………

津田塾大学文学部英文科卒業。慶應義塾大学大学院修士課程修了。ニューヨーク市立大学大学院博士課程留学。博士(文学)。日本英文学会、日本シェイクスピア協会、国際シェイクスピア協会等の会員。国際シェイクスピア学会招待会員。内外の学会発表、司会、講演多数。  
著書：Calendar of English Renaissance Drama 1558-1642、『シェイクスピアと文化交流』、『シェイクスピアの時間論』、『シェイクスピアの世界』、『世界を旅するシェイクスピア』。そのほか翻訳、内外の編著、論文多数。

|                                                      |                                                                                                                                                                    |  |               |
|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---------------|
| <b>5 - 3</b><br><b>経 営</b><br><b>定員 16名</b>          | <b>サービス・マーケティング2</b><br><b>～顧客満足のためのサービス・システム～</b>                                                                                                                 |  | <div>託児</div> |
| <b>会 場</b><br><b>学園都市センター</b><br><b>MAP → P17</b>    | <p>「サービス・マーケティング入門」では、サービス商品とはいったい何なのかという基本的なことを学んできました。この「サービスマーケティング2」では、「サービスをシステムとして組織的に経営し、顧客を満足させ、利益を上げるためにはどうしたら良いのか」について、最新のマーケティング理論を優しく解説していきます。</p>     |  |               |
| <b>曜 日・回 数・実 施 日</b><br><b>金曜日 4回</b>                | <p>【持ち物】筆記用具</p>                                                                                                                                                   |  |               |
| <b>時 間</b><br><b>15:20～16:50</b>                     | <p>第1回 サービスの品質と顧客価値の実現<br/>         第2回 サービス・マーケティング・ミックス<br/>         第3回 サービス・マネジメント・システム<br/>         第4回 顧客満足と従業員満足</p>                                        |  |               |
| <b>受 講 料</b><br><b>一般 3,500円</b><br><b>学生 1,700円</b> | <p>受講生への<br/> <b>メッセージ</b></p>                                                                                                                                     |  |               |
| <b>提 供</b><br><b>東京都立大学</b>                          | <p>特に専門知識は要りません。気軽に受講して下さい。</p>                                                                                                                                    |  |               |
| <b>備 考</b>                                           | <p>【講師】小泉 徹(こいすみ とおる) 名誉教授</p>                                                                                                                                     |  |               |
|                                                      | <p>1977年慶應義塾大学商学部卒業、1982年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得満期退学。1999年東京都立短期大学教授、2016年首都大学東京(現東京都立大学)教授、2020年東京都立大学名誉教授。<br/>         著書：「サービス・マーケティングの新展開」(共)同文館、「現代商業学入門」</p> |  |               |

|                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |
|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <b>5 - 4</b><br><b>歴 史</b><br><b>定員 32名</b>          | <b>ドイツの首都ベルリンの歴史</b><br><b>～時代に翻弄されたベルリン～</b>                                                                                                                                                                                                                    |  |
| <b>会 場</b><br><b>学園都市センター</b><br><b>MAP → P17</b>    | <p>今回は、ドイツの首都ベルリンの歴史をたどりたいと思います。ベルリンは13世紀の初めに建設された町で、ブランデンブルク辺境伯が1448年、ブランデンブルクからベルリンに宮殿を移しました。17世紀の30年戦争で衰退し、1709年の首都となりました。講座では、その後のプロイセン王国、ドイツ帝国、ワイマル共和国、ナチス第三帝国、第2次世界大戦後のドイツの東西分裂、再統一に亘って、とりわけ、ドイツの東欧との交流・抗争の中で、ベルリンがどのような立場に置かれたかを見ていきます。各回の内容は以下の通りです。</p> |  |
| <b>曜 日・回 数・実 施 日</b><br><b>土曜日 8回</b>                | <p>1. (12世紀)<br/>         ブランデンブルク辺境伯領の成立、<br/>         (13世紀)<br/>         都市ベルリンの成立</p>                                                                                                                                                                        |  |
| <b>時 間</b><br><b>10:20～11:50</b>                     | <p>2. (15世紀)<br/>         ブランデンブルク辺境伯領の首都ベルリン、<br/>         (17世紀)<br/>         30年戦争時のベルリン</p>                                                                                                                                                                  |  |
| <b>受 講 料</b><br><b>一般 6,500円</b><br><b>学生 3,200円</b> | <p>3. (18世紀)<br/>         プロイセン王国の首都ベルリン</p>                                                                                                                                                                                                                     |  |
| <b>提 供</b><br><b>明星大学</b>                            | <p>4. (19世紀・20世紀)<br/>         ドイツ帝国の首都ベルリン</p>                                                                                                                                                                                                                  |  |
| <b>備 考</b>                                           | <p>5. (20世紀)<br/>         第一次世界大戦前後とヴァイマル共和国時代のベルリン</p>                                                                                                                                                                                                          |  |
|                                                      | <p>6. (20世紀)<br/>         ナチス第3帝国時代のベルリン</p>                                                                                                                                                                                                                     |  |
|                                                      | <p>7. (20世紀)<br/>         東西冷戦に引き裂かれたベルリン</p>                                                                                                                                                                                                                    |  |
|                                                      | <p>8. (20世紀・21世紀)<br/>         再統一後のドイツの首都ベルリン</p>                                                                                                                                                                                                               |  |
|                                                      | <p>受講生への<br/> <b>メッセージ</b></p>                                                                                                                                                                                                                                   |  |
|                                                      | <p>教科書はありません。参考書としては、<br/>         『ベルリン＝旅物語』鈴木真弓著(文・写真) 東京書籍 本体 1,900円<br/>         『未来都市ベルリンーベルリン2000年のビジョンー』木村直司編 東洋出版 3,100円<br/>         を挙げておきます。<br/>         広くドイツやベルリンに興味を持ってほしいと思います。<br/>         テレビで、ドイツやベルリンに関する番組があれば見てほしいと思います。</p>              |  |
|                                                      | <p>【講師】岡田 恒雄(おかだ つねお) 教育学部 名誉教授</p>                                                                                                                                                                                                                              |  |
|                                                      | <p>専攻はドイツ演劇(ヴェーデキント、ブレヒト、J.M.R.レンツなど)ですが、ブレヒトとの関連でヒトラーやナチス第3帝国の研究もしております。ドイツと日本の伝統演劇の比較もしております。<br/>         最終学歴は、1983年3月早稲田大学大学院博士後期課程ドイツ文学専攻単位取得済み満期退学です。<br/>         著書：「演劇の「近代」 近代劇の成立と展開」中央大学人文科学研究所 編(共著) 1996年発行 など</p>                                 |  |

5-5 定員 54名  
経済

お金(通貨)が分かれば、世界が読める  
～デジタル通貨、ドル、ユーロ、人民元、そして円～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

月曜日 5回

5月 13日、20日、27日

6月 3日、10日

時間

15:20～16:50

受講料

一般 4,000円

学生 2,000円

提供

中央大学

備考

今の世界を動かしているのは、物よりもお金です。そこで、お金(通貨)をキーワードに、世の中の動き、世界経済の動向をお金の側から見ることにしましょう。

まず第1に、世界で注目されているデジタル通貨を取り上げ、デジタル通貨はこれまでのお金とどこが違うのか、誰が発行すべきか、その発行で生活はどう変わるかを考えてみましょう。

第2に、世界の基軸通貨・ドルを取り上げましょう。ドルが世界に君臨することによって、アメリカはとてつもなくいい思いをしています。しかし、それを良いことに安易な経済運営をしてきたツケが顕在化していますが、どう解決すればよいのでしょうか。

第3に、ユーロ、人民元について見てみましょう。まず、ユーロについては、通貨統合とは何かをお話し、ユーロ危機の原因や今後の展望を考えてみましょう。次に、アジアで人民元はドルに代わる

通貨になりうるかを見てみましょう。

第4に、「黄昏の通貨」と呼ばれる円は、再び輝きを増すことができるか、そのために日本はどうかすればよいかを考えてみましょう。

- (1) お金(通貨)って何、新しいデジタル通貨とは
- (2) 誰がデジタル通貨を発行すべきか、生活はどう変わる
- (3) 法外なドルの特権に安住するアメリカはどうなる
- (4) ユーロとは、アジアで人民元は覇権を握れるか
- (5) 「黄昏の通貨」・円は再び輝きを取り戻せるか

経済の知識のない人でもわかるように、易しくかみ砕いてお話ししますので、気軽に聞いてください。

※この講座は令和5年度前期講座とおおむね同じ内容です。

受講生への  
メッセージ



経済はコインの裏表のように、「もの」と「お金」の2面から成っているのですが、今や「お金」の側が肥大化し、影響力が大きくなってしまっています。そこで、主要なお金にまつわる面白話をする事によって、今日の世界の動きを見てみませんか。

【講師】中條 誠一(なかじょう せいいち) 名誉教授

約11年間の商社(日商岩井)勤務の後、大阪市立大学助教授・教授を経て、1996年から中央大学教授に就任。23年間勤務し、2019年4月から同大学名誉教授。現在は、商社での経験を活かして、一般市民向けに啓蒙書を執筆するとともに、講演活動を行っています。

著書：『ゼミナール 為替リスク管理・新版』有斐閣ビジネス、1999年

『アジアの通貨・金融協力と通貨統合』文真堂、2011年

『現代の国際金融を学ぶ』勁草書房、2012年

『人民元は覇権を握るか』中公新書、2013年

『新版・現代の国際金融を学ぶ』勁草書房、2015年

『ドル・人民元・リブラ』新潮新書、2019年

など多数。

5-6 定員 15名  
コンピュータ

Python による作業自動化入門

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

月曜日 6回

5月 13日、20日、27日

6月 3日、10日、17日

時間

18:00～19:30

受講料

一般 5,000円

学生 2,500円

提供

拓殖大学

備考

例えば、Wordで作成した表をExcelで処理するために改めて入力し直すなど、PCを使っているのにも関わらずこのような単純人間が行わなければならない作業作業は幾つもありますよね。本講座では、最近注目を集めているPythonというプログラミング言語を使用して、このような面倒かつ単純な作業を自動化させる方法について説明します。

なお、本講義は、各種サービスを利用するためユーザ登録やログイン操作等、PCやWebサービスなどの基本的な操作スキルと基礎的なプログラミングスキルが必須です。また、動作の確認にWebブラウザが動作するPCを使用しますので、ご自身でご用意下さい(キーボードがあった方がプログラムの入力しやすいので、タブレットの使用はお勧めいたしません)。

第1回 環境整備と動作確認

本講義では、Google Colaboratoryを使ってPythonのプログラムを動作させます。Google Colaboratoryへのアクセス方法から、Pythonプログラムの入力とエラー修正、動作確認までの一通りを体験します。

第2回 Pythonの基本文法(1)

変数・定数、データ型などPythonでプログラムを作成

するために必要な基本的事項について説明します。

第3回 Pythonの基本文法(2)

第2回に引き続き、制御構造や関数定義の仕方について説明します。

第4回 Excel・Word操作の自動化

ExcelとWordを操作するライブラリの説明と、それらを用いたExcelやWord操作自動化を行います。

第5回 Webサイトからの情報抽出

Webサイトから特定のデータを抽出するWebスクレイピングの仕組みについて説明し、実際にWebスクレイピングを動作させて確認します。

第6回 PDFファイルの操作

PDFファイルからテキストを抽出したり、複数のPDFファイルを結合する方法について説明を行い、その後実習でその内容を確認します。

【持ち物】 パソコン

※この講座は令和5年度前期講座とおおむね同じ内容です。

受講生への  
メッセージ



PCを使っただけの単純作業に『もううんざり』という方はもちろんのこと、Pythonでのプログラミングに興味がある方は、是非本講義にチャレンジして頂きたいと思ひます。受講に当たってご自身のプログラミングスキルが十分か不安な方は、変数や代入、繰り返しや条件分岐という言葉が何を示すのかが判るかどうかでご判断下さい。

【講師】佐々木 整(ささき ひとし) 工学部 教授

最終学歴 拓殖大学大学院工学研究科修士課程 修了(1993年3月)

学位 博士(工学)(拓殖大学1999年)

著書 『一般情報教育』オーム社(2020年)

『ゼロからわかるJava超入門(改訂3版)』技術評論社(2020年)

『本格学習Java入門(改訂3版)』技術評論社(2018年)

『よくわかる情報リテラシー(改訂新版)』技術評論社(2017年)

『情報とコンピューティング』オーム社(2011年)他、多数



|                        |           |
|------------------------|-----------|
| 5 - 7                  | 定員<br>30名 |
| 健康                     |           |
| 会場                     |           |
| 学園都市センター<br>MAP → P17  |           |
| 曜日・回数・実施日              |           |
| 水曜日 6回                 |           |
| 5月 15日 29日             |           |
| 6月 12日 26日             |           |
| 7月 3日 10日              |           |
| 時間                     |           |
| 13:30～15:00            |           |
| 受講料                    |           |
| 一般 5,000円<br>学生 2,500円 |           |
| 提供                     |           |
| 帝京大学                   |           |
| 備考                     |           |

健康寿命の延伸への挑戦

託児

1. 心理的ストレスを知り健康を手に入れよう編  
(計2回、担当：松永悠希)  
「ストレスは健康に悪いものだ」というイメージが一般的に広まっていますが、実際のところ、心理的なストレスは皆さんの健康にどのような影響を及ぼしているのでしょうか？身体と心の反応を科学的に解説し、さらに実習形式でストレスと健康について考えていきます。この講義が終わった後も、健康で豊かな人生になるように、ストレスと上手く付き合うきっかけとなる機会にしていきたいと思います。
2. 自分の身体と向き合い健康を手に入れよう編  
(計2回、担当：大塚玲香)  
自分の身体を知ること、痛みや怪我なく健康で快適な生活を送ることができるようになるお手伝いをさせていただきます。日々同じルーティンで過ごしていると脳や身体に偏り(癖)ができていきます、この講座ではその偏りから抜け出し新しい感覚・脳や身体の使い方を見つけていきます。
3. 実践的な心肺蘇生法を身に付けみんなの健康を手に入れよう編(計2回、担当：廣重陽介)  
心肺蘇生法は広く知る機会がありますが、なかなか実際に発揮する機会はなく、いざというときに忘れがちです。また、多くは実用的な活用まで落とし込めていません。本講座では、心肺蘇生の方法を、「知らない→知っている」、「できない→できる」、「やれない→やれる」レベルに引きあげることを目標に、技術の習得、多くの命を救う手段について考える機会にしていきたいと思います。

受講生へのメッセージ  
心理、身体、救命的な側面から、健康を充実させるための情報提供を行います。1日でも長く健康状態が保てると、豊かな人生を送ることができます。自分も周囲の方も健康を保てる秘訣について、一緒に考える機会にしたいと考えています。本講座では無理ない程度の軽運動を実施することがあります。運動が可能な動きやすい服装、および筆記用具をご準備ください。また、講座内でアンケートなどの調査や簡単な測定の実施も企画しています。

【講師】廣重 陽介(ひろしげ ようすけ) スポーツ医科学センター 講師

修士(学術)。理学療法士として医療機関在職時には高齢者のリハビリテーション、転倒予防教室等に従事。現職では競技アスリートを中心に傷害予防やリハビリテーション、救急処置に関する教育、研究、サポートを行っている。  
著書：分担執筆・スポーツ医活動実践マニュアル(広島県医師会、2014)・アスリートのためのコンディショニング 改訂版(陸上競技社、2022)・地域理学療法(医学書院、2022)・公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト[2022年カリキュラム対応第3巻]コンディショニング(公益財団法人日本スポーツ協会、2022)・公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト[2022年カリキュラム対応第4巻]リハビリテーション(公益財団法人日本スポーツ協会、2022)・体育授業のためのリスクマネジメントハンドブック(大修館書店、2023)

松永 悠希(まつなが ゆき) スポーツ医科学センター 助教  
大塚 玲香(おおつか さやか) スポーツ医科学センター 助教

|                        |           |
|------------------------|-----------|
| 5 - 8                  | 定員<br>24名 |
| 経済                     |           |
| 会場                     |           |
| 学園都市センター<br>MAP → P17  |           |
| 曜日・回数・実施日              |           |
| 水曜日 5回                 |           |
| 5月 15日 22日             |           |
| 6月 26日                 |           |
| 7月 10日 17日             |           |
| 時間                     |           |
| 13:30～15:00            |           |
| 受講料                    |           |
| 一般 4,000円<br>学生 2,000円 |           |
| 提供                     |           |
| 帝京大学                   |           |
| 備考                     |           |

21 世紀の世界 文明・言語

託児

- 第1回  
第1章 異文化国際コミュニケーションをどう理解するか  
第2章 文化的な基層と人間関係のあり方が各国の特徴に反映する
- 第2回  
第3章 時間 時間の概念が 単層か多層か社会システムの違いに、時間の衝突が時系列か共時的かで生じる
- 第3回  
第4章 序列 序列ヒエラルキー概念の国際比較—フランスは先進国のなかで序列権力指数の高い特異な国
- 第4回  
第5章 個人主義か集団主義か 個人主義か集団主義かの国際比較～ホフステッドが行った世界50カ国の個人主義と序列主義のマトリックス分析
- 第5回  
第6章 リスク 不確実性やリスクの国際比較～不安と平静の間で

受講生へのメッセージ  
異文化間にかかわる国際的な交渉は研修や学習を通じて対応することが可能で、世界ではE. ホール(Hall)やG. ホフステッド(Hofstede)らの手法やモデルが利用されることが多い。これらの理論を通じて自分が普遍的、絶対的と思いついてきた経営モデルの限界や相対性が示される。理不尽で非生産的と見えることでも別の文化尺度では正当化されるものであると知って、私たちは他の文明圏に属する文化的環境に対しても寛容になる。

【講師】瀬藤 澄彦(せとう すみひこ) 経済学部 元教授

諏訪東京理科大学非常勤講師 一般財団法人国際貿易投資研究所(ITI)客員研究員 ルネサンス・フランス日本代表部会長 パリクラブ(日仏経済交流会)会長歴任。早稲田大学法学部卒業 ジェトロ(日本貿易振興機構)パリ・リヨン・モントリオール・アルジェ次長・所長 フランス経済財政産業省・対外経済関係局(DREE)米州東アジア部対日顧問パリベルシー出身 など勤務。フランス国家功績勲章・オールド・ナショナル・ド・メリット・シュバリエ賞及びオフィシエ賞大統領叙勲 フランス貿易振興機構(UBIFRANCE)理事長・貿易貢献表彰・銀メダル章受賞。『パリクラブ日仏エコノミスト・フォーラム』主幹(2017・2)東京都目黒区・自由が丘日仏友好協会副会長(2018・4～)著書：『グローバル都市革命』『グローバル価値連鎖』『一人勝ちドイツに忍び寄る衰退』『フランスはなぜショックに強いのか?』『反グローバルリズム』『女性的価値観が企業を救う』『モントリオール 憂愁と復活』その他翻訳論文講演多数。



|                                              |                                                                                                                                                             |  |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <b>5 - 9</b><br><b>八王子学</b><br><b>定員 54名</b> | <b>八王子・多摩地域の歴史と考古</b><br><b>～遺跡で探る八王子・多摩のなりたち～</b> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">託児</div>                               |  |
| <b>会場</b>                                    | 最新の研究から、縄文文化の始まりは15,000年以上前の氷河期に遡り、日本列島が世界初の土器出現地の一つであることがわかりました。                                                                                           |  |
| <b>学園都市センター</b><br><b>MAP → P17</b>          | 最古の土器を出土した遺跡の一つは、あきる野市前田耕地遺跡です。縄文中期には多摩地域は多くの遺跡が集中する地域として発展しており、                                                                                            |  |
| <b>曜日・回数・実施日</b>                             | 八王子市梶田遺跡群などに見るように、芸術的な土器文化を持ち、ムラに集まって住んでいました。                                                                                                               |  |
| <b>木曜日 1回</b>                                | 中期終わり頃には国立市緑川東遺跡では変わったお祭りが確認され注目されています。                                                                                                                     |  |
| <b>5月 16日</b>                                | 東村山市下宅部遺跡からは、優れた漆加工技術や木工技術の存在が明らかになりました。                                                                                                                    |  |
| <b>時間</b>                                    | 弥生時代では、八王子市宇津木台遺跡の方形周溝墓は、教科書にも載っている重要な遺跡です。                                                                                                                 |  |
| <b>10:20～11:50</b>                           | 古墳時代では、多摩川古墳群や、府中市熊野神社古墳によって、古代における武蔵国の大きな勢力                                                                                                                |  |
| <b>受講料</b>                                   | 力であった首長層が多摩に存在していたことが推定できます。多摩地域の先史時代の遺跡について紹介します。                                                                                                          |  |
| <b>一般 1,000円</b><br><b>学生 500円</b>           | 受講生へのメッセージ                                                                                                                                                  |  |
| <b>提供</b>                                    | パワーポイントでスライドを映写しながら、多摩地域の遺跡やその発掘、調査から得られた最新成果を紹介します。                                                                                                        |  |
| <b>中央大学</b>                                  | 【講師】小林 謙一（こばやし けんいち） 文学部 教授                                                                                                                                 |  |
| <b>備考</b>                                    | 中央大学文学部教授 博士(文学)<br>1960年神奈川県横浜市生まれ<br>最終学歴：2004年3月 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻博士後期課程修了<br>主要著書：『縄紋社会研究の新視点―炭素14年代測定の利用―』六人書房(2004年)<br>『縄紋時代の実年代講座』同成社(2019年) |  |

|                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <b>5 - 10</b><br><b>芸術</b><br><b>定員 32名</b> | <b>名監督たちが映画に託したものは？（日本映画編）</b><br><b>～彼らの初期・中期・晩年の作品を追って～</b> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">託児</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
| <b>会場</b>                                   | 日本映画の巨匠たちは、その生涯を通して、自らの映画にどんな思いを託し、私たちにどんな思いを残していったのか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |
| <b>学園都市センター</b><br><b>MAP → P17</b>         | 彼らの初期の話題作・中期の代表作・晩年の遺作などを取り上げて検証しながら、鑑賞していきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |
| <b>曜日・回数・実施日</b>                            | <テーマ>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |
| <b>木曜日 4回</b>                               | 第1回 「溝口健二『東京行進曲』『雨月物語』『山椒大夫』『赤線地帯』を取り上げて」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |
| <b>5月 16日、23日、30日</b><br><b>6月 6日</b>       | 第2回 「小津安二郎『落第はしたけれど』『晩春』『東京物語』『秋刀魚の味』を取り上げて」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |
| <b>時間</b>                                   | 第3回 「成瀬巳喜男『腰弁頑張れ』『放浪記』『浮雲』『乱れ雲』を取り上げて」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |
| <b>13:30～16:50</b>                          | 第4回 「黒澤明『姿三四郎』『生きる』『椿三十郎』『夢』を取り上げて」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |
| <b>受講料</b>                                  | 第5回 「木下恵介『陸軍』『カルメン故郷へ帰る』『二十四の瞳』『喜びも悲しみも幾歳月』(旧・新)を取り上げて」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |
| <b>一般 6,500円</b><br><b>学生 3,200円</b>        | 第6回 「新藤兼人『原爆の子』『裸の島』『墨東奇譚』『一枚のハガキ』を取り上げて」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |
| <b>提供</b>                                   | 第7回 「市川崑『ビルマの豎琴』『鍵』『東京オリンピック』『犬神家の一族』(旧・新)を取り上げて」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |
| <b>帝京大学短期大学</b>                             | 第8回 「大島渚『青春残酷物語』『絞死刑』『愛のコリーダ』『御法度』を取り上げて」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |
| <b>備考</b>                                   | ※休憩を挟みながらの、2講座連続講座となります。<br><br>映画が大好きな受講生の皆さんに集まって頂いて、素晴らしい映画を出来るだけ多く取り上げながら、映画の見方や楽しみ方をいっしょに考えていきたいと思います。講座は、1日に続けて2講座を、間に適宜休憩をはさみながら行います。<br><br>【講師】藤森 益弘（ふじもり ますひろ） 現代ビジネス学科 元客員教授<br>作家、評論家、CMプロデューサー。1947年生まれ、71年京都大学卒、広告制作会社サン・アドでプロデューサー、コピーライター、エディターとして数々の新聞広告やテレビCMや業界誌など制作。小説・評論本など出版。文芸誌や映画・音楽専門誌にエッセイなど執筆。帝京大学、福山大学、武蔵大学でも教鞭を執る。<br>著書：小説『春の砦』、『モンク』(いずれも文芸春秋)、『夢の炎』(文芸社)、映画評論『ロードショーが待ち遠しい』(文芸春秋)、歌集『黄昏伝説』(短歌人會)、ほか |  |

| 5-11<br>芸術                         | 定員<br>6名 | 陶芸（5月開講コース）Aコース<br>～「ろくろ」で作る「やきもの」～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会場                                 |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| サレジオ工業高等専門学校<br>MAP → P17 22       |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 曜日・回数・実施日                          |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 土曜日 6回                             |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 5月 11日 18日 25日<br>6月 1日 8日 15日     |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 時間                                 |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 13:00～16:00                        |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 受講料                                |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 一般 10,000円<br>学生 5,000円            |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 提供                                 |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| サレジオ工業高等専門学校                       |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 備考<br>教材費：4,000円<br>※受講料の他必要となります。 |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                    |          | <p>土を使った道具は古くから広く様々な形で利用されてきました。中でも陶器は、素朴な柔らかい土味、変化に富んだ釉薬の色調、寂びた感覚など、焼物のもつ魅力に富み多くの人を惹きつけてきました。</p> <p>陶器のもつ魅力は、素材としての陶土と釉、板作り、組作り、ロクロなど造形技法の組合せで無限に広がります。</p> <p>本講座では「ろくろ成形」を中心に体験して頂きます。自分のイメージと技でオリジナル作品を制作して生活を豊かに演出、そして、ものづくりの楽しさを実感してください。</p> <p>【服装について】<br/>汚れてもよい服装、とくに靴が汚れますので古い運動靴などをご用意下さい。</p> <p>受講生へのメッセージ<br/>本講座では「ろくろ成型」を中心に体験していただきます。自分のイメージと技でオリジナル作品を制作して生活を豊かに演出、そして、ものづくりの楽しさを実感してください。</p> <p>【講師】西野 隆司（にしの りゅうじ） デザイン学科 准教授 ……………<br/>山崎 哲理（やまざき てつり） デザイン学科 非常勤講師 ……………</p> |
|                                    |          | <p>※受講のめやす：「はじめての陶芸」を修了された方、または菊練りができる方。</p> <p>※本講座を申し込んだ方は「陶芸」の他のクラスに同時に申し込むことはできません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

| 5-12<br>芸術                         | 定員<br>6名 | 陶芸（5月開講コース）Bコース<br>～「ろくろ」で作る「やきもの」～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会場                                 |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| サレジオ工業高等専門学校<br>MAP → P17 22       |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 曜日・回数・実施日                          |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 土曜日 6回                             |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 5月 11日 18日 25日<br>6月 1日 8日 15日     |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 時間                                 |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 16:30～19:30                        |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 受講料                                |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 一般 10,000円<br>学生 5,000円            |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 提供                                 |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| サレジオ工業高等専門学校                       |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 備考<br>教材費：4,000円<br>※受講料の他必要となります。 |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                    |          | <p>土を使った道具は古くから広く様々な形で利用されてきました。中でも陶器は、素朴な柔らかい土味、変化に富んだ釉薬の色調、寂びた感覚など、焼物のもつ魅力に富み多くの人を惹きつけてきました。</p> <p>陶器のもつ魅力は、素材としての陶土と釉、板作り、組作り、ロクロなど造形技法の組合せで無限に広がります。</p> <p>本講座では「ろくろ成形」を中心に体験して頂きます。自分のイメージと技でオリジナル作品を制作して生活を豊かに演出、そして、ものづくりの楽しさを実感してください。</p> <p>【服装について】<br/>汚れてもよい服装、とくに靴が汚れますので古い運動靴などをご用意下さい。</p> <p>受講生へのメッセージ<br/>本講座では「ろくろ成型」を中心に体験していただきます。自分のイメージと技でオリジナル作品を制作して生活を豊かに演出、そして、ものづくりの楽しさを実感してください。</p> <p>【講師】西野 隆司（にしの りゅうじ） デザイン学科 准教授 ……………<br/>山崎 哲理（やまざき てつり） デザイン学科 非常勤講師 ……………</p> |
|                                    |          | <p>※受講のめやす：「はじめての陶芸」を修了された方、または菊練りができる方。</p> <p>※本講座を申し込んだ方は「陶芸」の他のクラスに同時に申し込むことはできません。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |



**5 - 13** **健康** **定員 16名**

**美齢講座③ スカルプケア（頭皮ケア）**  
**～スカルプチェックとヘッドマッサージをしよう～**

**会場**

**学園都市センター**  
**MAP → P17**

**曜日・回数・実施日**

**土曜日 1回**

5月 18日

**時間**

**10:20～11:50**

**受講料**

**一般 1,000円**

**学生 500円**

**提供**

**山野美容芸術短期大学**

**備考**

1. 頭皮理論・ダメージやケア方法を知る
2. スカルプチェック：視診、触診、問診を使い頭皮判断を行う
3. ヘッドスパ理論・言葉の語源から学び、デモンストレーションを通じ頭皮のツボを知る。
4. ヘッドマッサージ実習・スカルプローション（洗い流さない物）をつけマッサージを行う。

＜注意事項＞

- ・固まるスタイリング剤を使用しての参加はしないでください。
- ・頭皮を判断しますので、気になる方は始める前に一言ください。

【持ち物】筆記用具

受講生への  
**メッセージ**



毎日の頭皮や髪のお手入れは難しいと考えられている方が多いです。この講座では頭皮理論を知り、ダメージの予防や改善方法を身に付け、きれいな頭皮にするためのヘッドマッサージテクニックを学びます。

【講師】平田 昌義（ひらた まさよし）美容総合学科 准教授 ……………

美容師・ヘアデザイナー

経歴：山野美容芸術短期大学卒業後、都内有名美容室で幅広い技術と知識を習得し、その後数店舗を経て、現在は山野美容芸術短期大学教員として常勤。

専門：カット・カラーリング・パーマ・ブロー・シャンプーなどのサロン美容技術の指導と共に、美容師国家試験技術指導・ヘアコンテストの作品指導などの学生教育にも力を入れている。

**5 - 14** **歴史** **定員 54名**

**日米戦争決断の経緯**  
**～日米の外交文書、関係者の証言録から読み解く～**

託児

**会場**

**学園都市センター**  
**MAP → P17**

**曜日・回数・実施日**

**月曜日 5回**

5月 20日

6月 3日 17日

7月 8日 22日

**時間**

**13:30～15:00**

**受講料**

**一般 4,000円**

**学生 2,000円**

**提供**

**中央大学**

**備考**

1939年の欧州戦争勃発から1941年12月までの日・米・英・独・ソ関係について、極東国際軍事裁判資料、日米の外交文書を参考史料としながら解説し、日米開戦の経緯を明らかにします。とくにアメリカ国務省編『平和と戦争』から、新事実を紹介します。

※本講座は通年（前期・後期）での学習を想定しカリキュラムを組んでおります。

前期：4月～7月 5回

- ・前史としての経済戦争（2回）（欧州戦争と日英通商貿易問題・日中戦争と日米通商貿易問題）
- ・日独伊三国同盟と日ソ中立条約（2回）（南方を視野に入れた時局処理・松岡洋右の大東亜新秩序構想）
- ・第二次・第三次近衛内閣の日米交渉



【講師】佐藤 元英（さとう もとえい）中央大学政策文化総合研究所 客員研究員 ……………

元中央大学文学部教授

元中央大学政策文化総合研究所長

中央大学大学院文学研究科博士後期満期退学。1977年外務省入省（日本外交文書編纂官）、

1991年宮内庁出向（昭和天皇実録主任研究官）、1995年駒澤大学教授、2004年中央大学教授。

著書：『外務官僚たちの太平洋戦争』（NHKブックス）

『御前会議と対外政略』（原書房）

|                       |            |
|-----------------------|------------|
| <b>5 - 15</b>         | <b>定員</b>  |
| <b>歴史</b>             | <b>54名</b> |
| <b>会場</b>             |            |
| 学園都市センター<br>MAP → P17 |            |
| <b>曜日・回数・実施日</b>      |            |
| 木曜日 1回                |            |
| 5月 23日                |            |
| <b>時間</b>             |            |
| 10:20～11:50           |            |
| <b>受講料</b>            |            |
| 一般 1,000円<br>学生 500円  |            |
| <b>提供</b>             |            |
| 多摩大学                  |            |
| <b>備考</b>             |            |

## 江戸時代の庶民教育と儒学思想

託児

徳川時代の庶民教育といえば、私塾や寺子屋が思い浮かぶかと思います。識字率が海外に比べて高かったと言われている理由に、都市部を中心とした庶民にも学びの機会が（地域差はあれども）存在したと考えられています。とりわけ寺子屋をはじめとした初等教育の現場では、“いろは”をはじめとした文字学習や単語学習など、いわゆる「よみかきそろばん」という基礎的な学習が求められました。

彼らが使用していた教科書には、「往来物」と呼ばれる文字学習テキストがあります。往来物は、もともと書簡文例集でしたが、徳川時代に入ると“いろは”や文例を学ぶ文字学習テキストのいちジャンルの名称となりました。ただ、往来物で文字を学ぶ際の素材は、古典的な文例集ではありません。商工業や地理歴史につい

て取り上げたものが登場するなど、様々なジャンルにわたる往来物が相次いで出版されました。

そのなかには「教訓」を主題とした「教訓科往来物」と現在では呼ばれるジャンルがあります。いわゆる「通俗道徳」を学ぶテキストですが、それらは、大陸由来の「儒学思想」の学びとは異なるのでしょうか。

今回は、寺子屋教育の実態と、そこで使われたテキスト、そして通俗道徳と専門的な儒学思想との距離などについての講義をする予定です。

受講生への

メッセージ



ちょっとしたことであっても、新たな学びを得られることは、生活を豊かなものにしてゆくことに繋がるのだと思うとあります。

もちろん、今回のお話は、歴史のなかの小さなトピックかもしれませんが、ただ、現代の自分が見ている世界や考えとどう違うのか、逆に、どう自分の考えと繋がるのか、そのようなことを考える材料として活用してもらえると幸いです。

【講師】高橋 恭寛（たかはし やすひろ）経営情報学部 事業構想学科 准教授 ……………

専攻は近世日本思想史。とりわけ徳川時代の儒学思想を研究している。

東北大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士(文学)。

東日本国際大学准教授等を経て、現在、多摩大学経営情報学部准教授。

著書：論文「日本阳明学派与怀德堂诸儒者的思想交杂」(『日本学研究』30)、「淵岡山における『藤樹学』の展開」(『研究東洋：東日本国際大学東洋思想研究所紀要』8)、「中江藤樹の福善禍淫論再考」(『日本思想史学』44)ほか。

|               |            |
|---------------|------------|
| <b>5 - 16</b> | <b>定員</b>  |
| <b>健康</b>     | <b>16名</b> |

## 美齡講座④ エイジングヘアケア ～美しい髪とヘアスタイルを保つためのヘアケア～

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>会場</b>             |  |
| 学園都市センター<br>MAP → P17 |  |
| <b>曜日・回数・実施日</b>      |  |
| 土曜日 1回                |  |
| 5月 25日                |  |
| <b>時間</b>             |  |
| 10:20～11:50           |  |
| <b>受講料</b>            |  |
| 一般 1,000円<br>学生 500円  |  |
| <b>提供</b>             |  |
| 山野美容芸術短期大学            |  |

**備考**  
教材費：500円  
(ヘアケア剤として)  
※受講料の他必要となります。

本講座では、日常行っている自身のヘアケアを振り返りいつまでも美しいヘアスタイルを保つことが出来るよう、さまざまなエイジングヘアケアのポイントとテクニックを学んでいきます。

自分に合ったシャンプー剤の選び方や、毛髪のトラブルや悩みを解消する方法、洗髪後のヘアドライやヘアセットのポイントについて紹介します。日ごろから予防・改善することでいつまでも美しい髪とヘアスタイルの実現を目指します

- ① 自分の頭皮や髪質について知る
- ② 洗髪剤の種類と目的について
- ③ 正しいシャンプー方法について
- ④ スカルプケア・ヘアケアの方法と実践
- ⑥ ヘアドライのポイント

受講生への

メッセージ



今まで、ヘアケアをしていなかった方も男女関係なく気軽にご参加下さい。

当日は、実際のヘアケア用品をお試しいただける時間もあります。是非この機会にご自分に合った楽しいエイジングヘアケアを考え体験してみましょう。

【講師】及川 麻衣子（おいかわ まいこ）美容総合学科 准教授 ……………

山野美容芸術短期大学卒業。美容室勤務を経て現職。美容福祉に関心を持ち、高齢者・障害者施設、精神科病院、拘置所、更生保護施設における美容の指導や実践研究を続けている。

**5 - 17** **定員**  
**言語** **16名**

**English in the News 初級編**  
**～時事問題から英語を理解する～**

託児

**会場**

**学園都市センター**  
**MAP → P17**

**曜日・回数・実施日**

**木曜日 8回**

|    |     |     |     |
|----|-----|-----|-----|
| 5月 | 23日 | 30日 |     |
| 6月 | 6日  | 13日 | 27日 |
| 7月 | 4日  | 11日 | 18日 |

**時間**

**10:20～11:50**

**受講料**

**一般 6,500円**  
**学生 3,200円**

**提供**

**サレジオ工業高等専門学校**

**備考**

**【講座概要】**

英語力を磨きたい方。苦手意識があるが、きっかけの欲しい方。

中級、中級上編コースに挑戦する前に試してみたい方。

本講座では、英字新聞・テレビニュースを題材に英語力アップを目指します。

- ・イントロダクション
- ・英文記事の要旨を読むコツ
- ・リスニング理解度の向上
- ・語彙力の向上

**【講座レベル】**

授業はすべて英語で行います。  
英検4級から3級程度のレベルです。

**【教材】**

新鮮なニュースを利用して英語の理解度をアップしていきます。

受講者のレベルに合わせて教材を選ぶ予定です。

**【持ち物】** ノートと筆記用具

※本講座を申し込んだ方は、「English in the News」の他のクラスを同時に申し込むことはできません。



**【講師】 Paul McCann (ポール マッカン) 一般教育 非常勤講師** .....

アイルランド出身。日本人はもちろん、諸外国の人々に英語を教えて二十余年。  
新聞社での特派員経験を持つ英語のエキスパート。

**5 - 18** **定員**  
**言語** **16名**

**English in the News 中級編**  
**～時事問題から英語を理解する～**

託児

**会場**

**学園都市センター**  
**MAP → P17**

**曜日・回数・実施日**

**水曜日 8回**

|    |     |     |     |
|----|-----|-----|-----|
| 5月 | 22日 | 29日 |     |
| 6月 | 5日  | 12日 | 26日 |
| 7月 | 3日  | 10日 | 17日 |

**時間**

**15:20～16:50**

**受講料**

**一般 6,500円**  
**学生 3,200円**

**提供**

**サレジオ工業高等専門学校**

**備考**

**【講座概要】**

英語力を磨きたい方。苦手意識があるが、きっかけの欲しい方。

中級上編コースに挑戦する前に試してみたい方。

本講座では、英字新聞・テレビニュースを題材に英語力アップを目指します。

- ・イントロダクション
- ・英文記事の要旨を読むコツ
- ・リスニング理解度の向上
- ・語彙力の向上

**【講座レベル】**

授業はすべて英語で行います。  
英検3級から2級程度のレベルです。

**【教材】**

新鮮なニュースを利用して英語の理解度をアップしていきます。

受講者のレベルに合わせて教材を選ぶ予定です。

**【持ち物】** ノートと筆記用具

※本講座を申し込んだ方は、「English in the News」の他のクラスを同時に申し込むことはできません。



**【講師】 Paul McCann (ポール マッカン) 一般教育 非常勤講師** .....

アイルランド出身。日本人はもちろん、諸外国の人々に英語を教えて二十余年。  
新聞社での特派員経験を持つ英語のエキスパート。



|                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>5 - 19</b><br><b>言語</b><br><b>定員 16名</b>                                                                                                                                                                                                                        | <b>English in the News 中級上編</b><br><b>～時事問題から英語を理解する～</b>                                                                                                                                            |                                                                                                                                                              |
| <b>会場</b><br><b>学園都市センター</b><br><b>MAP → P17</b><br><b>曜日・回数・実施日</b><br><b>水曜日 8回</b><br>5月 22日 29日<br>6月 5日 12日 26日<br>7月 3日 10日 17日<br><b>時間</b><br><b>18:00～19:30</b><br><b>受講料</b><br><b>一般 6,500円</b><br><b>学生 3,200円</b><br><b>提供</b><br><b>サレジオ工業高等専門学校</b> | <b>【講座概要】</b><br>英語力を磨きたい方。苦手意識があるが、きっかけの欲しい方。<br>本講座では、英字新聞・テレビニュースを題材に英語力アップを目指します。<br>・イントロダクション<br>・英文記事の要旨を読むコツ<br>・リスニング理解度の向上<br>・語彙力の向上<br><b>【講座レベル】</b><br>授業はすべて英語で行います。<br>英検2級程度のレベルです。 | <b>【教材】</b><br>新鮮なニュースを利用して英語の理解度をアップしていきます。<br>受講者のレベルに合わせて教材を選ぶ予定です。<br><b>【持ち物】</b> ノートと筆記用具<br>※本講座を申し込んだ方は、「English in the News」の他のクラスを同時に申し込むことはできません。 |
| <b>備考</b>                                                                                                                                                                                                                                                          |  <b>【講師】 Paul McCann (ポール マッカン) 一般教育 非常勤講師</b><br>アイルランド出身。日本人はもちろん、諸外国の人々に英語を教えて二十余年。新聞社での特派員経験を持つ英語のエキスパート。      |                                                                                                                                                              |

|                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| <b>5 - 20</b><br><b>八王子学</b><br><b>定員 70名</b>                                                                                                                                                                                               | <b>新・多摩と八王子の江戸時代（3）</b><br><b>～地域の歴史と文化を探る～</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <b>託児</b> |
| <b>会場</b><br><b>学園都市センター</b><br><b>MAP → P17</b><br><b>曜日・回数・実施日</b><br><b>火曜日 4回</b><br>5月 28日<br>6月 11日 18日 25日<br><b>時間</b><br><b>13:30～15:00</b><br><b>受講料</b><br><b>一般 3,500円</b><br><b>学生 1,700円</b><br><b>提供</b><br><b>八王子学園都市大学</b> | <b>【講座概要】</b><br>本講座では、八王子と八王子が位置する多摩地域における江戸時代の歴史と文化について講義します。多摩地域と八王子の江戸時代は、天正18年（1590）6月の八王子城落城によって始まり、慶応4年（1868）6月の八王子千人隊の解体をもって終わります。この時代についてはこれまで多くの研究蓄積がありますが、特に本講座では、歴史事象を語る古文書などの史料を通して、5～6年かけて多摩地域と八王子の新しい江戸時代史像を描いていくことにしたいと思います。<br>本講座は2011年度から2022年度まで毎回テーマを変えて48回開講し通史的に講義してきました。その講義は2022年度で終わりましたが、受講生からの要望もあり2023年度から新たな知見や研究成果を盛り込み再スタートさせました。今回は以下のテーマで江戸時代初期における多摩地域と八王子の歴史について講義することにします。<br><b>【講義テーマ】</b><br>第1回 関東十八代官高室氏について<br>第2回 高室代官の在地支配とその終焉<br>第3回 多摩丘陵村落の開発<br>第4回 多摩丘陵村落の農民構成と婚姻圏<br><b>【教科書】</b><br>無し。毎回レジメを配布し、随時、参考文献などを紹介します。 | <b>受講生へのメッセージ</b><br> <b>【講師】 馬場 憲一 (ばば けんいち) 法政大学 名誉教授</b><br>八王子市千人町に生れ。法政大学大学院人文科学研究科修了。東京都教育庁学芸員を経て法政大学教授に就任。現在、歴史文化環境研究所所長。博士(文学)。研究の関心領域は、地域の歴史と文化遺産を活かすための文化環境政策。<br>著書：『近世都市周辺の村落と民衆』（雄山閣出版）、『多摩の代官』（共著 けやき出版）、『八王子千人同心史』（共著 八王子市教育委員会）、『大久保長安に迫る-徳川家康の天下を支えた総代官-』（共著 揺籃社）、『古文書にみる武州御嶽山の歴史』（共著 岩田書院）、『武州御嶽山の史的探究』（共編著 岩田書院）、『高尾山薬王院文書』『高幡山金剛寺文書』『武州御嶽山文書』（いずれも共編著 法政大学）など。 |           |
| <b>備考</b>                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |           |

5 - 21

自然

定員  
20名

## 有毒植物と薬

### 会場

学園都市センター

MAP → P17

東京薬科大学薬用植物園

MAP → P15 12

曜日・回数・実施日

水曜日 4回

5月 29日

6月 5日 12日 19日

### 時間

10:20～11:50  
10:00～12:00 (6/5のみ)

### 受講料

一般 3,500円

学生 1,700円

### 提供

東京薬科大学

### 備考

### 【講座内容】

毒と薬は紙一重とはよく言ったもので、効き味のよい薬ほど間違った使用法による副作用は激しく現れます。例えばトリカブトは狂言の題材にされるほど有名な有毒植物ですが、その肥大した根は附子(ブシ)と言う名の生薬で、各種漢方薬に配合されています。有毒植物から発見・開発された西洋薬も少なくありません。本講座では、薬と有毒植物との関係に着目し、具体例を挙げながら解説します。第2回は、薬用植物園で実際に植物を観察し学習します。

### 【授業計画】

- 第1回 薬と植物
- 第2回 東京薬科大学薬用植物園での観察
- 第3回 有毒植物と薬用植物
- 第4回 有毒植物からの薬の開発

【教科書】 資料を用意します。

### 受講生への

#### メッセージ



有毒植物と聞くと怖いイメージがありますが、多くは有毒であるとともに人間の活動の手助けをしてくれた植物でもあります。正しく理解して愛でることが重要です。一般に植物園が華やかなのは春であることが多いですが、梅雨入り前の季節は見ごろの植物が多く観察に適した時期です。少し専門的な内容を含む場合がありますが、なるべく平易な表現になるように努めます。

【講師】 三宅 克典(みやけ かつのり) 薬学部 植物資源教育研究センター 准教授 ……………

富山医科薬科大学卒。富山大学和漢医薬学総合研究所(旧富山医科薬科大学和漢薬研究所)にて博士課程を修了。博士(薬学)。金沢大学医薬保健学域薬学類・創薬科学類附属薬用植物園を経て現職。薬用植物・生薬・天然物化学が専門。

著書：漢方薬・生薬薬剤師講座テキスト 第5版(分担執筆、範囲:有毒植物)

医歯薬学系博物館事典(分担執筆、範囲:薬用植物園の現状と課題)

薬草ガイドブック 野外編 改訂版(分担執筆)

薬草ガイドブック 薬草園へのいざない 改訂版(共編者・分担執筆)

### 【参考書】

薬草ガイドブックー薬草園へのいざないー、薬草ガイドブックー野外編ー(共に日本植物園協会第四分野) 佐竹元吉 監修 『日本の有毒植物』(学研) 2,000円(税別)

### 【注意事項】

第2回は東京薬科大学薬用植物園で行います。午前10時までに第1回で案内する学内の指定の建物にお集まり下さい。雨天決行。雨天のときは大学内にてスライドにより説明します。東京薬科大学へは京王線平山城址公園駅もしくは京王堀之内駅よりバスで8分、また、JR豊田駅下車、大学専用バス停よりスクールバスで約8分です。交通費は各自ご負担下さい。

※詳細は、第1回の授業にて説明いたします。

5 - 22

法律

定員  
16名

## 医療と刑事法

### ～医療をめぐる諸問題と刑法との関わりについて～

### 会場

学園都市センター

MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 3回

5月 11日 18日 25日

### 時間

15:20～16:50

### 受講料

一般 2,500円

学生 1,200円

### 提供

中央大学

### 備考

1回目：医師によるALS患者殺人事件をめぐる一安楽死・尊厳死の問題を考えながら～

先年、本人からの依頼のもと難病ALS患者を薬物投与により殺害したとして2人の医師が逮捕された事件は世間に衝撃を与え、多方面に大きな波紋を呼んだ。医学・科学の進歩に伴い、終末期医療の場面で生じている少なからぬ葛藤や相克に法的な対応が喫緊に求められている現在、安楽死・尊厳死などにどのように向き合っていくべきか。日本からの新規加入者も指摘されるヨーロッパの安楽死団体の問題にも触れながら、現代における「死」の問題を考える。

2回目：医療過誤事例と刑法

近時、医学・医療技術が飛躍的に進歩するなか、一方また、医療の現場においては、医療従事者による過失事故すなわち医療過誤の案件も多く報告され、なかには大きな社会問題となった事例も存

している。この医療過誤事故の問題について、刑法的にはどのような対応がなされているのか、また、今後なされていくべきであるのかを考える。

3回目：特殊感染症のパンデミックや大規模災害の発生と法について考える

多くの傷病者が同時的に発生した場合に、傷病の重・軽度の度合いや緊急性に応じて医療措置の優先順位を決する作業であるトリアージは、大規模災害の発生や、現在のコロナ感染症の蔓延によって一般にも知られるようになったが、そもそもトリアージは許されるのか、すなわち、「生命の比較衡量の禁止」という原則に反しないのか、優先度が低いと判断された傷病者について医師の義務違反は発生しないのか、トリアージが許される法的根拠は何か、等の問題が指摘されてもおり、これについて法的な立場から検討を加える。

### 受講生への

#### メッセージ



現代社会においては、医療技術、医薬品等が飛躍的に進化しており、これに伴って人の生死の有り様にも変化が起こっているなか、このような状況を受けて、医師や医療者に求められる患者への対応、患者に対して行うべきことの内実というものが、変容しつつあるといえます。

本講座では、医療と法との関わりという観点から、現代的テーマとして考えられるいくつかの問題、すなわち、安楽死・尊厳死、医療過誤事例、医療行為における生命の価値の比較衡量の是非について検討していきたいと思います。

【講師】 只木 誠(ただき まこと) 法学部 教授 ……………

法学博士。

著書：『コンパクト 刑法総論[第2版]』(2022年)、『コンパクト 刑法各論』(2022年)

・『終末期医療、安楽死・尊厳死に関する総合的研究』(共編著)(2021年)

・Aktuelle Entwicklungslinien des japanischen Strafrechts im 21. Jahrhundert (共編著)(2017年)

・『罪数論の研究[補訂版]』(2009年)

・『刑事法学における現代的課題』(2009年)

|                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
|------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <b>6 - 1</b><br><b>環境</b><br>定員 16名                  | <b>環境政策</b><br><b>～政治はどう向き合ってきたか～</b><br><div style="text-align: right;">託児</div>                                                                                                                                                                                                                                   |  |
| <b>会場</b><br>学園都市センター<br>MAP → P17                   | 紆余曲折を経て現代政治に定着した環境政策。多くの重要なテーマがありますが、本講義では、地球温暖化対策と脱原発政策に注目します。                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
| <b>曜日・回数・実施日</b><br>木曜日 4回<br>6月 6日 13日 27日<br>7月 4日 | 環境問題はいわゆる南北問題とワンセットで解決される必要があり、「持続可能な開発」はその文脈上に位置づけられます。地球温暖化対策をめぐる国際的取り組みは、今日では、京都議定書以後の秩序づくりに焦点が移っています。ドイツ・メルケル前首相が脱原発の方向に舵を切ったことは注目されましたが、そこには、欧州規模での経済統合や民主主義のあり方とも関連し、さまざまな現代的テーマが見出されます。講義内容は、具体的には次のようなものを予定しています。                                                                                           |  |
| <b>時間</b><br>10:20～11:50                             | <b>【第1部 地球温暖化対策】～国際的取り組み</b><br>① リオから京都へ<br>～温室効果ガス削減のための国際条約<br>② パリ協定<br>～「ポスト京都議定書」時代の新しい取り組み                                                                                                                                                                                                                   |  |
| <b>受講料</b><br>一般 3,500円<br>学生 1,700円                 | <b>【第2部 脱原発政策】～フクシマ以後の世界</b><br>③ 脱原発に舵を切ったドイツとウクライナ戦争後の急展開<br>④ 欧州電力市場自由化と放射性廃棄物問題                                                                                                                                                                                                                                 |  |
| <b>提供</b><br>工学院大学                                   | 本講座は、「環境思想」(4回シリーズ)に引き続いて開講されます。ふたつの講座は独立なので、いずれか一方を受講することも、両方続けて受講することも可能です。                                                                                                                                                                                                                                       |  |
| <b>備考</b>                                            | 受講生へのメッセージ<br> 環境問題は、政治的テーマとして定着した感があります。環境政策で高い評価を受けている国のひとつがドイツです。情報の少なさゆえ日本では過度に理想化されることもありますが、ドイツが環境先進国たり得ているのは、政治制度や文化的伝統、経済的・地政学的位置などさまざまな要因からの帰結といえます。「ドイツにできてなぜ日本には」式の性急な議論に陥らず、よい面も悪い面も含めて現状をリアルに観察し、私たちの進むべき道を考えたいものです。 |  |
|                                                      | <b>【講師】小野 一 (おの はじめ) 教育推進機構 教授</b><br>専攻は現代ドイツ政治学。一橋大学社会学研究科博士後期課程中退(最終の学位は法学修士)。大学院在学中に5年間ドイツに留学しています。1998年以来、工学院大学に奉職し、政治学や国際関係論系列の講義を担当。環境問題などの新しい政策課題にも関心を持っています。<br>著書:『ドイツにおける「赤と緑」の実験」(御茶の水書房、2009年)、『緑の党」(講談社、2014年)、『脱原発社会を求める君たちへ」(幻冬舎、2018年)など。他に、共著や執筆参加もあり。                                            |  |

|                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |
|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <b>6 - 2</b><br><b>教養</b><br>定員 32名                                 | <b>写真とお話して巡る“世界あちこち・あれこれ” Part.18</b><br><b>～観光地、世界遺産、歴史、土産物、食べ物等の紹介～</b><br><div style="text-align: right;">託児</div>                                                                                                                                                          |  |
| <b>会場</b><br>学園都市センター<br>MAP → P17                                  | 海外旅行は徐々に可能になりましたが、円安などの影響によりコロナ前と比較して2倍の費用になっております。                                                                                                                                                                                                                            |  |
| <b>曜日・回数・実施日</b><br>月曜日 8回<br>6月 3日 10日 17日 24日<br>7月 1日 8日 22日 29日 | 外国の観光地、リゾート地、世界遺産、歴史、民芸品、土産物、食べ物、風景、市場、民族・人種等を取りあげ、その魅力をエピソードを交えてお話を致します！                                                                                                                                                                                                      |  |
| <b>時間</b><br>10:20～11:50                                            | この講座を通じて日本以外の国・地域にも興味を持っていただき、日本にいなながら「まるで現地を訪問したような感じ」になって、いつか訪問されるようになれば幸いです。                                                                                                                                                                                                |  |
| <b>受講料</b><br>一般 6,500円<br>学生 3,200円                                | 写真は自分で撮ったものを中心に披露したいと思っておりますが、一部そうでないものもありますのでご承知ください。                                                                                                                                                                                                                         |  |
| <b>提供</b><br>帝京大学                                                   | 今日まで、アジア・ヨーロッパ・アメリカ・アフリカ・オセアニアなど、約60の国・地域を巡ってきました。世界「旅」は、日本にいては気付かない数々の新しい発見や驚きがあります。                                                                                                                                                                                          |  |
| <b>備考</b>                                                           | 皆さんに「旅」の“楽しさ”をご理解いただき、旅先で「見たり・写したり・聞いたり・食べたり・感じたり」したこと等を披露し、楽しんでいただければと思っております。                                                                                                                                                                                                |  |
|                                                                     | これから外国への旅を予定されている方、行きたいけど時間がない方、既に行っただけその国の詳細をもっと知りたい方など、お役に立てれば嬉しく思います。                                                                                                                                                                                                       |  |
|                                                                     | 受講生へのメッセージ<br> 「旅」の好きな方、海外へ行ってみたい方、行ってみたいけど時間がない方、該当の国にはまだ行っていない方、行っただけ歴史など詳しく知りたい方など、「日本にいなながら世界の旅」をぜひ一緒に楽しみましょう！                                                                          |  |
|                                                                     | <b>【講師】河野 正光 (こうの まさみつ) 経済学部 観光経営学科 元教授</b><br>プリンスホテル取締役営業部長・海外部長(西武シンガポール代表取締役兼務)、取締役支配人(高輪・新高輪プリンスホテル)、人事・宿泊・セールス・プライダル部門の全社責任者等を歴任。人財育成・営業企画・法人セールスに従事。<br>*プリンスホテル退任後<br>宮城大学・大学院、玉川大学・大学院、明治大学国際日本学部、等で非常勤講師。<br>帝京大学教授等を歴任。<br>著書:『「ホス活」のススメ』～おもてなしの心を磨けば人生はうまくいく～(幻冬舎) |  |



6-3  
言語

定員  
15名

はじめてのスペイン語

～400語であなたの事を話せるようになりましょう～

会場

学園都市センター

MAP → P17

曜日・回数・実施日

火曜日 8回

6月: 4日, 11日, 18日, 25日

7月: 2日, 9日, 16日, 23日

時間

18:00～19:30

受講料

一般 6,500円

学生 3,200円

提供

中央大学

備考

◆ 次のような方、大歓迎です

- 1 スペイン語経験まったく無しの方
- 2 学生時代に第二外国語で少しスペイン語勉強した(けど、その後、全く使ってなくてほとんど忘れてしまった)方
- 3 お仕事でスペイン語国に2～3年行った事があるけど、挨拶や数が数えられるくらいで終わってしまった方
- 4 独学で何度も某局の語学講座にトライしたけど6月あたりでやめてしまう方
- 5 スペイン語への情熱は人一倍強いけど、家に市販がテキストが読みかけのまま山積みになっている方

◆ 講座内容・授業計画

- 第1回 発音
- 第2回 あいさつ
- 第3回 自己紹介Ⅰ(名前、年齢、誕生日、職業)
- 第4回 自己紹介Ⅱ(住んでる場所の描写)
- 第5回 自己紹介Ⅲ(家族や友達の描写)
- 第6回 自己紹介Ⅳ(趣味)
- 第7回 1日のスケジュール
- 第8回 週末の予定

◆ 講座の進め方

- 1 90分の内、約30分を説明、約60分を受講生の皆さんにどんどんスペイン語を使ってもらう予定です。
- 2 テキスト(レジュメ)は講師が用意します。
- 3 辞書をお持ちでない方は、新たに購入する必要はありません。

受講生への  
メッセージ



スペイン語は5億人近い話者がいて、20を超える国や地域で話されている言語です。いろんな学習背景をお持ちの方たちとスペイン語の輪を広げてゆきたいと思っています。サブタイトルにある400語はちょっと多く感じるかもしれませんが、この壁を越えさえすれば、スペイン語の新しい世界に飛び込む準備が整うはずです。

【講師】高松 英樹(たかまつ ひでき) 商学部 教授

東京外国語大学大学院地域文化研究科博士後期課程単位取得退学。専門は言語学。2001年より中央大学商学部。趣味はギターによるフラメンコ伴奏(と言えるように、日夜、特訓中)。NHK教育テレビ「旅するためのスペイン語(2021年4月～2022年3月)」監修・出演。日本イスパニヤ学会理事(2021年度より)。

著書: 1 2015年『スペイン語学概論』白水社(共著)

2 2023年『しあわせ気分のスペイン語』にコラム「こちらスペイン語研究所」連載中(2023年10月号より)

6-4  
文化

定員  
24名

狂言体験入門講座

～狂言を楽しむ～

託児

会場

学園都市センター

MAP → P17

曜日・回数・実施日

木曜日 4回

6月: 6日, 13日, 20日, 27日

時間

13:30～15:00

受講料

一般 3,500円

学生 1,700円

提供

サレジオ工業高等専門学校

備考

狂言を通して中世の人々の生活様式や人間関係を想像してみるのには興味深いところです。今に生きる私たちと変わらないことを発見して人間の本質を見るかも知れません。

本講座は狂言を楽しむための基礎知識や鑑賞のコツを様々な視点から掘り下げて紹介します。

また狂言がより身近に感じることができるよう狂言独特の台詞や謡も楽しく体験していただきます。



【講師】野島 伸仁(のじま のぶひと) 一般教育科 元講師

狂言方 大蔵流 能楽師  
公益社団法人 能楽協会 会員

|                                     |                                                                                                                                                                 |           |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| <b>6 - 5</b><br><b>健康</b>           | <b>60 歳からの体力再生健康体操 Aコース</b><br><b>～バランス能力・調整力・体力を若返らせませんか？～</b>                                                                                                 | <b>託児</b> |
| <b>会場</b>                           | 運動を取り入れることによって、からだは丈夫になり、転倒予防に必要な筋力やバランス能力は活性化します。                                                                                                              |           |
| <b>学園都市センター</b><br><b>MAP → P17</b> | 年齢は60歳以下の方でもどうぞご参加ください。                                                                                                                                         |           |
| <b>曜日・回数・実施日</b>                    | ※具体的な実施内容:ストレッチ、バランス体操(片足で実施する転倒予防の体操です)、筋力トレーニング(筋肉に負荷をかけて、強くします)、調整力強化体操(主にボールや風船、タオルを使用します)など                                                                |           |
| <b>金曜日 2回</b>                       | ※本講座は「60歳からの体力再生健康体操 Bコース」と同じ内容です。Bコースと同時に申し込みはできません。                                                                                                           |           |
| 6月 7日<br>7月 5日                      | 2回の講座の中で、簡易な道具を使った身体能力改善に関するトレーニング方法の紹介や、効果的と考えられる筋トレ、体ほぐしについても実践しながら理解していきます。                                                                                  |           |
| <b>時間</b>                           | <b>13:30～15:00</b>                                                                                                                                              |           |
| <b>受講料</b>                          | <b>一般 2,000円</b><br><b>学生 1,000円</b>                                                                                                                            |           |
| <b>提供</b>                           | <b>中央大学</b>                                                                                                                                                     |           |
| <b>備考</b>                           | 受講生へのメッセージ                                                                                                                                                      |           |
|                                     | 活動的な生活を送るシニアにこそ必要な「筋肉」と「バランス調整力」、楽しく・正しく・機能的なトレーニングや運動で更に活性化し、一緒に充実したアクティブライフを目指していきましょう。                                                                       |           |
|                                     | <b>【講師】村井 剛(むらい こう) 法学部 准教授</b>                                                                                                                                 |           |
|                                     | 中京大学大学院体育学研究科修了(体育学修士)<br>2005 年～2007 年 愛知県豊田市ヘルスサポートリーダー養成講座講師<br>15年以上に渡り、大学の一般市民講座にて運動教室を担当中<br>中央大学生涯学習講座クレセントアカデミー スポーツ講座部門委員長<br>著書：中央大学保健体育研究所 健康スポーツ50講 |           |

|                                     |                                                                                                                                                                 |           |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| <b>6 - 6</b><br><b>健康</b>           | <b>60 歳からの体力再生健康体操 Bコース</b><br><b>～バランス能力・調整力・体力を若返らせませんか？～</b>                                                                                                 | <b>託児</b> |
| <b>会場</b>                           | 運動を取り入れることによって、からだは丈夫になり、転倒予防に必要な筋力やバランス能力は活性化します。                                                                                                              |           |
| <b>学園都市センター</b><br><b>MAP → P17</b> | 年齢は60歳以下の方でもどうぞご参加ください。                                                                                                                                         |           |
| <b>曜日・回数・実施日</b>                    | ※具体的な実施内容:ストレッチ、バランス体操(片足で実施する転倒予防の体操です)、筋力トレーニング(筋肉に負荷をかけて、強くします)、調整力強化体操(主にボールや風船、タオルを使用します)など                                                                |           |
| <b>金曜日 2回</b>                       | ※本講座は「60歳からの体力再生健康体操 Aコース」と同じ内容です。Aコースと同時に申し込みはできません。                                                                                                           |           |
| 6月 7日<br>7月 5日                      | 2回の講座の中で、簡易な道具を使った身体能力改善に関するトレーニング方法の紹介や、効果的と考えられる筋トレ、体ほぐしについても実践しながら理解していきます。                                                                                  |           |
| <b>時間</b>                           | <b>15:20～16:50</b>                                                                                                                                              |           |
| <b>受講料</b>                          | <b>一般 2,000円</b><br><b>学生 1,000円</b>                                                                                                                            |           |
| <b>提供</b>                           | <b>中央大学</b>                                                                                                                                                     |           |
| <b>備考</b>                           | 受講生へのメッセージ                                                                                                                                                      |           |
|                                     | 活動的な生活を送るシニアにこそ必要な「筋肉」と「バランス調整力」、楽しく・正しく・機能的なトレーニングや運動で更に活性化し、一緒に充実したアクティブライフを目指していきましょう。                                                                       |           |
|                                     | <b>【講師】村井 剛(むらい こう) 法学部 准教授</b>                                                                                                                                 |           |
|                                     | 中京大学大学院体育学研究科修了(体育学修士)<br>2005 年～2007 年 愛知県豊田市ヘルスサポートリーダー養成講座講師<br>15年以上に渡り、大学の一般市民講座にて運動教室を担当中<br>中央大学生涯学習講座クレセントアカデミー スポーツ講座部門委員長<br>著書：中央大学保健体育研究所 健康スポーツ50講 |           |

6-7  
心理

定員  
16名

ヒトと動物の心理学  
～動物研究から探るヒトのこころ～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

金・水曜日 4回

6月 7日 14日 19日 26日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 3,500円  
学生 1,700円

提供

帝京大学

備考

ヒトと動物の心理学

心理学には動物を対象にした分野があります。ヒトを含めたさまざまな動物の行動やその背景を分析し、比較することによって「心」の仕組みを解明することを目指します。これらの研究は、私たちヒトを理解する一助となるだけでなく、動物を理解することにも役立ちます。ヒトを見るだけではわからないことが、動物と比較することで見えてきます。地球上に生息する一つの生き物としてヒトを眺めることで、今まで気にも留めていなかったような新しい発見を探してみませんか。

- 第1回 自己を知ること（草山）：鏡を見て自分の姿が分かる動物は一部に限られている！
- 第2回 他者と協力する・他者を思いやること（草山）：協力行動・共感から学べることは何か？
- 第3回 ヒトと動物の比較美学（脇田）：ヒトが絵を見たり描いたりする能力はどこからきたのでしょうか？
- 第4回 ヒトにとっての音楽（脇田）：ヒトが音楽を聴いてわかる能力は他のどんな能力と似ているのでしょうか？

受講生への  
メッセージ

心理学と聞くと、心の問題やカウンセリングなどの臨床系をイメージされやすいかもしれませんが、みなさんが想像する以上に様々な観点から「心」に対する探究が行われています。事前の知識は必要ありません。動物の好き嫌いに関わらず、一緒に「心」について考えてみましょう。

【講師】草山 太一（くさやま たいち） 文学部 心理学科 教授 ……………

慶應義塾大学大学院修了。博士(心理学)。専門は実験心理学(比較認知科学、スポーツ心理学)で、動物を対象とした協力行動や、アスリートを対象としたメンタル・トレーニングを研究テーマとしている。日本動物看護学会 常務理事。著書：共著書『Comparative analysis of mind』(慶應義塾大学出版会)、『比較海馬学』(ナカニシヤ出版)、『動物看護学』(インターズー)、『基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』(日本文芸社)

【講師】脇田 真清（わきた ますみ） 文学部 心理学科 准教授 ……………

6-8  
芸術

定員  
32名

聴いて楽しいクラシック！「雑」楽のススメ！  
～クラシック音楽入門の世界～

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 3回

6月 8日 22日

7月 6日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 2,500円  
学生 1,200円

提供

桜美林大学

備考

本講座は、クラシック音楽のちょっとした知識（私はこれを雑「楽」と呼称しています！）を身につけながら、音楽を聴いてみましょう！というクラシック音楽の入門講座です。昨今、クラシック音楽というと敬遠されがちですが、作曲家の生涯や作品の時代背景、作曲家はどうしてこういう音楽を作ったのか…という創作背景を知ると、音楽が急に身近に感じられたりもします。またよく聴いている音楽でも、ちょっと作品へのアプローチが変わるだけで違った音楽のように聴こえてくることもあります。私は、何百年も前の音楽が、こうして今でも演奏され、鑑賞され、残っていることだけでも、とても素敵なことだと常々思います。そして同じ音楽作品が、演奏者によって違う音楽として生まれ変わり続けていくのもクラシック音楽の大きな魅力です。

力です。そんな音楽の楽しいひとときを、皆さんと一緒にできたらいいなと思っております。3回目となる今回は、日本人にもファンが多い作曲家ショパンを取り上げます。ショパンはどういう生涯を送り、どういう想いで音楽と向き合っていたのか。彼にとって音楽とは何だったのか、皆さんがよくご存知のショパンの作品を鑑賞しながら、感じていただけたらいいなと思っています。

受講生への  
メッセージ

昨年よりこちらで講座を持たせていただいております。クラシックの入門講座ですので、難しい専門用語はほとんど使わず、アットホームな雰囲気の中でのんびりと楽しい講座ができるといいなと思っています。音楽がお好きな方、ご興味がある方、是非是非、気楽にいらしてください！音楽の時間は、忙しい日常に豊かな気持ちをプレゼントしてくれると私は思っています。音楽は、「音」を「楽」しむもの！お待ちしております！

【講師】小澤 由佳（おざわ ゆか） 桜美林学園 エクステンションセンター 講師 ……………

日本大学芸術学部大学院博士前期・同大学院後期課程修了。芸術学博士号取得。専門は音楽学。大学院在学中、論文が澤本徳美賞受賞。日本大学芸術学部、桜美林学園、恵泉女学園大学などで教鞭をとるかたわら、都内では調布市、三鷹市、日野市、茨城県土浦市など行政主催の生涯学習講座を多数担当。また自身がマイクパフォーマンスをつとめる「解説付きコンサート」も多数企画公演し、その都度、好評を得ている。ほか、講演、執筆活動など、さまざまな現場でクラシック音楽の普及活動を行っている。近年ではTBSラジオにも出演。ライフワークは「言葉で音楽の面白さを伝えること」。





6 - 9

健康

定員  
24名

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

月曜日 3回

6月 10日 17日 24日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 2,500円  
学生 1,200円

提供

杏林大学

備考

薬の正しい知識  
～普段飲んでいる薬、本当に解っていますか？～

託児

1回目 解熱・鎮痛の薬  
2回目 高血圧の薬  
3回目 糖尿病の薬

【持ち物】 筆記用具

※初回最後に質問事項などをいただき、2回目、3回目で回答させていただく予定です。

一般的によく飲まれている薬がどのように効いているのかについて、生体反応の仕組みや作用メカニズムから解説します。また、副作用や飲み方の注意点などについても説明し、今後の服薬にも役立てていただける知識をお話しします。

後半では、ご自身の飲まれている薬等に関する疑問について、可能な限り回答させていただきます。

受講生への  
メッセージ



普段何気なく飲まれている薬でも、気を付けなければいけない注意点がいくつかあります。今回は、一般的によく飲まれている薬について、間違いなく、安全に服用できるように理解を深めていただきます。一緒に飲んではいけぬ薬、避けた方がよい食べ物、飲み忘れた場合や服用間隔などについてのお話もさせていただきます。

ご自身の飲まれている薬等についての質問を初回時に記入していただくようお願いいたします。時間の都合により、いくつかの代表的な質問のみに回答させていただくとをご了承ください。

【講師】西村 伸大（にしむら のぶひろ） 保健学部 健康福祉学科 准教授 ……………

1. 学歴 日本大学理工学部薬学科卒業、杏林大学大学院保健学研究科博士前期課程修了 修士取得、杏林大学大学院保健学研究科博士後期課程修了 博士取得

2. 職歴 杏林大学保健学部臨床病理学研究室 助手、杏林大学保健学部臨床病理学研究室 講師、一般検査学研究室 臨床血液学研究室 講師を経て 健康福祉学科(スポーツプログラム)准教授 現在に至る

3. 免許・資格 薬剤師免許取得、アロマセラピーインストラクター(AEAJ)取得

6 - 10

教育

定員  
15名

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

金曜日 7回

6月 14日 28日  
7月 5日 12日 26日  
8月 2日 9日

時間

15:20～16:50

受講料

一般 5,500円  
学生 2,700円

提供

東京造形大学

備考

瞑想と右脳開発による願望達成演習  
～美大における“名物授業”を市民向けに公開～

託児

古来より精神世界において、偉人達が魂を高めるための修行の一環として取り入れられてきた”瞑想”は、今新たに、煩雑な現代社会の中で雑念を取り除き、エネルギーを自分の本質を高めるための「集中力の獲得」という方向に変貌を遂げている。瞑想の目的と効果を認識し、瞑想法の第一人者たちのそれぞれの理論とCDによる体験を通して「丹田呼吸法を取り入れた簡易瞑想法」の習得を目指します。松下幸之助、稲森和夫、スティーブ・ジョブズなども行っていたとされています。長年、美大生や整体師を中心に、宇宙意識と個々の人間の潜在意識との繋がり、潜在能力の発育の為の右脳開発、松果体（テレパシーの入出部位）の発達訓練等を指導してきました。これ迄に受けてきた左脳優位の暗記や記憶の反復訓練と共に、右脳開発は現代社

会を生き抜いていく為に、一般の人々にとっても大変重要な課題だと思われます。「願望実現の5つのメソッド」は「見る」「言う」「聞く」「感じる」「伝える」ですが、毎回1テーマずつ実践して行きます。今を楽しみながら、願望が達成されれば嬉しいですね。

私のモットーは「世の為、人の為、ちょっと自分の為なら、あらゆる分野で成功出来る！」です。長年にわたり、東京造形大学の在学生、卒業生が実践し活躍してくれました。東京造形大学の最年少学長になった諏訪敦彦（カンヌ映画祭国際批評家連盟賞受賞）氏や東京オリンピックのエンブレム（マークデザイン）当選者野老朝雄氏は私の教え子です。又、整体師のお弟子さん達は、全国でリンパ整体院を開業し、治療の分野で成果を上げ、安い料金で奉仕しています。皆さんの各々の分野で、この講座が役に立つことを願っています。皆様との「引き寄せの法則」での出会いに感謝致します。

【講師】佐藤 彰（さとう あきら） 学部共通合同科目部会 元教授 ……………

1971年東京造形大学一般教養部会「保健体育」助手として入職。  
1995年「健康科学A(健康教育)」 「健康科学B(右脳開発)」の教授。  
2014年退職後、「健康科学B」 「B群演習(瞑想と気功)」の非常勤講師。  
現在八王子デイサービス 絆 管理者。  
著書：「ミラクルワード―奇跡を呼ぶ秘訣」(東明社)、「宇宙につながる運命の金の糸―ミラクルを実現する5つの法則」(ハート出版)、リンパ整体の著書10数冊。出演TV「ビートたけしのTVタックル」「おもいっきりTV」等

受講生への  
メッセージ



**6-11 健康 定員 16名**

**会場**  
学園都市センター  
MAP → P17

**曜日・回数・実施日**  
土曜日 1回

6月15日

**時間**  
10:20～11:50

**受講料**  
一般 1,000円  
学生 500円

**提供**  
山野美容芸術短期大学

**備考**  
教材費：600円(資料代)  
※受講料の他必要となります。

**美齢講座⑤ バラで人生豊かに(1)「バラ栽培講座」  
～バラの魅力を身近な生活に取り込みましょう～**

繊細な色彩、優美なフォルム、高貴な香り…。バラは比類なき美しさから「花の女王」と讃えられ、老若男女問わず人々を魅了しています。

しかし、「育てるのは難しい」というイメージから敬遠される方も多いと思います。

講座ではバラがいきいきと育つ栽培のポイントやコツ、おすすめの品種などをお伝えします。バラはいつもよりほんの少し気を配り、育てる環境と特性を考慮することで、丈夫に美しい花を咲かせることができます。また、ご自身で育てたバラの活かし方や楽しみ方もご紹介します。本講座でバラの魅力と栽培方法について再確認しましょう。



**受講生への  
メッセージ**



バラをすでに栽培している方はもちろん、初めての方もお気軽にご参加下さい。この後に続く美齢講座「バラで人生豊かに(2)バラ歴史講座」もよりバラを知ることのできる講座です。ご参加をお待ちしています。

**【講師】下村 毅(しもむら たけし) 美容総合学科 非常勤講師**

日本園芸協会 ローズコンシェルジュ  
バラの年間の管理と作業がわかる。『バラ栽培シリーズ講座』(長池公園自然館/八王子)  
日差しを遮り夏を快適に過ごす。『みどりのカーテン講座』(クールセンター八王子)  
著書：＜監修ガーデン・著書等＞  
花の音-hana.no.ne-(八王子中山)/Mia Aiko Rose garden(八王子鎌倉)  
『重症心身障害児者の療育&日中活動マニュアル-花壇・園芸活動-』(共著/日総研出版)

**6-12 健康 定員 16名**

**会場**  
学園都市センター  
MAP → P17

**曜日・回数・実施日**  
土曜日 1回

6月29日

**時間**  
10:20～11:50

**受講料**  
一般 1,000円  
学生 500円

**提供**  
山野美容芸術短期大学

**備考**  
教材費：700円(資料代)  
※受講料の他必要となります。

**美齢講座⑥ バラで人生豊かに(2)「バラ歴史講座」  
～バラの魅力を身近な生活に取り込みましょう～**

バラは古代から極めて広範囲の分野に取り上げられ、今もなお世界中で愛されています。

当講座では新しいバラの誕生までに多大な時間と労力を費やしたフランスの育種家ジャン・パプティスト・ギヨーや、昔のバラを絵に描き残したピエール・ジョセフ・ルドゥーテの「バラ図譜」などに触れます。また日本ではどのようにバラが生活の中に受け入れられていったのかをたどります。

本講座でバラの歴史と魅力を再確認し、生活に取り入れるきっかけとなれば幸いです。



**受講生への  
メッセージ**



バラの好きな方はもちろん、初心者の方も大歓迎です。同じく美齢講座「バラで人生豊かに(1)バラ栽培講座」ではバラの栽培のポイントやコツをお伝えしています。ご参加をお待ちしています。

**【講師】下村 毅(しもむら たけし) 美容総合学科 非常勤講師**

日本園芸協会 ローズコンシェルジュ  
バラの年間の管理と作業がわかる。『バラ栽培シリーズ講座』(長池公園自然館/八王子)  
日差しを遮り夏を快適に過ごす。『みどりのカーテン講座』(クールセンター八王子)  
＜監修ガーデン・著書等＞  
花の音-hana.no.ne-(八王子中山)/Mia Aiko Rose garden(八王子鎌倉)  
『重症心身障害児者の療育&日中活動マニュアル-花壇・園芸活動-』(共著/日総研出版)



6-13 定員 16名  
文学

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 6回

6月 15日 29日

7月 13日 27日

8月 10日 24日

時間

13:30～15:00

受講料

一般 5,000円

学生 2,500円

提供

杏林大学

備考

長寿の文人、土岐善麿の短歌を読む  
～激動の明治・大正・昭和をどう詠んだか～

土岐善麿(1885～1980)は、25歳のときローマ字三行書きの短歌『NAK IWARAI』で石川啄木に大きな影響を与え、啄木の最晩年の親友として、啄木の死後、遺作を出版して啄木の普及に努めたことでも知られていますが、その後、94歳で亡くなる直前まで短歌を作り続けました。

朝日新聞社を定年退職してから「書齋生活」に入って書いた田安宗武についての論文で博士号、学士院賞を受賞し、大学で講義を持つようになります。80歳になる年に、新しくできた武蔵野女子大学文学部日本文学科の主任教授に就任し、93歳まで勤め上げました。善麿は、ローマ字運動やエスペラントにも関心が高く、新作能、漢詩の現代日本語訳なども善麿の特色ある仕事です。戦後、国語審議会の会長や、日比谷図書館

長も務めました。

この長い人生で作ってきた短歌を年代順に6回の講義で、受講生のみなさんと読み解いていきます。

受講生への

メッセージ



授業で読む作品は、プリントで用意する予定です。授業では、短歌のほか善麿がたくさん残したエッセイや新聞記事なども参考にします。

1885(明治18)年生まれというと、昔の人のようにも思えますが、土岐善麿の作品は、不思議にあまり古さを感じさせません。

たくましく長寿を満喫した善麿の生涯を作品で辿ると、高齢化社会を生きる知恵も学べるように思えます。一緒に、心と頭を大いに動かして、読みを深めてまいりましょう。

【講師】河路 由佳(かわじ ゆか) 外国語学部 特任教授

日本語文学、日本語教育を専門としています。短歌との付き合いは40年ほどになります。

著書：『日本語教育と戦争』(新曜社)

『ドナルド・キーン 私の日本語修行』(共著 白水社)

『日本語はしたたかて奥が深い―くせ者の言語と出会った〈外国人〉の系譜』(研究社)

『河路由佳歌集』(砂子屋書房)他

6-14 定員 32名  
文学

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

金曜日 3回

6月 21日

7月 5日 12日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 2,500円

学生 1,200円

提供

東京純心大学

備考

韓国児童文学論―権正生の生きた時代と文学  
～朝鮮戦争・失郷民・離散家族・南北分断～

託児

＜最も低いところに目線を合わせる作家＞と呼ばれる権正生(クォン・ジョンセン)(1937-2007)は、韓国児童文学を代表する作家です。それはなぜなのか。権正生の作品を読み、人と文学に触れながら、その背景にある日韓関係・朝鮮戦争・南北分断・経済成長と格差社会を考えます。それは同時に、失郷民・離散家族・疎外された人々の痛みを分かち合うことにつながります。韓国児童文学・絵本を読みながら、現在求められている多様な人々と共に生きる感性・隣人の痛みと共に感じ、分かち合う心、想像力を磨きたいと思います。



文：クォン・ジョンセン  
絵：高田勲  
訳：ピョン・キジャ  
岩崎書店、2005年



文：クォン・ジョンセン  
絵：チョン・スンガク  
訳：ピョン・キジャ  
平凡社、2000年

受講生への

メッセージ



私が初めて＜韓国＞に出会ったのは1988年、ソウルオリンピックの年です。ハングル文字を見たのも、韓国語の響きを聞いたのもこの時が初めてでした。そしてこの年、韓国人作家による初めての現代韓国絵本が誕生しました。それから35年。いまや世界で最も注目される韓国の絵本を通して隣国の歴史と文化に親しみたいと思います。

【講師】大竹 聖美(おおたけ きよみ) 現代文化学部 こども文化学科 教授

韓国児童文学翻訳・研究。白百合女子大学大学院文学部児童文学専攻修士課程修了後、日韓文化交流基金訪韓研究員、大韓民国政府招聘留学生としてソウル・延世大学大学院教育学部博士課程にて博士(教育学)学位取得。アジア児童文学日本センター理事、韓国児童文学学会国際理事、韓国児童青少年文学学会国際理事、日本ペンクラブ・日本文藝家協会会員。優れた韓国の絵本の翻訳・講演等多数。

著書：(単著)『植民地朝鮮と児童文化』(社会評論社)／(共著)『絵本の絵を読む』(ミネルヴァ書房)、『絵本をひらく』(人文書院)、『10歳の質問箱』(小学館)、『いま、この研究がおもしろい』(岩波ジュニア新書)など。／(翻訳)『チェックボ』『トックレビとどんぐりムク』(ともに福音館書店)、『とらとほしがき』『ぼくって、ステキ?』(ともに光村教育図書)、『非武装地帯に春がくると』(童心社)、『わたしたちのケーキのわけかた』(偕成社)など。



6-15 定員 24名  
言語

英語で脳トレ  
～簡単な英語表現と動作で、脳を鍛えよう～

託児

|           |                                                       |
|-----------|-------------------------------------------------------|
| 会場        | 学園都市センター<br>MAP → P17                                 |
| 曜日・回数・実施日 | 金曜日 8回<br>6月 28日<br>7月 5日 12日 26日<br>8月 2日 9日 16日 23日 |
| 時間        | 13:30～15:00                                           |
| 受講料       | 一般 6,500円<br>学生 3,200円                                |
| 提供        | 多摩大学                                                  |
| 備考        |                                                       |

この講座は、認知症予防のために、誰にでもできる簡単な英語を使って、体を動かす「脳トレ」です。この講座は、講師と受講者との方々の間で思考の活性化を促す相互交流プログラムですので、笑いもあり、単調さや退屈さを感じることありません。加えて、この講座は、ほとんど椅子に座ったままの状態でのトレーニングですので、体に負担をかけることなく、無理なく「脳トレ」をすることができます。講座テキストは無料で提供致します。この講座での「脳トレ」は、デュアル・トレーニング(同時作業)といえます。外国語を発話しながら、体をつかった運動を同時に行うことは、脳の認知機能を大きく改善していくといった研究結果がここ20年来世界の脳医学専門の先端医療機関で数多く報告されるようにありました。この講座を受講な

されるにあたって、難しい英語表現、文法、単語の習得は必要ありません。アルファベットと中学1年程度の英語知識があれば十分です。体を動かしながら英語を聞いて発話し、ふさがちな気分の解消、筋力強化での転倒防止、柔軟性を高めて肩腰膝の痛みの軽減のトレーニングも行っていきます。もちろん、運動器具はワークショップの間、無料でお貸し致します。

受講生への  
メッセージ



認知症の研究は2010年代から急激に進歩を遂げています。知的交流や運動をしている人々がアルツハイマー病の発生を抑えている研究成果が多くでできました。すなわち、興味もなく、人とも交わらず、ほとんど話さない、体を動かさないことが認知症の発生に大きく関連していることです。一人暮らしの高齢者の方、家族がいても、テレビだけの受動的な生活に明け暮れ、外にほとんどでない高齢者の方は要注意です。これでは脳の機能が退化し、認知能力が急速に衰えていきます。この講座で、人との交流を通じて、笑って楽しく英語を使って体を動かしながら、認知能力の維持・向上に努めて、その習慣をつけていきましょう。

【講師】飯田 健雄(いいた たけお) 名誉教授

明治大学商学部、明治大学大学院政治経済研究科を経て、オーストラリア、ラトループ大学大学院社会学博士課程卒(Ph.D.) 多摩大学教授、明治大学国際日本学部兼任講師。専門は国際経営論 ビジネス英語。現在は、英語個人塾タンデム主宰。朝起きるとBBC、CNNの英語放送を視聴し、昼は外書購読、夜は社会人英語講座や全国レベルで英語が苦手な中高生にオンライン個別英語指導しています。脳トレは約10年間、地方公共団体・大学でワークショップを開催してきました。著書：「脳トレにおける第二言語使用と身体運動の効果試験—デュアル・タスクにおける英語発話と身体運動」多摩大学紀要 No.24 2020年

6-16 定員 24名  
言語

挫折なしの「やり直し英語入門」

託児

|           |                                                       |
|-----------|-------------------------------------------------------|
| 会場        | 学園都市センター<br>MAP → P17                                 |
| 曜日・回数・実施日 | 金曜日 8回<br>6月 28日<br>7月 5日 12日 26日<br>8月 2日 9日 16日 23日 |
| 時間        | 15:20～16:50                                           |
| 受講料       | 一般 6,500円<br>学生 3,200円                                |
| 提供        | 多摩大学                                                  |
| 備考        |                                                       |

この講座は八王子学区で使用されている中学1年の英語教科書を通して英語に興味をもって頂くのが第一の目的です。令和3年から中学英語の全面的改訂で従来の英語教育の要であった英文解釈と文法重視が大きく後退し、簡単な日常会話、Eメールの書き方、簡単なディスカッションの仕方を全面に押し出すようになりました。この講座は、決して一方的な講義ではなく、受講者の方々の理解度を慎重に確認しながら、簡単な英会話、Eメールに適した英作文を通じてカリキュラムを進めていくことを特徴としています。大幅に改訂された中1の教科書を使用して、コミュニケーション重視のカリキュラムを実感し「やり直し英語」のための確かな基礎英語の土台を作っていきます。受講者の皆さんが中1の教科書を紐解けば、昔の中学校の教

科書と随分違っているのを実感されるでしょう。日常生活の中で「英語をもっと使おう」が教科書の最大の目的となっています。英文法中心の日本的学習方法を捨て、八王子市に居住し、またはこの街を旅行する欧米圏の人々と英語で気軽に会話できる機会を増やしていきましょう。テキストは下記を御用意ください。この教科書を使うことで、日常生活に密着した新しい実践的教育方法も理解できるでしょう。

【テキスト】事前にご用意ください

「NEW CROWN English Series 1」  
(三省堂：価格350円程度  
ISBN13：978-4-385-70627-6)

※テキストは事前にご用意ください。  
お取り寄せに時間がかかる場合があります。

受講生への  
メッセージ



英語をもう一度始めたい。しかし、やり直しのきっかけがみつからない。過去にも簡単な英語学習さえ継続できず挫折の繰り返しだった。大丈夫です。たった8回程度で、効率的な英語の学習方法の出発点が理解でき、かつ英語学習が楽しく継続できるようカリキュラムを組んであります。

【講師】飯田 健雄(いいた たけお) 名誉教授

明治大学商学部、明治大学大学院政治経済研究科を経て、オーストラリア、ラトループ大学大学院社会学博士課程卒(Ph.D.) 多摩大学教授、明治大学国際日本学部兼任講師。専門は国際経営論 ビジネス英語。現在は、英語個人塾タンデム主宰。朝起きるとBBC、CNNの英語放送を視聴し、昼は外書購読、夜は全国レベルで少人数制の社会人英語講座を開く一方、英語が苦手な中高生にオンライン個別英語指導しています。みなさんが英語に興味を持ち、かつ英語力の向上に役立てることは教師冥利につきます。著書：良い英文Eメール悪い英文Eメール(中経出版、2002年)現場英語(桐原書店、2006年) SURVIVOR1, 2, 3-ビジネス英語は怖くない(タイムライフ、2008年)、経営者のためのかんたんビジネス英語(2010年 PHP研究所)、稼げるビジネス英語、(IBCパブリッシング 2020年)

テキスト代：350円程度  
(事前に購入してください)  
※受講料の他必要となります。

7 - 1

情報

定員  
16名

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 3回

7月 6日 13日 27日

時間

15:20~16:50

受講料

一般 2,500円  
学生 1,200円

提供

帝京大学

備考

数学は使わない社会ネットワーク分析入門

「ネットワーク」という言葉は今や大変身近な言葉となっています。そして今やインターネットにアクセスしない日はない、と言っても過言ではありません。しかし、本講座で扱うのはインターネットのお話だけではなく、本講座で取り上げるのは、人間社会に見られる様々なネットワーク、つまり「つながり」です。私たちは、一人で生きているわけではなく周囲のいろいろな人との関係の中で生きています。そして、個人同士だけではなく、会社同士、さらには国同士の間にも今ざまな関係が存在しています。これらの関係をわかりやすく分析する手法が、社会ネットワーク分析です。本講座は身近な事例を取り上げつつ、高度な数学やパソコンを用いなくても理解できる社会ネットワーク分析についてお話しします。

受講生への  
メッセージ



本講座は、社会ネットワーク分析を通じてデータサイエンスをもっと身近に感じてもらう、ということを目指しています。そのため、数学や統計学は使いません。また、パソコンをお手元に用意していただく必要もありません。気軽に話を聞いていただいて、社会ネットワーク分析からさらにはデータサイエンスに興味をお持ちいただけるようにします。本講座の内容は、帝京大学大学院総合データ応用プログラムで開講されている「組織とネットワーク」の講義と一部重複しています。また、本講座を通じて帝京大学大学院総合データ応用プログラムに関心をお持ちいただくと幸いです。

【講師】磯山 優（いそやま まさる） 経済学部 経営学科 教授 ……………

2001年 埼玉学園大学経営学部経営学科教授  
2014年 帝京大学経済学部経営学科・帝京大学大学院経済学研究科教授（現在に至る）  
2022年 帝京大学大学院総合データ応用プログラム主任教授（現在に至る）  
著書：『現代組織の構造と戦略』創成社、文部科学省科学研究費（基盤研究C）、「看護ネットワークの構築による訪問看護ステーションの経営基盤強化に関する研究」（2009年-2012年）

講座の内容としては、第一回は、社会ネットワーク分析では定番である「スモールワールド」についてなど、気軽なお話から始めます。第二回は、弱い絆が作る世界についてなど、社会とネットワークなどについてお話しします。第三回は、ネットワーク上のインフルエンサーについてなど、ネットワークの広がりについてお話ししていく予定です。

※この講座は令和5年度後期講座とおおむね同じ内容です。

7 - 2

健康

定員  
54名

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

火曜日 1回

7月 9日

時間

10:20~11:50

受講料

一般 1,000円  
学生 500円

提供

帝京大学

備考

東洋医学からみた体内リズム・生活リズムと健康づくり

託児

如何なる科学技術の高度な発展を遂げた時代になっても、人間は自然界の規律を超越することができず、自然界のリズムに順応して生活するほかありません。人体の一日の気血の循環規律を掌握し、生活リズムをそれに合わせて過ごす。そこで、気血の流れのリズムが乱れることなく、健康へのカギを手に入れることが初めて可能になります。

受講生への  
メッセージ

東洋医学養生思想は現代社会に抱えている様々な健康問題を解決するのに必要不可欠だと考えます。“生活こそ医学である”“自分の手で自分の健康を作る”という考えは一つのキーポイントになります。

【講師】間 淑珍（いせん しゅちん） 外国語学部 外国語学科 教授 ……………

帝京大学外国語学部 教授  
文学修士（北京師範大学大学院）  
人間・環境学博士（京都大学大学院人間・環境学研究科）  
茨城大学非常勤講師などを経て、2012年より現職。  
研究分野：道教思想・東洋医学思想  
著書：『東洋医学思想研究——鍼灸思想の伝承と現代人の養生』文眞堂 2015年12月  
『生活の医学——東洋医学養生学を日々の生活に生かす』文眞堂 2020年5月

71

7-3  
歴史

定員  
20名

## 江戸幕府の交通政策とその機能 ～街道を往来する人々～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

水曜日 4回

7月10日・17日・24日・31日

時間

15:20～16:50

受講料

一般 3,500円  
学生 1,700円

提供

多摩大学

備考

江戸幕府の重要政策のひとつは、街道の整備にありました。五街道をはじめとする各地の街道は、江戸と全国とを結びつけるネットワークとしての機能をもち、人々の往来や物流を促し、さまざまな情報をもたらすこととなります。このような街道の存在は、政治的中心地としての「江戸」を支える基盤となっていました。江戸時代における八王子の発展もまた、甲州街道の重要拠点のひとつとして位置づけられたことと無関係ではありません。

今回は、幕府の交通政策を概観した上で、多くの人々の移動を可能とした「街道」の在り方について考えます。その上で、街道を往来した人々や集団に焦点をあて、その実情を紹介していきます。

【第一回】 江戸幕府の交通政策

—「江戸」の位置づけ—

交通網の整備は、政治的中心としての位置を確立する上で、極めて重要な意味をもっていました。幕初以来、幕府はいわゆる五街道、および脇街道に対する宿場を整備し、周辺地域を含め、円滑な輸送体制を支えられるような制度を構築してきました。その具体的な状況を確認しながら、幕府が目指した江戸の社会を見通します。

【第二回】 大名たちの旅

—参勤交代の実態—

参勤交代が義務付けられたことにより、多くの大名たちは必然的に街道を利用しながら、国許と江戸とを往復するようになります。家臣団を引き連れた大名の移動は、それぞれの地域や江戸、あるいは各地の宿場にどのような影響をもたらすことになったのでしょうか。

【第三回】 来日外国人の旅

—将軍への謁見—

長崎貿易を許されたオランダ商館の人々は、年に一度江戸に赴き、将軍に謁見することが求められていました。また朝鮮や琉球からも、参府する使者が派遣されています。その実態を明らかにするとともに、通過地点における文化交流について考えます。

【第四回】 庶民の旅

—「東海道中膝栗毛」の世界—

江戸時代の中期以降、庶民の間にも旅行熱が沸き上がります。もちろん自由な旅は許されませんでした。信仰目的を名目とした旅が大ブームとなります。旅に対する庶民の意識を、旅をテーマとした文芸作品やガイドブック、便利グッズの登場などを通して探ります。

受講生への

メッセージ



江戸時代の「旅」は、さまざまな要素を含むものでした。中でも、政治的な意図が強かった参勤交代は家臣たちにとっては気苦労の絶えないものであり、来日外国人の参府も同様でした。しかしその一方で、未知の世界を体験できる旅は、まさに憧れだったといえるでしょう。江戸時代の人々にとって、「旅」とはどのようなものだったのでしょうか。史料を軸としながら、江戸の旅を確認してみましょう。

【講師】大森 映子（おおもり えいこ） 多摩大学 名誉教授 ……………

専門は日本近世史。江戸幕府と藩との政治的な関係や、大名家の相続問題を研究テーマとしている。

お茶の水女子大学大学院博士課程 単位取得退学

湘南国際女子短期大学、多摩大学教授を歴任 現在多摩大学名誉教授

著書：『お家相続—大名家の苦闘—』（吉川弘文館）など

7-4  
健康

定員  
24名

## 美齢講座⑦ 形を生み出す～脳と手のトレーニング ～形の創造とイメージの描写～

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 1回

7月13日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 1,000円  
学生 500円

提供

山野美容芸術短期大学

備考

四角や丸といった単純な図形を、アレンジしたり動かしたりすることで、複雑な形や立体を作り出すことができます。頭の中でいろいろな形を創造しイメージを膨らませます。

次に、イメージしたその形を実際に鉛筆で描くことにチャレンジします。描くのが苦手な方でも、基本的な描画方法を知ることによって描けるようになります。

最後に、描いたものに色鉛筆で簡単な色付けを行い完成させます。

受講生への

メッセージ



自由にいろいろな形を想像して描きます。頭を柔らかくして楽しんでください。

道具は全てこちらで用意しております。

【講師】栗本 佳典（くりもと よしり） 美容総合学科 教授 ……………

多摩美術大学美術学部油画科卒業、多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻修了、私立橘学苑勤務(非常勤講師)、多摩美術大学油画研究室勤務

1987 多摩美術大学大学院修了 日本グラフィック展佳作賞

1998 東京国際ミニプリントトリエンナーレ展審査員特別賞

2012 町田市立国際版画美術館にて公開制作

日本美術家連盟会員、日本版画協会会員 専門分野は美術教育・版画制作

著書：美容師のための造形と色彩 山野インターナショナル 1998年

新しい木版画入門(共著) 誠文堂新光社 2000年

だれでもできる木版画はがき(共著) 誠文堂新光社 2000年



7 - 5

健康

定員  
24名

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 1回

7月 13日

時間

13:30～15:00

受講料

一般 1,000円  
学生 500円

提供

山野美容芸術短期大学

備考

教材費：1,000円（シャンプー  
1体・小冊子1冊）  
※受講料の他必要となります。

美齢講座⑧ ビューティーセルフケア  
～ヘッド・フェイシャル・ハンドのセルフケア～

健康なお肌の維持は、日常のお手入れから作られます。頭皮、お顔、手、は強い日差しにさらされて乾燥しやすくなっています。肌の構造を知り、日常的にセルフマッサージを取り入れて、健康なお肌を維持しましょう。

スキンケアの基礎知識を学び、頭、顔、手のセルフマッサージの実習を行います。  
ハンドマッサージは、オイルにアロマを加えマッサージを行います。

【持ち物】 フェイスタオル

受講生への  
メッセージ



ハンドマッサージでは、オイルを使用いたしますので、フェイスタオルをご持参ください。  
参加の際、肌にトラブルがある場合は実習を控えて頂き、手順のみ学習して頂ければと思います。  
オイルはベビーオイルをお配りいたしますが、ご自身にあったものをご持参頂いても構いません。

【講師】 富田 知子（とみた ともこ） 美容総合学科 教授 ……………

東京芸術大学芸術学部卒業 山野美容専門学校卒業  
美容室勤務を経て、山野美容芸術短期大学に勤務  
美容実習及び美容文化論を担当  
著書：「美容師のための美容芸術論」  
「美道論」

7 - 6

環境

定員  
16名

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

月・火・水曜日 3回

7月 22日・23日・24日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 2,500円  
学生 1,200円

提供

法政大学

備考

地球環境を見つめる南極観測  
～南極観測隊の活動からみえてきた地球温暖化の現実～

日本の南極地域観測は、昭和30年の閣議決定によって国家事業として実施することが決定されて以来、60年以上にわたって、研究観測や輸送などを関係各省庁が連携しつつ継続されてきました。南極は人間活動から遠く離れた場所にあるため、大気や地殻や海洋といった地球規模の変化を高精度でとらえることができます。南極の昭和基地では様々なデータが長期にわたって観測されており、地球の環境変動の解析に貢献しています。2023年までに発行された気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第6次報告書では、地球温暖化が人為的に引き起こされていることはもはや疑いようがないとされ、2023年7月には、国連のアントニオ・グテーレス事務総長が「地球沸騰化の時代が到来した」と記者会見で発言するに至っています。酷暑や異常気象といった我々の生活圏で深刻化する気候変化の影で、文明圏から遠く離れた極限環境で地道に地球の変化を観測し続けている南極観測隊の活動を紹介すると共に、観測隊が診断した今現在の地球の健康状態について解説します。現地の映像や動画を使って、専門知識がなくてもご理解いただける内容を提供いたします。

受講生への  
メッセージ



八王子市と同じ多摩地区の一員でお隣でもある立川市には、南極観測事業の中核となる国立極地研究所があります。研究所には「南極・北極科学館」が併設されており、南極点まで走行した雪上車の実物やオーロラを鑑賞できるシアターをはじめとして、日本の極域観測の成果の数々がわかりやすく展示されています。南極に実際に行くことはなかなか難しいことですが、この科学館で実物にふれることで、本講座の理解がより一層深まると思います。

【講師】 澤柳 教伸（さわがき たかのぶ） 社会学部 社会政策学科 教授 ……………

1966年生まれ 富山県出身。氷河地質学・自然地理学・第四紀学が専門。北海道大学大学院環境科学研究科博士課程修了。博士（環境科学）。1992年から2023年までの間に5度にわたる南極調査を実施。2021年から2023年には私立大学教員初の南極地域観測隊越冬隊長（第63次隊）を務めた。  
著書：「フィールドワークの安全対策」（古今書院 2020年）  
「フィールドに入る」（古今書院 2014年）  
「なぜの宝庫・南極大陸 100万年前の地球を読む」（技術評論社 2008年）

73

7-7  
健康

定員  
25名

アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）を考える  
～人生の最終段階にあなたは何を望みますか～

託児

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

金曜日 1回

7月26日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 1,000円  
学生 500円

提供

東京純心大学

備考

今、医療の現場では、患者さん自身の人生観や価値観、希望に沿った医療を提供することが重要視されてきています。そのためには、患者さん自身が自分はどうしたいのかを心に問いかけ、意思を伝える必要がありますが、このような大きなことは一朝一夕に決められるものではありません。そこで、将来の医療及びケアについて、患者さんを主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定をサポートする必要があり、その過程をアドバンス・ケア・プランニング(人生会議)といいます。

この講座では、アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)が必要とされる背景や、その実際について学びます。また、ゲームを通して実際に自分の価値観に気づき、その違いについて、

参加者の皆さんと共有していきたいと思えます。(コロナの情勢によって、ゲームの方法を変えることがあります)

※本講座は令和5年度前期講座とおおむね同じ内容です。

受講生への

メッセージ



この機会に、あなたの人生の最終段階における望みについて考えてみませんか？ 自分のこころに向かい合いますので、近い人を亡くされたばかりの方、亡くされる日が近づいている方、つらいお気持ちを抱えていらっしゃる方は、負担になりますので、ご遠慮ください。

【講師】宗定 水奈子(むねさだ みなこ) 看護学部 看護学科 講師

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 成人／緩和ケア看護学分野看護師コース修了(保健学修士)。がん看護専門看護師、リンパ浮腫療法士。総合病院の病棟にてリンパ浮腫のリスクのある患者さんへの退院支援、看護外来では10年間がん相談、リンパ浮腫相談を担当。2021年4月より現職。

7-8  
健康

定員  
16名

美齢講座⑨ フットケア  
～足爪を健康に保つためのフットケア～

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 1回

7月27日

時間

10:20～11:50

受講料

一般 1,000円  
学生 500円

提供

山野美容芸術短期大学

備考

手や顔は比較的小手入れしやすい部位ですが、足のお手入れは疎かになりがちです。足爪のトラブルが悪化すると、転倒あるいは歩行困難を引き起こす可能性があります。

本講座では健やかな足爪を維持する為のケアや足爪のトラブルについてお話いたします。足爪のセルフケアを覚えてご自宅で実践してみましょう。

【持ち物】 筆記用具

受講生への

メッセージ



この機会に自分の足の状態を見直してみましょう。

【講師】加藤 宏美(かとう ひろみ) 美容総合学科 准教授

山野美容芸術短期大学卒業後、美容室での勤務を経て現在は山野美容芸術短期大学准教授に至る。美容師国家資格 OPI JAPAN認定エデュケーター JNAフットケア理論検定 指導員

| 8 - 1<br>健康           | 定員<br>16名 | 美齢講座⑩ アピランスケアってなに<br>～がん治療に伴う外見の変化の悩みもケアの対象に～ |
|-----------------------|-----------|-----------------------------------------------|
| 会場                    |           |                                               |
| 学園都市センター<br>MAP → P17 |           |                                               |
| 曜日・回数・実施日             |           |                                               |
| 土曜日 1 回               |           |                                               |
| 8月 3日                 |           |                                               |
| 時間                    |           |                                               |
| 10:20～11:50           |           |                                               |
| 受講料                   |           |                                               |
| 一般 1,000円<br>学生 500円  |           |                                               |
| 提供                    |           |                                               |
| 山野美容芸術短期大学            |           |                                               |
| 備考                    |           |                                               |

がんの生涯発生率は2人に一人の時代です。日本のがん治療は、大変進んでいます、がんの治療をすすめながら、自分の人生を生きるうえで、病気のことだけではなく様々な問題に直面します。

こんなとき人とのつながりが救いになる、と思っている人の一部には、自分の外見の変化が、人とのつながりを阻んでいると感じている人もいます。そのことが生きる力を奪うこともあります。

こういった外見の悩みに対応することも、重要なケアの一つと考えられるようになりました。

生きるほどに美しくあるために「アピランスケア（外見のケア）」について知っていただければと思います。



【講師】大西 典子（おおにし のりこ） 美容総合学科 教授

京都大学付属病院で看護師として勤務以降、看護や福祉の教育に携り、2000年から山野美容芸術短期大学で、「美容福祉」や「美齢学ジェロントロジー」に関する教育、研究及び、実践の支援を行っています。

著書：(共著)「美容福祉概論」

(監修)「からだの中から美しく 健康な腸内細菌叢」を維持してアルツハイマー病を予防しましょう」

| 8 - 2<br>政治              | 定員<br>32名 | 歴史と理論から考える安全保障<br>～安全保障戦略を理解するための基礎を学ぶ～ |
|--------------------------|-----------|-----------------------------------------|
| 会場                       |           |                                         |
| 学園都市センター<br>MAP → P17    |           |                                         |
| 曜日・回数・実施日                |           |                                         |
| 土曜日 5 回                  |           |                                         |
| 8月 3日 10日 17日 24日<br>31日 |           |                                         |
| 時間                       |           |                                         |
| 10:20～11:50              |           |                                         |
| 受講料                      |           |                                         |
| 一般 4,000円<br>学生 2,000円   |           |                                         |
| 提供                       |           |                                         |
| 帝京大学                     |           |                                         |
| 備考                       |           |                                         |

ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ紛争の激化と、近年は大きな国際紛争が立て続けに起こり、我が国周辺でも北朝鮮・台湾・尖閣危機などの懸念が急速に高まっています。太平洋戦争敗戦以来、日本人は、日本人自身がひたすらに非暴力を貫けばそれで「平和」は守られ、それこそが唯一無二の「正義」なのだと考えてきました。しかし、そうしたある種牧歌的で単純な世界観は急速に後退しつつあります。この「危機の時代」において、我が国と世界の平和と正義を維持するために、我々はなにができるのでしょうか？もちろん、これは途方もない難問であり、講師の能力が及ぶ範囲ではありません。本講義はその難問を考えるためのヒントを、我々の歴史経験と安全保障理論から探してみようとするものです。

講義では「人はなぜ戦うのか？」という根源的な問いを皮切りに、「同盟・集団安全保障・勢力均衡・抑止・核戦略」といった基本的な安全保障概念・理論を、その歴史的事例と共に解説していきます。

#### 受講生への メッセージ

本講義は初学者を対象としたものです。複雑な問題となるべく噛み砕いて平易に説明し、中～高校生程度の歴史知識・政治知識があれば理解できるようにしたいと思います。その分、高度な歴史解釈や安全保障議論を期待される方には物足りなく思われる点もあるかもしれません。予めご了承ください。

【講師】高杉 洋平（たかすぎ ようへい） 文学部 史学科 講師

海上自衛隊生徒を経て國學院大學大学院法学研究科博士後期課程修了。宮内庁書陵部、日本銀行金融研究所、広島大学文学部などを経て現職。博士(法学)

著書：単著「宇垣一成と戦間期の日本政治」(吉田書店) 2015年、単著「昭和陸軍と政治」(吉川弘文館) 2020年  
共著「昭和史研究の最前線」(朝日新聞社) 2022年、共著「大正史講義」(筑摩書房) 2021年、共著「昭和史講義【戦後篇】」(筑摩書房) 2020年、共著「昭和史講義【軍人篇】」 2018年、共著「昭和史講義3」 2017年、共著「昭和史講義2」 2016年 など



8-3  
健康

定員  
24名

美齢講座⑪ おしゃれでいきいきシニアファッション  
～ファッションを楽しみましょう～

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 1回

8月 3日

時間

13:30～15:00

受講料

一般 1,000円  
学生 500円

提供

山野美容芸術短期大学

備考

人生100年時代、健康でいきいきと生活していくためにはおしゃれを楽しむ意識がとても大切です。自分のお気に入りの衣服や、好きな色やデザインの衣服を着て出かけた際に気分が高揚して、意欲がわいたり楽しい気持ちになった経験はないでしょうか。

装いが自己肯定感を高め、自信につながることもあります。また装いは、他の人とのコミュニケーションや交流を増やし、社会活動の促進に貢献します。装いを意識したり楽しむことで、いつまでも社会とつながり、いきいきと充実した彩ある人生を自ら演出しましょう。

講座では、高齢者の装いの事例を紹介しながら、その意味や効果について学びます。さらに実践を交えておしゃれを楽しむポイントについ

て理解します。

受講生への

メッセージ



Sunset is as beautiful as sunrise

～夕日は朝日と同じくらい美しい～「ジェロントロジー」山野正義より  
欧米ではシニア層が最もおしゃれを楽しんでいると言われます。シニア層がおしゃれに時間やお金をかけられるのは、長い人生を生き抜いてきたご褒美だと言われています。  
シニアはがんばってきた自分へのご褒美の世代です。  
ファッションを意識して楽しんでいきましょう。

【講師】大野 淑子(おおの よしこ) 美容総合学科 教授

日本女子大学卒業後アパレル企業を経て現職。  
専門分野は、被服構成学、高齢者・障がい者のファッション  
著書:「あなたは服に満足していますか」福祉技術研究所

8-4  
芸術

定員  
20名

オリジナル伴奏を創って歌おう  
～基礎編～

会場

学園都市センター  
MAP → P17

曜日・回数・実施日

土曜日 1回

8月 3日

時間

13:30～15:00

受講料

一般 1,000円  
学生 500円

提供

帝京大学

備考

伴奏とは、一般的に、音楽の中で歌や器楽の演奏を支え引き立てるために、主な旋律に合わせて他の楽器を演奏することを指します。カラオケ等では、伴奏だけが流れ、それに合わせて主旋律を歌うという楽しみ方をしていると思います。

楽譜に示された伴奏や伴奏用の音源をそのまま利用するだけでなく、この伴奏のメカニズムを解き明かしたいと思ったことはありませんか。また、オリジナルな伴奏を創って演奏する楽しさを味わいたいと思ったことはありませんか。

この講座では、和声やコードネームの理論をわかりやすく紐解き、これらの理論にしたがってオリジナルな伴奏創りに挑戦します。さらに、創った伴奏を演奏しながら歌う活動も行っていきます。理論と実践の融合を目指した汎用性の

高い講座内容になっています。

【持ち物】 筆記用具

受講生への

メッセージ



音楽に親しみ、音楽を楽しむ姿勢があれば、どんな方でも参加できます。1人で伴奏を考えるのは難しくても、参加者の皆さんと一緒にデスクッションしながら取り組んでまいりますので、ご安心ください。  
理論的に考えたことを実践を通して確認していきます。ぜひ、自身で創る楽しさやそれを演奏する喜びを味わってください。

【講師】田嶋 教子(たさき のりこ) 教育学部 初等教育学科 教授

東京藝術大学大学院音楽研究科博士課程修了 博士(学術)  
帝京大学教育学部初等教育学科 教授  
専門は音楽教育で、保育者・教育者の音楽的専門性を音楽療法の視点から探究している。  
また、即興的で創造的な音楽活動とクリニカルミュージシャンシップの援用の可能性を模索している。  
主な著書は、『音楽的活動における保育者の発信的・応答的能力の向上—クリニカル・ミュージシャンシップ援用の可能性—』(2019 風間書房)、『こどものうた50選 改訂版—シンプルで美しい伴奏を—』(2022 ドレミ楽譜出版社)、『小学校教師の専門性探究』共著(2023 現代図書)

|                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |           |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| <b>8 - 5</b><br><b>教 養</b>     | <b>定員 24名</b><br><b>人工知能にはない「個性」<br/>～西田哲学に基づいて考える私たちの大切な力～</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <b>託児</b> |
| <b>会 場</b>                     | <b>■講座内容：</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |           |
| <b>学園都市センター<br/>MAP → P17</b>  | 人工知能には人工知能のよさがあり、人間には人間のすばらしさがあります。その2つの長所を活かすためには、人工知能と人間との違いを明らかにした上で、私たち人間にしかない力を養うことが大切です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |           |
| <b>曜日・回数・実施日</b>               | <b>■授業計画：</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |           |
| <b>水曜日 1回</b>                  | ①. 人工知能の見(けん)の目<br>②. 人間固有の観(かん)の目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |           |
| <b>8月 7日</b>                   | 「小川雅 note」で検索いただければ、講座内容の一部を垣間見ることができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |           |
| <b>時 間</b>                     | <b>※休憩を挟みながらの、2講座連続講座となります。</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |           |
| <b>13:30～16:50</b>             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |           |
| <b>受講料</b>                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |           |
| <b>一般 2,000円<br/>学生 1,000円</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |           |
| <b>提 供</b>                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |           |
| <b>工学院大学</b>                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |           |
| <b>備考</b>                      | <div data-bbox="331 862 507 918"> <b>受講生への<br/>メッセージ</b> </div> <div data-bbox="331 929 507 1120">  </div> <div data-bbox="526 862 1474 913">                 この講座では、講師側からの一方的な展開だけでなく、受講者からも質問や感想などをいただきながら、対話もできればと思っています。ぜひご発言もいただければと思います。             </div> <div data-bbox="526 1025 1453 1057"> <b>【講師】小川 雅(おがわ まさる) 工学部 機械システム工学科 准教授 ……………</b> </div> <div data-bbox="526 1061 1490 1124">                 東京工業大学大学院にて博士(工学)の学位を取得。横浜国立大学において発明した「X線3次元残留応力推定法(特許2件)」は日本機械学会賞(論文)を受賞。現在、工学院大学にて安心安全デザイン研究室代表。材料力学と西田哲学の2つを専門として、ものづくりメーカなど、組織の安心安全文化をサポートしている。             </div> |           |

|                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| <b>8 - 6</b><br><b>心 理</b>     | <b>定員 24名</b><br><b>ストレスに負けない心のあり方・作り方</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <b>託児</b> |
| <b>会 場</b>                     | <b>■講座内容：</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |           |
| <b>学園都市センター<br/>MAP → P17</b>  | ストレスとは端的には「心理的な負担感」と表現することができます。心配、不安、恐怖、不満、怒り、焦り、プレッシャー、緊張等、こころに何か負担がかかっている状態が「ストレス状態」ということです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           |
| <b>曜日・回数・実施日</b>               | <b>■授業計画：</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |           |
| <b>木曜日 3回</b>                  | 第1回 ストレスの感じ方は人それぞれ？／自らのストレスパターンを理解する<br>第2回 ストレスを生み出しているのは自分自身？／ストレスの原因をスルーするテクニック<br>第3回 自分に合ったストレス解消法を再確認！                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |           |
| <b>8月 8日・22日・29日</b>           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           |
| <b>時 間</b>                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           |
| <b>10:20～11:50</b>             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           |
| <b>受講料</b>                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           |
| <b>一般 2,500円<br/>学生 1,200円</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           |
| <b>提 供</b>                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           |
| <b>法政大学</b>                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |           |
| <b>備考</b>                      | <div data-bbox="331 1883 507 1939"> <b>受講生への<br/>メッセージ</b> </div> <div data-bbox="331 1951 507 2141">  </div> <div data-bbox="526 1883 1490 1984">                 現代は「ストレス社会」と呼ばれていますが本当にそうでしょうか？スマートフォンをはじめとする情報通信機器やその技術等の発達によって、一昔前に比べれば現代の生活は遥かに便利になっているはず。日々の生活を「ストレスフル」と感じてしまう背景には、私たち個人における物事のとりえ方や考え方も関係している可能性があります。ぜひ、こちらの講座を通してストレスに負けない心のあり方、そして作り方に触れていただければと思います。             </div> <div data-bbox="526 2051 1453 2083"> <b>【講師】島本 好平(しまもと こうへい) スポーツ健康学部 准教授 ……………</b> </div> <div data-bbox="526 2087 1192 2148">                 2007年 東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程修了<br/>                 兵庫教育大学、明星大学を経て2021年より現職<br/>                 専門はスポーツ心理学とライフスキルコーチング(人としての成長を促すコーチング)             </div> |           |



令和5年度後期講座  
「地下部を利用する薬用・有用植物」



令和5年度後期講座  
「韓国語講座入門編（後期）  
～ハングル文字をマスターしよう～」



令和5年度後期講座  
「はじめての陶芸  
～基礎から学ぶ「やきもの」～」



令和5年度後期講座  
「社会心理学  
～「心のクセ」に気づく～」



# 公開講座

公開講座はより広く、より多くの方に参加して  
いただくための講座です。

受講料は無料です。

---

※会場で開催する講座は事前の申込みは不要です。

講座開始 20 分前より、先着順にご入場いただけます。

※  オンデマンドは、会場で行った講座を録画したものを後日配信します。  
視聴には事前の申込みが必要です。[ホームページ](#)よりお申込みください。

※状況によっては、定員を変更する場合があります。

## 環境

定員  
54名環境倫理学入門  
～環境問題を哲学する～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

4月13日(土)  
10:20～11:50

## 提供

東京薬科大学

現在、人間活動による地球規模での環境汚染が大きな社会問題となっています。このような地球環境問題に対して倫理的な観点から考察する学問が環境倫理学ですが、今回の講義では、そもそも環境倫理とは何なのか、レイチェル・カーソンの「沈黙の春」にはじまる環境倫理の歴史を概説し、環境倫理の基本概念についてお話しします。また、環境倫理における3つの基本主張とされる1)自然の保護・生存権、2)地球の有限性、3)世代間倫理について、様々な哲学者の考えを交えながら解説します。具体例として地球温暖化問題なども環境倫理の実践的課題として取り上げ、できるだけ分かりやすく環境問題を哲学的に考える機会を皆さんに提供したいと思います。

受講生への

## メッセージ



地球規模で生じている環境問題について、様々なメディアを通じてある程度ご理解されている人も多いかとは思いますが、環境問題の「善／悪」、「正義」、および「責任」などについて、倫理的にどのように考えられているかまではなかなか知る機会がありません。今回の講義ではできる限り具体例を挙げながら、平易な言葉を用いて環境倫理において議論されていることをお話ししたいと思います。気軽に受講ください。

【講師】新開 泰弘(しんかい やすひろ) 生命科学部 応用生命科学科 教授 ……………

【略歴】富山県高岡市出身。2001年3月に富山大学工学部を卒業後、筑波大学大学院に進学し、2007年3月に博士(医学)の学位を取得。同年4月より北陸大学学術フロンティアにて博士研究員を務め、2009年より筑波大学医学医療系にて助教として教育・研究に従事する。2019年より筑波大学医学医療系准教授。2023年4月より現職である東京薬科大学生命科学部教授を務める。専門は毒性学・環境生物学。

## 法律

定員  
54名自社ウェブサイトやSNSのパクリにどう対処しますか？  
～写真のパクリ対策から、サイトの乗っ取りまで～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

4月13日(土)  
13:30～15:00

## 提供

中央大学

ウェブサイトやSNSをめぐる法的紛争は、より複雑になっています。ご自分のサイトの一部(アップロードしていた写真など)を、他人のサイトで勝手に用いられていた事例は、そのやり方が多様になっています。また、サイト自体が乗っ取られてしまうことも、あるかもしれません。本講座では、ご自分の会社や、ご自身のウェブサイトやSNSをめぐるパクリなどのトラブルのうち典型的な例をご紹介します、対処策を考えます。

初級から中級レベル、わかりやすく説明したいと考えています。

受講生への

## メッセージ



スマホを手に取らない日がほほない日常では、パクリも日常化してきて、皆さんも、いつ被害者になってしまっうか、わかりません。弁護士に相談すべき案件かそうでないかを見分けられるようガイドできるように、工夫したいと思います。

【講師】佐藤 恵太(さとう けいた) 法務研究科 教授 ……………

東京都出身。現職は中央大学法科大学院教授、桜美林大学芸術文化学群非常勤講師、日本工業所有権法学会理事、日本国際著作権法学会理事(研究担当)、著作権法学会理事。マックスプランク知的財産法研究所(ミュンヘン)およびジョージワシントン大学留学、アメリカン大学非常勤教授、チューレン大学客員教授、ベトナム国家大学客員教授、弁理士試験委員等歴任。総務省にてプロバイダ責任制限法の当初立法作業に参画。著書：佐藤恵太ほか編「ドメインネーム紛争」(弘文堂)、佐藤恵太ほか編著「ケースブック知的財産法」第3版(弘文堂)など。

## 健康

定員  
160名健康長寿のためのからだづくり  
～足のトラブルの予防とケア(はじめの一步編)～

## 会場

学園都市センター  
イベントホール  
MAP → P17

## 日時

4月27日(土)  
13:30～15:00

## 提供

創価大学

本講座では、「健康長寿のためのからだづくり」メインテーマに、「足」に焦点を当て、「足のトラブルの予防とケア(はじめの一步編)」をサブテーマに、足から全身の健康を考えていきます。

我が国は、世界トップの長寿国です。様々な技術が進歩し、食生活を始め私たちの生活の質は向上しました。さらに医療科学技術の進歩し、人々の寿命は、今後さらに伸びていくと考えられています。そこで、長くなった人生を自分らしくいかに生きていくかを考えた時、改めて大切になるのが健康であることに気づきます。そこで、本講座では、「健康長寿のためのからだづくり」として「足」に焦点を当て、「足のトラブルの予防とケア」についてお話し、足から全身の健康を考えていきます。

主な内容：1)健康は足元から 2)足を理解する一足の構造と機能、3)よくある足のトラブル、4)自分の足を見よう～足のみかたと理解のしかた、5)自分でできる足の手入れの方法、6)自分の足のケアをはじめる時の注意 等

受講生への

## メッセージ



本講座では、「足」に焦点を当て、「足のトラブルの予防とケア」を中心に足から全身へ、健康長寿のためのからだづくりについて学びます。本講座に参加して、足のケアから健康長寿を目指す「はじめの一步」を一緒に踏みだしてみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

【講師】添田 百合子(そえだ ゆりこ) 看護学部 看護学科 准教授 ……………

兵庫東立大学大学院看護学研究科修士 修士(看護学)  
1989年、看護師国家資格取得。大阪警察病院、大阪医科大学附属病院に勤務(23年)。  
看護のスペシャリスト(日本看護協会認定「慢性疾患看護専門看護師」として、糖尿病看護外来で、糖尿病重症化予防(フットケア)に取り組む。2013年から現職。  
専門分野は、慢性看護学、糖尿病看護。  
最近では、がん、認知症、心不全などの緩和ケアに関心をもち、探求している。  
著書：・添田百合子(2023)人生100年時代！今からできる健康長寿のからだづくり、第三文明社。  
・添田百合子(2019)認知機能低下・認知症を合併した高齢糖尿病患者の理解と支援、臨床老年看護、日経研出版、p.34-42。  
・添田百合子(編著)(2011)糖尿病フットケア外来スタートブック：知識はガッツリ！技術もバッチリ！、糖尿病ケア2011年春季増刊、メディカ出版。

## 文化

定員  
54名手塚治虫と戦後のマンガ文化  
～マンガ表現における「映画の様式」の定着～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

5月11日(土)  
13:30～15:00

## 提供

創価大学

戦後、日本のマンガはその表現様式を変化させ、それに伴い、語り得る物語の質も大きく変容していきましました。これに関わった人物のひとりとして、日本で最も有名なマンガ家である手塚治虫がいます。本講座では、1940年代後半から50年代前半にかけて、手塚がそのキャリアの初期に発表した作品とそのリメイク版とを取り上げ、冒険譚に終始したオリジナルに対し、リメイク版では登場人物の内面的変化が盛り込まれていることを示します。この物語的变化は、同時期の映画から着想を得た場面転換やコマ展開の際の工夫によって支えられていました。マンガ表現論やメディア論の知見を生かしながら、表現領域を越えた影響関係にも目を向け、マンガが現在のような物語メディアになる過程を追います。

※令和5年度前期講座とおおむね同じ内容です。

## 受講生への

## メッセージ



「マンガ研究」が大学でも扱うに足る学問領域として自立してから、もう30年近くになります。ふだんマンガを読んでいるだけでは気がつかないかもしれませんが、マンガにはさまざまな読みのルールが存在しています。そして、そうしたルールは当初から存在したわけではなく、歴史的に形成されてきたものでもあります。このようなマンガ研究の視点を体感してもらうことは、日々のマンガ経験を豊かにすることにも繋がっていくでしょう。

【講師】森下 達 (もりした ひろし) 文学部 人間学科 准教授 ……………

1986年、奈良県生まれ。2015年、京都大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。東京成徳大学人文学部助教を経て、2019年より創価大学に勤務。2017年には著書『怪獣から読む戦後ポピュラー・カルチャー 特撮映画・SFジャンル形成史』(青弓社、2016年)で第41回日本児童文学学会奨励賞を受賞している。著書:『怪獣から読む戦後ポピュラー・カルチャー 特撮映画・SFジャンル形成史』(青弓社、2016年)、『ストーリー・マンガとはなにか 手塚治虫と戦後マンガの物語』(青土社、2021年)ほか。

## 趣味

定員  
32名動物栄養学  
～療法食ってなに？犬猫の食事療法について～

## 会場

学園都市センター  
第5セミナー室  
MAP → P17

## 日時

5月18日(土)  
13:30～15:00

## 提供

ヤマザキ動物看護大学

みなさんは食事療法という言葉には聞き馴染みがあるかと思いますが、犬猫用の療法食という言葉聞いたことはありますか。

療法食とは、特定の病気や健康状態の治療をサポートするペットフードのことですが、市販のドッグフードやキャットフードとは何が違うのか、ご存知でしょうか。

この講座では、「療法食とは何か」や「療法食の正しい使い方とは」など、詳しくお話する予定です。

療法食を通して動物の健康と栄養の関係を一緒に理解していきましょう。

## 受講生への

## メッセージ



動物の身体は人間と同じで、食べ物(栄養)から成り立っています。

犬猫の病気の予防も、栄養と密接に関わっています。

犬猫の食事に興味のある方にお聴きいただけましたら嬉しいです。

【講師】荒川 真希 (あらかわ まき) 動物看護学部 動物看護学科 講師 ……………

愛玩動物看護師  
ペット栄養管理士  
動物栄養学の実践研究に取り組み、栄養学的側面からの疾患予防をテーマに研究を進める。  
著書:猫にいいこと大全(主婦の友社)

## 環境

定員  
32名あっ！その手があったか「ものづくり」  
～生物を真似る、生物を活かす～

## 会場

学園都市センター  
第5セミナー室  
MAP → P17

## 日時

5月18日(土)  
15:20～16:50

## 提供

ヤマザキ動物看護大学

新幹線のドアは軽くて強いですね。これはハチの巣の構造を真似た科学技術です。皆さんの嫌いな蚊ですが、何故あんな細い針から血液を吸えるのでしょうか？その秘密を解き明かすと、脳梗塞の新薬が作れるかもしれません。タマムシは色素を持たずあの色を出しています。このメカニズムを応用すれば塗料の要らないカラフルな金属が出来ます。しかも変色することがありません。

日本は扶桑の国と言われています。日本の養蚕研究は世界一です。改めてシルクを何故生き物は作るのか？その謎を解き明かして新しい化粧品等が出来ています。ここではこうした何気ない生き物や自然の機能性を解明して、新しいものづくりへのお話をしようと思います。

こうした科学技術を用いて、持続社会、SDGs への貢献をしなければなりません。

## 受講生への

## メッセージ

普段何気なく見ているものを、科学的に解き明かすと素晴らしいものづくりがみえてきます。正に「その手があったか！」なのです。そして、研究すればするほど自然や生き物の巧みさがどれほど無駄がなく素晴らしいものかが実感できます。

ここではこうした何気ない生き物や自然を再認識する時間としたいと思います。

次世代を担う若者の為にも、皆さんと未来ある明るい持続的社会はどうしたら創れるかを、一緒に考えてみませんか？

【講師】長島 孝行 (ながしま たかゆき) 動物看護学部 動物人間関係学科 教授 ……………

ヤマザキ動物看護大学動物人間関係学科教授 生物機能開発学研究室(前東京農業大学農学部教授)  
ニューシルクロードプロジェクト代表 農学博士  
日本野蚕学会副会長、日本マイクロナノバブル学会理事、文化産業科学学会理事、富岡シルクブランド協議会顧問、オーガニックコスメ協会理事  
著書:『蚊が脳梗塞を治す! 昆虫能力の驚異』(講談社α新書)、『千年持続社会-共生循環型文明社会の創造』(日本地域研究所)、『昆虫テクノロジー-産業利用への可能性』(シーエムシー出版)、『地球とつながる暮らしのデザイン』(木楽舎)、『バイオテクノロジー概論』(朝倉書店)、『柴犬のひみつ』(山と溪谷社)、『現代農学概論』(朝倉書店)、『デザイン農学概論』(朝倉書店)、日本動物大百科(平凡社)他。



## 教養

定員  
54名犬猫の心理学  
～犬猫のこころと行動習性に寄り添って～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

6月6日(木)  
10:20～11:50

## 提供

ヤマザキ動物看護大学

犬猫のこころを司る脳と、こころを表す行動について解説します。

受講生への  
メッセージ

犬猫は、私たちにとって身近な家庭動物であり、家族として愛情を深め合う仲間です。しかし、犬猫は我々と同じ言語で会話することができない為、その「こころ」を理解することや、こちらの意図を伝えることが難しく感じる時もあるのではないのでしょうか。犬猫のこころの特徴を知り、より幸せで快適な動物との生活作りに役立てていただければ嬉しいです。

【講師】フリッツ吉川 綾(ふりっつきかわ あや) 動物看護学部 動物看護学科 准教授 …

獣医師 博士(獣医学)  
獣医行動診療科認定医  
犬猫の問題行動の予防と治療を専門とします。人と犬猫の両者がより幸せで快適に生活できるように、診療、研究、教育をしています。

## 健康

定員  
160名栄養で病気を予防・治療する！  
～人生100年時代の栄養を考える～

## 会場

学園都市センター  
イベントホール  
MAP → P17

## 日時

6月6日(木)  
15:20～16:50

## 提供

東海大学医学部付属  
八王子病院

病院の食事に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？「味が薄い？少ない？」など様々なイメージがあるかと思います。病院給食は様々な制約や基準に則り、量や栄養量を決定しているため、そのように感じる方もいらっしゃるかもしれません。当院には生活習慣病といわれる糖尿病・脂質異常症などの過栄養による病気や、がんや循環器疾患などの消耗による低栄養など様々な患者さんがいらっしゃいます。また、最近の高齢社会では加齢に伴う全身機能低下による栄養不良(サルコペニア・フレイル)も問題視され、高齢者の栄養についての基準が見直されています。私は管理栄養士として、患者さん一人ひとりの体格や病状に適した食事を提供し、栄養食事指導を行っています。本講座では、病院の食事や栄養食事指導業務をご紹介しますながら、過栄養・低栄養の予防・治療する食事についてお話させていただきます。さらに、人生100年時代と言われる今、健康寿命を延伸するためのサルコペニア・フレイル対策について考えてみたいと思います。

受講生への  
メッセージ

皆さんはご自身に必要なエネルギー(カロリー)や栄養素ってご存知でしょうか。ヒトの身体は食べ物から取り入れる栄養素で作られており、その適正な量は人それぞれ異なります。本講座を通して、ご自身の食事を振り返る機会となり、これからの健康的な食生活のヒントになれば幸いです。

【講師】杉谷 直子(すぎたに なおこ) 東海大学医学部付属八王子病院 栄養科 係長 管理栄養士 ……………  
がん病態栄養専門管理栄養士、日本糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士、アレルギー疾患療養指導士

## 健康

定員  
54名くすりの生体内運命  
～その仕組みと生体内運命に影響を与える要因～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

6月15日(土)  
10:20～11:50

## 提供

東京薬科大学

普段飲んでいるくすりが体の中をどのように巡って効果を発揮しているのか疑問に思ったことはありませんか？通常、くすりは体内に吸収された後、血流に乗って全身の様々な臓器へと運ばれ、このうち標的臓器(患部)に到達したくすりがその効果を発揮します。そして、くすりがその役目を終えると、最終的に体外へと排泄されます。このように、くすりが体内を巡る過程を“くすりの生体内運命”と呼び、専門的には“薬物動態”と言います。くすりの生体内運命には、吸収・分布・代謝・排泄という4つの重要な過程があります。これらの過程がうまく働くことで、くすりの効果が最大限に引き出されたり、またくすりを安全に体外へと排泄させたりすることができます。しかしながら、併用するくすりや飲食物、サプリメント、加齢、疾患、遺伝子の異常など何らかの原因によってこれらの過程のどれかひとつでもうまく働かなくなると、くすりの効果が弱まったり、逆に強まったりしてしまいます。これらの要因を知り適正に対処することで、くすりを安心して飲むことができます。

本講座では、くすりの生体内運命の仕組みとそこに影響を与える要因についてわかりやすく説明します。

受講生への  
メッセージ

くすりの生体内運命に影響を及ぼす原因は様々です。その原因を知ることで、くすりの正しい飲み方や注意点について理解を深める機会になれば幸いです。

【講師】山折 大(やまおり さとし) 薬学部 医療薬学科 教授 ……………

【略歴】

1998年3月 北海道大学薬学部卒業、2000年3月 北海道大学大学院薬学研究科修士課程修了、2002年9月 北海道大学大学院薬学研究科博士課程退学、2002年10月 北陸大学薬学部 助手、2007年10月 北陸大学薬学部 助教、2012年4月 信州大学医学部附属病院薬剤部准教授・副部長、2021年4月 東京薬科大学薬学部 教授

【資格】

1998年5月 薬剤師免許取得、2005年3月 博士(薬学)取得

著書：山折 大(分担執筆)：注意したいCYP3A1における薬物相互作用を教えてください。月刊薬事10月臨時増刊号[基本が身につく・考え方がわかる]エキスパートが教える薬物動態。じほう、2017年59巻14号(p.85-90)。

山折 大(分担執筆)：薬物代謝酵素と薬物相互作用。特集 医師が知っておくべき薬物相互作用の最近の話題。医学のあゆみ、2023年284巻7号(p.505-511)。早川隆紀男、藤原泰之、山折 大(編著)：衛生薬学—健康の維持と増進をめざして—。京都廣川書店、2023年。

## 法律

定員  
32名ビジネスの「顔」となる名称（商標）を考える講座  
～地域密着型ビジネス展開～

## 会場

学園都市センター  
第5セミナー室  
MAP → P17

## 日時

6月15日(土)  
13:30～15:00

## 提供

中央大学

自分のビジネスで用いる独自の商品名や、サービスの名称の選択に際して、法律上どのような制約があるかを学びます。名称を、具体的に考えてみましょう。その名称を選ぶには、理由や背景はあるでしょうし、文字だけでなく絵柄と組み合わせたり、外国語を併記することもあるかもしれません。しかし、同一の名称を用いると客は同一会社の商品と誤解してしまうので、避けなければなりません。では、どのような名称がよいのか、考えてみませんか。基本的に名称の選択は自由な部分が多いですが、銀行でもない会社の名称に「銀行」と勝手に付けてはいけませんし（客が本当の銀行業と間違えます）、法律は、客の誤解を防ぐためにいくつもの規制をかけています。それらを避けつつ、名称・商品名を考えてゆくプロセスを、講義でたどってみたいと思います。

いずれも初歩的・基本的内容ですが、①商標法の基礎知識、②「地理的表示」（農産物等の産地の地名）等の知識を中心に知識を整理しながら、具体例に則して学びます。

## 受講生への

## メッセージ



会社の名称、主力商品の商品名やサービスの名前をどのように決めるかは、会社の「顔」を決める作業です。店主の好みも大事ですが、客が覚えやすいことが最も重要です。奇抜な名前なら良いというわけでもないでしょう。本講座は、そのような個性を大切にしつつ、どうやって各種の規制を避けてゆくか、規制の側から考えてみる講座です。昨年よりは、地元密着型ビジネスを意識したお話をさせていただく、ほんの少し応用編です。

【講師】佐藤 恵太（さとう けいた） 法務研究科 教授 ……………

東京都出身。現職は中央大学法科大学院教授、桜美林大学芸術文化学群非常勤講師、日本工業所有権法学会理事、日本国際著作権法学会理事（研究担当）、著作権法学会理事。マックスプランク知的財産法研究所（ミュンヘン）およびジョージワシントン大学留学、アメリカン大学非常勤教授、チューレン大学客員教授、ベトナム国家大学客員教授、弁理士試験委員等歴任。総務省にてプロバイダ責任制限法の当初立法作業に参画。著書：佐藤恵太ほか編「ドメインネーム紛争」（弘文堂）、佐藤恵太ほか編著「ケースブック知的財産法」第3版（弘文堂）など。

## 法律

定員  
54名わたしの生き方・あなたの生き方  
～憲法で「幸せ」について考えてみた～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

6月15日(土)  
15:20～16:50

## 提供

公益財団法人  
東洋哲学研究所

日本の社会は、今、多様性社会を目指しています。多様性社会は、人種・性別・年齢など一切関係なく、誰もが自分らしく生きられる社会を指します。実は、一人ひとりの多様な価値観や生き方を尊重する考え方は、日本国憲法の基本理念でもあります。憲法では「幸せ」についてどう考え、そして、社会でどのように実現しようとしているのでしょうか。

本講座では、近時のジェンダー問題にかかわる裁判例も紹介しながら、憲法における幸福の考え方を解説していきます。

## 受講生への

## メッセージ



「憲法」というと何やら難しいとイメージされてしまうかもしれません。そうしたイメージを良い意味で裏切るような講座にしたいと思っています。本講座を通して、少しでも憲法について身近に感じいただければ幸いです。

【講師】上田 宏和（うえだ ひろかず） 東洋哲学研究所 委嘱研究員 ……………

創価大学法学部講師。2014年、博士（法学）取得。専門は憲法、比較憲法。研究テーマとして、1. 自己決定権理論研究、2. 日米の同性婚研究、3. アメリカ合衆国憲法修正第14条に関する研究。著書：「自己決定権」の構造（2018年、成文堂）

## 健康

定員  
160名その症状は心不全の前兆かもしれない？  
～隠れ心不全？予防できることを考えよう～

## 会場

学園都市センター  
イベントホール  
MAP → P17

## 日時

6月22日(土)  
13:30～15:00

## 提供

東海大学医学部付属  
八王子病院

現在心不全の患者さんは増加傾向にあり、今後も増えていくことが予測され、身近な病気といえます。しかし、一概に心不全といっても、心不全になる原因や症状はそれぞれ異なり、同じ経過をたどるわけではありません。心不全は入院加療をして症状が良くなっても、完治するわけではありません。心臓に負担がかかる生活を続けると、心不全を再発してしまいます。そうならないためにも心不全を理解し行動することで、心不全の発症を予防することができます。心不全とはどのような状態を意味するのか、一般的な心不全の経過について、心不全の症状について、自分で症状を観察する方法、心臓に負担をかけない食事や運動について、血圧測定や体重測定の正しい方法などをお伝えします。心不全の症状があっても、年齢や季節のせいにしていたり、生活に支障がないため気にしていなかったり、お仕事で病院に行く時間が取れなかったりと様々ですが、隠れ心不全の可能性がります。

心不全との付き合い方や発症予防のための生活について、皆さんと考えていきたいと思います。

## 受講生への

## メッセージ

高齢化社会により、心不全をもつ方が増加し、たくさんの方が心不全と付き合い生活しています。心不全について知ることで、心不全を回避することができたり、早期発見・早期対処に繋がり、重症化を予防することができます。心不全の症状は全身に変化が起きるため、息切れや足のむくみ、体重増加、からだがだるいなど、「それも心不全の症状なのか！」と思うことがあります。心不全が気になる方、心不全をお持ちの方、心臓病と言われた方、ご家族に心臓病をお持ちの方などの参加をお待ちしております。

【講師】山口 晃平（やまぐち こうへい） 日本看護協会 心不全看護認定看護師 ……………

東海大学医学部付属八王子病院に就職し、新人時代から循環器内科・心臓血管外科病棟で勤務。専門性を身に付けたいと考え、2017年に北里大学看護キャリア開発・研究センターにて認定看護師教育課程を受け、日本看護協会認定 心不全看護認定看護師を取得。循環器病棟や循環器外来で心不全看護認定看護師として看護実践・スタッフからの相談・研修の開催などスタッフへの指導など活動中。著書：重症集中ケア 第20巻 5号 2021年12月2022年1月

## 法律

定員  
54名民事裁判のIT化および紛争解決のオンライン化  
～裁判所からバーチャル法廷へ、ADRからODRへ～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

6月22日(土)  
15:20～16:50

## 提供

中央大学

## 1. はじめに

契約上のトラブルや不法行為による損害賠償請求事件といった民事紛争を解決するための手続について、民事裁判のIT化をはじめとして、オンライン化の動きがみられます。そこで、この講座では、紛争解決手続の全体像を確認したうえで、個々の手続におけるオンライン化の現状と課題についての解説を試みます。

具体的には、以下の授業計画に沿って進めます。

## 2. 授業計画

- 1) 民事紛争と紛争解決手続の全体像ー正義の総合システムー
- 2) 民事裁判のIT化
- 3) オンライン紛争解決手続 (ODR)

## 受講生への

## メッセージ



民事裁判をはじめとする紛争解決手続の最新状況に興味のある方の受講をお待ちしています。法律の勉強をしていなくても構いませんし、ITやAIなどの最新テクノロジーについての知識も問いません。講師の専門は、民事訴訟法学をはじめとする紛争解決学ですので、ITなどに詳しいわけではありません。受講者のみなさんと一緒に勉強できればと考えています。

【講師】小林 学 (こばやし まなぶ) 法務研究科 教授 ……………

1969年生まれ。中央大学法学部卒業、早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了、中央大学大学院法学研究科博士課程満期退学。桐蔭横浜大学法学部専任講師、助教授、准教授、教授、同法科大学院教授を経て、2018年4月より中央大学大学院法学研究科教授。東北アジア民事訴訟法学会日本事務局長、司法アクセス学会事務局長、仲裁ADR法学会理事など歴任。現在、日本民事訴訟法学会理事。

著書：1) (小島武司教授と共著)「基本講義民事訴訟法(新装補訂版)」(信山社、2009年)

2) 「民事裁判IT化による「裁判の公開」再考に向けて」日本比較法研究所設立70周年記念叢書編集委員会「グローバル化を超えてアジア・太平洋地域における比較法研究の将来」(中央大学出版部、2020年)87-113頁

3) 「訴訟上の和解と熟慮主義ー当事者主導型和解に向けてー」加藤新太郎先生古稀祝賀論文「民事裁判の法理と実践」(弘文堂、2020年)363-383頁

## ボランティア

定員  
54名地域で生きがいを持ち暮らししていくために  
～幸福学が示す安心、幸せな場づくりの道筋～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

6月29日(土)  
15:20～16:50

## 提供

八王子市民活動協議会

## 受講生への

## メッセージ



私は定年後に地域のボランティア、市民活動に興味をもち、八王子市民活動協議会の「お父さんおかえりなさいパーティー」に参加し、「はちおうじ志民塾」も受講したことにより、ボランティアや市民活動の仲間も増え、充実した定年後のサードプレイスを見つけることが出来ました。人と人の関わり、社会関係資本がいかに生きがいや幸福感につながっているのか、自分の体験も紹介しながらお話ししたいと思います。

【講師】山中 馨 (やまなか かおる) 創価大学 名誉教授 はちおうじ志民塾10期OB ……

・理学博士(名古屋大学)

・はちおうじ志民塾OB会 会長

・NPO法人 八王子生涯学習コーディネーター会 副理事長、事務局長

・八王子にほんごの会 東浅川寺子屋 寺子屋長

・日本GNH学会 理事

著書：「不安に揺らぐ日本の幸福」、「ウエルビーイングの多様性と課題」、「幸福学の系譜と展望」など。

## 法律

定員  
160名正しく知ろう！相続税  
～万一の時、あわてないための基礎知識～

## 会場

学園都市センター  
イベントホール  
MAP → P17

## 日時

7月2日(火)  
10:20～11:50

## 提供

公益社団法人 八王子法人会  
東京税理士会 八王子支部  
八王子税務署

## 受講生への

## メッセージ

相続税とはどのような税金なのか？遺産がいくらあったら申告が必要なのか？

相続税についての基礎的な説明から始まり、遺産分割の方法や、亡くなられた方に多額の借金があった場合の対応、亡くなられた方が事業を営まれていた場合の対応、民法により保証されている「遺留分」についてなど、専門家である税理士が幅広く解説します。さらに、相続税のかかる財産とかからない財産の区分、土地・建物に対する評価の方法など、知っておきたい情報満載の講座です。

「税額はいくらか」が気になる相続税ですが、「遺産が〇〇万円だから、相続税は〇〇万円」といったように、単純に計算することは出来ません。今回ご説明する様々な条件をあてはめていくことが、正確な税額を求める上で不可欠です。この機会にぜひ、正しい情報を手に入れてください。

【講師】東京税理士会 八王子支部 所属税理士 ……………



## 文化

定員  
160名地獄と極楽  
～日本美術で地獄と極楽めぐり～

## 会場

学園都市センター  
イベントホール  
MAP → P17

## 日時

7月6日(土)  
15:20～16:50

## 提供

明星大学

仏教では釈迦のように悟りを開くことが究極の目的のはずなのに、なぜ「死んだら極楽浄土に行きたい」という考えが出てきたのでしょうか。そういうと難しい話のようですが、絵として見るなら簡単です。極楽浄土を描いた当麻曼荼羅(たいままだら)の絵から、極楽浄土が必要とされるに至った韋提希(いだいけ)夫人の切ない物語を読み解き、極楽浄土へ行くためのイメージトレーニングの絵を見ます。

極楽浄土が「アメとムチ」のアメなら、ムチにあたるのが地獄、死後に行きたくなんかないところのはずですが、じつは極楽浄土よりリアルに描かれています。怖いもの見たさで「地獄めぐり」は、昔から大人気だったようです。

※令和元年度前期講座とおおむね同じ内容です。

## 受講生への

## メッセージ



地獄も極楽も私たちに身近な言葉、日常でも「受験地獄」「通勤地獄」などという言葉もありますし、温泉につかれば思わず「ああ～極楽」と言ったりもします。その地獄と極楽が、少し前までの日本では、あるいは仏教では、どのように考えられ、受け取られてきたのかを、日本に伝えられてきた様々な仏像や地獄絵や極楽浄土図を見ながら考えてゆきます。

ご一緒に地獄・極楽めぐりをしてみませんか？

【講師】山本 陽子(やまもと ようこ) 教育学部 教授 ……………

日本・東洋美術史専攻 早稲田大学大学院文学研究科博士課程終了 博士(文学)  
絵巻物や仏教絵画の中のストーリーを読み取るのが好きです。ピンポイントで書く論文とは別に、どのようにすれば美術作品に親しめるか、そのきっかけを判りやすく伝えたいと考えています。  
著書：『絵巻における神と天皇の表現―見えぬように描く』中央公論美術出版 2006年、『絵巻の図像学―「絵そらごと」の表現と発想―』勉誠出版 2012年、『図像学入門―疑問符で読む日本美術』勉誠出版 2015年、『はじめての日本美術史』山川出版社 2018年、『物語る仏教絵画―童子・死・聖地―』勉誠社 2023年、ほか

## 法律

定員  
54名特殊詐欺と刑事法  
～特殊詐欺に対応する刑事法・裁判所の動き～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

7月13日(土)  
10:20～11:50

## 提供

中央大学

近年、特殊詐欺は、さまざまに対策がとられながらも後を絶たず、そのようななか、最高裁判所において、詐欺罪、窃盗罪の未遂について早い時点でその成立を認め、また、共犯を広く認めるという、従来の判例理論にかわる新たな判断が示された。これを受けて、受け子、出し子といった末端の行為者のみならず、犯罪組織の上位者にまで捜査・逮捕の手を伸ばすことが可能となり、被害金の回収の試みもより実効性あるものとなっている。このような現況の刑事法の働きかけについて検討する。

## 受講生への

## メッセージ



振り込め詐欺、給付金詐欺等に代表される特殊詐欺犯罪は、日々更新され、巧妙化して、現代社会における大きな犯罪勢力となっており、類似例もふくめ、このような犯罪被害に遭うことのないよう、特定の年齢層のみならず、全ての人々が注意を傾けなければならなくなっています。

このような犯罪に対して、我が国では、新たな法対応も検討されているところであり、本講座では、新たな犯罪類型の出現とこれにに応じた法対応の動きについて検討します。

【講師】只木 誠(ただき まこと) 法学部 教授 ……………

法学博士。  
著書：『コンパクト 刑法総論[第2版]』(2022年)、『コンパクト 刑法各論』(2022年)  
・『終末期医療、安楽死・尊厳死に関する総合的研究』(共編著) (2021年)  
・Aktuelle Entwicklungslinien des japanischen Strafrechts im 21. Jahrhundert (共編著) (2017年)  
・『罪数論の研究 [補訂版]』(2009年)  
・『刑事法学における現代的課題』(2009年)

## 文化

定員  
54名韓国絵本の現代史  
～創成期の作家たちは、なぜ固有の文化を描いたのか～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

7月26日(金)  
10:20～11:50

## 提供

東京純心大学

韓国で初めて現代絵本が出版されたのは 1988 年のソウルオリンピックの年です。日本では 1990 年に翻訳出版されました(リュウ・チェスウ作、イ・サンクム/まついただし訳『山になった巨人(백두산 이야기)』福音館書店)。ここから韓国の現代絵本の歴史が始まります。

本講座講師が翻訳したチョン・スンガク『くらやみのくにかからきたサブサリ』(アートン)ほか、イ・オクベ『ソリちゃんのチュソク』(セーラー出版)、クォン・ユンドク『マンヒのいえ』(同)など、韓国絵本第一世代の作品を通して、これらの作品が生まれた社会的背景と思想をさぐります。

## 受講生への

## メッセージ



私が初めて<韓国>に出会ったのは 1988 年、ソウルオリンピックの年です。ハングル文字を見たのも、韓国語の響きを聞いたのもこの時が初めてでした。そしてこの年、韓国人作家による初めての現代韓国絵本が誕生しました。それから 35 年。いまや世界で最も注目される韓国の絵本を通して隣国の歴史と文化に親しみたいと思います。

【講師】大竹 聖美(おおたけ きよみ) 現代文化学部 こども文化学科 教授 ……………

韓国児童文学翻訳・研究。白百合女子大学大学院文学部児童文学専攻修士課程修了後、日韓文化交流基金訪韓研究員、大韓民国政府招聘留学生としてソウル・延世大学大学院教育学部博士課程にて博士(教育学)学位取得。アジア児童文学日本センター理事、韓国児童文学学会国際理事、韓国児童青少年文学学会国際理事、日本ペンクラブ・日本文藝家協会会員。優れた韓国の絵本の翻訳・講演等多数。

著書：(単著)『植民地朝鮮と児童文化』(社会評論社)／(共著)『絵本の絵を読む』(ミネルヴァ書房)、『絵本をひらく』(人文書院)、『10歳の質問箱』(小学館)、『いま、この研究がおもしろい』(岩波ジュニア新書)など。／(翻訳)『チェックボ』『トッケビとどんぐりムク』(ともに福音館書店)、『とらとほしがき』『ぼくって、ステキ?』(ともに光村教育図書)、『非武装地帯に春がくると』(童心社)、『わたしたちのケーキのわけかた』(偕成社)など。

## 科学

定員  
54名病気になる社会を目指して  
～がん・疾患の予防への新たなアプローチ～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

7月26日(金)  
15:20～16:50

## 提供

東京薬科大学

がん変異を生じた細胞や細菌・ウイルス感染した細胞など、様々に要因で機能低下した細胞が上皮細胞層生じたとき、これらの異常細胞は周辺の正常な上皮細胞によって排除されます。驚くべきことに、周辺正常細胞は非免疫細胞であるにもかかわらず、これまでの免疫細胞と類似した方法で異常細胞を認識し、これを我々の体から排除します。他にも神経細胞やES細胞でもこの攻撃能は報告されており、様々な免疫細胞様の機能が備わっていることがわかってきました。このような、非免疫細胞による異常細胞に対する認識と攻撃をより深く理解し、医療やバイオテクノロジーの開発につなげます。特に、これまで科学的根拠に基づいた予防法がほとんど確立されていないがんについて、現在の取り組みや今後の展望についてお話しします。

【講師】丸山 剛(まるやま たけし) 生命科学部 生命医科学科 教授 ……………

2023年10月 - 現在 東京薬科大学・生命科学部・生命医科学科 教授  
2023年 - 現在 早稲田大学理工学術院総合研究所 客員准教授  
～ 2023年9月 東京大学薬学部・薬学系研究科 特任准教授  
2021年 - 2023年 早稲田大学・高等研究所 准教授  
2018年 - 2021年 早稲田大学・高等研究所 講師  
2016年 - 2020年 戦略的創造研究推進事業 さきがけ 研究員(兼任)  
2015年 - 2018年 北海道大学 遺伝子制御研究所 分子腫瘍分野 助教  
2017年 - 2017年 早稲田大学先進理工学部生命医科学科 非常勤講師  
2013年 - 2015年 日本学術振興会・海外特別研究員  
2013年 - 2015年 MITホワイトヘッド研究所  
2011年 - 2013年 東京大学大学院薬学系研究科・特任研究員  
2009年 - 2011年 日本学術振興会・学振特別研究員



## 文化

定員  
54名常識とは何か  
～善と悪・正義と差別に関する文化人類学的視点～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

7月27日(土)  
10:20～11:50

## 提供

公益財団法人  
東洋哲学研究所

現代世界における支配的権力と文化の関係性について、文化人類学的視点から論を展開します。より具体的には、欧米の植民地主義とその後の影響が、どのようなプロセスによって、日本をはじめとする現代社会に定着してきたのか、という点について考察します。また文化を象徴として読み解く方法論を共有しつつ、版画や映画、旅行ガイドブック、グーグル画像などに潜む欧米的価値観とその優位性について掘り下げる内容となっています。

受講生への  
メッセージ

グローバル化が進展する現代社会において、異文化を理解するという課題がこれまで以上に重要となっています。本講座では、マイノリティや社会的弱者の人権を守る学問として、特に異文化理解の分野で発展してきた文化人類学の視点に基づき、現代社会における差別の構造や原理について掘り下げ、各人の常識や正義といった価値観を再考察する機会を提供したいと思います。



【講師】井上 大介(いのうえ だいすけ) 東洋哲学研究所 研究員 ……………

メキシコ国立自治大学人類学研究科博士課程修了(人類学博士)、元ニューヨーク・コロンビア大学在外研究員、元大阪大学客員教授、日本宗教学会評議員。創価大学文学部教授。  
著書：共編著『占領改革と宗教』専修大学出版局、2022。  
共著：『文明・歴史・宗教』東洋哲学研究所、2022。  
論文：「メキシコにおける人類学を受容と発展」『ソシオロジカ』33巻(1・2号)2009：1～34頁ほか。

## 政治

定員  
54名難民とはなにか？  
～国際社会における難民問題の歴史的理解～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

7月27日(土)  
13:30～15:00

## 提供

公益財団法人  
東洋哲学研究所

2022年、ロシアによるウクライナ侵攻が多くの避難民を生み出し、国連難民高等弁務官(UNHCR)は5月に世界の難民・避難民が1億人を超えたことを発表しました。そして、2023年に始まったイスラエルとハマスの紛争では、長期にわたり難民として暮らさざるを得ないパレスチナ・ガザ地区の人びとが、命の危機にさらされています。日本でもウクライナから避難民の方々の受け入れがおこなわれたことや、名古屋出入国在留管理局の施設に収容され非人道的扱いで命を失ったスリランカ人女性への対応から、難民や難民と同様に保護を必要としている人々をどのように社会で受け入れ保護するのが大きな議論となるなか、2023年には入管法が改正されています。

このように現在起きている難民問題は多岐にわたり、平和の構築と人権の尊重に大きく関わるものながら、その状況を理解することは易しいものではありません。国際社会の動き、各国の思惑、人々の認識が複雑に絡み合っているからです。本講座では、難民とはどのような人々なのか、これまでなぜ発生しどのように保護されてきたのか、そして何が問題となってきたのかを歴史的に知り、理解していく手がかりを皆さんと一緒に得ていきたいと思います。

受講生への  
メッセージ

少しでも関心をお持ちの方を歓迎します。  
私たちの身近なところから考えていけるようにしたいと思います。



【講師】薦木 文湖(つたき ふみこ) 東洋哲学研究所 委嘱研究員 ……………

創価大学平和問題研究所助教、東京家政大学・川口短期大学非常勤講師。  
人の国際移動、ヨーロッパ・ドイツの移民・難民政策、難民の高等教育、多文化主義・インターカルチュラルリズムを専門に研究。

## 法律

定員  
54名

## 不動産と税金

## ～不動産の取得・保有・売却でかかる税金について～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

8月2日(金)  
10:20～11:50

## 提供

公益社団法人 八王子法人会  
東京税理士会 八王子支部  
八王子税務署

不動産に関わる税金にはいくつかありますが、不動産を取得時、不動産の保有時、不動産の売却時、不動産の相続、贈与時など、その時々により様々な税金が掛かります。制度は常に変更されており、その時の最新情報を専門の税理士がわかりやすく解説します。様々な控除が適用される不動産について、事例を交えながら解説します。

## 受講生への

## メッセージ

不動産を購入した時、保有した時、売却した時、様々な手続きに追われうっかり手続きし忘れることが無いよう日々意識していく事は大切です。まさに今、その場面に迎えている方、これから迎える方、当面関係ない方も、新たな情報を得ることができます。

【講師】東京税理士会 八王子支部 所属税理士 .....

## 法律

定員  
54名

## 労働人権デューディリジェンス入門

## ～組織と国境を越えた人権保護の意義と課題～

## 会場

学園都市センター  
第1セミナー室  
MAP → P17

## 日時

8月13日(火)  
13:30～15:00

## 提供

中央大学

近時、様々なところで「ビジネスと人権」、とくに「人権デューディリジェンス」というキーワードが注目されているようです。ここで「人権」として想定されているものの多くは、労働者の人権であり、講師の専門とする労働法学の領域でも関心は高まっています。2022年には、企業の取組みを促進すべく、政府によるガイドライン(「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」)が策定されましたので、上記のキーワードのもとで企業に何が求められているのかについては、一般の方々においても、それなりに理解が進んでいるのではないかと期待されるところです。

しかし、そもそも何故、そうした取組が企業に求められるのでしょうか。また、企業にそうした取組みを求める現在の政策に、何か課題はないのでしょうか。本講座では、労働法学者の見地から、「人権デューディリジェンス」という流行りのテーマの根本と展望を考察します。

※講座レベル: 特別な知識を要しません。(労働や人権について、一般常識程度の知識は必要となります。)

## 受講生への

## メッセージ



講座名に「入門」と冠しているのには、3つの意味があります。第一に、一般常識程度の労働や人権についての知識があれば、理解できる内容であるということです。第二に、「人権デューディリジェンス」をめぐるありとあらゆる問題を解説するのではなく、今後このテーマについて考えるきっかけを提供することを目指しているということです。第三に、実は講師自身もテーマについて考察している最中であり、まだまだ「入門」したばかりといえる状況なので、本講座を通じて皆さんと考察を深めてみたいと考えているということです。「なんとなくテーマに興味がある」、知的好奇心のある方に、是非受講していただきたいです。

【講師】井川 志郎(いかわ しろう) 法学部 准教授 .....

独立行政法人労働政策研究研修機構アシスタントフェロー、山口大学経済学部専任講師、同准教授を経て、2023年4月より現職。  
著書: 最近の主な著作として、『EU経済統合における労働法の課題』(旬報社, 2019年)、『法の適用に関する通則法12条の労務提供地概念の広範性』労働法律旬報1985号(2021年)41頁、『プラットフォーム就労と法適用通則法12条』日本労働法学会誌135号(2022年)69頁、『国際貿易・投資と労働法』荒木尚志ほか編『注釈労働基準法・労働契約法第1巻』(有斐閣, 2023年)106頁など。



令和5年度後期講座  
「日本遺産 八王子の高尾山と桑都物語  
～城下町八王子30件の文化財が紡ぐストーリー～」



令和5年度後期講座  
「正しく学ぶ 今どきの抗がん剤治療  
～副作用から最新の治療法まで～」



科目等履修は、大学の正規授業を受講し、当該大学が単位を認定することにより、単位を修得できるものです。原則として、大学入試資格を有する方を対象としています。また、単位の修得を目指す、大学の正規授業を一般受講することが可能な講座もあります。

科目等履修のお申込みは、八王子学園都市大学への受講申込とは別に、大学に提出する大学所定の書類等が必要です。詳しくは、各大学の募集要項をご覧ください。募集要項は、八王子学園都市大学事務局にご請求ください。

●独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構について

短期大学・高等専門学校卒業者及び大学に2年以上在籍し62単位以上修得した等の基礎資格を有する方が大学等の科目等履修生として修得した単位とあわせて「大学改革支援・学位授与機構」に申請することにより、学士の学位が修得できる制度です。詳しくは、大学改革支援・学位授与機構にお問い合わせください。

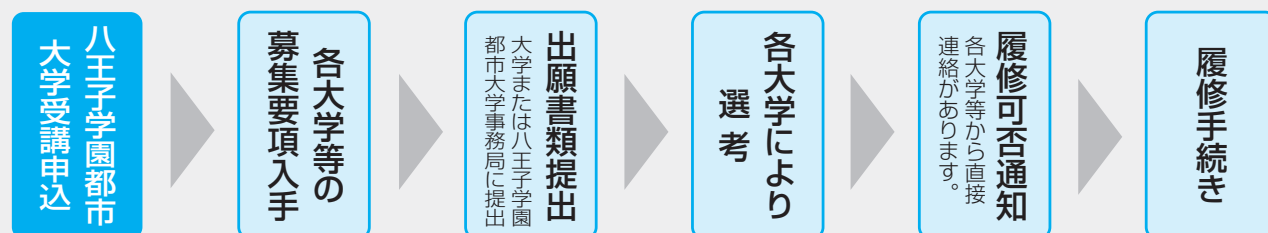
〒187-8587 東京都小平市学園西町 1-29-1 大学改革支援・学位授与機構 管理部学位審査課 電話 042-307-1550

### 科目等履修講座・手続き一覧

※1 東京工科大学の講座は一般受講も可能です。  
 ※2 受講料等(合計金額)は、選考料、履修費および登録料などの合計額です。その他に、教材費が必要な場合があります。

| 大学名            | 講座<br>番号 | 講座名※ 1                                      | 分野            | 掲載<br>頁 | 受講料等※ 2<br>(合計金額) | 単位 | 必要書類（必ずご用意ください）                                              |
|----------------|----------|---------------------------------------------|---------------|---------|-------------------|----|--------------------------------------------------------------|
| 東京工科大学         | 4-20     | 社会心理<br>～社会の中で私たちの心はどう働くのか～                 | 心理            | 29      | 25,000円           | 2  | ・ 科目等履修生願書<br>・ 最終学校の卒業又は卒業見込み証明書<br>・ 最終学校の成績証明書<br>・ 健康診断書 |
|                | 4-21     | サステナブル工学基礎                                  | 科学            | 30      |                   |    |                                                              |
|                | 4-22     | 情報セキュリティ<br>～コンピュータの知識を増やし論理的思考力を伸ばす～       | 情報            | 30      |                   |    |                                                              |
|                | 4-23     | 地球環境科学<br>～大気や水にかかわる現象を学んで地球環境を考える～         | 環境            | 31      |                   |    |                                                              |
|                | 4-24     | 3次元コンピュータグラフィックス論<br>～CG映像を生成する計算技術を体系的に解説～ | コン<br>ピュータ    | 31      |                   |    |                                                              |
|                | 4-25     | 国際関係論<br>～世界と日本の今を知る～                       | 政治            | 32      |                   |    |                                                              |
| 山野美容芸術<br>短期大学 | 4-26     | 生体学                                         | 健康            | 32      | 15,000円           | 2  | ・ 科目等履修願<br>・ 履歴書（写真添付）<br>・ 健康診断書                           |
|                | 4-27     | 美と健康科学                                      | 健康            | 33      | 10,000円           | 1  |                                                              |
|                | 4-28     | プライマリー栄養学                                   | 健康            | 33      | 15,000円           | 2  |                                                              |
|                | 4-29     | 美しいサービス                                     | コミュニ<br>ケーション | 34      | 10,000円           | 1  |                                                              |
|                | 4-30     | 伝承美（茶道）                                     | 教養            | 34      |                   |    |                                                              |
|                | 4-31     | 伝承美（着装）Ⅰ                                    | 教養            | 35      | 15,000円           | 2  |                                                              |
|                | 4-32     | 色彩学                                         | 芸術            | 35      | 10,000円           | 1  |                                                              |

## 履修手続き手順



※募集要項は、八王子学園都市大学事務局にご請求ください。

<履修費等・登録料で\*がついている講座は、八王子学園都市大学の受講生のために大学が優遇しているものです。>

| 選考料     | 出願先                  | 出願期間・方法                            | 履修許可可否<br>の通知方法 | 履修手続き書類・方法・期間等         | 履修費等               | 登録料  | 教材費          |
|---------|----------------------|------------------------------------|-----------------|------------------------|--------------------|------|--------------|
| 10,000円 | 八王子<br>学園都市大学<br>事務局 | 3/5(火)までに<br>八王子学園都市大学<br>事務局に直接持参 | 本人に直接連絡         | 合格発表後、大学の<br>所定の手続きによる | 7,500円<br>(1単位当)   | * 免除 | —            |
|         |                      |                                    |                 |                        |                    |      | テキスト代:2,640円 |
|         |                      |                                    |                 |                        |                    |      | テキスト代:3,300円 |
|         |                      |                                    |                 |                        |                    |      | —            |
|         |                      |                                    |                 |                        |                    |      | テキスト代:3,960円 |
|         |                      |                                    |                 |                        |                    |      | —            |
| 5,000円  | 大学                   | 3月21日(木)～<br>3月22日(金)<br>直接持参      | 本人に直接連絡         | 合格発表後、大学の<br>所定の手続きによる | * 5,000円<br>(1単位当) | * 免除 | —            |
|         |                      |                                    |                 |                        |                    |      | —            |
|         |                      |                                    |                 |                        |                    |      | —            |
|         |                      |                                    |                 |                        |                    |      | —            |
|         |                      |                                    |                 |                        |                    |      | 教材費:9,130円   |
|         |                      |                                    |                 |                        |                    |      | 教材費:10,000円  |
|         |                      |                                    |                 |                        |                    |      | 教材費:1,500円   |

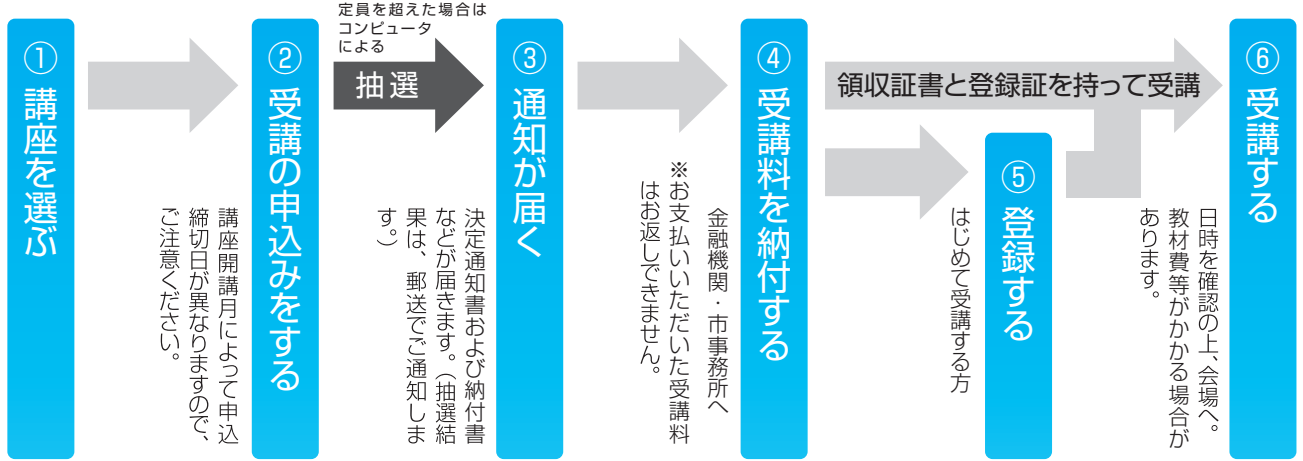
# 1. 受講資格

- ◆ 原則、18歳以上の方で、大学レベルの講義に関して学習意欲のある方
- ◆ 外国籍の方については、授業内容を理解できる日本語能力を有している方
- ◆ 八王子市民以外の方でも受講できます。

# 2. 受講までの手順【詳細は4ページをご覧ください】

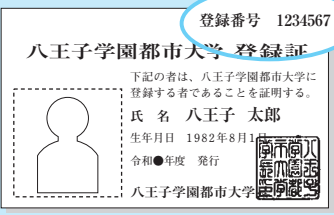
**受講までの流れ**

- 申込者が定員を超えた場合は、抽選(コンピュータによる無作為抽選)になります。
- 学生証の提示で受講料が学生料金になります。  
※対象は学校教育法に規定する大学、大学院、短期大学・専門学校及び専修学校(専門課程に限る)に在学する学生



※受講の際、領収証書を確認させていただく場合があります。

# 受講申込書記入例



八王子学園都市大学 受講申込書

|                                                                                            |                                  |     |      |          |       |   |   |         |   |   |   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|-----|------|----------|-------|---|---|---------|---|---|---|
| 登録番号                                                                                       | 1                                | 2   | 3    | 4        | 5     | 6 | 7 | 申込日(西暦) | 年 | 月 | 日 |
| フリガナ                                                                                       | ハチオウジ タロウ                        |     |      |          |       |   |   | 性別      | 性 |   |   |
| 氏名                                                                                         | 八王子 太郎                           |     |      |          |       |   |   | ⑤・女     |   |   |   |
| 生年月日                                                                                       | 西暦 1982 年 8 月 1 日                |     |      | ( 41 歳 ) |       |   |   |         |   |   |   |
| 住所                                                                                         | 〒 192 - 8501 電話 042 ( 626 ) 3111 |     |      |          |       |   |   |         |   |   |   |
| 八王子市元本郷町3-24-1                                                                             |                                  |     |      |          |       |   |   |         |   |   |   |
| * 学生割引・託児・科目等履修を希望する方は、それぞれの欄に○を記入してください。                                                  |                                  |     |      |          |       |   |   |         |   |   |   |
| 講座番号                                                                                       | 講座名                              | コース | 学生割引 | 託児       | 科目等履修 |   |   |         |   |   |   |
| 4-3                                                                                        | お魚Cooking                        |     | ○    | ○        |       |   |   |         |   |   |   |
| 4-11                                                                                       | バイオ・アート論                         |     |      |          | ○     |   |   |         |   |   |   |
| 5-9                                                                                        | 源氏物語                             | A   |      |          |       |   |   |         |   |   |   |
| * 託児ご希望の方は講座申込と同時に申請ください。申込締切日を過ぎた場合受付できません。(希望者多数の場合抽選となります。)                             |                                  |     |      |          |       |   |   |         |   |   |   |
| 氏名(フリガナ)                                                                                   | ハ王子 花子 (ハチオウジ ハナコ)               |     |      |          |       |   |   |         |   |   |   |
| 生年月日(西暦)                                                                                   | 2021 年 1 月 1 日                   |     |      | 性別       | 男 ・ 女 |   |   |         |   |   |   |
| * 学生割引を利用される方は、講座申し込みの際に必ず学生証をご提示ください。<br>* ご記入いただいた個人情報については適切に取扱い、学園都市大学運営以外の目的では使用しません。 |                                  |     |      |          |       |   |   |         |   |   |   |
| 八王子学園都市大学事務局 電話 042-646-5621                                                               |                                  |     |      |          |       |   |   |         |   |   |   |
| 受付                                                                                         | コピー                              | 入力  | 確認   | 受付日      |       |   |   |         |   |   |   |

学生割引・託児を申請する方は、それぞれの欄に○を記入してください。

科目等履修講座で大学の単位の修得を希望する方は、  
※「科目等履修」欄に○を記入してください。

コースがある講座は、いずれかのコースを記入してください。

\* 託児ご希望の方は講座申込と同時に申請ください。申込締切日を過ぎた場合受付できません。(希望者多数の場合抽選となります。)

|          |                    |     |     |
|----------|--------------------|-----|-----|
| 氏名(フリガナ) | ハ王子 花子 (ハチオウジ ハナコ) |     |     |
| 生年月日(西暦) | 2021 年             | 1 月 | 1 日 |
| 性別       | 男                  | ・   | 女   |



## 八王子学園都市大学 受講申込書

|                                                                |            |   |   |   |   |   |    |             |    |       |           |
|----------------------------------------------------------------|------------|---|---|---|---|---|----|-------------|----|-------|-----------|
| 登録番号                                                           |            |   |   |   |   |   |    | 申込日<br>(西暦) | 年  | 月     | 日         |
| フリガナ                                                           |            |   |   |   |   |   |    |             |    | 性 別   |           |
| 氏 名                                                            |            |   |   |   |   |   |    |             |    | 男 ・ 女 |           |
| 生年月日                                                           | 西 暦        | 年 |   | 月 |   | 日 |    | ( 歳 )       |    |       |           |
| 住 所                                                            | 〒 - 電話 ( ) |   |   |   |   |   |    |             |    |       |           |
| * 学生割引・託児・科目等履修を希望する方は、それぞれの欄に○を記入してください。                      |            |   |   |   |   |   |    |             |    |       |           |
| 講座番号                                                           | 講 座 名      |   |   |   |   |   |    | コース         | 学割 | 託児    | 科目等<br>履修 |
| —                                                              |            |   |   |   |   |   |    |             |    |       |           |
| —                                                              |            |   |   |   |   |   |    |             |    |       |           |
| —                                                              |            |   |   |   |   |   |    |             |    |       |           |
| —                                                              |            |   |   |   |   |   |    |             |    |       |           |
| —                                                              |            |   |   |   |   |   |    |             |    |       |           |
| * 託児ご希望の方は講座申込と同時に申請ください。申込締切日を過ぎた場合受付できません。(希望者多数の場合抽選となります。) |            |   |   |   |   |   |    |             |    |       |           |
| 託児氏名(フリガナ)                                                     | ( )        |   |   |   |   |   |    |             |    |       |           |
| 生年月日(西暦)                                                       | 年          |   | 月 |   | 日 |   | 性別 | 男 ・ 女       |    |       |           |

\* 学生割引を利用される方は、講座申し込みの際に必ず学生証をご提示ください。

\* ご記入いただいた個人情報については適切に取扱い、八王子学園都市大学運営以外の目的では使用しません。

八王子学園都市大学事務局 電話 042-646-5621

|    |     |    |    |     |
|----|-----|----|----|-----|
| 受付 | コピー | 入力 | 確認 | 受付日 |
|    |     |    |    |     |

▶ミシン目で切り取ってお使いください。

▶ミシン目で切り取ってお使いください。





THE INSTITUTE OF  
ORIENTAL PHILOSOPHY

公益財団法人 東洋哲学研究所



私たちは、世界の精神遺産ともいえるべき東洋思想、なかんずく仏教の文献学的・思想的調査、研究を推進し、その成果を広く国内外に公開することによって、人類文明が直面する諸課題の解決に貢献していきたいと思っています。今後とも、八王子市民の皆様には有益な各種講座を提供してまいります。

公益財団法人 東洋哲学研究所

<https://www.totetu.org/>



公式ホームページ  
二次元コード



# ヤマザキ動物看護大学

動物看護学部 動物看護学科 / 動物人間関係学科  
大学院 動物看護学研究科 動物看護学専攻(修士課程)



〒192-0364 東京都八王子市南大沢 4-7-2 京王相模原線「南大沢駅」徒歩10分

TEL .042-653-0901 (代) URL <https://univ.yamazaki.ac.jp/univ/> E-mail [info-d@yamazaki.ac.jp](mailto:info-d@yamazaki.ac.jp)

## 国家資格 愛玩動物看護師

動物看護教育のパイオニアとして  
高度化・専門家する動物医療に対応する  
専門的な知識や高い技術力を持った  
愛玩動物看護師を養成します。

動物看護学科、動物人間関係学科どちらも  
「愛玩動物看護師」国家試験の受験資格に  
必要なカリキュラムを整備しています。





八王子市学園都市センター  
**八王子学園都市大学事務局**

〒192-0083 八王子市旭町9番1号 TEL: 042-646-5621  
<https://web.my-class.jp/icho/asp-webapp/web/WTopPage.do>

